金沢編集長（週刊ゴング）が『W−1』を大成功と言った

平成15年1月21日第三種郵便物認可　平成15年3月13日発行（毎月第2・第4木曜日発行）　増刊　第5巻・5号・通巻88号

SPORTS JAPAN DX

Special Ring Side

3・13 臨時増刊号
2003
定価680YEN

2003年のK−1 &PRIDE展望号

心配御無用
DON'T WORRY♥

刺客は ミルコか ハントか 武蔵か?

K-1 今年の ド真ん中は 「サップを潰せ!」だ!

発行人／横賀主水　編集人／谷川貞介　発行・発売／㈱ぴあ
〒105−8070　東京都港区海岸1−15−1　TEL.03-5403-8859（販売）
㈱ローデス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
TEL.03-3295-4445（編集）　協力／フジテレビジョン・フジテレビ出版

どうなる2003年 K−1&PRIDE!?

SPORTS JAPAN DX 3・13 臨時増刊号 No.88

定価680円 本体648円

日本男児よ、SOLEで焼け！

みがき
はじめたい男は
初回20分まで
¥1,000
（登録料+スキンケア4点セット込み）
※お得なチケットも有ります。

みがきたい男へ
イチ押しコース登場！
20分+ジェルが4回分
!?円

全国62店舗展開中

TANNING STUDIO SOLE

お近くの店舗をご紹介致しますのでお気軽にお問い合わせ下さい。
フリーダイヤル/0120-77-9696

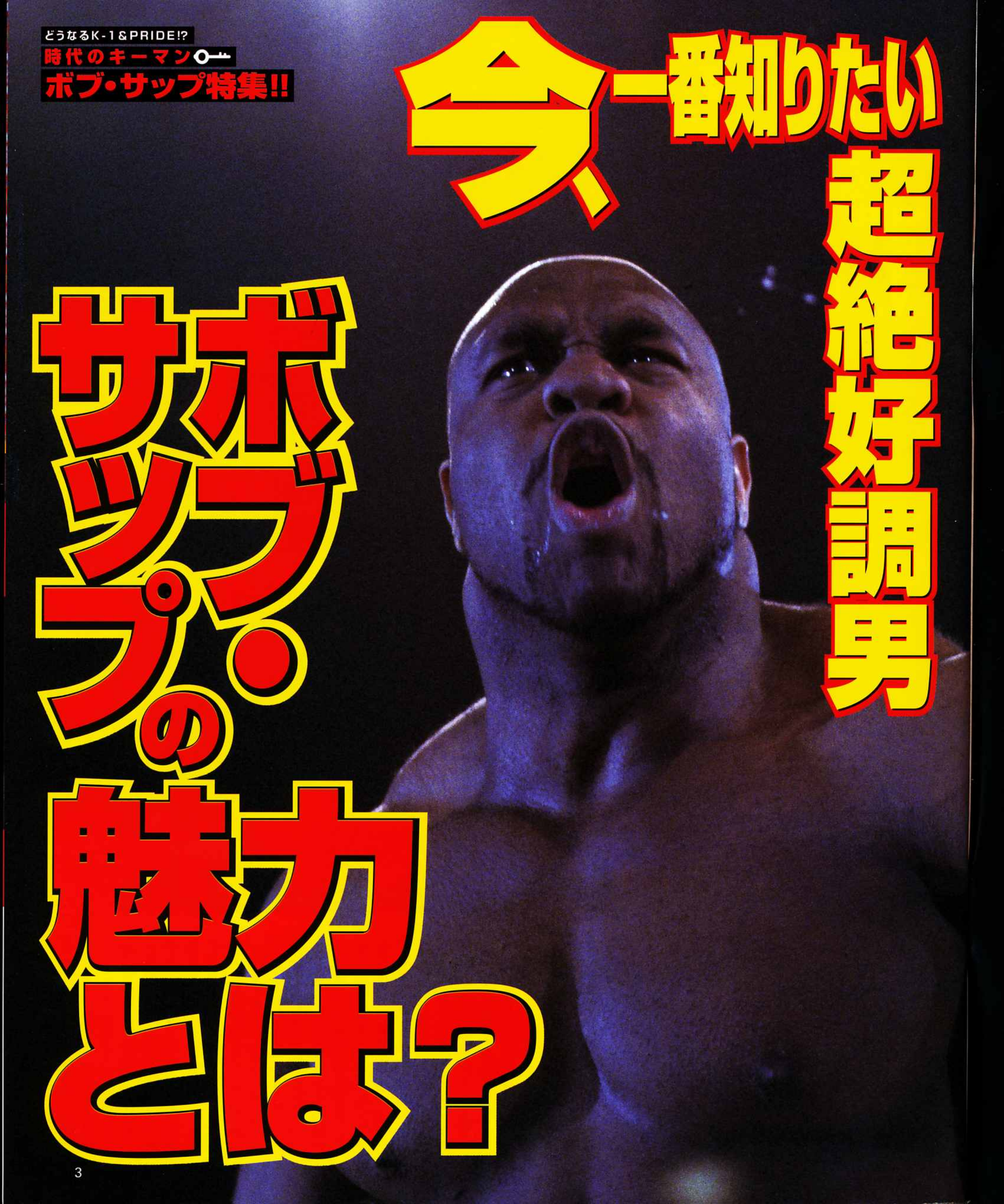
URL http://www.sunrisejapan.com/sole
i mode http://www.sunrisejapan.com/sole/i

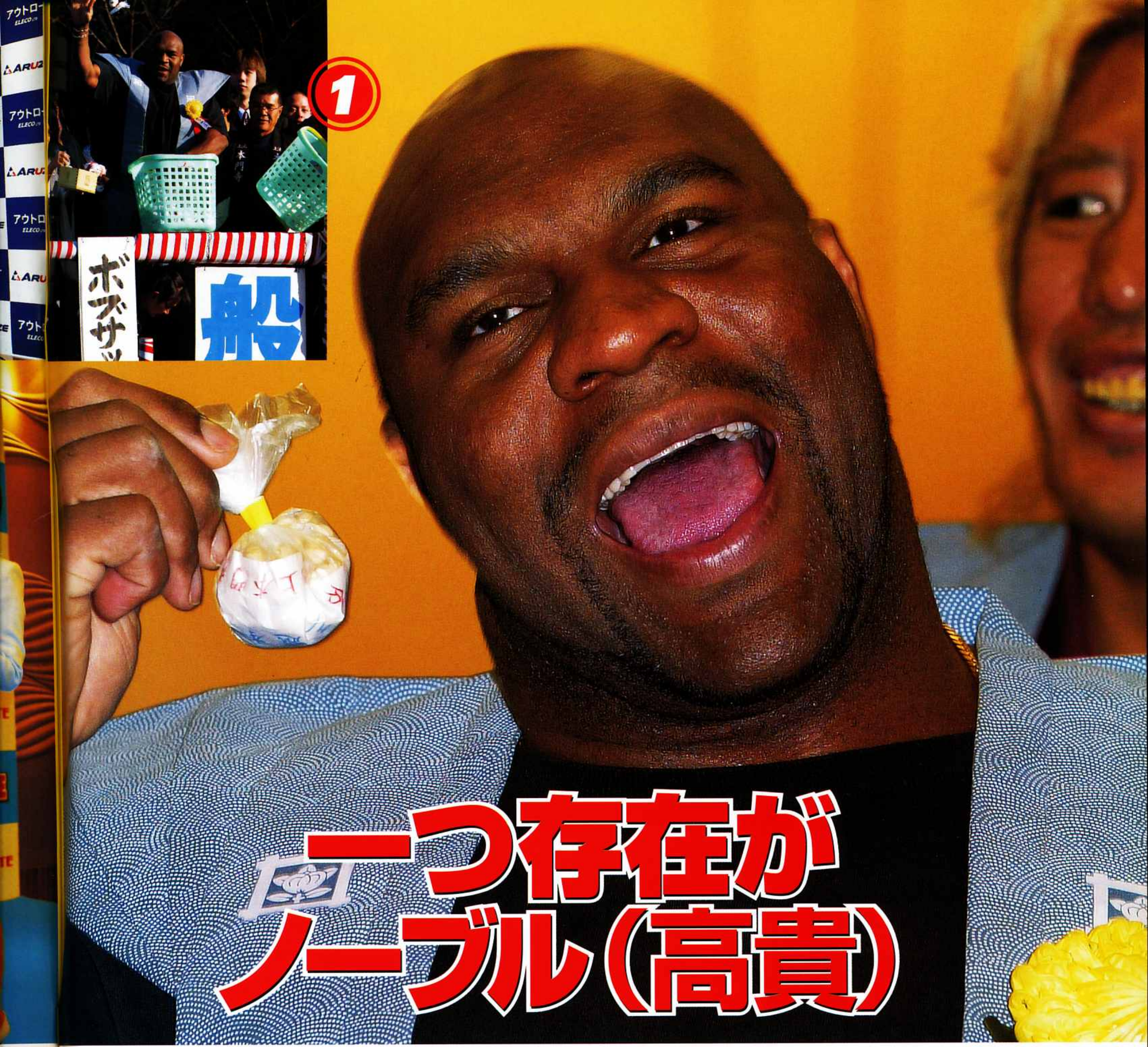
JSA
JAPAN SOLARIUM ASSOCIATION

どうなるK-1&PRIDE!?
時代のキーマン
ボブ・サップ特集!!

今一番知りたい超絶好調男

ボブ・サップの魅力とは?





一つ存在がノーブル（高貴）

ボブ・サップの人気はとにかく凄すぎる。今やプロレス界と格闘技界にとどまらず、芸能界でもトップクラスに躍り出た。その勢いたるやもう手が付けられない状態である。では、なぜこんな短期間のうちにのし上がることができたのか？　そこに興味がある。

思うにその答えは意外と単純なところにあるような気がする。強くなかったらだめ。これはファイターとして当然である。しかしただ強いだけでもだめ。そこの部分を格闘家は、分かっていない人が多い。強いことにプラスアルファの〝何か〟が絶対に必要。

そうでないとテレビというメディアから、あんなに引っ張りだこにはならない。問題はそのプラスアルファが、何かということである。そこに鍵があるはず。

私の考えではサップは存在がノーブル、つまり高貴であることが人気者になった秘密のような気がしている。高貴とは神のように崇高であるという意味ではない。

誰もが持っているはずの俗っぽい欲望や下心が、サップにはほとんどない。仮に写真週刊誌がサップのスキャンダルを狙ったとしても、何も出てこないだろう。

それぐらいサップはクリーンなのだ。日本ではどんな人気者やスターでも、あっさりと私生活でスキャンダルが出てしまう。

一皮むけばなんとやらというわけだ。これではスターの幻想もすぐに崩れてしまう。日本のマスコミはそうしてスターの足を引っ張ってきたというか、引きずり降ろしてきた。

サップにはそういう心配が一切

どうなるK-1&PRIDE!?

時代のキーマン

ボブ・サップ特集!!

❶2月3日、池上本門寺の『節分会』に初参加。約2万人の参拝客を前に、豆まき初体験のサップは大興奮　❷パチスロのイメージキャラクターに起用されたサップ。777を叩き出し、両手にはK-1ガールズ、まさにダンディー・ビースト　❸日本滞在中、よく食べているというカップ焼そばのテレビCMに出演。撮影中、20杯も食べたにもかかわらず、会見の時もご覧のように「ヤキソバ、オイシー!」　❹アイスのCMで、眞鍋かをりと共演のサップ。謎の転校生・サップ君と美人教師のかをり先生。それにしても、サップはビン底メガネがよく似合う　❺サップが遂に歌手デビュー!　『力あわせてゴーゴゴー!!』(フジテレビ系、毎週水曜、午後7時57分より放送)の企画で、CDデビュー(タイトル『SAPP TIME』、3月5日発売)の決まったサップ。同番組出演のネプチューンとデビューが決まりご満悦状態のサップ

一つ存在がデラシネ(根無し草)

ない。どこを突っついてもホコリひとつ出てこない男。実はそのことは子供たちにも伝わっているのだ。だからサップはどんな人にも人気がある。

存在が高貴でクリーンなことがいかにモーストインポータント(重要)なことなのか、それをサップは我々に教えてくれている。

サップに学ぶべきものがあるとしたらこれである。私は今の日本に求められているものは、実力があってなおかつ〝かわいい〟ことだと思う。やはり力がないものは魅力がない。それでいてキュートであったら言うことなしなのだ。

たしかにサップはかわいい。そのかわいいと言わせている原因は〝実力〟があり存在が〝高貴〟で〝クリーン〟だからだ。

もう一つサップの魅力はデラシネにある。デラシネとは根無し草のことである。本来は決していい意味では言われない言葉。

だがサップを見ているとなぜか、〝定住者〟のイメージがない。アメリカ人なのにずっと日本にいるような錯覚を与えている。

家族持ちという雰囲気がまったくないのだ。恋人とか彼女がいる感じもない。そうなるとサップは我々、大衆のものになる。

みんなのものになる。日本人にはちょっといないタイプで受けるはずである。サップについて考える時、我々はスターとはなんなのか? そこをはずして考えると何も真実は見えてこないのだ。

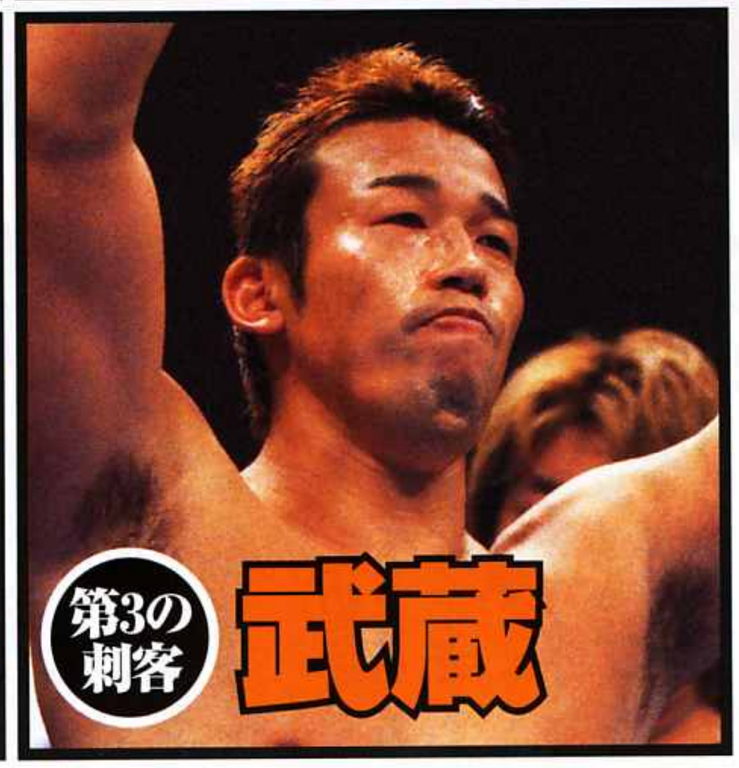
日本人は高貴であることを失った。その失ったものを喚起してくれるからサップはヒーローになり得たのだ。

(ターザン山本)

STOP THE BEAST

［ストップ・ザ・ビースト］

昨年のK-1マットは、ボブ・サップたった1人によって、今まで築き上げてきたものが一気に破壊されてしまった。2003年もまた、K-1のリングにビースト旋風が吹き荒れてしまうのか？　それに待ったをかけるべく4人の刺客。ミルコ・クロコップ、マーク・ハント、武蔵、そして謎の男X、果たしてこの4人の中から〝ザ・ビースト〟を止めるのはいったい誰だ!?　文◎ターザン山本



ストップ・ザ・ビースト
第1の刺客はミルコか？

STOP THE BEAST そのキーワードは

一時の運

スストップ・ザ・サップの一番手の刺客は、ミルコ・クロコップしかいない。ミルコは今まで〝プロレスハンター〟と言われてきた。

藤田和之、永田裕志、桜庭和志という日本のトップレスラーをことごとく破った。いうなれば日本のプロレスファンにとって、ミルコは憎っくき選手。

そのことでミルコはK―1の中で、特異な地位を築いていった。彼が持っていた技術的資質、たとえば動体視力などが、プロレスラーと試合をした時、圧倒的にそれが生きたということである。

つまりこれは〝相性〟の問題と言ってもいい。ミルコの側からすると、プロレスラーとは相性がいいのだ。プロレスラーからするとミルコは、もう相性うんぬんよりも〝天敵〟に近い存在である。

それにミルコは一昨年、去年と運が良すぎた。普通あんなに勝ち続けることは不可能。何回となく〝負け時〟があったのに、全てその壁を乗り越えてきた。

この男は試合ごとに変身、進化してきたというべきか？　次に試合をする時はもう前の試合のミルコではない。ここにこの男の強さの秘密がある。そのミルコの牙城をぶち壊すのは、今やボブ・サップしかいない。サップはK―1に対して破壊活動をしている男。

だからK―1は面白くなった。K―1を面白くさせるためにはサップは勝ち続ける必要がある。もしサップとミルコが闘った時、問題はどちらに〝時の運〟があるのかということである。

運の奪い合い。運をめぐる天下分け目の闘いになること必至だ。

マーク・ハントほど現金な選手はいない。現金なというのはお金を見ると目が変わる、非常に分かりやすい男である。プロならそれは当たり前である。だからこの男のモチベーションは、1年に1回あるK―1グランプリになる。

あの優勝賞金の40万ドルはハントにとって魅力的なのだ。一度K―1GPに優勝しているので、その味が忘れられなくてハントはGP症候群になっている。

たぶん、GP以外の試合に出場させても、この男のモチベーションは上がらないだろう。そういうやっかいな面が出てきた。プロデューサーからすると、あまりよろしくない選手とも言える。

だからK―1を守るために〝打倒サップ〟の刺客になれといっても我れ関せずかもしれない。まさかハントは「オレがサップをぶっ倒してやる。あんなヤツにK―1のリングで大きな顔をされてたまるか？」といって男気を出したりするような人間ではない。

そういうロマンを持ち合わせているとは、とても思えない。だったらハントをサップにぶつけるとしたら、もうそれは「賞金マッチ」にするしか道はない。

そうなるとハントは燃えるはずである。要するにハントには〝ニンジン作戦〟を展開するのだ。目の前にニンジン（現金）をぶら下げて、この男を本気にさせる。

そうやってハントをあおっておきながら、サップがハントの野望を叩き潰す。そういうシーンを見るのも面白いといえば面白い。

もちろんボコボコに殴り合う試合展開は、最高の見物なのだが。

どうなるK-1&PRIDE!?

時代のキーマン

ボブ・サップ特集!!

ストップ・ザ・ビースト 第3の刺客は武蔵か?

STOP THE BEAST

そのキーワードは

"牛若丸"

サップを止める大穴中の大穴は武蔵のような気がする。昨年のK―1GPのカード決定の場面では武蔵は、ボブ・サップとの対戦を選べる立場にありながら、それを避けてしまった。その結果、武蔵はジェロム・レ・バンナと試合をすることになった。

あそこで武蔵がもしサップを対戦相手に選んでいたら、2002年のK―1GPは、まったく違った流れになっていただろう。

結果的にアーネスト・ホーストが、サップと急きょ、試合をすることになりそれはそれで大変な盛り上がりを見せた。あれを見て武蔵は何を思ったのだろうか?

ビッグチャンスを逃した。そう言うしかない。だがあそこで武蔵がサップと闘わなかったことで別の期待感が出てきたのだ。はっきり言ってサップはスタミナがない。それが唯一の弱点かも。だったらそこを突けばいいではないか?

サップとの試合では武蔵は徹底的に逃げる。逃げて逃げて逃げまくるのだ。リングは狭い。だから逃げるのは難しい。

そこをまるで弁慶と闘った牛若丸のように、ひらりひらりとかわしていくのだ。そして相手が疲れたところを狙って攻撃する。攻撃したらまた逃げるのだ。

この戦法しかサップを倒す方法はない。真っ向勝負を仕掛けるのは、バカなものがやること。今までサップに対して逃げ作戦を展開した選手はいない。武蔵ならそれができるはずである。

武蔵よ、平成の牛若丸になるんだ。それを成功させて一度ぐらい男になってみろと言いたいのだ。

時代のキーマン

ボブ・サップ特集!!

ストップ・ザ・ビースト 謎の刺客は俺様だ!!

STOP THE BEAST そのキーワードは“旅人”

ボブ・サップはファイターではない。彼は〝旅人〟であるというのが、私の考えでもある。

本来、K—1の選手にしろ『プライド』の選手にしろ、みんな選手そのものという顔と雰囲気を持っている。それが彼らの魅力なのか、限界なのかという二面性がある。たとえば一度、選手になったらその時から彼らは、ずっと選手としての人生を歩む。

それがどこまで〝線〟となってつながっていくのかは、きわめて困難なテーマである。特にK—1や『プライド』の選手の〝選手寿命〟は、決して長くない。

特に頂点に立った選手の場合は逆にそれが負担になる。1回でも負けるともう、あとがなくなってくるからだ。サップは違う。彼は絶対に〝旅人〟なのだ。

K—1に始まり『プライド』、『Dynamite!』に『W—1』まで彼は、旅人として旅をし続けている。選手だったら現役引退というゴールが、待ち構えているが、サップは旅人なのだから彼の辞書には〝引退〟という二文字さえないのだ。

我々はそういう〝旅人〟としてのサップを見て、彼に親近感と愛着を抱いている。この〝旅人〟はやがて我々の前からあっさりと去っていくか、そうでなかったら消えていくだろう。

そういう意味ではボブ・サップは、私のライバルである。この男の人生はショートスタンスではなく、ロングスタンスで見るべきなのだ。〝旅人〟はエンターティナーでもある。そして私もまた〝旅人〟なのだ。■

暗いムードを吹っ飛ばせ!

PRIDE.25 最新情報!

PRIDE.25で今度こそ実現

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

(ブラジル/ブラジリアン・トップチーム)

VS

エメリヤーエンコ・ヒョードル

(ウクライナ/ロシアン・トップチーム)

決戦!世間で定番無敵最強用の

年明け早々、森下社長逝去という暗いニュースに見舞われた『プライド』だが、プロレス・格闘技ファンが気になっているのは、大会まであと1カ月と迫った3・16『プライド25』だろう。既に対戦カードはノゲイラVSヒョードルのタイトルマッチを含めて2カード決定。この、2カードの見どころとともに、気になるその他の参戦選手など、3・16横浜アリーナ大会の最新情報をお届けする。

殺戮劇場になることは必至の新旧リングス王者対決！

ヒョードルの殺人パンチか？

ノゲイラの三角絞めか？

▲▶下からの関節技を得意とするノゲイラと、上になって相手をトコトンまで殴りつけるのが得意なヒョードル。壮絶な決戦になることは間違いない！

年明け早々、森下直人社長逝去という暗いニュースに見舞われた『プライド』。この暗い話題を吹き飛ばすには、何よりも素晴らしいイベントをファンに提供していくことが一番の特効薬になることは間違いない。

今年最初の大会となる『プライド25』は3月16日、横浜アリーナで開催される。そこで、2月5日、さっそく発表されたのが、昨年の12・23『プライド24』福岡大会で行われる予定だった、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラVSエメリヤーエンコ・ヒョードルの『プライド』ヘビー級タイトルマッチである。

昨年ノゲイラは、エンセン井上、菊田早苗、ボブ・サップ、セーム・シュルト、ダン・ヘンダーソンといった並みいる強豪の挑戦を全て一本またはKO勝ちで退けてきた。特にサップ、シュルトといった規格外のボディとパワーを持つファイターを相手に、「今度こそはノゲイラも危ない」と言われながらも、得意の関節技で仕留めていく姿は、まさに〝リアル・アントニオ猪木〟といったところ。昨年はサップという爆発的にブレイクしたスーパースターや、吉田秀彦という国民的柔道マンのプロ転向という話題に存在が隠れがちだったが、間違いなく現在ノゲイラは、世界最強を名乗れるファイターの1人なのだ。

だが、今度という今度こそ、ノゲイラにも危機が迫っている！　『プライド』ヘビー級王者であるノゲイラにとって、今度のヒョードル戦は初めての防衛戦。その最初の防衛戦で、現時点で考えられる、最強かつ最恐の相手を迎えてしまった。ヒョードルの実力の高さに関しては、『プライド23』のヒース・ヒーリング戦を見れば、誰もが納得するところだろう。ノゲイラもヒーリングとは試合をしているが、その時は『プライド』ヘビー級王座決定戦で、判定で勝ちはしたものの、ヒーリングを最後まで一本で仕留めることはできなかった。そのヒーリングを子供扱いにし、試合前と試合後ではまるで別人のごとく顔を変形させてしまったのが、ヒョードルなのだ。この試合はまさに、〝殺戮ショー〟といった類の残忍な試合で、常に上のポジションをうまくキープしたヒョードルが、ヒーリングを得意の殺人パンチで戦闘不能状態に追い込んでしまったのは、まだまだ記憶に新しいところだろう。見ている人間を、「そこまでやるか」と思いっきり引かせてしまう姿には戦慄を覚えた記憶がある。

考えてみれば、ノゲイラが昨年8・28『Dynamite!』でサップとの一戦を組まれたのは、8・8『LEGEND』に出場したための制裁マッチだったという噂が出たほど。それほど壮絶な試合だったわけだが、ノゲイラはこのサップ戦以後も過酷な格闘ロードが続いているのだ。11月には2メートル12センチのシュルトと闘い、12月には結局ヘンダーソンと闘ったものの、本来ならばここでヒョードルと闘う予定であり、ヒョードルがコマンドサンボの世界大会で負傷すると、同じロシア勢でリングス時代、一撃で相手を破壊してきたヴォルク・アターエフを用意されるなど、ぶつけられる相手は誰もが試合をしてただでは済みそうにない危険な怪物ばかりだった。そして、遂にヒョードルである。

正直、気の毒だ。しかし、ノゲイラが気の毒に思えるような相手が用意されればされるほど、ファンは過剰にノゲイラに期待してしまう。負けるところも見てみたい気もすれば、苦しみの中から立ち上がり、勝つところも見たいのである。だからこそ、ノゲイラは〝リアル・アントニオ猪木〟なのだ。

ノゲイラのコメント

「『プライド』の存続が危ぶまれていると聞いているが、今こそ我々ファイターが力を結集すべき時だ。そして、『プライド』のリングで、我々が素晴らしいファイトをすることが何よりも一番大切なことだと思う。私は『プライド』のチャンピオンとして、今改めて『プライド』を守ることを誓う。私が世界最強であることを示すこと、それがすなわち『プライド』を守ることであると信じている。そしてこの対戦は、昨年ミスター・モリシタが実現させようとしたカード。彼にヒョードル戦の勝利を捧げたい。それも美しい関節技での勝利をプレゼントしたい」

ヒョードルのコメント

「遂に『プライド』の王座に挑戦できることになり、非常に興奮している。我々ロシアン・トップチームの威信にかけて、必ずノゲイラを倒すことをお約束する。そもそも“バーリ・トゥード”はブラジル人のためのブラジル人によって作られた競技だ。しかし、ロシア人はそんなハンディも恐れない。必ず克服してお見せしよう。ロシア人の潜在能力と底力を、世界に知らしめる時が来たのだ」

今年最初のPRIDEは横浜アリーナで！

▲今年最初の『プライド』は横浜アリーナで開催する。昨年、ミルコVSシウバで超満員になった会場だ

とは言っても、ヒョードルの強さはそれこそ尋常ではない。柔道とサンボをベースにしているヒョードルは、何よりも基礎体力があり、バランス感覚に優れ、上のポジションをキープするのがうまく、どの位置からでも相手を戦闘不能状態に追い込んでいくパンチを持っている。サンボの選手なのに、実は関節技よりも打撃が好きなのだ。だから、ノゲイラとの試合で、華麗な関節技の攻防を期待しても、決してキレイな試合にはならないだろう。必ず凄惨な試合になるはずだ。

ところで、ロシアン・トップチームはヒョードル以外は『プライド』で勝ち星がない。そういう意味では、かつてリングス・ロシア勢にあったロシア幻想は、全てこのヒョードルが背負っていることになる。無表情で相手を破壊するヒョードルか？　どんな相手でも一本極めてしまうノゲイラか？　奇しくもリングスで共に王者になった同士の対決。このタイトルマッチこそ、世界最強決定戦と断言してしまっても、それこそ問答無用でありなのだ。

また、ノゲイラVSヒョードル以外にも、ノゲイラ弟VS中村和裕が決定している。中村は、柔道では世界一過酷な階級と呼ばれる100キロ級で、オリンピック金メダリストの井上康生たちと鎬を削ってきた男である。昨年、柔道界から吉田道場入り。〝国民的柔道マン〟である吉田秀彦のもとから、遂に期待の日本人選手が現れた。

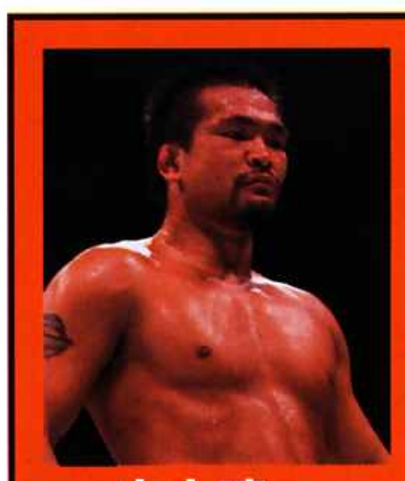
中村の詳しい紹介は14ページからのインタビューを読んでいただくとして、昨年の吉田の活躍を見ても分かるとおり、現在のマット界は柔道に追い風が吹いている。また、ノゲイラ弟VS中村は、ノゲイラ兄VS吉田という究極の柔術VS柔道対決の前哨戦とも考えられる一戦だ。兄同様高度なテクニックを持つノゲイラ弟が相手ではあるが、日本の100キロ級屈指の実力者である中村に低迷する日本勢に喝を入れる意味でも、素晴らしい柔道仕込みのファイトを期待したい。

その他、昨年『プライド22』でハイアン・グレイシーに屈辱的な敗戦を喫し、負傷欠場に追い込まれた大山峻護の復帰戦が決定している。また、参戦が噂されている選手だが、本誌がキャッチした情報によると、金原弘光、アレクサンダー大塚、小路晃、山本喧一の4人。金原はリングネームを本名に戻しての再出発となる。

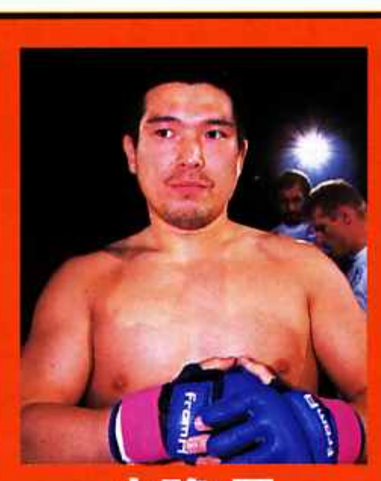
そして、何よりも気になるのは桜庭和志の復帰がこの『プライド25』になるのかどうか。故森下社長は、桜庭の復帰戦を『プライド25』で行いたい意向だったようだが、出場するかしないかは、昨年11月に負傷した右ヒザの回復次第とのこと。マット界の暗いムードを吹き飛ばす意味でも、桜庭の出場は不可欠だが、まだ結論は出ていないようだ。

以上が主なカードや参戦選手の情報だが、今大会のチケットの売れ行きは抜群らしく、2月2日の特別先行予約では通常の2倍の申し込みがあったという。何はともあれ、『プライド』の華々しい再出発が期待される。■

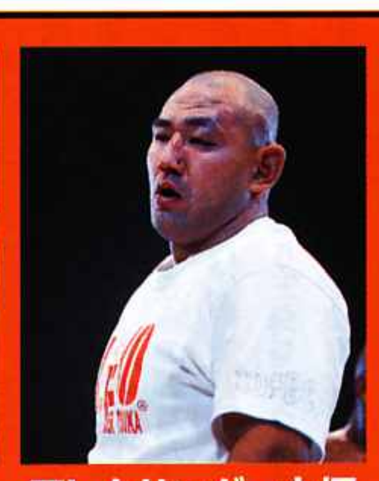
噂に上っている出場予定選手



山本喧一
〈日本／フリー〉



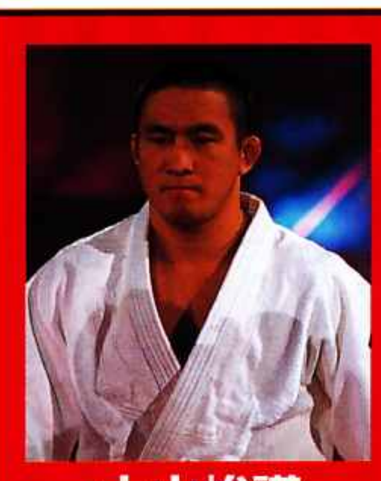
小路 晃
〈日本／フリー〉



アレクサンダー大塚
〈日本／AODC〉

金原弘光
〈日本／フリー〉

出場決定選手



大山峻護
〈日本／フリー〉

根拠はないけど、たぶん勝ちます！

3・16『プライド25』でプロデビューが決まった中村和裕（通称：カズ）。昨年、柔道界からプロに転身し、ホイス・グレイシー、ドン・フライ、佐竹雅昭と連破し総合格闘技界でもトップクラスの実力と称賛される吉田秀彦が、自信を持って送り出す新兵器・カズとはいったいどんな選手なのか。ノゲイラ弟“ホジェリオ”との対戦が決まり「すぐにでも闘いたい」と熱く燃えるカズから話を聞いてみた。

聞き手◎林　毅　　撮影◎中島ミノル

いきなり、ノゲイラ弟と対戦決定！

吉田秀彦の弟分 中村和裕 カズ

PRIDEデビュー

柔道で講道館杯準優勝、全日本選抜体重別3位という実績がどれほどのものなのか、ほとんどの人は分からないと思うので簡単に説明しておこう。

まず、講道館杯というのは、世界選手権、オリンピックの第一次代表選考会にあたり、この大会で上位に入賞した選手が、有力候補として全日本柔道連盟の定める強化選手や強化指定A選手として選出される。

全日本選抜体重別というのは、第二次（最終）選考会であり、各階級、選抜された8名のみが参加し、代表の座と体重別日本一の座を争う大会。つまり、この大会に出場できるのは、トップ中のトップであり、この大会で優勝した選手が、日本代表の座を射止めることになる（過去の実績などにより例外もあるが）。

中村和裕（以下、カズ）は、それぞれの大会で2位、3位入賞を果たしているのだから、柔道の実績としては〝かなりのもの〟。まして、この100キロ級というのは、世界&五輪チャンピオンの井上康生が王者として君臨する階級。さらに、昨年、アジア大会を制した鈴木桂治もおり、恐ろしくレベルの高い、そして、日本代表になるのが非常に難しい階級なのだ。その階級で井上、鈴木に続く選手として期待されていたのが、カズなのである。カズのレベルがある程度は理解いただけただろうか。ただし、これはあくまで柔道での実績。総合格闘技となると、勝手は違ってくるので、一概には言えないが、吉田秀彦が、自らの道場から自信を持って送り出すことのできる柔道家だと言っていい。

それにしても、いきなりノゲイラ弟のホジェリオが相手とは、いささか荷が重すぎるのでは……、とちょっと心配になったのだが、カズ本人はそんな意識はまるでない。「自信は？」の質問にも、なんの躊躇もなく「ありますね」と笑顔で答え、心配するこちらを驚かせるのだ。

ホジェリオの試合は、ビデオで2～3試合見たことがあるだけとのことだが、「意外と腰が弱いなという感じがしました。投げた後、下からの三角だけ注意すればいいかな」と、余裕の発言。

柔道では下から三角を狙う選手がいないため、そういった練習は最近になって始めたばかりとのことだが、「高阪（剛）さんやグラバカの佐々木（有生）さんと練習して、最初は取られていましたけど、最近はタイミングが分かってきて。まあ、それだけ注意すれば大丈夫だと思います」と勇ましい。

ガイ・メッツァー戦のビデオも見たそうだが、その感想についても「組みはあまり強くないですね。ケンカ四つで脇は差しやすいと思うので、ボクの投げが決まるでしょう。でも、投げてもなんにもならないですから、投げてからどうするか。そこでガードポジションを取らせず、サイドにつくことができればイケルと思うんですけどね。ただ、ガードポジションを取られて、動きが止まっちゃうと怖いですね、膠着が」。

現在のカズの1日のスケジュールは、9時過ぎに起床。11時からランニング、

月・水・金曜日は15時からG―スクエアでグラウンドの練習をし、その後、18時からボクシングジムで打撃の練習をしている。火・木は15時からグラバカジムに出稽古。その後、吉田道場で子供に柔道の指導をしている。家から練習場所、吉田道場などへの移動は、全て吉田から譲り受けた自転車（マウンテンバイク）。これが結構ハードなトレーニングになっているようだ。

柔道時代との生活の違いについては「京葉ガス時代は、会社（での仕事）もありましたし、柔道に関しても練習できる環境って決まっていたんですけど、今は自分で練習場所を探し、自分で作ったメニューで、好きなだけ練習ができる」と意欲的。毎日の練習に関しても「発見発見の連続で面白いです」と、師匠の吉田同様、新しい技術を身に付けることに余念がなく、苦しい中でも非常に楽しんでいる様子がうかがえる。

総合の練習に関しては、実は大学4年の頃から始めており、その頃からサンボの大会やアマチュアの総合の大会に出場したりしている（サンボでは2001年に全日本体重別で優勝）。最初に練習に行ったのは、新宿スポーツセンターで、大学、そして会社（京葉ガス）の先輩でもある大山峻護に連れていってもらったのだとか。ただし、当時はプロになるつもりなどはまったくなく、柔道の練習の一環としてやっていたと言う。また、大学でも後輩を裸にして練習したり、レスリング部の友人を呼んで練習したりしていたとも。

カズがプロの総合格闘家になろうと考え始めたのは、やはり大山峻護の影響も大きい。身近な先輩が『プライド』などに出場する姿を見て意識し始めたのだという。そして、カズの気持ちを決定的にしたのが吉田秀彦の『Dynamite！』での活躍だった。

その日、実業個人戦のために大阪にいたカズは、ホテルの部屋で見ていたスポーツニュースで吉田の勝利を知り、大興奮。「よし、自分もプロになる！」と決意を固めたのだった。

カズは、吉田が監督時代、明治大によく出稽古に行っていたため、吉田とは旧知の仲。すぐに、プロになりたいという自分の気持ちを吉田に打ち明け、「中途半端な気持ちじゃないんだったら、力になる」と約束してもらった。

父親は大反対だったという。しかし、カズは、両親に話す前にすでに京葉ガスを退社しており、全てを自分で決めてから両親に話したため、やむなく了承したという。安定を捨て、プロとしてゼロからのスタートを選び、あえて茨の道に足を踏み込んだカズ。その決意が生半可なものでないのは確かだ。そして、自信と不安が交錯する中でのデビュー戦となることだろう。

◀都内の各所の練習場所への移動は、トレーニングを兼ねて全て自転車で行っているカズ。町中で疾走するカズを見たら、声援を送ろう！

柔道では講道館杯（日本体重別）準優勝。サンボでは全日本王者にも！

しかし、あえてカズは言い切る。「自信はあります。自信がなかったら、最初から（プロ総合の世界には）来ていません。自分は柔道が好きだし、自分の柔道の技術がどこまで総合格闘技の世界で通用するか試してみたいんです」と。

実際、総合の練習に本腰を入れて3カ月あまりやってきての感想は「柔道と総合は技術的にはかなり違います。でも、柔道の技術が十分に通用するという実感もあります」というものだった。違いに関しては、「柔道では投げたら一本でそれで終わりですけど、総合では完璧に投げても、そのままバックを取られてしまったり、関節も取れるかなと思ってもツルッと滑ったり、微妙な違いを感じている」とのこと。

最も得意とする攻撃パターンは、「投げて、ハーフ取って、十字。それが一番得意のパターンです。これって高校の時からずっとやらされていたことなんですよ」とカズ。いわゆる〝三つ子の魂百まで〟というヤツだ。近大福山高時代、益田監督にブン殴られながら、繰り返し練習して身体に染みついている技術が、無意識のうちに出るのだろう。その他に、大学時代によく練習した帯取り返しも使える技の一つだと言う。

カズにとっての吉田の存在は「尊敬する先輩であり、良い兄貴」でもある。「吉田さんがこの世界に来ていなかったら、自分も絶対に来なかったと思います。吉田さんは、プロの格闘家になっても柔道に関わっていきたいという気持ちでいるけど、自分もやっぱりそうなんです。格闘技だけやるんなら自分一人でやればいいんですけど、柔道が好きなんで、吉田道場で吉田さんと一緒にやっていきたいと思ったんです」。

その吉田からは、ホジェリオ戦について、本心か冗談か分からないが「ガンガン殴り合え！」と指示が出ているという。「自分は打撃やらないのにね」と笑いながら言うと「ホントですよねぇ」と屈託のない笑顔。そして、最後にもう一度、改めてホジェリオ戦の自信を聞くと「根拠はないですけど、たぶん勝ちます！」とキッパリ。頼もしい男が現れた！ ■

▲1月23日、神奈川の日産市沢グランドで行われた吉田秀彦と川尻哲郎（阪神タイガース）との合同自主トレの会見の場でマスコミに初めて紹介されたカズ。合同トレでは柔道家のパワーを披露し川尻ら野球選手やマスコミ陣を驚かせた 撮影◎丸山剛史

PROFILE

中村和裕（なかむら・かずひろ）

■生年月日/1979年2月21日
■出身/広島県福山市
■身長・体重/178センチ、100キロ
■格闘技歴/柔道3段。10歳から柔道を始め、柔道の名門・近畿大学福山高校→国際武道大学と進む。2000年正力杯全日本学生体重別100キロ級2位、講道館杯日本体重別2位、2001年全日本選抜体重別3位、2002年全日本実業個人優勝、ドイツ国際優勝などの実績を持つ。2001年全日本サンボ体重別でも優勝。昨年、プロの格闘家になることを決意し京葉ガスを退社、吉田道場入り
■好きな食べ物/お好み焼き（広島出身だけに）
■嫌いな食べ物/牡蠣（広島出身なのに）
■趣味/昼寝……最近は練習などに忙しく、なかなかできない様子

TPI FIGHTING CHAMPIONSHIPS
1・31☆ペンチャックシラット・ドーム

島田は見た！ PRIDEはインドネシア編 インドネシアに連鎖していた！

TPIファイティング チャンピオンシップで日本人3人が快勝！

▲『THE　BEST』の常連である光岡映二はペンチャック・シラットの達人で昨年『THE　BEST』に参戦したアジ・スシーロと共にミドル級の竜虎と称されるズリ・シュワラントと対戦。見事にマウントポジションを奪い、相手が裏返ったところをスリーパーで秒殺してみせた。レフェリーは我らが島田裕二だ

アレクは現地でセミナーを開催！

▼もちろん、島田レフェリーもインドネシア美女と熱い夜を……？

▲インドネシアでセミナーを開催したアレクは美女軍団と写真を

★第9試合（5分3R）
○久松勇二（1R1分45秒、スリーパーホールド）ガリー・スローソ●
〈Tiger Place〉　〈インドネシア/クサトリア・ジャカルタ〉

★第8試合（5分3R）
○橋本直樹（1R0分13秒、タップアウト）TERAYUT TETRUNG●
〈BCG〉

★第7試合/TPIミドル級タイトルマッチ（1R10分、2、3R5分）
○ANDRY FACHRURIADI（3R判定3−0）アジ・スシーロ●

★第6試合（5分3R）
○YOHAN MULYA（1R3分33秒、タップアウト）LUKMAN DEDY WIJAYA●

★第5試合（5分3R）
○LUTFIANTORO（2R0分47秒、タップアウト）HENDRAWAN JAYA●

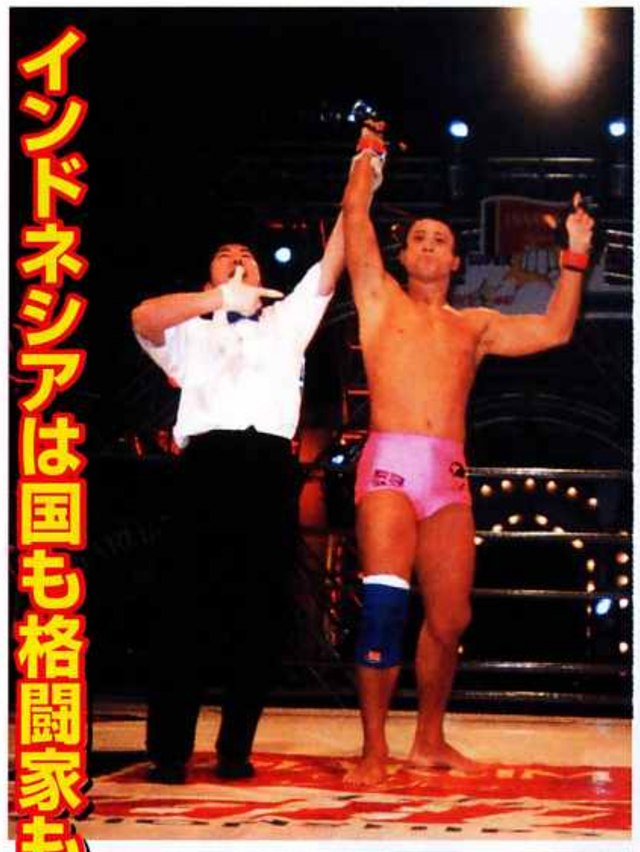
★第4試合（5分3R）
○LINSON SIMANJUNTAK（1R1分52秒、タップアウト）CHATCHAVAT PRASOPNET●

★第3試合（5分3R）
○光岡映二（1R1分43秒、スリーパーホールド）ズリ・シュワラント●
〈RJW central〉　〈インドネシア/タイガー・シャーク〉

★第2試合（5分3R）
○EDI PURWADI（2R3分21秒、タップアウト）JAROT SUMANIANTO●

★第1試合（5分3R）
○ROBERT WINARNO（2R5分0秒、TKO）WAHYU SATRIA●

インドネシアは国も格闘家も美女も熱い！



◀慧舟會の虎の穴、Tiger Placeの代表を務める久松勇二は、ジャワの灰色熊（グリズリー）と恐れられる怪力レスラー、ガリ・スローソを相手にパンチをもらったものの、見事にスリーパーでこちらも秒殺勝利。ちなみに今回で『TPI FIGHTING CHAMPIONSHIPS』はなんと9回目！

©Dream Stage Entertainment

元気ですかーっ！　元気があればインドネシアにも再び行ける。〝世界のカリスマレフェリー〟島田裕二です。というわけで、またまた行ってきましたよ、インドネシアに。いやぁ、いいねぇ。まさに第二の故郷やねぇ。今回も前回に引き続いて大歓迎！　今回が初インドネシアのアレクもあまりの歓迎ぶりにビックリっすわ。初日にアレクのセミナーをやったんだけど、100人くらい来たからね。いやぁ、みんないい目をしていたよ。国も人も熱いねぇ！

で、今回もここに来たのはTPIファイティングのビッグマッチで、ぜひ俺様に試合を裁いてほしいとお願いされてね。総合格闘技の普及のためなら、どこでも行きますよ！今回は日本人のファイターも3人出たしね。RJWの光岡（映二）選手とタイガープレイスの久松（勇二）選手。そして、急きょ参戦することになったBCGの隠し球橋本直樹。3人ともまったく未知の相手なんで、やりにくかったと思うよ。しかも相手がインドネシア拳法などワールドワイド。そりゃ、わけ分からんよ。でも、そんな中で3人とも圧勝！橋本なんか13秒ですよ！　みんな素晴らしい試合だったね。

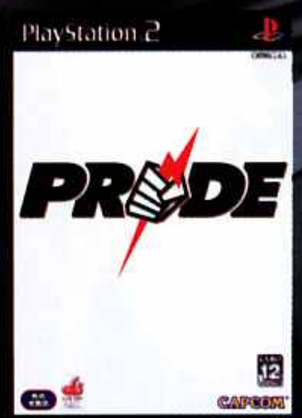
インドネシアの美女軍団を前に、アレクも鼻の下を伸ばしっぱなし（俺もか!?）。『プライド』を世界に普及させる俺様の旅はまだまだ終わらないぜ！

（島田裕二）

PlayStation 2

PRIDE × CAPCOM®

闘いの場は、プレイステーション2へ。



格闘技としての奥深さと凄みを極めて―。
総勢25名の選手が実名で登場。

2.20 発売予定

プレイステーション2用ソフト「PRIDE」（総合格闘技）標準価格6,800円(税別) CAPCOM-PRIDE.com

株式会社カプコン 〒540-0037 大阪市中央区内平野町3丁目1番3号 ★カプコン・ホームページ www.capcom.co.jp メールマガジン 購読無料！★オフィシャルネットショップ「e-CAPCOM」営業中！ www.e-capcom.com

PlayStation2 および "PlayStation" は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。※画面は開発中のものです。

© 2003 Dream Stage Entertainment, Inc. Game and Software © 2003 THQ Inc. Distributed in Japan under license by Capcom. Game and Software licensed to Capcom by THQ Inc. Developed by Anchor. Anchor and its logo are trademarks and or registered trademarks of Anchor, Inc. THQ and its logo are registered trademarks of THQ Inc. All Rights Reserved. All other trademarks, logos and copyrights are property of their respective owners.

これは仲天！大擁護！

あのGKが『WRESTLE—1』を

ターザン 今回、"GK"金沢編集長に とは詳しく分からないけど。

みんな口が軽いよぉ。

GK こんなに村の住民を怒らせたんだ

『W—1』は大成功じゃないですか

だ、大成功おう!?

ファンタジーブース対談！

ターザン山本 × 金沢"GK"克彦〈週刊ゴング編集長〉

週刊プロレスをはじめとしたプロレス業界から
大批判を受けまくっている1・19『WRESTLE—1』。
その中で、一定のスタンスを取っているのが金沢編集長の週刊ゴングである。
そこで、大会当日、放送席……、いやファンタジーブースで
抜群のコンビネーション（?）を披露してくれた
ターザン山本と対談をしていただき、
『WRESTLE—1』や現在のプロレス界の貴重な情報を語ってもらった。

撮影◎丸山剛史

僕はファンタジーブースと言いたいがためにわざと言い間違えたんです

ターザン　今回、〝GK〟金沢編集長にご登場を願ったのは、1・19東京ドーム、我々が放送席でぇ……。

GK　山本さん、放送席じゃなくて、ファンタジーブース！　僕は「ファンタジーブース」という言葉を言いたいがために、わざと「放送席」と言い間違えて、「間違いました。ファンタジーブースでしたね」と本番中、言ったんですよ。

ターザン　その言葉を引き出すために？

GK　そうそう。いきなり「このファンタジーブースが」って言ったらバカみたいじゃないですか？

ターザン　芸が細かいねぇ。そのファンタジーブースで我々が解説した『WRESTLE―1』（以下、『W―1』）がマスコミにメチャクチャバッシングを受けているんだよね。特に『週刊プロレス』（以下、「週プロ」）のやり方は凄いよぉ。一方、『週刊ゴング』（以下、「週ゴン」）は一定のスタンスをとっている、と。これはどういうことなんだろうねぇ。

GK　そのバッシングは山本さんたちが『SRS・DX』の座談会で、「『W―1』は新しい生態系であって、プロレスのカテゴリーに入れようとするプロレス専門誌はおかしい」というようにアピールしたからじゃないですか？

ターザン　えっ、俺が？

GK　やってたじゃないですか？　それで彼らが燃えたということですよ。

ターザン　えっ、あれは俺に反応した結果なの？　べつに反応しなくてもいいのに。

GK　僕はスポーツ新聞と『週刊ファイト』（以下、「ファイト」）しか読まないから、『SRS・DX』で書かれていることは詳しく分からないけど。

ターザン　そうなん？

GK　「ファイト」の場合、ちょっとでも目を離すと大変なことになるじゃないですか（笑）。

ターザン　ということは、「ファイト」の紙面が暴走気味ということ？

GK　「ファイト」は嘘もあるけど、たまに大当たりがあるから怖いですよ。ウチ（「週ゴン」）しか知らないと思っていたことが、出ていることがありますからねぇ。そういう意味で、僕は「ファイト」を見逃せませんね。

ターザン　そういえば、新日本プロレスの内部で「ファイト」を取材拒否しようという動きがあるらしいねぇ。

GK　そうなんですか？

ターザン　新日本プロレスを離脱したレスラーの年俸を載せてしまったでしょ。あれはいくらなんでもタブーですよぉ。

GK　それを知っているということが凄いですよね。ただそれが正しいかどうかというと、ちょっと分からないですけど。

ターザン　誰が教えるん？　この世界はみんな口が軽いよぉ。

GK　これから団体側は「この件に関してはこの人の口から出たこと以外は全て嘘です」という声明を出すしかないですよ（笑）。

ターザン　（笑）。話は元に戻るけど、金沢編集長にとって、『W―1』はどういう印象なんですか？

GK　『W―1』は大成功じゃないですか。

ターザン　だ、大成功ぉう？！

GK　だって、これだけプロレス村を怒らせたわけだから。

ターザン　プロレス村ってどこまでを言うんだろう？　専門誌のこと？

GK　いや、プロレス村はプロレス業界のことですよ。マスコミに限らずね。

ターザン　それは団体、レスラー、フロント、ファン、関係者も含んでいるという解釈でいいわけ？

GK　ええ。それを悪く言えば、プロレス村、よく言えば、業界ということです。

ターザン　それで、なぜ『W―1』が成功と言えるの？

GK　こんなに村の住民を怒らせたんだから、大成功ですよ。みんな気合いが入っていますからね。

ターザン　そう言われれば、初めて向こう側が真剣に怒ったよなあ（笑）。

GK　選手も怒っているじゃないですか。

ターザン　えっ、誰が怒っているの？

GK　あまり詳しく知らないですけど、坂口（新日本プロレスCEO）さんも怒ってましたよ。

ターザン　坂口さんが？

GK　詳しく知らないけど、PPVの中継を見て怒ったんじゃないですか。1・30後楽園大会で、坂口さんは「マスコミもいいものはいい、悪いものは悪いってはっきり書いたほうがいいんじゃないのぉ」（坂口調で）と言ってましたよ。

ターザン　（パチパチ）。他には誰が怒っているの？

GK　金村キンタローは「『W―1』はインチキプロレス」と怒ったらしい。

ターザン　キンタローが怒ったら、おかしいよぉ。キンタローのプロレスはインチキを通り越して面白いんだから（爆笑）。

GK　全日本の関係者には、「金村、お前にだけは言われたくない」というのがあるみたいですよ（笑）。

ターザン　キンタローのプロレスは圏外のプロレスみたいなもんじゃない（笑）。

GK　まあ、圏外にしてあれだけ面白いプロレスをやる人間もいないですけど。そういう意味で、僕は金村のプロレスは大好き。まあそう言わずに、『W―1』に出場すればいいのにねえ……、でもそれは当たり前すぎるかあ。

ターザン　まったく当たり前すぎるよぉ。ホーストみたいな選手がプロレスをやる

◀GKが絶賛していたのが破壊王vsジョー・サン。しかし、GKもジョー・サンの尻を表紙にもってくる勇気はなかったらしい。ただ、表紙にしようと考えたところはさすが！

のが『W—1』じゃないの？

GK 武藤は、「東スポ」と「週プロ」から『W—1』をバッシングされたのが、結構悲しかったらしいですよ。

ターザン へえー。

GK 永田（裕志）は「武藤さんの試合（武藤、ゴールドバーグ組VSクロニック）は悪くなかった。アメリカならあれぐらいが当たり前。『W—1』は演出とマッチメイクがうまくいってなかった」と言ってましたけどね。相手のクロニックは元々全日本をクビになったコンビなんですよ。それを呼ばなきゃいけないということは、よっぽど『W—1』側がカードが決まらなくて困ったんでしょうね。

ターザン そう。しかし永田らしいバランス感覚あふれ過ぎる発言だねぇ（笑）。レスラーにそう言われると、俺は答えようがないよぉ。

GK 永田はまともですよ。去年、10・14ドーム前に佐々木健介が退団記者会見をおこなったことを批判し、一部から反感を買って以来、永田は「まだ俺は青いな」と反省してますからね。

ターザン レスラーは自分が言ったことを反省しちゃいけないんだよぉ。

GK それは外に向けてのものじゃなくて、内なる反省なんですよ。その時は、長州（力）さんからも永田のケイタイに直にかかってきて「レスラーが、ここまで言ったらおしまいだろ。ましてお前はIWGPの王者なんだし」と言われたらしいですからね。

長州さんが永田に「レスラーがここまで言っちゃおしまいだろう」って言ったらしいです

ターザン しかし、長州さんは新日本を離脱している身だから、永田にそういうことを言う資格はないんじゃないの？

GK いや、長州さんは〝個人〟として永田に話をしたんですよ。

ターザン もうグチャグチャだなあ。

GK 今の業界を見渡すと、新日本プロレスが4つ（新日本、全日本、ZERO—ONE、WJ）ありますからね。

ターザン 長州さんと永田のやり取りを聞くと、俺が「週プロ」の佐藤編集長に「今週の表紙はおかしい！」と抗議するようなもんだよぉ。

GK そうそう。団体は分かれてしまっても、そういう個人のつながりはいっぱいありますよ。しかし、仕事で動こうとするとダメな場合がありますね。

ターザン ああ、新日本の上井さんとZERO—ONEの中村さんみたいに！

GK すぐ山本さんは名前を言っちゃう。僕は言ってませんからね（苦笑）。

ターザン （笑）。（いきなり）でもさあ、「『W—1』がプロレスじゃない」と言うけど、今のプロレス界の現状を見ていると、何がプロレスなのか、ハッキリと言い切ることは難しいよぉ。

GK もちろん難しいですよ。『W—1』に関して言うと、たまたまああなってしまったわけで、それを成功か失敗か決めるのは見た観客の感性に任せるしかないわけです。そういう意味で、これだけいろんな人が怒った『W—1』は大成功でしょ。いい意味でも悪い意味でも、それだけ刺激があったということだから。まあそこからプロレス界が活性化されるかどうか分からないけどね。

ターザン じゃあ、『W—1』の否定派の人たちには王道でも覇道でもストロングスタイルでも格闘プロレスでもなんでもいいから、プロレスというものを俺たちに見せつけてもらいたいねえ。

GK なぜか、新日本の今シリーズの客入りがいいんですよ。これは『W—1』効果が多少なりあるんじゃないですか。

ターザン うそぉー。

GK 永田が「おかげさまで、客入りがいいですよ。『W—1』効果かもしれませんね」と言ってましたよ。武藤も「これだけオレたちが批判されたんなら、他団体のほうが期待されて潤うんじゃないの。だからオレたちは何も悪いことなんかしてないよ」と開き直ってましたけどね。

ターザン 『W—1』によって、プロレス業界に好転反応や反作用がいろんなところで起こっているということだね。

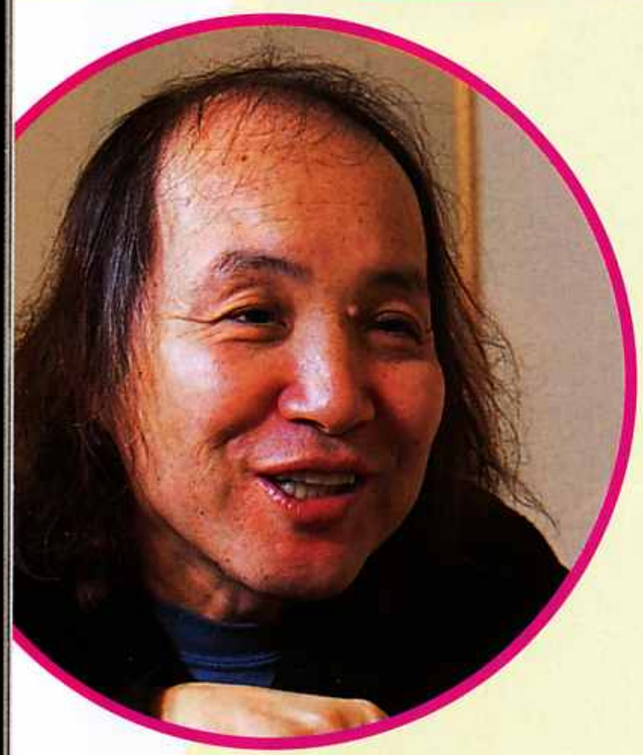
GK そうです。

ターザン とはいっても、マスコミやネットに書き込んでいるプロレスファンたちは、『W—1』に対して異常にヒステリックな反応をしているよね。

GK 今回、解説という形で現場に関わっていたら、制作会社の人たちが『W—

▲2・2 ZERO—ONE有明大会にレスラー、フロント47人を引き連れて乗り込んだ武藤。カシンはこの乱入事件について、「社長が初めて決断した」と言ったそうだ

©平工幸雄



1』に対し、物凄く一生懸命に取り組んでいるのが分かりましたけど。

ターザン プロレスという素材を利用しながら、テレビ局が持っている番組のノウハウを合体させて、新たなバラエティ番組の可能性を探っているような熱気を俺も現場で感じたよぉ。

GK 『W―1』のスタッフは全然、プロレスをバカにしていないですよ。ただ、フジテレビのゴールデンタイムでオンエアーされる場合、ああいう番組の編集にするしかなかったんでしょうね。

ターザン まず『W―1』はお金をかけているから、俺はそこを評価するよぉ。

GK たしかにそうですね。

ターザン だって裏方の人間がメチャクチャいるじゃない。ハッキリ言って、この前の興行は大赤字だよぉ。たぶん億を超えていますよぉ。

GK しかしその反動が、武藤たちに来るわけですよ。

ターザン 武藤たちは単に選手として出場している側だからリスクはないでしょ。

GK 全日本には多少お金は入ってくるでしょうけど、予定された額より少ないでしょうね。たぶん選手はギャラをもらってないと思うし、カシンなんか「タダ働きだ！」と怒って帰ったらしいからね（笑）。他団体の選手はさすがにもらっているだろうけどね。そうそう、馳も1、2回目とも「もらっていない」と言ってましたよ。

ターザン 『W―1』も全日本プロレスの年間試合数のひとつと考えたら、特別にギャラは派生しないと考えるべきだと思うよ。ところで、金沢編集長は「週ゴン」で『W―1』をどのように取り上げようと思ったの？

GK それはねえ、前から言っているとおりですよ。僕は「『W―1』もプロレスの一部だ」と思っていますから。

ターザン そのとおりですよぉ。

GK でしょ。なのに山本さんが「『W―1』は新しい生態系の一つ。専門誌がプロレスのカテゴリーに入れようとするのはとんでもない」とか言うからややこしくなってきちゃう（苦笑）。まあそれを全部含めて、業界全体が活性化されれば非常にいいことでしょうね。プロレス村のみんながあんなに怒ったんだし、ファンは自由に「これぞプロレス」と思う団体を応援すればいいんだから。

ターザン 『W―1』を踏み絵にしてね。

GK 山本さんみたいに『W―1』を絶賛する人もいれば、高山善廣みたいに目クジラたてて怒っている状況もOKですよ。

ターザン 高山はメチャクチャ怒ったらしいねえ。

GK 意外と「ここからは崩せない」という線を持っている人間なんですよ。

ターザン Uインター育ちだからね。

GK 高山は歴とした本籍・プロレス村ですね。義理人情に厚い男だし、それでいてビジネスには目ざとい部分がありますけどね。実際彼の場合、出場する一歩手前のところまでいったんですから。

ターザン ホーガンとのタッグマッチね。もし高山が『W―1』に出場していたら、発言はどう変わっていたのかなぁ。

GK どうなんでしょうねえ。ただ若き日ご意見番の永田に言わせると「高山選手は出ないほうが正解。出てもいい試合ができなかった」と予測してましたけどね。

ターザン 『W―1』がゴールデンタイムに放映されていることに関しては、どう思います？ ジャンルでいうと、バラエティにあたると思うけど。

GK そういう意味では、前回よりも派手にバラエティになっていましたね。いきなりサップとゴリ（ガレッジセール）のコントから始まったし。そういう構成でありながら、メインとセミ以外の試合をちょこちょことダイジェストで流したりしてね。番組としては完全にバラエティに針を振り切っているのに「プロレスを放送しないと怒られるかも」という制作者の気持ちが見えて、そのアンバランスさがメチャクチャ変でしたね。もちろんさたやんは〝金ダライ〟のところだけでしたけど（笑）。

ターザン 早くも『W―1』の定番ができたよぉ（笑）。ところで、『W―1』はこれからどうなるんだろうねぇ。ちゃんと点が線になる可能性があると思う？

GK 実際視聴率が前回より約2パーセント良かったし、とにかくフジテレビからの『W―1』の評価は高いらしいですね。

ターザン 通常、月曜日の7時台は日本テレビの『伊東家の食卓』が強くて、平均が3～4パーセントだからね。10・4パーセントもとった『W―1』は大健闘ですよぉ。

GK だから、武藤は自分の試合が良くなかったけど、フジテレビ側の評価を聞いてビックリしたらしいんです。

ターザン アーティスト肌の武藤にとっ

『W―1』のスタッフは全然、プロレスをバカにしていないですよ

◀1・25WWE代々木大会のHHH。WWEでは日本でもお馴染みのディーン・マレンコが試合前にレスラーと面接をして、どのような試合をするのかチェックするのだ

▼自分の試合のデキがイマイチ良くなかった武藤は控室で珍しくゴミ箱を蹴っ飛ばしたそうである。ところでこの体勢はドラゴン・スクリュー。とすると、次はあれだ！

武藤は「マスに向けて挑戦しているのは、俺だけ」と言ってますよ

てあの試合は不満だらけのはずですよぉ。

GK 試合後、あの武藤が控室のゴミ箱を蹴ったらしいですから。彼はいくらプロレス村にあれこれ言われても「俺の試合はきちんとして面白かったでしょ、夢があったでしょ、ファンタジーだったでしょ」と納得させる自信があったんですよ。だけど、言い訳のしようがない試合をやってしまったことで、マスコミやファンからバッシングされて、あの武藤が珍しく落ち込んでしまったんですよ。

ターザン 試合がダメなことと周囲の雑音で、あの楽天的な武藤がネガティブになってしまったということだね。

GK 武藤自身は視聴率のこととかは分析できないんだけど、フジテレビサイドから「『W—1』はやっていける」という評価をもらったことで、少し自信を回復してきたらしいですけどね。

ターザン 社長レスラーとしての武藤のプライオリティーはどこにあるんだろうねぇ。専門誌の評価、業界の評価、メディアの評価、それとも自分がレスラーとして評価されたい気持ち、社長として評価されたい気持ちとかいろいろあると思うんだけど。

GK その日の気分によって、優先順位が変わるんじゃないですか（笑）。

ターザン 社長なんだから、それは変わっちゃいけないんだよぉ（笑）。

GK そうなってしまうのは、彼は今まで自分が責任を持つというポジションについたことがないからですよ。ところが、全日本プロレスの社長に就任する前後から、現状は大変なことになっていたことを認識するようになったみたいです。

ターザン 世間知らずだねぇ。

GK といっても、新日本プロレスを辞めるにあたった時、武藤は「自分ができることは顔が広いことだけ」と、スポンサーを探す努力を真面目にやったんですよ。話は戻りますけど、今回の『W—1』バッシングで武藤が悩んだのは、今まであまりバッシングされたことがなかったから、意外に打たれ弱かったということみたいですよ（笑）。

ターザン 俺みたいに免疫がないんだぁ。

GK 社長に就任してから武藤も「何かしなきゃいけない」と思って、10時には会社に行っているみたいですけど、何をやればいいのか分からないんですよ。

ターザン 社長は1秒ごとに決断するのが仕事ですよぉ。決断できない社長はスタッフが困るよぉ。

GK それが今回初めて、ついに武藤が決断をしたんです。

ターザン えっ、何を？

GK 2月2日、全日本プロレス全員でZERO—ONEに乱入したことですよ。天龍、川田以外の47人がね。カシンは「社長が初めて決断した」と言ってました。あの武藤が「全面戦争だから、絶対に白い歯見せるなよ」と言ったらしいですから。

ターザン 今まで自分の興味あることしかしなかった、ゴーイングマイウェイ男の武藤がみんなと一致団結してやろうと初めて今回、決断したわけ？　もうマンガみたいな話だなぁ。そういえば、『W—1』後、「東スポ」や専門誌で、全日本プロレス危機説が流れたけど、あれはどういうことだったの？　「全日本はバラバラだ」とか書かれたじゃない。

GK ウチも書きましたけど、言われていることはだいたい合ってますよ。

ターザン （笑）。

GK 全日本プロレスはZERO—ONE乱入後、決して高級とは言えない居酒屋で新年会をやったんですけど、みんな和気あいあいとしてましたよ。

ターザン 1カ月遅れの新年会をやるのは間抜けだよなぁ。

GK でもその席の一番端にいたカシンがそういうみんなを見て「こうしなきゃいけないんだ。やるのが遅かった」としみじみと言ってましたよ（笑）。

ターザン そんなの遅すぎるよぉ。この再出発は大丈夫なの？

GK いや不安だらけでしょう。武藤の希望は、フジテレビの評価を得たことでしょうね。元々『W—1』をたどっていくと、「フジテレビに中継をしてもらいたい」ということですからね。

ターザン そうそう。その場合、全日本プロレスではなく、『W—1』じゃなきゃダメだった。そうなると、『W—1』をバ

▲武藤は「ホーストの受け身の価値を認識してほしい」と言ったそうである

ッシングしている人たちに言いたいのは、君たちが推しているプロレスはテレビのゴールデンタイムを取れないじゃないか、ということだよ。

GK 武藤は「このままならプロレス界はマスターベーションの世界で終わる」という言い方をするんだけど、それはそうだと思うんですよ。そして「少なくともマス（大衆）に向けて挑戦しているのは、俺だけ。それに挑戦してないのにガタガタ言うんじゃない！　今はサップしかいないけど、『W―1』はスターを作ろうとしているんだ」とも言ってますよ。

ターザン 武藤は正しいよぉ。その武藤発言の中に2つのキーワードがあって、それは「プロレスをマス（大衆）に向けてやる」ことと「新スターの誕生」なんですよぉ。これは、まさしく今のプロレス界のメインテーマだと思うんだけど。

GK そうそう。

ターザン そのメインテーマを無視して、『W―1』のバッシングに走るというのは、超ネガティブな行為だと思うよぉ。

GK もしかしたら武藤はプロレスがマスに向かって、新たなファンを獲得する一歩を踏み出したと言えるかもしれない。

ターザン たしかに、武藤が最初に21世紀型の新しいプロレスを創造するチャンスを掴んだ男という評価はしないといけないよ。

GK そうですね。

ターザン だったら、「週ゴン」ももっと『W―1』をプッシュしてもいいんじゃないの？

GK まだよく分からないですよ（苦笑）。

ターザン そう、やっている側もまだ未確定なことが多いんですよぉ。

ホーストに受け身をとらせる。そこまでやるのが『W―1』だという見方もできなくもないです

GK 推す、推さないは別にして、期待はしていいんじゃないかなと思うんですけどね。ただ、開催の1週間前になってカードが発表できないのはまずいですよ。

ターザン それは言語道断だよぉ。

GK ファンにしてみると、チケットの買いようがないですもんね。いろいろ事情はあると思いますけど、そういう部分はちゃんとしないと。僕はファンタジーブースにいたから、ハッキリしたことは分からないですけど、マスコミの仕切りがアバウトみたいですし。それはマスコミが腹を立てるパターンなんですよね。

ターザン そういえば、マスコミの人たちは僕らの解説を聞いて、大笑いしたと聞いたよぉ。

GK 結構、ウケていたらしいですね。でも、あの解説は難しいですよ。

ターザン そう？

GK 山本さんはいいですよ。「肌が白い」「かわいい」「ムチャだよぉ」の三つの言葉でいいんだから（笑）。

ターザン （大爆笑）。

GK 一方僕としては、何かを感じてしゃべらないといけないし、それでいて解説になってなきゃいけないしね。そうすると、今回みたいな感じは非常にやりにくいですね。WWEみたいに最初からマッチメイクを出されていて、1試合1試合の意味合いが分かれば、山本さんとの掛け合いも可能だと思いますけど。今回のWWEの日本ツアーの責任者はジョニー・エースとディーン・マレンコだったんですけど、WWEは試合前のチェックが厳しいらしいですよ。マレンコがメインの選手から1人ずつ「今日はどんな試合をする気なんだ。どんな技を使うつもりなのか」と面接して、「この技は誰々が出すから、お前は出すな」と指導するんですよ。だからこそ、ああいうイベントができるんでしょうね。それに比べると、『W―1』はアバウト過ぎます。

ターザン 完全にレスラーにお任せですよぉ。

GK たしかに。武藤がたまたま言った「ファンタジー」という言葉があってよかったですよ。それじゃないと、サップVSホースト戦はどう表現すればいいか苦しかったと思いますよ。やっぱりあの試合はプロレスごっこのレベルですもんね。だけど、やっている2人は真剣だったことは確かなんですよ。

ターザン 『W―1』はプロレス遊戯空間と考えたほうがいいよぉ。

GK あの空間にリアリズムを求めるとするならば、ホーストはちゃんとボディスラムを受けてるんですよ。そこを考えた時、武藤は「ホーストの受け身の価値を認識してほしい」と言っていたんですけど、たしかにそうなんですよ。打撃系格闘技しかやったことのないホーストが受け身をとるということは、レスラーがとることと少し意味合いが違いますからね。ホーストに受け身をとらせたのは、『W―1』がそうさせたのか、武藤がそうさせたのか、分かりませんけど、あのホーストに受け身の練習までさせて受け身をとらせる。そこまでやるのが『W―1』だという見方ができなくもないです。

ターザン K―1ファンからすると「ホーストがあんなことをやる必要はない」という意見みたいだよ。

GK この前も、テレビでダウンタウンの松本人志がサップに「プロレスに出てほしくない」と言ってましたけどね。

ターザン なぜそんな野暮なことを言うんだよぉ。サップはテレビのバラエティにバンバンと出ているんだから、『W―1』はあれでいいんだよぉ。

GK そんな発言を聞くと、こっちがプロレス村なら、あっちは大衆村、世間村なのかなと思いますよ。

ターザン それは言えるねぇ。じゃあ、金沢編集長はプロレス村的な立場をとって『W―1』を見るんだね。

GK ええ、僕は基本的に本籍、現住所ともプロレス村だから、その住民として『W―1』を見るでしょうね。ところで、山本さんはどこに所属しているんでしょうかねえ。さっぱり分からない。

ターザン ハッキリ言って、俺は究極のミーハーだから最強ですよぉ。あっちに行ったり、こっちに行ったり、今年は大暴れしてやりますよぉ。

GK やっぱり、これからはプロレス村の関所が必要だと分かりましたよ（笑）。

ターザン ……（ガクッ）。■

『W−1』は業界を破壊する！

武道家の立場からもの申す！

骨法創始師範 堀辺正史が大断罪！！

賛否両論の『W−1』を格闘技界の人たちはいったいどう見たのか気になるところ。そこで、“格闘技界の哲人”堀辺正史師範に、フジテレビで放送された『W−1』のビデオを見てもらって語っていただいた。

聞き手◎小松魔裟夫

——先生！『WRESTLE−1』のビデオは見ていただけましたか？

堀辺 見ました。まあ、第一印象はやっぱりビックリしましたね（笑）。

——まあ、ビックリしますよね（笑）。先生的にはK−1で2回も激闘を繰り広げたサップとホーストがプロレスをやったことについてはどのように思われます？

堀辺 まず、テレビ制作者が格闘家とプロレスラーに対して愛情がないなと。これが番組全体の印象として残りましたね。

——愛情がない！ いきなりキツイダメ出しですね（笑）。前回の放送もああいう感じだったんですけども、先生的にはプロレスをバラエティ番組っぽく放送することについてはいかがですか？

堀辺 良くありませんね。まず、試合をほとんど映していないじゃないですか。あれじゃあ、選手たちに闘う意欲が出てきませんよ。選手が意欲を喪失していくと、今後いろいろ改善していったとしても、発展の見込みはないと思いますね。

——発展の見込みはない！ 先生、今はK−1、『プライド』というリアルファイトが全盛の時代で、フジテレビ的に従来どおりのプロレス放送ではダメだということで、ああいう形の放送になったと思うんですよ。プロレスのことをファンタジーファイトと呼ぶのも含めて。

堀辺 新しい試みを大胆にやってみるということは大切だと思うんだけども、素直に反対意見のほうが多かったという事実を受け止めないとダメですね。強気になっていると自滅しますよ。ただね、私の立場から一番言いたいことは実はそこなんですよぉ！ ファイトの中で何に人間が一番幻想を持つのか？ ファンタジーファイトっていう言葉をテレビ局は完全に間違っている！

プロレス界から前代未聞の大バッシング！

1・19 WRESTLE-1論争

『W－1』は今の日本国民の知的レベルを馬鹿にしすぎてますよ！

——根本の部分から間違っていますか！

堀辺　ここが一番のポイント！　ひとつ例を挙げますと、ボブ・サップとホーストがこの前K—1で闘いましたよね。あのもの凄い体をしているボブ・サップが、ホーストによってレバーに入れられて悶絶して倒れるなんて想像していなかった。

——想像できませんでしたよねぇ。

堀辺　あの巨体が崩れ落ちて呼吸できない状態を作った。あれこそが、本当のファンタジーファイトなんです！　私のような武道家の立場からすると、あれをファンタジーファイトと呼ばないで何をファンタジーファイトと呼ぶのか！　ファンタジーファイトというのは、リアルな部分から出てくるものなんです。ファンタジーファイトというのはファイトをいい加減にやることじゃない。だから、そのコンセプト自体がハッキリ言って間違っているんです！　大衆に迎合してね、オチャラケたら人気が得られるんじゃないか、それがファンタジーに繋がるんじゃないか、その発想がまったくダメ！

——ダメ！（笑）。

堀辺　あれは何回繰り返してもファンタジーファイトにはならないです。だって、あのホーストのだらけた顔。

——だらけているというか、嬉しそうにやっていましたね。K—1の時とは違う。

堀辺　緊張感が何もない。緊張感がないところからファンタジーは生まれないです。例えば湾岸戦争を見てね、夜の真っ暗闇を攻撃していく光が写っていましたね。みんな釘付けになっていましたよね。あれにファンタジーを感じていたんです。なぜかって言うと、あの光の中で多くの人が殺されているっていうリアルさを理解しているからなんです。だから、あの光の美しさにファンタジーを感じるんですよ。ファンタジーっていうのは、そもそもそういうものなんです。

——ファンタジーって壮絶なものなんですね（笑）。

堀辺　結局ね、なんで、あの番組が視聴率を稼げたかというと、サップ、ホーストというリアルファイトで強いと認知された人間がプロレスをやったからなんです。つまり、『WRESTLE—1』というのは、プロレスの延長というよりも、格闘家を使わなければ成立しないということもハッキリした。このことは特に重要なんです。今回のテレビというのは、もうプロレスよりも格闘技のほうを世間は認めているということを、証明してしまったんです。それに、テレビ局が気が付いていないというところが、テレビ局最大のアホ・バカ！

——アホ・バカ！（笑）。そこまで言いますか（笑）。ということは、ああいう形では格闘家はプロレスをやらないほうがいいんですか？

堀辺　ハッキリ言って、下手でしょう。下手なものはやるもんじゃないね。お金を取って見せる物じゃなくて、格闘家・プロレスラーが集まった学芸会になっちゃうんです。そもそも、日本のプロレスっていうのは、プロレス、プロレスしているものでは人気が出なかったんです。だから、アントニオ猪木が異種格闘技戦をやったり、UWFができたりした。こういう過去の歴史を考えていってもね、日本のファンというのは今回の作りのようなものは、国民的体質として好きじゃないということなんです。あのテレビ局は日本国民の性質というものも考慮に入れていないですね。日本人ってもっと真面目な民族なんです。だって、いかにも嘘っぽいじゃないですか。なんで行方不明になったって言っているのに、水道橋でカメラに収めるの？　今の日本国民の知的レベルを馬鹿にしすぎてますよ！　だから、あの形式で繰り返しても飽きますよ。それとホーストの戦場であるK—1にも影響を及ぼしますよ。

——どういう影響が出てきますか？

堀辺　違う場所で真剣にやっても、見たくないなぁって、嫌悪感が生じてくるんですね。ただね、良く言えば、ものの凄い自由な発想でテレビ局はやったと。プロレスの価値観からも格闘技の価値観からも開放されている。ただ、まったく歴史的基盤を持たない価値観というのは根付かないんですよ。

——まあ、なかなか難しいですよね。

堀辺　長い間培ってきたプロレスや格闘技の価値観を否定するようなものから始めても、その歴史的な土壌がないでしょう。だから、ハッキリ言って感情移入ができない！

——たしかに、さたやんに感情移入はしづらいですね（笑）。

堀辺　できないどころか、嫌悪感が生じる！　これは物事を成功させようとする際の心理学の基本なんです。テレビ局ともあろうものが、なんでそんなに基本的なことが分からないのか、こちらからすると不思議でしょうがないですね。

——じゃあ、一般の視聴者は見ていてどうだったんですかね？

堀辺　反応はあまり良くないでしょう。なぜかって言うと、ホーストのあのダンシングを見てね、感動する程のものがあったか？　ないでしょう！

——おっしゃるとおりです（笑）。

堀辺　バラエティ番組としても最高点は取ってないはずですよ。そう考えたら、リングも中途半端、バラエティとしても中途半端。いったい、あれなんなのって。だから、学芸会だって言うんです！　だいたい、あの大会によってプロレスが発展するのか。しないでしょう！　あんなものを続けられたら、プロレスも格闘技も壊されますよぉ！

——両方ともですか！

堀辺　テレビ局がそうじゃないと言うんなら、責任を持ってやればいいんです。見事に壊れますから。あれは、業界を破壊していくブルドーザーですよぉ！

——アワワ、そうすると先生、やっぱり今後の発展性は……。

堀辺　どう考えてもないですね。理由はさっき挙げた2点。ファンタジーへの洞察が浅いということと、日本国民の体質を理解してないということ。そりゃ、反響は凄いですよ。あんなことすれば反発しますよ。だから、成功したとすれば、巨大な反発をもらったってことですよね。無視されたよりはいいでしょう。ただ、批判を受け止めないとちょっとね。

——分かりました。今日は先生に一番ファンタジーを感じました（笑）。■

全に間違っている！

▲堀辺百子局長（先生の奥様）もさたやんの金の着流し姿を「あれはちゃんちきおけさよ」と一刀両断！

▲JR水道橋駅から東京ドームに向かうゴールドバーグ。堀辺師範曰く「日本国民の知的レベルを馬鹿にしてすぎている！」シーンということだが……

いよいよプロレス入りか!?

"目覚めた格闘家"エンセン井上が語るプロレス&入れ墨!

長州力、凄い大好き!イイ人ネ(笑)

前号の表紙コピーは"目覚めよ格闘家"であったのだが、その効果がいきなり出たのか、エンセン井上のプロレス入りの情報が飛び込んできた。格闘家がプロレスをやることについて各誌で是非が問われる昨今、格闘技選手たちの気持ちはどうなのか? その本音を聞いてみた。

聞き手◎中村カタブツ君(ブチ)
撮影◎乾晋也

——なんか、エンセンさん、また一段と入れ墨を増やしたみたいですね(笑)。

エンセン ヤバイね(笑)。この前のノゲイラとの試合見ると「肌キレイ」って。今、背中が全然違うネ、お尻まで全部。

——お尻まであるんですか!(笑)。

エンセン だから、健康センターはダメ。

——じゃあ、ピュアブレッド大宮がある「ゆの郷」にも入れない?

エンセン ダメね(笑)。ゆの郷の社長は親友よ。でも、「ダメ。エンセン、お願い入んないで」って言われて(笑)。

——隣りにあるのにねぇ(笑)。でも、キャラクターに合ってるんでいいですよ。

エンセン 合ってるよネ。だって、カッコつけてやってないから。全部の入れ墨に意味があるから。全部、心がついてるものだから。でも、凄いよ、ヤクザって言われる(笑)。

——その風格はありますよ(笑)。

エンセン で、今、エンセン、ベンツに乗ってるのネ(笑)。

——ワハハハ! ますますですね(笑)。

エンセン そう! それで腕出して運転してると、みんなヤクザと思うよ。だけど、オレ、ヤクザじゃないよォ〜(笑)。

——そんな誤解に耐えるエンセンさんですが、今日はプロレスについて聞きたいんですよ。今、『W—1』とか、格闘技の人が……。

エンセン 多いね、今ね。

——そうなんですよ。エンセンさん自身についても、その噂があるじゃないですか。

エンセン はいはい。

——だから、その話も含めてエンセンさんのプロレス観を聞きたいんですよ。で、まずは『W—1』なんですけど、見ました?

エンセン ちょっと見たよ。コールマンんがいて、高山さんいて、桜庭さんがいガーマスクも、みんな友達。中西さんとなった1・4東京ドーム)、あの時は「何やってんの、あのオジサン」って思っ

ホーストのイス攻撃見たいよォ！見たら楽しいの感じネ（笑）

エンセン　ちょっと見たよ。コールマンとランデルマンの終わりのところと、橋本の試合見たけど、結構ウマイね、キャラクターあるよ。格闘技もプロレスも両方できるのが素晴らしいネ。でも、評判としてはプロレスをバカにしてるんだろうの話を聞いたんだけど、ホーストがイス使ったりしたらしいネ。

——やっぱりそういうのはダメですか。

エンセン　見たかったなの感じするネ（笑）。

——あ!?　見たかったんですか（笑）。

エンセン　見たいよォ（笑）。見たら楽しいの感じネ。だって、格闘技は格闘技、プロレスはプロレスだから。ただ、格闘技のリングで「格闘技だよぉ～」でプロレスするのはあんまり嫌ネ。逆に、格闘技で強いから、プロレスに余裕で出れるかなって思うのも嫌。自分がプロレスやるとしたら、格闘技のことは捨ててプロレスについてのマナー、順番をやらないとダメと思う。

——中途半端が一番ダメですね。

エンセン　そうネ。失礼なことになると思う。それ、オレよく分かってるから。修斗で一番初めにプロレスの道場に練習に行ったのがエンセンでしょ？

——そうですよね。

エンセン　あの頃、佐山先生も「行かなくていい。格闘技の技できないから」って言ってたよ。でも、行ったら、金原さんがいて、高山さんいて、桜庭さんがいた。凄いよォ！　みんなできるよォ、格闘技の技。凄い練習になったから。オレが思ってるのは格闘技とプロレスがお互いにサポートすれば一番いいなって。

——で、新日の永田VSジョシュ戦でジョシュのセコンドについてましたけど、あれはどういう経緯だったんですか？

エンセン　その時にたぶんご存知だと思うんですけど、長州力と話したし、新日本とも話した。プロレスどうだろうの話があったから。でも、エンセン、プロレスに対して失礼なことしたくない。格闘技で名前が売れてるからプロレス出るとか、変なプロレスの試合やるとかしたくないから、うまく返事をしたいと考えて、試合に一番近いの立場のセコンドについた。どういう感じか知りたかったネ。

——じゃあ、あの時はプロレスをやるかどうか決めてなかったんですね。

エンセン　決めてないよネ。逆にね、セコンドについたらもっと遠くなった感じしたネ（笑）。

——難しく感じた？

エンセン　難しいよォ。逆に「オレ、プロレス、大丈夫かな？」の心配したネ。「ウワァ～、この世界は難しいな」って。

——具体的にはどこが難しいと思ったんですか。

エンセン　格闘技の場合、ただ、相手を倒すとかだけど、プロレスの場合はもっとビジネスだから、お客さんのことを気にしながら、自分のやりたいことをしなきゃダメ。でも、それをオレは気にしなそう（笑）。

——たしかに気にしなさそうですね（笑）。

エンセン　そう！　あとはね、プロレスラーの友達が多いからリアクションに困る。UWFの人たちも、藤田さん、タイガーマスクも、みんな友達。中西さんとは腕相撲とかやったことあるじゃん（笑）。

——昔、『リンたま』でやりましたよね。しかも勝ちましたよね（笑）。

エンセン　アハハハ！　それは言いたくないネ（笑）。おっきくて怖いからネ、中西さん。この前も「覚えてるかな」って思ったけど（笑）。だから、やってみたいはまだ考えてない。ホントにできるかどうか不安があるから。

——やるなら真剣に取り組みたいって気持ちなんですね。

エンセン　そう！　例えば、新日か、長州力のところで、ギャラを払ってもらったら、その興行のことも心配するよ。プロレスの全体的な評判も気にする。自分がギャラ貰って、あとはどうでもいいネで帰るなら、プロレスやらない。しっかり心が入ってやらないと。その団体が儲かるようにが必要。

——だけど、やったら相当面白いと思うんですよね。

エンセン　だから、やったらね。馴れたら、凄い楽しいと思う。逆に馴れなかったら、格闘技より緊張すると思うよ。あとね、長州力って人間として凄い大好き。彼、心がストレートな人ね、好きなら好き、嫌いなら嫌いって言う。オレとまったく同じね（笑）。今まで会った人たち、長州力に谷津、中西さん、蝶野さんとか、みんないい人。

——みんないい人（笑）。

エンセン　オレもビックリしたよ。調子に乗ってるとか、威張ってるとかなかった。

——そういえば、昔、長州さんのことを「偉そうね」って言ってましたよね（笑）。

エンセン　ねぇ（笑）。橋本と小川の試合（試合後、UFO勢と新日勢が大乱闘となった1・4東京ドーム）、あの時は「何やってんの、あのオジサン」って思ったネ。スイマセンでした（笑）。でもね、それが長州力の仕事だよ。オレがそういうこと思ったのは彼が凄いうまいから。だから、逆にホメてることになるね（笑）。

——そうですよね。で、格闘技の選手が今、プロレスに出ていくじゃないですか、それはお金なのか、それともプロレスに興味があるのかどっちだと思いますか。

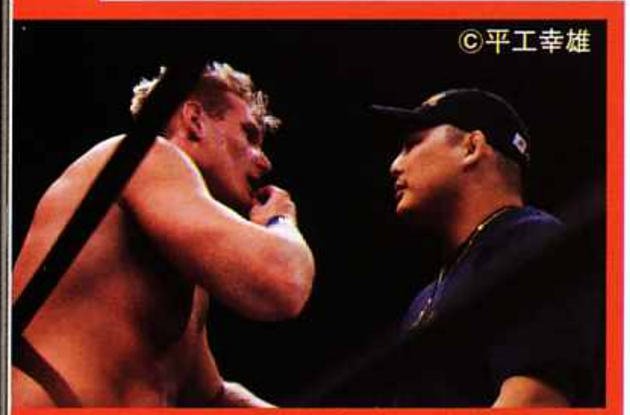
エンセン　半分以上の人がプロレスに興味あるよ。朝日選手とかも興味あるし、山本KIDも言ってるよ。オレだけは特別ね、オレの場合は生活。だから、ちゃんと計算して、しっかりした仕事したいよネ。

——じゃあ、将来的にはプロレスに上がるだろうと考えていいんですね。

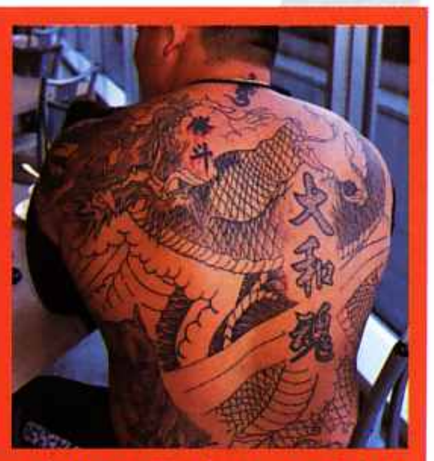
エンセン　そうね。まだ、『プライド』とかも考えてるし、身体が動くところで決めないといけないと思うね。正直に言うとまだ新日ともWJともどっちとも契約してない。話だけ。でも、もし、出ることになったら応援してください（笑）。

——もちろんですよ！　ファンが文句を言うのはいいんですけど、格闘家自身はプロレスに真剣に取り組もうとしてることだけは理解してほしいですよね。それで、エンセンさんには必ずヤクザキックをやってほしいですね（笑）。

エンセン　そうネ！　でも、ヤクザじゃないよォ～（笑）。■


©平工幸雄

▲1・4新日東京ドーム大会のメインでは永田裕志VSジョシュ・バーネットのIWGP戦が行われた。その試合でエンセンはジョシュのセコンドを務め、観客を驚かせた



▲龍の入れ墨はエンセン本人の象徴であり、犬はもちろん修斗くん。また、腕にはコイの入れ墨があり、愛妻・美憂さん、息子のアーセン井上君を表している。全てが彼の愛するものなのだ

桜井"マッハ"速人

ャル　対　談

3P出陣を前に出稽古!!

3・4『DEEP』後楽園大会で上山龍紀（U-FILE CAMP）との対戦が決定した桜井"マッハ"速人。一昨年の修斗ミドル級王者陥落以降、腰痛もあり低調なマッハだが、「今年は、もうひと花咲かせたい」と内なる決意を固めている。そこで、本誌はマッハのベースである"柔道"が、何かのきっかけになればと、吉田秀彦との対談＆稽古を実現。マッハに熱いエールを送ることにした。

司会◎林　毅
撮影◎中島ミノル

――吉田選手とマッハ選手はすでにお知り合いということですが、そもそも知り合われたきっかけは？

マッハ　初めて会ったのは……、六本木のキャバクラですね（笑）。

――ハハハハハッ。それはたまたま居合わせたんですか？

吉田　いやいや、小見川って柔道の選手がいるんですけど（道浩：66キロ級全日本強化選手）、マッハが小見川と高校（土浦日大）の同級生ということで、小見川に紹介されて、それで一緒に飲みに行ったんですよ。

――吉田選手がプロデビューする前？

相田秀彦

マッハがDEEPスペシャル 吉田道場に

吉田 前でしたけど、たしか試合はもう決まってましたよ。

――初めて会った時の印象は？

マッハ そうッスね、インタビューで言っていいんだか分からないですけど（笑）、キレイなお姉さんをいっぱい連れていていいなぁと、ハッハハハ。

吉田 またぁ、オマエそういう手で来たか（笑）。

マッハ こっちは一人でボーッと座ってましたけど（笑）。

吉田 よく言うよ（笑）。

――ハハハハハッ。初めて会ったのが六本木のキャバクラっていうのもどうかと思いますけど（笑）。

マッハ まぁ、自分が凄くお世話になっている人の店なんですけどね。

――吉田選手がキレイなお姉さんを連れていたという第一印象はちょっと置いといて、マジメな印象としては？

マッハ そうですね。吉田さんっていったら、やっぱり凄い内股が切れるっていうイメージでしたね。

――高校の頃から知っていたんですよね？

マッハ もちろん。テレビでも見てましたし。よくケンケン内股で投げるのを見て、凄いなぁと。背筋（はいきん）が凄いし、柔らかいなぁと思ってました。

――柔道のタイプとしては、マッハ選手とは違うタイプですか？

マッハ いや、オレね、柔道をそこまではやっていなかったですから、自分の柔道がどんなタイプかって分からないです。ただなんというか、基礎練習ばっかりやっていたなって気がするんですよね（笑）。まあ、体力だけは、普通の高校生よりオーバーワークしている部分も含めて、あったんじゃないかなと思いますけどね。

ドン・フライ戦はマッハのアドバイスから実現!!「負けてもマッハのせいにすればいいかって（笑）」（吉田）

——でも、土浦日大と言えば、茨城ナンバーワンの柔道名門高ですから、練習も相当厳しかったんじゃないですか？

マッハ 運動量はハンパじゃなかったです。あそこまでやるのは間違いなく身体に毒ですね（笑）。

——ところで、吉田選手がプロの総合格闘技の世界に来たことに関して、マッハ選手はどんな感想を？

マッハ 勇気ある決断だったんじゃないかなと思いましたけど。

吉田 あんま考えてなかったんだけどな、オマエと一緒で（笑）。

マッハ ハッハハハハハ。いや、でも、いちいち考えていたら何もできないですからね。細かいことなんて気にしてられないです。そうじゃないと、選手生命が終わってしまいますから。じいさんになってできる競技じゃないんでね（笑）。

——聞くところによると、ドン・フライ戦というのは、マッハ選手のアドバイスもあって、吉田選手が指名したということですが。

吉田 そうそうそう。マッハから、ドン・フライなんていいんじゃないッスかって言われて。最初はちょっと待ってくれよぉって思ったんだけど、それは面白いかなと。負けても、マッハのせいにすればいいかなって（笑）。

——負けてもマッハ選手のせいにはならないと思いますけど（笑）。

マッハ いや、絶対に勝つと思ってましたけどね。

——飲みに行ったりすることはあっても、一緒に練習したりっていう機会は最近までなかったんですよね？

吉田 そうなんですよ。一緒に練習したのは、この前、12月末くらいかなぁ、髙阪（剛）んところ（G—スクエア）で。

——スパーもやったんですか？

吉田 いや、やってないです。マッハが練習に来ただけで。蹴りを教えてもらいました。

マッハ ハッハハハハハ。

——吉田選手とはやってみたいですか？

マッハ いや、やってみたくないですね（笑）。あまり重い人とやると負担がかかるんで。特に今は試合前なんで。試合のない時だったらまだいいんですけど。

吉田 試合、続くの？

マッハ いえ、『DEEP』の後はまだ全然考えてないです。でも、一回柔道衣を着て総合の試合をやってみたいですね（笑）。吉田さんみたいに道衣にグローブ付けて。

吉田 暑いよぉ。

マッハ 2Rになったらいきなり脱いだりしてね。それは自由ですよね？

吉田 うん。

マッハ ああ、一回やろ、絶対！

——それはぜひ見てみたいなぁ。道衣を着てやることに関してはどう思います？道衣は不利なのか有利なのか？

マッハ たぶん、自分の思っている感じでは有利かなと。

——使えるなと。

吉田 知っていれば使える。知らなかったら暑いだけ（笑）。

——でも、相手も道衣の使い方を知っていたら、逆に不利になりますよね？

吉田 それは困るね。

マッハ でも、だいたい知らないですよ。レスリングやっていた人とか分からないでしょ。柔道やっていた人はある程度知っていると思いますけど、総合格闘技やっている人で知っている人は少ないと思いますよ。

——柔術系の選手は？

吉田 柔術の選手は厳しいですよね。

マッハ 技術そのものよりも、柔術の選手は身体能力の高い人ってのも、もちろん中にはいるわけで、そういう人となると、もちろん、話は別ですけど、競技性だけっていうんだったら、どうかと思いますけどね。最近の柔術家はみんな打撃できますもんね。足腰も強いし。

——全体的にレベルがどんどん上がっていますしね。

マッハ 今、柔術だなんだって言っても、総合やっている人間は、みんな総合格闘家ですよ。ただ柔術から入って総合格闘技をやっていると。自分らもそうですけど、柔道から入っているのもいれば、レスリングの選手もいるしね。ただ、ベースが柔術だったり柔道だったりレスリングだったりするだけですよ。

若干、作ってはいるが、やはり絵になるこの2人の柔道の稽古姿。久々に道衣を着たというマッハは、軽い練習をした後は「今度、吉田さんみたいに道衣着てグローブ付けて総合の試合してみたいなぁ」と吉田スタイルの試合を熱望。ぜひ実現させてほしい！

3・4 DEEP 後楽園大会 最新情報！

――吉田選手はマッハ選手の試合を見たことは？

吉田 ビデオではありますけど、ナマではまだないです。この前試合したの、いつだったっけ？

マッハ 12月14日です。

――NK大会ですね。

吉田 そん時に、終わった後、メシ食ったんだよね。

マッハ はい。

吉田 ダメでした、全然ダメでしたって、凄い悔しそうだったんで、きっと今年はやる気になっていると思いますよ。マッハが頑張れば、ボクも頑張んなきゃって刺激を受けるし、お互いに刺激を与えあえればいいと思うんですけどね。

――マッハ選手のこの前のNK大会は、見ているボクらとしても歯がゆい試合で、マッハ選手は気持ち的に盛り上がらないのかなぁと感じられたんですけど、どうなんですか、そのあたりは。

マッハ 自分ではねぇ、そういう細かいことって分からなくなっちゃうんですよね。もう何年もやっているでしょ、試合とか。だからきっと、そういうメンタル的な部分っていうのももちろんあるんでしょうけど、自分の気持ちの中でどうだこうだっていうのは分からないんですよ。だから、試合前にノッてないとか、倒しに行ってないとか言われてもどうなのかなぁと。たしかに昔はねぇ、向かい合ったら、相手をKOしてやるって思っていて、今も、そういうふうに思おうとはしてるんだけど、なかなか……。

――コンディション的には、ほぼ戻っているんですか？

マッハ そうッスね。まぁ、それはいいんですけどね。

――でも、ケガが一番怖いですよね。

マッハ うん、そうッスね。ちょっと大きなケガしちゃうと、ケガしている間っていうのはトレーニングできないし、そうすると筋力も落ちちゃうし、精神的にも落ち込んじゃう。まだ若いうちだったらいいと思うんですよ。若いっていうのは、年とかじゃなくて。

――競技年齢ですね。

マッハ そう、競技をやっている期間っていうかね。

――マッハ選手は、年齢的には27歳ですからまだそんな年ってわけじゃないですけど、この世界では、ベテランって感じですもんね。

マッハ ねえ、そう思いたくないですけどね（笑）。高校卒業してすぐこの世界に飛び込んで、来年でちょうど10年ですからね。そう考えると長いですよね。

――年齢以上に消費している部分っていうのは大きいんでしょうね。そこでいかに切り替えられるかなんでしょうね。

マッハ そうですね。オレ初めてシュートボクシングの試合に出た時にKO負けしたんですよ。それからずっと負けないで、この前（一昨年のアンデウソン・シウバ戦）まで行ってたから。負けた時にどうなるかって全然分からなかったんですよね。でも、実際に負けた時、あんまり悔しくないんですよ。あっ負けちゃったんだなって感じで。

――負けることに対する恐怖心みたいなものはなかったですか？

マッハ ないですね。まあ、やる前は負けることなんて考えてないですからね。いつもそうだったんですけど、試合やって負けたらどうしようなんて一切考えてなかったですからね。

――吉田選手も負けることなんか考えないですか？

吉田 負けること考えると……、負けちゃうんですよ（笑）、不思議と。柔道の時もそうでした。

――マッハ選手は最近は、どんなスケジュールで練習しているんですか？

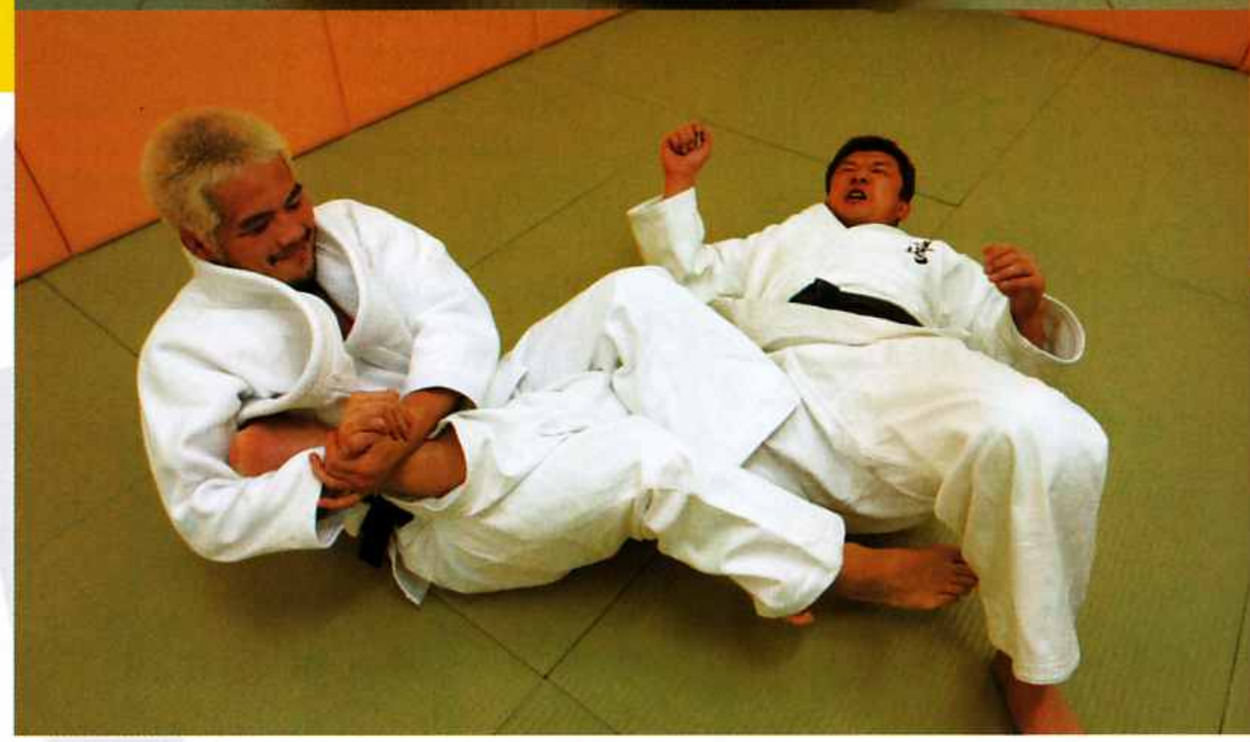
マッハ 試合前なんで、ほとんど都内で出稽古していて、週に2日くらい茨城に帰ってます。犬の調教もしないといけないんでね（笑）。

――出稽古の場所は？

マッハ 高阪さんのところとか、GRABAKAとか、シーザージムとかですね。

――どのあたりを重点的にとかはあるんですか？

マッハ 重点的っていうのはないです。もう、風が吹く方向で決めるというか、



「オレも吉田さんみたいに道衣を着て総合の試合がしてみたい。一回やろ、絶対！」
（マッハ）

北から南から、東から（笑）。

——計画を立てたりは？

マッハ　ないですよ、そんなの（笑）。

——最近は、お酒も控えているという噂ですが。

マッハ　はい、全然飲んでません。

吉田　飲まないッスねぇ。

——吉田選手は昨日も飲んでるじゃないですか（笑）。

吉田　いや、昨日はたまたま（笑）。

マッハ　吉田さん、この写真の頃（神棚の横に貼られたバルセロナ五輪の時の吉田選手の写真を指差し）、自分と同じ階級だったじゃないですか。

吉田　その時は減量してたの！

マッハ　何キロくらい絞ったんですか？

吉田　12キロくらい。90キロくらいしかなかったよ。

——マッハ選手は普段はどのくらい絞ります？

マッハ　自分も、試合がなければ90キロくらいまでいきますね。でも、今は試合が続いているんで。ホントは大きくならないほうがいいんですけどね。この階級でやっていくんなら。この階級じゃないと、動きができないんですよね。なんていうか、止まらないネコみたいな動きというか。ああいうのが好きなんで。ジェットコースター乗っているみたいでね。

——この前の会見の時、マッハ選手は今年は若い頃に戻って頑張ってみたいと、試合も5試合くらいはやりたいと言ってましたよねぇ

マッハ　なんかねぇ、昔のほうが何に対しても新鮮に感じられたように思うんですよ。よく分からないけど、凄い鮮明に思い出すんですよね。

——吉田選手、マッハ選手のそういう気持ち分かるんじゃないですか？　凄い楽しそうに練習やっていますもんね？

吉田　初めてのことだから。キツイとかあんまり思わないですよね。キツイんだけど、楽しんでできるというか。柔道の時にはなかった練習ですから。

マッハ　そういうふうになりたいですね。昔は毎日打撃のスパーリングをやってましたからね、頭おかしくなるんじゃないかってほど。オレはそのうち死ぬんじゃないかって、ホントに思いましたからね。いや、ある意味おかしかったですよ。おかしいからそんなことできたんですよ（笑）。だけど、新鮮に思えたから毎日でもやれたんでしょうね。今、思うと。

——マッハ選手は、足関節もやれば十字やチョークでも極めますけど、一番好きな攻撃っていうのはなんなんですか？

吉田　殴り倒す。

マッハ　はい、それしかできないッスね。まあ、できないってわけじゃないですけど。自分の中の意識では、それしかできないです。まあ、実際はヒールとか腕十字とかでも勝ってますけどね。でも、あまり好きじゃないですね、ホントは。

——吉田選手は、マッハ選手の試合で印象に残っている試合はありますか？

吉田　マッハの試合ですか？　ビデオでしか見たことないんですけど……、昔、ヤセてたよね（笑）。

マッハ　減量してたんですよ（笑）。

——この前、皆さんで飲みに行った時に、マッハ選手が「もうひと花咲かせるゾ」と言っていたと小耳に挟んだんですけど。今年は気合い入っていそうですね？

マッハ　そうッスね、はい。それについて言葉を多く言う必要はないですね。

吉田　結果で見せると（笑）。

マッハ　はい。■

スペシャル対談　桜井“マッハ”速人×吉田秀彦

「吉田さんの第一印象？キレイなお姉さんをいっぱい連れていいなと（笑）」（マッハ）

「マッハの試合の印象？ビデオでしか見たことないけど昔、ヤセてたよね？」（吉田）

仲のいい兄弟みたいな感じの2人。マッハの柔道衣姿が新鮮で実にいい！　初心に帰ったマッハ、DEEPで完全復活だ！

3・4 DEEP
後楽園大会
最新情報！

ここに大一番が実現!!

UWFが勝つか！修斗が勝つか！

桜井"マッハ"速人

Uインター最後の男 上山龍紀 初登場!!

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎山口比佐夫

3月4日、DEEPのリングでU-FILE CAMP所属の上山龍紀が、修斗の桜井"マッハ"速人と激突する。最近昇り調子の上山がついに挑むこの大一番は、格闘技ファン待望のカードと言っていいだろう。今年、大きく飛躍するであろう上山がこの一戦に賭ける意気込み、そしてUインター時代の過酷な下積み時代を初公開したい。

——ところで、上山さん、このところメチャクチャ試合がありますよね（笑）。

上山 はい（笑）。

——まず2日にUファイルの試合があって、15日にはUスタイルがあって、3月4日にはDEEPのマッハ戦ですからね、約1カ月で3試合ですよ。ヒドイですよねぇ（笑）。

上山 ヒドイですね、ハードなスケジュールです（笑）。

——誰が悪いんですか（笑）。

上山 いやぁ……それはもう自分が悪いですねぇ（笑）。

——なんでもかんでも引き受けちゃう自分が悪いと。なんでもかんでも試合を決めてきちゃう田村さんじゃなくて（笑）。

上山 はい。自分が悪いです（笑）。

——しかし、リングス時代の田村さんは2カ月に1回の試合でもさんざん文句を言ってた気がするんだけどなぁって思うんですよ（笑）。

上山 う〜ん（笑）。

——答えない？　笑ってるだけで答えない、と（笑）。

上山 いやぁ、だけど、ホントに自分でやりたい試合ばっかりですから。Uスタイルの旗揚げはDEEPと同じく、凄い出たかったんで。方向性は違うんですけど自分の中ではマッハ戦と同じく、大事なんですよ。だから、片一方って言うのはあんまり選べないですね。

——そういう感じは凄く分かる気がしますね。ということで、今日は3連戦のトリとなるマッハ戦について聞きたいなと思ってますけど、大一番ですよね。どうですか、いけそうですか？

上山 ま、そうですね（ニッコリ）。

——いけそうなんだ（笑）。

上山 いけそうっていうか、マッハ選手については詳しく知らないんですよ。あの階級だと世界のトップクラスだっていうのは聞いてるんですけど。ただ、自分もチャンピオンになってから自信がついて来たんで、昔とは全然違うと思うんで。

——全然問題ないと（笑）。

上山 問題なくはないんですけど勝ちたい！　勝ったらおいしいっていうのはもちろんなんですけど、たぶん、そういう気持ちだけじゃなくって勝ちます！

——前の記者会見で、上山さんは「10人いたら9人がマッハ選手の勝ちを予想するだろう」って言ってましたよね。

上山 いや、100人ですね。100人中99人です（笑）。でも、1人でも上山が勝つんじゃないかと思ってくれる人のために勝ちたいです。

——田村さんはどっちが勝つと思ってるんですかね？

上山 どっちですかね？　たぶんマッハ選手だと思いますよ（笑）。単純にマッハ選手が勝つと思いますよね？

——ボクは上山さんが勝つと思いますよ。

上山 そうですか？

——だって、マッハさん、今ちょっと試合数少な過ぎるし、逆に上山さんは好調ですもん。

上山 でも本調子じゃないなら試合中に本物のマッハ選手に戻ると思います。自分が引き出してあげます。

——オオ！　何か凄いこと言ってるな（笑）。マッハさんっていうと、基本的に打撃もうまい人ってイメージがありますけど。

上山 両方できるんですよね。

——フランク・トリッグに勝った時は逆転のパンチで勝ったんですよ。その辺はどうですか？　打撃対策は？

上山 打撃対策はやってます。ボクシングの練習してるんで。うちの兄貴がプロボクサーなんですよ。

——へぇ、知らなかった。

上山 ボクシングの技術で、総合で使えるパンチも教えてくれるんです。だからパンチだけでいけばマッハ選手に勝てる自信あります。打撃だけでいけばですよ。

——パンチに自信ありと。

上山 はい。本当自分が打ち合う気で、パンチだけでいけば大丈夫です。でも、マッハ選手もシュートボクシングで練習してるんですよね。

——してますね。だから、簡単にはいかないっていうのはねぇ。寝技とかはどうですか。

上山 田村さんと練習させてもらってます。だから大丈夫です。自信あります。

——それは期待できるなぁ（笑）。じゃあ、打撃でも寝技でも両方面白そうですね、絶対！

上山 はい、それはもう。今はマッハ選手が勝つより自分が勝つほうが面白いと思うんですよね。マッハ選手が勝っても普通じゃないですか。自分が勝ったほうが面白いですよね、単純に。

——うん。格闘技界が盛り上がるでしょう。それに僕が期待してるのが、上山さんって若いのにUインターを経験してるからプロレスラーとしての下積みがキチ

©平工幸雄

▶1996年12月27日のUインター後楽園大会。上山は第1試合で松井駿介（現大二郎・髙田道場）と対戦した

この試合で僕がマッハ選手の本調子を引き出してあげます！

上山龍紀

©平工幸雄

▶12・27後楽園大会はUインターのラスト興行。試合終了後、全選手揃って記者会見を行った。一番左端にいるのが若き頃の上山だ

ンとあるのがいいんですよ。

上山 あれがあるから今があります ね。まず絶対心が折れない。

——だから、3連戦も乗り切れる（笑）。

上山 もうあの厳しいUインター時代を思えば（笑）。

——若手なんか人間扱いじゃないですからね。以前ちょっと聞いたんですけど、スクワットを5千回もやらされたっていう（笑）。

上山 はい、やらされた時あります。宮戸さんに（笑）。

——ちなみに、5千回ってどのくらいかかるんですか？

上山 3時間はかかるんじゃないですかね？ で、声が小さかったりしたら増えますね。だから、6千回とか、普通になりますね。

——異常ですよね（笑）。

上山 今じゃ考えられない。スパーリングも1人に対して1時間とか2時間とか。

——延々やってるの？

上山 はい。その頃って、バキバキバキって鳴っても離してくれないんで、そっから逃げるんですよね。

——バキバキバキ鳴るのって、もう靱帯が伸びてますよね（笑）。

上山 はい。だから、伸びながらやってますから（笑）。

——メチャクチャだなぁ（笑）。

上山 でも、本当です（笑）。それで、医者に行けないんです。行かしてもらえないって言うか、雑用もあるし、行けるような雰囲気じゃないんです。だから伸びきりながら毎日やってました。

——それは何？ 伸びれば伸びるほど関節のポイントがずれてきて格闘技的にイイってことはないんでしょ（笑）。

上山 ないです。靱帯って何度もやってると、薄くなってすり切れて、最後にはなくなっちゃうんですよ。まだ骨折したほうが元に戻る。まあ、今自分もないんですけどね、靱帯一部分。

——それ、普通に生活できるんですか？

上山 生活はできるんですけど、バランス悪くなりますね。だから全治一生です（笑）。

——凄いなぁ、生涯かけて治らないんだ（笑）。雑用とかはどうでした？

上山 台所に三角コーナーってあるじゃないですか、生ゴミを入れる。あれにゴハン粒とかが一粒でも付いてるとブン殴られました（笑）。

——ワハハハ！ たった一粒で。気持ちいいぐらいヒドい話ですね（笑）。

上山 はい（笑）。ちゃんこも1人で材料を買いに行って1人で作るんですけど、その合間に宮戸さんの料理も補助しないといけないんですよ。しかも、宮戸さんの料理の補助は、次に何を使うかを知ってとかないといけなくて、調味料とかも全部蓋を開けて持ってて、塩とか言ったらすぐに出せないといけないんです。

——で、その間にちゃんこも作らなきゃいけないんでしょ？ 絶対作れないよ、そんなの。

上山 できない場合もありましたけど。

——そしたら殴られるんでしょ（笑）。

上山 殴られたり、怒鳴られたり（笑）。あとは先輩に何々買って来いって言われるじゃないですか。で、「はい」って行こうとすると「メモらなくていいのか！」ってブン殴られて、次の日に、何々買って来いって言われてメモるんですよ。そしたら「覚えろ！」って殴られるんです（笑）。

——そういう話大好き！ プロレス団体経験してる人のそういう理不尽な話って本当に面白い！（笑）。

上山 普通の人がぶん殴るんじゃなくてプロレスラーがぶん殴るんだから大変ですよ（笑）。

——田村さんはどうですか？ その頃は。

上山 田村さん、怖かったですね。当時は宮戸さんの次に怖かったです。

——だから、不思議なんですよね。なんで田村さんに付いてきたんですか？

上山 いや、尊敬してるからですね、やっぱ。怖いですけど、尊敬してる。それに自分がUインターの時に大ケガをしたんですよ。その時に田村さんが凄く気を遣ってくれて。その頃に、田村さんが大丈夫？ みたいな感じで連絡をくれて。

——意外と優しいところがあるんですね。

上山 意外とって（笑）。

——そう思いませんでした？（笑）。

上山 でも田村さんも練習とか厳しいんですけどぉ、普段も厳しいんですけどぉ優しい時は凄く優しくて（笑）。だからUインターの時に先輩にしごかれたっていうのは、自分にとって財産。あれがあったから今のベルトもあるし、Uインターの先輩には凄い感謝してますね。

——だから、26歳の割に話にコクありますよね。

上山 今回のマッハ戦は、プロレスラーとして勝ちますよ。

——いや、べつにそんなのは必要ないけど（笑）。強くて面白い試合をしてくれれば。ところで、一つ聞きたいのがリングス時代の試合って正直言って膠着多かったですよね。

上山 はい。でも、あれはしょうがないんです。ハイレベルな選手ばかりだったし、体重差が20キロ、30キロも上の選手とやってると技が出ないんですよね。言い訳かもしれないですけど、膠着になってもしょうがないですね。

——そうか、あの頃って体重差とか全然気にしなかった時代ですからね。

上山 最近同じ体重になったんで、たぶん動ける。

——実際、DEEPのミドル級トーナメントでも一本勝ちを連発してるし、状況がいい形で整備されて来たっていうのもあるでしょう。

上山 そうですね。

——いよいよ上山さんの時代が到来したって感じですね。なにしろ、今回はメインイベンターでもあるし（笑）。

上山 はい。

——苦しい中から一歩一歩着実に階段を登って、今年爆発する姿を見てみたいですね（笑）。■

三角コーナーにゴハン粒が一つ付いてただけでブン殴られました（笑）

3・4DEEP全カード決定！
謎のマスクマン、いきなり正体判明！

3・4 DEEP 後楽園大会 最新情報！

ド根性ノ助の相手はトップチーム軽量級の雄！

▲佐伯代表は「僕も中身は分からないんですが……」と言っていたのだが、着席するなりマスクを脱いでしまったスペル・パピヨン。なんと正体は木村浩一郎だった

▶スペル・パピヨンは『ビッグコミックスピリッツ』で連載中のマンガ『格闘太陽伝ガチ』に2月から登場している新キャラクター。設定ではオクタゴンでケブラーダを決めるという

全対戦カード

桜井"マッハ"速人〈GUTSMAN修斗道場〉	VS	上山龍紀〈U-FILE CAMP.com〉
三島★ド根性ノ助〈総合格闘技道場コブラ会〉	VS	ファビオ・メロ〈ブラジリアン・トップチーム〉
渋谷修身〈パンクラスism〉	VS	滑川康仁〈フリー〉
大久保一樹 佐々木恭介〈U-FILE CAMP.com〉	VS	一宮章一〈フリー〉 スペル・パピヨン〈チーム・ガチ〉
入江秀忠〈キングダム・エルガイツ〉	VS	藤沼弘秀〈荒武者総合格闘術〉
竹内コウジ〈シューティングジム横浜〉	VS	西内太志朗〈U-FILE CAMP.com〉
TAISHO〈バルボーザ＆NBJC〉	VS	亀田雅史〈総合格闘技道場コブラ会〉

2月3日に行われた記者会見で、3・4DEEP後楽園大会の全カードが発表された。会見には、タッグマッチで激突する大久保＆佐々木組と一宮＆パピヨン組が出席。佐々木はマスクマンとの対戦ということで「ナメんなって気持ち」と怒りを露にしたが、なんとパピヨンの正体は木村浩一郎だった。現在はDDTプロレスのリングに上がる木村だが、かつてはリングスなどで活躍し、ヒクソンとも対戦した格闘家。格闘技の試合は7年ぶりだが、練習は今も重ねているという。また、会見にはゴージャス松野も乱入予定（？）だったが、体調不良で緊急入院。「寂しいですけど、心の師匠として勝利を捧げたい」と大久保は素晴らしいコメントを残したのだった。そしてセミでは、DEEP2戦目の三島★ド根性ノ助とファビオ・メロが対戦。メロはブラジリアン・トップチーム軽量級の主力選手で、昨年9月にはヤノタク（矢野卓見）にも勝っている。その他渋谷VS滑川の通好み対決や、フューチャーキングトーナメントをオールKOで優勝した藤沼弘秀のプロデビュー戦など「いつも試合数が多いと言われるんで、頑張って減らしました」（佐伯代表）という充実・厳選の7試合となっている。■

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS DX
スペシャル・リング・ガイド
No.88 3・13臨時増刊号

CONTENTS

特集!!

どうなるPRIDE&K-1!? 3

3・30 K-1 WORLD GPさいたま大会 最新情報
3・16 PRIDE.25 横アリ大会最新情報

初参戦! 吉田道場の斬り込み隊長
中村和裕インタビュー　対戦カード&出場予定選手など

特別企画

1・19 WRESTLE-1東京ドーム大会 18

★緊急対談
金沢克彦VSターザン山本
[週刊ゴング編集長]
格闘技側から見た『W-1』【堀辺正史、エンセン井上】 24

最新情報

3・4 DEEP後楽園大会
スペシャル対談
桜井"マッハ"速人 VS吉田秀彦 28

上山龍紀インタビュー 33　3・4 DEEP対戦カード 36

徹底特集

ド真ん中は我にあり!
3・1 K-1 WORLD MAX 有明コロシアム大会
出場全選手インタビュー 53
武田幸三、魔裟斗、小比類巻貴之、阿部裕幸、村浜武洋、須藤元気、大野 崇、小次郎

SRS・DXの注目!

2・22『一撃』日本武道館大会直前情報 94
SRS・DXは女子格闘技を"えこひいき"します! 109
SERIES ジョシカク① 112
TBSが女子総合に進出 114

大会レポート

1・25 MAキック ディファ有明大会 82
1・19 ニュージャパンキック 後楽園大会 83
1・26 パンクラス後楽園大会 85
1・24 修斗 後楽園大会 89
1・26 新日本キック後楽園大会 96
2・2 シュートボクシング後楽園大会 100
2・7 全日本キック後楽園大会 105

格闘技パーフェクトガイド

大会ガイド&チケット情報 46
バックナンバーインフォメーション 51
浅草キッドの底抜けアントンハイセル 52
SRS番組インフォメーション 69
TVガイド 70
VIDEO&GOODS情報 72
ET CETRA 74
SHOP GUIDE 75
宇月田麻裕の北斗占い 76

連載

ターザン座談会 38
ターザン山本『ザッツ・ムチャリブレ』連載第20回 77
あぶもぐ(読者のページ) 78
プロレス版 裏(覆面)座談会 80　編集後記 84

グレート・アントニオ新作紹介&誌上通販 116
読者プレゼントDX 118

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

©扶桑社　本誌掲載の記事の無断転載・放送、写真の複製を禁じます。また、投稿作品のすべての権利・著作権は本誌に帰属します。

プロレスから『WRESTLE-1』を考える 座談会

ど真ん中にいったらどうだ!?

出席者◎ターザン山本（密林のど真ん中）
谷川貞治（K-1イベントプロデューサー=ミスター・ど真ん中）
小松魔裟夫（本誌“病める青春ど真ん中”編集部員）
司　会◎柳沢忠之（本誌“丹田”御目付役）

でも、今年の格闘技界は出だしから混乱続きだよなぁ

山本 おいっ、谷川ぁ……じゃなかった、谷川プロデューサー！

谷川 や、や、山本さん、今までどおり「谷川ぁ！」でいいですよお。

山本 いや、俺も常識人としてそういうことはちゃんとしておかないといかんからなぁ。以後、気を付けますよぉ。

——非常識な常識人として（笑）。

山本 で、今日はまず全国の格闘技ファンを代表して谷川プロデューサーに聞きたいんだけどさぁ……。

小松 山本さんが全国の格闘技ファンを代表して……？

谷川 な、な、なんですか？

山本 俺は石井（元）館長が逮捕されてショックもショック、大ショックなんだけど、今回の件でテレビ局がK—1から引いてしまうことはないのぉ？ それ、ぜひプロデューサーに聞きたいんだよねぇ。

谷川 それは絶対にないです。フジテレビもTBSも日本テレビもこれまでどおりに変わらず放映されますから。

山本 それは谷川ならでは……じゃなくて……。

——ダハハハッ！ 以後、まったく気を付けていません（笑）。

山本 よ〜するに、それは谷川プロデューサーならではの、楽観的な予測というか希望的観測なんじゃないの？

谷川 いえいえ、石井元館長の逮捕以来、僕はずっとテレビ局を駆けずり回って話し合いをしてきましたから本当に大丈夫です。K—1に関してはソフト自体が支持されていますし、ファンのニーズも大きいのでテレビ局としても打ち切りにしないという意見が多いんでしょう。まあ、スポンサーに関してはこれから僕が一軒一軒説明に回ることになると思うんですけれども、すでに新体制に刷新していますから、もはや「K—1＝石井館長」というイメージもなくなってきていますからね。あくまでもテレビ局やスポンサーは「新体制のK—1」とビジネスをしていくという形になっていますから、まったく心配しなくて大丈夫です。

小松 なんか、プロデューサーになってから急に理路整然と語るようになりましたね。

——ダハハハハッ！

谷川 プロデューサー・モードの時は「サダハルンバ」じゃないですから。

小松 『週刊ゴング』の金沢編集長的に言うと「プロデューサーの時、私はサダハルンバではないのだ！」と。

——サダハルンバ・モード全開のプロデューサーっていうのも格闘技業界的には面白いと思うんだけどな（笑）。

谷川 とにかく私がいる以上、K—1は大丈夫です！

小松 力強さまで加味されましたね。

山本 それを聞いてひと安心したよぉ。俺は谷川プロデューサーがまるで「将軍様」に見えますよぉ。ぜひとも、この試練を乗り越えてほしいよぉ。

谷川 えーっと、あんまり試練はないと思うんですけど……。

——プロデューサー的には試練だとも感じていないみたいです（笑）。

谷川 まあ、『SRS・DX』のこの号が出る頃には、K—1の話題でメチャクチャ盛り上がってると思います。

——谷川プロデューサー流超ポジティブ・シンキングでK—1は安泰だ、と（笑）。

山本 でも、今年の格闘技界は出だしから混乱続きだよなぁ。去年は年明けからスムースに進んだんだけどなぁ。

谷川 いや、僕個人はスタート的にはまったく悪くないんですけどね。

——ダハハハハッ！ まあ、存在自体が厄除け大師みたいなもんだからね（笑）。

山本 K—1とか『プライド』のソフトそのものは落ちていないんだけど、ところが頂点のイメージが落ちてしまって、こういうケースは珍しいよなぁ。

谷川 そう言われればそうですねえ、しかもほぼ同時でしたからね。

山本 そう！ 格闘技界の同時多発転落というかさぁ。

小松 「次はなんだろう？」って考えると、恐ろしいですよね。

谷川 いや、僕はモグあたりが痴漢か何かで捕まりそうな気がするんだけど……。それで、犯罪者の務める会社の上司が僕ということで会社が危なくなるとか……。

——それはいくらなんでも、スケールが小さすぎるだろ（笑）。

山本 まあ、そんな苦境の中で、ボブ・サップだけは相変わらず調子いいのかぁ？

——ウチは苦境なのか？（笑）。

谷川 まあ、サップは絶好調ですね。CMは10本くらい決まってますし、CDも出しますし、フジテレビでも局の顔みたいな形で起用されたりとか。今、日本でいちばん忙しいタレントですよ。マネージャーもいないのに、フル稼働で働いていますから。

山本 でも、そんなに忙しいと、さすがに本人もそろそろ嫌気がさしてくるだろう？

谷川 いや、それが「K—1のために尽くせて嬉しい」っていう感じなんですよ。

山本 見上げた男だなぁ。モグっ！ おまえも『SRS・DX』に対してそれぐらいの気持ちを持てっ！

小松 何を言ってるんですか。毎日毎日、身を粉にして、尽くしすぎるほど尽くしてるじゃないですか。

——んあ〜！

谷川 まあ、K—1の話はそれぐらいにして、今日は『WRESTLE—1』（以下、『W—1』）の総括をお願いします。まあ、『週プロ』を始めとして専門誌マスコミやプロレスファンからは非難轟々なんですけど、山本さんはそういう反応をどう思いますか？

山本 モグはどう思うんだぁ？

小松 えっ、僕ですか？ まあ……、面白いイベントだったな、と。人をそれだけ怒らせるイベントだったんですから。

谷川 大会を見た時はどう思ったの？

小松 見てる時は「全体的にキツイな……」って感じはあったんですけど。

山本 まあ、今回の『W—1』の一番の問題点は東京ドームでやったということだよねぇ。東京ドームという器が支配してるムードってあるでしょ。そのムードと『W—1』がうまくスイングしたかという問題があるよねぇ。あの『W—1』のクオリティを見せようとするんだったら、べつにドームでやる必要はなかったわけよぉ。でも、正直言って俺は一番前の席で見たから、最高に楽しめた興行だったよぉ。

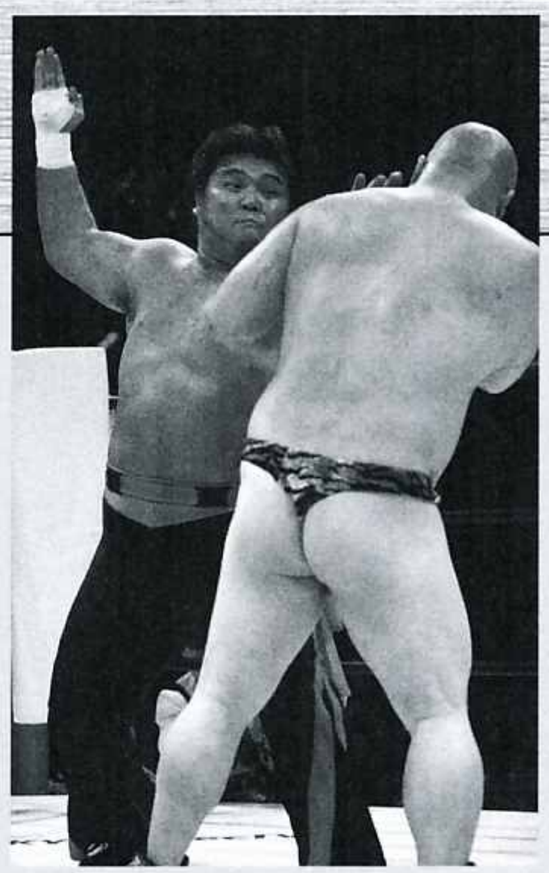
谷川 モグは巷の批判についてはどう思ってるの？ たとえば『週プロ』の論調とかは。

小松 まあ、ベタなやり方だなあ、と思いますけどね。「そんなに難癖つけなくてもいいのになあ」と思いましたけどね。ズバリ言って、非常にアス・ホールが小さいというか。

山本 モグも力強くなったなぁ。

小松 でも、やっぱりプロレスファンの

一見するとバッシングばかりのように見えてるわけよぉ



感情を逆撫でしたのは確かなんじゃないですか。ジョー・サンなんかに関しても「なんであんな弱いヤツを橋本に当てるんだ！」って、僕の友だちも怒ってましたから。

――「友だちも怒ってた」って、おまえの立場はいったいなんだ？（笑）。座談会なんだからマスコミの立場でモノを言えよ。

谷川　えーっと、僕はあんまり浮世にいないのでよく分からないんですけど……。

――んあ～！

谷川　『W―1』って、本当にそんなに評判悪いんですか？

山本　現象的には真っ二つに分かれてるんですよぉ。今までプロレスを見てきた人たちの既成概念とか価値観っていうのがあるでしょ。それと、今までのプロレスの知識がまったくない人たち。既成概念がある人たちは、今まで見てきたものに愛着とか思い入れがあるから、『W―1』に対するアレルギーを起こしてバッシングをしてるわけですよぉ。でも、既成概念がない人たちは面白いと思ってる。こういう両立現象が出ている、と。そこでやっぱり専門誌は業界的に「これまでのプロレスを擁護する」という形で、批判的意見ばかりが出てくるわけなんですよぉ。インターネットとかも、コアなファンたちの場だからバッシングをしてるわけよぉ。

谷川　ふんふんふん。

山本　ところが既成概念がない人たちは「面白かった」と思っていても、その意見を出す場もないから出てこないわけよぉ。だから、一見するとバッシングばかりのように見えてるわけよぉ。

小松　でもホントにここ数年間で、あれほどバッシングが出てきたイベントも珍しいですね。

山本　でも、あのバッシングはマニアの人たちの声だから、総体的意見であるかということは言えないんだよねぇ。まあ、コアなファンたちが批判しやすい土壌を生んだイベントであったということは言えるよなぁ。専門誌の記者たちも、ほぼオールすべてぜ～んぶがそういうスタンスを取ってるからなぁ。

谷川　でも、プロレスファンからも叩かれ、K―1ファンからも叩かれという形で、現象としては珍しいですよね。

山本　K―1ファンも叩いてるん？

谷川　K―1GPチャンピオンのホーストが『W―1』のリングに上がったことに対しては、やっぱり怒ってますよ。

小松　「K―1をナメるな！」って。

山本　でも、それが多数派なのかどうかというのは、俺は疑問なんだよなぁ。

谷川　でも、批判している大部分はコアなプロレスファンとか、プロレス側の人たちなんですけどね。僕はノアの武道館大会の試合とかも凄いと思いますけど、面白さという点では『W―1』のほうが、はるかに面白いと思うんですよ。

山本　まあ、俺も前回の座談会で絶賛したけど、あれはたまたま1・10ノアの武道館大会に「全日本の四天王プロレス的空間」があったというわけだからぁ。でも、それはもともと時代の主流派じゃなかったんだよねぇ。あれはあくまでも馬場さんの箱庭的世界があの場に現出したというだけであってさぁ、やっぱり新日本プロレスのほうが何度も大きな波を起こしてきたわけだからねぇ。

谷川　そういうことを加味したとしても、僕には『W―1』のほうが面白かったと思うんですけどねぇ。

山本　まあ、現代においては、はっきり言うけど谷川プロデューサーの感性はちょっと飛び抜けてるんだよねぇ。その感性は誰にも伝わってないし、時代を超えてるわけですよぉ。でも、谷川プロデューサーは『W―1』を新たな時代におけるテレビ的なバラエティとしての挑戦みたいな形で評価してるわけだよなぁ。

谷川　ええ、そうでもあるし、やっぱりそうなることによってプロレスという形態が改めて見つめ直されるいいソフトになるのかなあと思っていますけどね。

山本　それをプロレスと結びつけて考えるか、断固として「あれはプロレスではない」と定義して切り離して考えるか、『W―1』を考える上ではそこが重要なんですよぉ。

谷川　でも、プロレスと切り離すことによって、結果的に「プロレスは面白かった」という話になるんじゃないですかねぇ。

山本　「プロレスが一番面白かった」と過去形では言えるんだけど、「プロレスを面白い」と現在進行形で証明するものが現代にはないんだよぉ。あくまでも「面白かった」だけなんですよぉ。でも、その点で『W―1』は現在進行形でしょ。そこでまたイレギュラーが起こるわけですよぉ。

谷川　そこで山本さんにぜひ『W―1』を定義してもらいたいんですけど。

山本　……へ？

――ぷぷぷぷっ！

山本　『W―1』を定義する……？

谷川　ええ、してください。

山本　それは簡単ですよぉ！　『W―1』に興味を持ってる人たちは、よ～するに「プロレス」という4文字の価値観に関わる必要がない人たちでしょ。ハッキリ言って、真っ白けの状態で新しいバラエティを見るようなもんなんだからぁ。よ～するに我々も『W―1』を見る場合は、己をオールすべてぜ～んぶリセットして見るしかないんですよぉ。そこで俺は『W―1』を楽しめたんだから、ちゃんとリセットできたんだよねぇ。逆説的に言えば、あれを楽しめないということは、自分の中にリセット機能が備わってないということですよぉ。

谷川　定義すると、『W―1』は既成のプロレスの価値観をリセットして見るものだということですか？

山本　いや、定義しようとするなら、プロレスと切り離して新たなジャンルとして見なきゃいかん。

谷川　そこからさらに定義すると？

山本　……定義はできないねぇ、今のところは。新たなるバラエティみたいなものだからなぁ。なぜかというと、『W―1』そのものがまだ核心を衝いた本質とか、フォルムとか、そういうものを見せきっていないから。で、やっぱりある程度はプロレスの尾てい骨を背負った形でやっているでしょ。あの場に出ていくのはプロレスラーと格闘家だから、最後にはやっぱり「プロレス」という4文字がくっついてくるからねぇ。

谷川　モグ、それでいいの？　定義は。

小松　さあ、僕に言われても……。

己をオールすべてぜ～んぶリセットして見るしかないんですよぉ

——さあ、じゃあここでようやく今日の本題に入りますか（笑）。

谷川 ここからが本題？

小松 今日はずいぶんと長い前フリですね。

山本 でも、まだイベントの概念が具体化してないから俺には『W—1』はまだ定義できないよぉ。

——そう思ってる山本さんのためにも、ここで本題に入りましょう（笑）。やっぱりね、『W—1』を語るには、WJを語らないとダメですね。ここで重要なキーワードは長州力が言った言葉なんですよ。そこから考えないと、この座談会は機能しないですよ。

山本 ……？

小松 なんか、山本さんが機能停止してますけど。

——WJというか長州力が「2003年3月1日を期に、業界のど真ん中を歩かせてもらいます」って言ってるでしょ。そこで、その「ど真ん中」ってなんなのか。

谷川 山本さん、長州さんの言ってる「ど真ん中」ってなんですか？

山本 長州が言った「ど真ん中」は、リングの真ん中っていうことなんだよねぇ。

谷川 ええ～っ！

——それは超衝撃的な解釈だ！（笑）。

山本 長州と馬場さんは一緒なんですよぉ。馬場さんは、とにかくゴングが鳴ったら「先にリングのセンターを取れ！」と言ったんですよぉ。真ん中を取ってパッと構えれば、相手は周りをグルグル回るから、と。これが馬場さん流「ど真ん中の思想」なんですよぉ。これを実践した時に、相手との格の違いを見せられる、と。で、長州が言う「ど真ん中」はロックアップのことなんですよぉ。リングのセンターでロックアップすることによって、お互いの力量を確認し合って信頼関係が生まれるんだということなんですよぉ。よ～するに体育会系の「分かったな？」「分かっただろ？」という確認というか、理解が長州流「ど真ん中の思想」なんですよぉ。

谷川 僕は長州さんのことはよく存じ上げないんですけど、今の山本さんの「ど真ん中の思想」は違うと思うんですけど……。

——今の山本さんの論は、ズバリ言って山本流大妄想というかね（笑）。

山本 まあ、概念的に言うならば、マット界のメインストリートを通りますよ、ということでしょ。「WJはど真ん中を歩かせてもらいますよ」ということで、彼らはマット界の生態系の真ん中を取るという宣言というか、宣戦布告ですよぉ。

谷川 じゃあ、その「生態系のど真ん中」というのはなんのことなんですか？

——相変わらず、プロレスに対してはシューターだなあ（笑）。

山本 それはよ～するに、新日本プロレスの会社が南青山にあった時に長州は自分たちのことを「青山」と言ったり、新日本プロレスのことを「ウチは……」と言ってたでしょ。つまり自分たちがマット界の中心軸にあって、「新日本プロレスがコケたら、プロレス界がコケる」という考え方が長州のど真ん中の思想だったわけですよぉ。つまり、「新日本プロレス＝ど真ん中」だったわけです。で、今度は新日本プロレスに代わってWJが「ど真ん中を取ります」ということを言ってるわけで、長州の中では敵は新日本プロレスしかないということなんだよねぇ。だから、マット界のど真ん中というよりも、新日本にとって代わるという個人的な怨念に支えられたもので、「ど真ん中＝恨み」という図式から出た言葉なんだよねぇ。

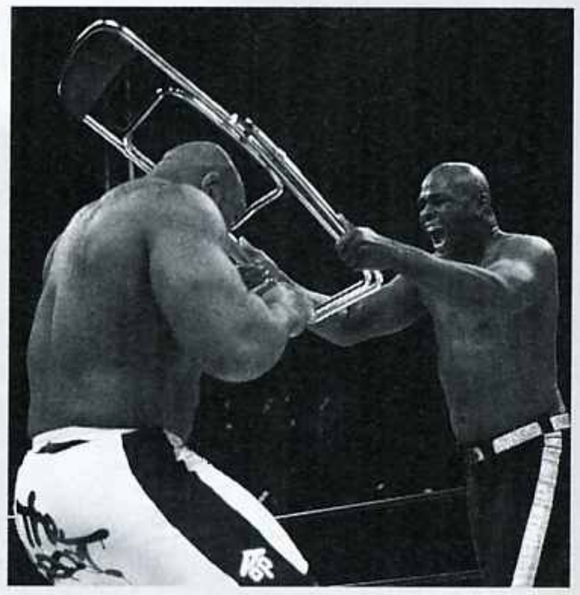
——でも、それを真ん中って思ってることが、今のプロレス界を表してるんですよね。

山本 俺は長州の言う「ど真ん中」と聞いた時に「格闘技系が関わってこられない場」というイメージを思い描いたんだよねぇ。実際には『プライド』とかK—1がマット界の主流になってるんだけど、長州が「ど真ん中」という言い方をした場合にはK—1と『プライド』はあくまでもメインストリートではないという彼一流の言語的トリックというか、格闘技を排除するための「ど真ん中の思想」というかさぁ。つまり「こういう言い方をしたら、プロレスファンに届くんじゃないか」という思考から出た言葉だと思うんですよぉ。

谷川 でも、それは凄く分かりにくい「ど真ん中」ですねぇ。

——いや、これは凄く分かりやすいんだよ。その考え方が今のプロレス界全体を表してるからね。要するにプロレスっていうものの「価値観のど真ん中」っていうことを長州は言ってるわけでしょ。「俺が真のプロレスの価値観を体現してるんだ！」っていうことを言いたいがための「ど真ん中」なわけですよね（笑）。で、「プロレスの価値観のメインストリート」というか「ど真ん中」って何かといったらそれは本来、大衆のものでしょ。それは力道山の時代から考えても明らかなことでね。「プロレスってなんだ？」っていったら、それは明々白々で「大衆」のものなんですよ。

山本 大衆というか、時代背景というか、時代の気分とか、そういうものだよねぇ。



——で、その大衆を背景にしたジャンルをちょっと崩したのが猪木さんだったじゃないですか。それが、その時代の中ではサブカルチャー、つまり「サブ」って捉えられたわけですよね。ところが、それが「プロレスのど真ん中」になっちゃったわけですよ。でも、K—1と『プライド』が何をやったかというと、「サブ」から「大衆」に戻したんですよ。で、『W—1』っていうのはまさにその流れじゃないですか。

谷川 ふんふんふん。

山本 今のプロレスはサブカルチャーよりも下だよねぇ。

——まあ、プロレスっていうものは猪木さん以降もメインストリートから外れたもので世間の注目を浴びていくという猪木さんのやり方に走ったわけですよ。そういう状況の中で、もともと真のプロレスが背負っていた「大衆という時代背景」とか「大衆そのもの」を相手にしたのがK—1であり、『プライド』であった、と。それが大きなマーケットになって、そのマーケットのメインストリートを着実に歩んできたのがK—1と『プライド』なわけですよ。

山本 でも、『W—1』がK—1や『プライド』の流れを汲むとしたら、あまり

つまり、「新日本プロレス＝ど真ん中」だったわけです

にも『W—1』のフォルムはプロレスに似すぎている気がするなぁ。

谷川 プロレスという形態ですよね。まあ、どう見てもプロレスですからね（笑）。

山本 そこでプロレスの中の新種という言い方もできそうでできないし、果たして異種なのか突然変異なのか奇種なのか。いずれにしてもやっぱり『W—1』はプロレスなんだよねぇ。

——それはプロレスという価値観の問題で、『W—1』にはどんな意味があるかっていったら、やっぱりターゲットは「大衆」っていうことですよ。その一方でWJが「ど真ん中」って言った時に「そのど真ん中って何？」っていう話になるじゃないですか。

小松 そっちは「コア」ってことですよね。

——だから、今回の『W—1』に対するプロレス専門誌の批判の仕方っていうのは、本当に驚くべき「ど真ん中の思想」の成せる業というかね。「プロレスファンを逆撫でした」って言うけど、そのプロレスファンというものの存在自体がプロレス村の「ど真ん中」ってことじゃないですか。で、冷静に考えればその「ど真ん中」ほど「大衆」とかけ離れたものはないというかね。でも、なんでそこまでかけ離れちゃったのかなあって思いもありますよね。

谷川 モグはその「ど真ん中」なの？

小松 いや、そう言われて考えると、喜ぶべきことに僕は超崖っぷちですね。

——まあ、そういう「ど真ん中」がいる一方で、大衆のフィールドであるテレビとかを専門誌媒体が敵視したり、ある意味ではメディアとしてバカにしたりするわけですよ。でも、それは餓死寸前なのに高楊枝をくわえて見てるみたいなもんですからね（笑）。

谷川 まあ、せいぜい10万人くらいのパイの中でのことだからね。

——さっき山本さんは「サダハルンバの言ってることがみんなに理解されない」って言ったけど、それは悪い意味での「ど真ん中」にいる人たちには理解されないですよ。

谷川 僕はキャッチボールをするとストライクしか投げられないんだよねえ。どんな体勢で投げてもズバッと相手の胸に行くから。

小松 んあ～！

——まあ、逆に言えばプロレスの「ど真ん中」の人がいかに少ないかっていう話じゃないですか。だからこそ、サダハルンバが将軍になっちゃうわけですよ（笑）。大衆にとっては至極当然で当たり前なことがプロレスの「ど真ん中」には通用しないわけですから。で、猪木さんの時代からサブカルチャーというもので「人に理解されない」とか、「選ばれし者の特権である」とか、そういうことに価値観を抱いていたのがプロレスというジャンルであって、確かにそういう逃げ込み方をしてきたと思うんですよ。で、そこに価値観を持ってきてしまったことが今のイレギュラーを生んでいるわけですよね。

山本 そういうことです！

——そこで『W—1』を考えた時に、「プロレスをバカにするな！」という意見と「K—1をバカにするな！」という意見のどっちが多いかといったら、後者のほうが圧倒的に多いに決まってると思うのが自然なんですよ。その熱量はともかくとして、数としては圧倒的にK—1側ですよね。プロレスから見たらK—1は勝負にならないほど圧倒的な数を持ってるわけですから。で、それを「ど真ん中」って捉えたとしたら「そんな話がある の？」っていうぐらいの世界なわけですよ。

谷川 僕はさあ、『W—1』でサップVSホースト戦の後に「プロレスをナメるな！」って声を聞いてビックリしたんだよねえ。

——ダハハハッ！

谷川 「え？？？ そっち……？ 『K—1をナメるな！』じゃないのお？」って。

——サダハルンバとしては「正しいど真ん中」を体感してるから、ごくごく自然に「K—1をナメるな！」っていう声が圧倒的大多数だと潜在的に思ってるわけですよ（笑）。

山本 俺はただただ、無邪気に楽しんでただけどねぇ。

——いや、それが大多数で、まさに「大衆」なんですよ。大衆にとってはいいも悪いもなくて「面白かった」「つまらなかった」でいいんだと思うんですよ。

山本 ああっ！ 俺は今の言葉を聞いて分かったっ！ 『W—1』を批判してる「ど真ん中」の人たちは、ハッキリ言ってプロレスファンとして明らかに絶望のレベルが浅いねぇ。

——ダハハハハッ！

山本 絶望の深度が浅すぎますよぉ。『W—1』を見て「プロレスをナメるな！」と言ってるレベルは、俺から見たら寒いよなぁ。俺みたいにプロレスをずっと見てきて、「果たしてここから這い上がれるのか？」という絶望感を何度も何度も味わった立場からすると、『W—1』はあれでもけっこう楽しいんですよぉ。そのレベルまで行かないとダメよぉ。

——だから、「大衆に迎合するのはダメだ」とかね、そういう話じゃないんですよ。山本さんが言うように、絶望を味わったかどうかっていうハードルの高さの問題が、イベントを楽しめるかどうかの尺度になるわけですよ。

山本 これまで、いかに絶望を味わったかということが最も重要なことだなぁ。絶望を味わったということは、それに対していかに真剣に対峙していたかということだからさぁ。それはそういう濃密な時間の中で、いかに多くのものに期待したかということだよなぁ。それを経験してきていれば、リセット機能が備わってるわけですよぉ。それがあれば、いくらでも大衆の領域に入れるからねぇ。

——まあ、大事なのはそこですよ。その絶望の数を無視して、そこを飛び越えて「面白かった」って言うと大衆に迎合してるっていうことになるわけですから。

谷川 えーっと、僕もバリバリ絶望してきましたよ。

——絶望知らずの国から夢と希望を伝えに来てる人が、何か言ってますよ（笑）。

山本 人生に「絶望」の二文字がない男が何を言うかぁ！

谷川 いやいや、ホントに何回も絶望してきましたよ、プロレスには。

——今のこのK—1の状況にも何ひとつ絶望しない男が、プロレスには絶望しましたか（笑）。恐るべし、プロレスだな。

「ど真ん中」の人たちは、ハッキリ言って絶望のレベルが浅いねぇ

谷川 K—1は希望に満ち満ちてるけど、プロレスはやっぱり格闘技側の人に負けたりとか、凄く期待して見に行ってスカされたりとかいろいろありましたもん。

山本 まあ、プロレスの歴史を振り返ってみると、絶望しかかっていた時に救ってくれたのが猪木さんで、馬場さんも違った形で俺たちの駆け込み寺になってくれた。そういう絶望を救ってくれる猪木・馬場という存在がいたんだけど、それが今はいないんだから『W—1』に行くしかねえじゃねえか。あるいはK—1や『プライド』に行くしかないでしょ。

谷川 僕は馬場さんの「ど真ん中」っていうのは凄く分かるんですよ。でも、長州さんとか新日本の「ど真ん中」っていうのは分からないなあ。

——まあ、馬場さんこそ真の「正しいど真ん中」を走ってましたよね。

山本 いや、馬場さんの場合は「宇宙のど真ん中」なんですよぉ。

谷川 ああ、だから僕にはよく理解できるんだあ。

——んあ〜！

山本 プロレス界とかマット界じゃなくて、宇宙のど真ん中にドカーンと座ってたからねぇ。

谷川 史上稀に見た「本物のど真ん中」ですよね。

——まあ、馬場さんという、その「大いなるど真ん中」があったから、脇の道を走った猪木さんが光ったわけですよ。で、その時代では、端っこの存在だった猪木さんに大衆が付いたわけですよ。でも、長州とか新日本の「ど真ん中」にまだ価値観を持ってるプロレス村というか専門誌業界、そこに価値観を持ってる「ど真ん中」が問題なわけだよね。やっぱり大衆を相手にしたものが「クオリティが低い」とか「くだらない」とか、そういう価値観でしか物事を見られないのがダメな「ど真ん中の思想」ですよね（笑）。だってWWEを見てみれば分かるけど、レスラーたちがプロレスをできる、できないなんていうことは日本限定の「ど真ん中」の話であって、アメリカにおけるWWEの「ど真ん中」は何かって考えたら、それはまさにマクマホン一家でしょう。

谷川 今回の「ファー・イースト・ツアー」で言ったらステファニーとかね。

——で、「マクマホン一家とは何か？」って考えたら、プロレスにおけるサブカルチャーで、それは猪木さんがやってきた役割じゃないですか。WWEに馬場さん的なプロレスのフォルムというメインストリートがあった場合、それだけでアメリカでWWEが走れた要因ではないでしょう。そこにマクマホン一家という猪木的なハレンチ極まりないサブカルチャーが入ったわけですよね。それを含めたものを提示できたから、アメリカの大衆の「ど真ん中」を突っ走れたわけですよ。

山本 あ、そうかぁ……。

——今回のWWEの来日にしたって、レスラーたちがいかに日本のプロレス的価値観から見たグレードの高いプロレスをしようが、ステファニーひとりの存在のほうが圧倒的に説得力があるわけでしょう。つまり、それが「大衆」ということだからね。

谷川 あのステファニーっていう女性はマクマホン一家の人なの？

——んあ〜！（笑）。

山本 今の言葉を聞いただけで無敵のプロデューサーということが分かるなぁ。

小松 ステファニーはビンスの娘です。

谷川 それはギミックじゃなくて？

小松 本当の娘ですよ。

谷川 それは凄いことだなあ。

小松 んあ〜！

——まあ、俺もどう見たってそこにしか目が行かないよね。

谷川 でも、なんでプロレス専門誌はステファニーを表紙にしなかったんだろう？

——「ど真ん中」と見る視点が備わってないからでしょ。その歪み方がまさしく日本のプロレス村の「ど真ん中」だから（笑）。そこが大きな価値観の差ということだよね。つまり「ど真ん中」はWWEをまったく理解してないってことなんだろうね。

山本 そこから考えると、今のコアなプロレスファンやプロレスマスコミは『W—1』にとってのウイルスみたいなもんかなぁ。

——いや、『W—1』がそれをリセットできるかどうかが、ひとつの課題じゃないですか。そういう意味では『プライド』はそういうプロレスファンをリセットしてきたと思いますからね。まあ、『W—1』はプロレスとは違うという価値観でいいと思いますけどね。

山本 そのプロレスとは違う価値観というのはいったいなんなのかということだよぉ。

——「そこまで含めてプロレス」ということですよ。プロレスを概念とフォルムに分けたら、フォルムは簡単なことじゃないですか。ところが概念が難しいわけですよ。それを広く取るか、狭く深く取るかっていう話であって。だって、芸術的な深みで捉えるとしたら『W—1』なんて話にならないですよ。でも、概念として広く取れば『W—1』にしろ、K—1にしろ、『プライド』にしろ、プロレスであるという概念でいいわけですよね。まあ、フジテレビは「バトル・エンターテインメント」って言い方で、一切「プロレス」という言葉を使っていないけど、それがプロレスというフォルムであり、概念としても広げてしまえばプロレスでしょう。ところが、狭く取れば「サップVSホーストはあんな試合でいいのか？」という問題になるわけじゃないですか。これまでさんざん言ってきたけど、名勝負なんて何年に1試合あるかどうかっていうもので、今のプロレスの状況でそんなものがポンポン出てくるわけがないんだから。

山本 まあ、それは期待できないからなぁ。

——たとえば、橋本VSジョー・サンのカードで『W—1』が認められるとしたら、橋本が観客を感動させて泣かせるくらい

プロレスから『WRESTLE-1』を考える 座談会

俺は絶望しない。それは「長州VS天龍」と俺の勝負だからぁ

の試合をした瞬間に『W—1』は何かが変わると思うんですよ。真のエンターテインメントっていうのは、橋本VSジョー・サン戦で笑ってるだけじゃダメで、あのカードで感動の涙を生まないとダメですからね。

山本 でも、その対応力が今のファイターやレスラーにあるのかというと、俺は疑問だなぁ。それは凄い想像力が必要になってくるからなぁ。

——でも、真のエンターテインメントに仕立て上げるのは、最終的にはカードを組まれた選手というか表現者の問題ですからね。

山本 でも、それはもうレスラーには無理だなぁ。

——そこで、分かりやすい例を挙げるとしたら、WWEでビンス・マクマホンがバンプを取ったということですよ。プロデュース側がバンプを取った瞬間に、レスラーは一気に同列になっちゃうんですよね。「背広組が何を言ってるんだ！」とは言えなくなっちゃう。

谷川 僕もバンプは……取れるなあ。

——んあ～！（笑）。

山本 まあ、日本の場合はそれは難しいから、選手たちをしっかりと完全コントロールするしかないだろうなぁ。

——まあ、本当に大衆に認められて、ボブ・サップみたいに自分の感性と想像力をどれだけ働かせられるかですよね。

山本 ちゃんと考えたら、メチャクチャ簡単なことなんだよねぇ。

——WJは長州VS天龍の6連戦があるけど、そこで想像力を湧かせるのが狭い取り方の「ど真ん中」なんだろうけど、大衆とはまったくかけ離れてるからね（笑）。逆の意味では最も「ど真ん中」から遠いでしょう。

谷川 山本さんはそれを見に行くんですか。

山本 俺は見届けますよぉ！

谷川 また絶望しに行くようなもんじゃないですか（笑）。

山本 いや、俺は絶望しない。それは「長州VS天龍」と俺の勝負だからぁ。

——ダハハハハッ！ そこでもちゃんと超誇大妄想が働いてるわけだ（笑）。

山本 それは絶望を超えた快感ですよぉ。長州と天龍と俺の巨大な三角関係の勝負だからねぇ。まあ、それは俺が俺自身に興味があるということなんですよぉ。

——凄まじいナルシストだ（笑）。

谷川 ところでさぁ、「WJ」ってなんの略なの？

小松 「ワールド・ジャパン・プロレス」ですよ。

谷川 ええーっ！ 「レスリングなんとか」の略だと思ってたよぉ。「世界・日本」なのぉ？ワケが分からないなあ。

——じゃあ、「J」は何？（笑）。

谷川 「J」……「J」……、「ジャングル」とか……。

小松 「密林のレスリング」ですか。

山本 密林に人なんかいないんだから、そんなもん、動物しか見に来ませんよぉ！

小松 いや、密林には人が唯一いるじゃないですか……、ターザンが（笑）。

山本 うむむむっ！ ■

2/14FRI～2/27THU

CALENDAR

2/14 FRI
★『SRS・DX』88号発売日

2/15 SAT
■U-STYLE/東京・ディファ有明（19:00～）⬅p47
◆K1 WORLD GP 2003/チケット一斉発売⬅p46

2/16 SUN
■パンクラス/グランキューブ大阪（16:00～）⬅p48
■新日本キック協会/東京・ディファ有明（16:00～）⬅p49
■IKUSA/東京・渋谷Club WOMB（16:00～）⬅p49
◆PRIDE.25/チケット一斉発売⬅p47

2/17 MON
◆EXPLOSION2（MA日本キック連盟）/チケット発売⬅p49

2/18 TUE

2/19 WED

2/20 THU

2/21 FRI

2/22 SAT
■一撃/東京・日本武道館（13:00～）⬅p46
■日本キック連盟/東京・後楽園ホール（17:30～）⬅p48

2/23 SUN
■修斗/東京・後楽園ホール（18:00～）⬅p47
■R.I.S.E/ゴールドジムサウス東京ANNEX（16:30～）⬅p50

2/24 MON

2/25 TUE

2/26 WED

2/27 THU
★『SRS・DX』89号発売日

格闘技 パーフェクトガイド

Perfect Guide

大会ガイド&チケット情報 ……P.46
バックナンバーインフォメーション …P.51
浅草キッドのイチ押しイベント ……P.52
SRS番組インフォメーション ……P.69
TV GUIDE ……P.70
VIDEO & DVD ……P.72
GOODS/GAME……P.73
ET CETRA ……P.74
SHOP GUIDE ……P.75
北斗占い ……P.76

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

DEEP

DEEP 8th IMPACT
3月4日（火）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30　フューチャーファイト開始/18:00
◆入場料/VIP席（最前列・パンフレット付）20,000円　RS席12,000円　A席10,000円　B席7,000円　C席5,000円　※当日は全席種500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、eプラス、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、デポマート☎03-3515-6507、TOKYO文庫タワー☎03-5784-4900、BATTLE PLACE☎03-3881-7770、格闘技プロショップイサミ、パンクラス☎03-5792-0815、DEEP事務局☎052-339-0303
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

上山龍紀 vs 桜井"マッハ"速人
（U-FILE CAMP.com）　（修斗マッハ道場）

三島☆ド根性ノ助 vs ファビオ・メロ
（総合格闘技コブラ会）　（ブラジリアン・トップチーム）

渋谷修身 vs 滑川康仁
（パンクラスism）　（フリー）

大久保一樹、佐々木恭介 vs 一宮章一、スペル・パピヨン
（U-FILE CAMP.com）　（フリー）　（チーム・ガチ）

入江秀忠 vs 藤沼弘秀
（キングダム・エルガイツ）　（荒武者総合格闘術）

竹内コウジ vs 西内太志郎
（シューティングジム横浜）　（U-FILE CAMP.com）

TAISHO vs 亀田雅史
（バルボーザ&NBJC）　（総合格闘技道場コブラ会）

SMACK GIRL

格闘エンタテイメントSMACK GIRL Third Season
3月3日（月）東京・velfarre

◆開場/18:30　試合開始/19:30
◆入場料/ロイヤルVIP指定席（食事付）20,000円　VIP指定席10,000円　SRS指定席5,000円　スタンディング2,500円
※当日はSRS指定席、スタンディングが500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ
◆会場アクセス/営団地下鉄日比谷線・都営地下鉄大江戸線六本木駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/スマックガール実行委員会☎03-5545-4766

K-1 ワールドシリーズ

K-1 WORLD GP 2003 inさいたま
3月30日（日）さいたまスーパーアリーナ

◆開場/14:00　試合開始/16:00
◆入場料/SRS席32,000円　RS席20,000円　S席10,000円　A席6,000円
◆チケット発売/一斉発売　2月15日（土）10:00～
◆チケット発売所/2月15日（土）【特電】ローソンチケット☎0570-00-0084（携帯・PHS不可）、CNプレイガイド☎03-5802-9911、キョードー東京☎03-3498-9966、チケットぴあ、eプラス
2月16日（日）ローソンチケット☎0570-00-0903（Lコード：35350）、CNプレイガイド☎03-5802-9999、キョードー東京、チケットぴあ、eプラス
◆お問い合わせ/キョードー東京☎03-3498-9999

出場予定選手

アーネストホースト
（オランダ/ボスジム）

ボブ・サップ
（アメリカ/チーム・ビースト）

ピーター・アーツ
（オランダ/メジロジム）

ミルコ・クロコップ
（クロアチア/クロコップ・スクワッド・ジム）

マーク・ハント
（ニュージーランド/リバプール・キックボクシングジム）

レイ・セフォー
（ニュージーランド/アメリカン・プレゼント・ボクシングジム）

一撃実行委員会

一撃
2月22日（土）　東京・日本武道館

◆開場/12:00　試合開始/13:00
◆入場料/SRS席20,000円（記念品付き）　RS席15,000円　S席10,000円　A席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、一撃ショップ☎03-5785-1608
◆お問い合わせ/一撃実行委員会☎03-5960-7522

決定対戦カード

〈カラテマッチ〉

リュージ・イソベ vs 松岡朋彦
（極真会館ブラジル支部）　（極真会館兵庫支部）

エミル・コストブ vs 木立裕之
（極真会館ブルガリア支部）　（極真会館本部直轄浅草道場）

エヴェルトン・テセイラ vs 加藤達哉
（極真会館ブラジル支部）　（正道会館）

〈一撃グローブマッチ〉

スーパーチャージ・ヴィーモア vs 松本哉朗
（タイ）　（藤本ジム）

アレキサンダー・ピチュクノフ vs グレート草津
（極真会館ロシア支部）　（チーム・アンディ）

グラウベ・フェイトーザ vs パヴェル・マイヤー
（極真会館ブラジル支部）　（チェコ/ハヌマンジム・プラハ）

野地竜太 vs ユルゲン・クルト
（極真会館総本部）　（スウェーデン/ヴァレンテュナボクシング・キャンプ）

K-1 ワールドMAX

K-1 WORLD MAX ～日本代表決定トーナメント～
3月1日（土）東京・有明コロシアム

◆開場/15:00　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席20,000円　スタンドS席10,000円　スタンドA席6,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、キョードー東京、eプラス
◆お問い合わせ/キョードー東京☎03-3498-9999

決定対戦カード

- 魔裟斗（シルバーウルフ）
- 須藤元気（ビバリーヒルズ柔術クラブ）
- 村浜武洋（大阪プロレス）
- 阿部裕幸（AACC）
- 武田幸三（治政館ジム）
- 小次郎（ウィラサクレックジム）
- 小比類巻貴之（黒崎道場）
- 大野崇（insprit）

〈リザーブマッチ〉

清水貴彦 vs 安廣一哉
（超越塾）　（正道会館）

〈スーパーファイト〉

アルバート・クラウス vs マイク・ザンビディス
（オランダ/ブリーズジム）　（オーストラリア）

K-1

一撃

修斗

プロフェッショナル修斗公式戦
2月23日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00　◆入場料/RS席10,000円　SS席8,000円　S席6,000円　A席4,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、書泉ブックマート、大盛堂書店、フィットネスショップ水道橋店、後楽園ホール、KEEL CAFE☎03-5725-7338、チケット＆トラベルT-1☎03-5275-2778、e-ticket：http://www.eticket.net/、東京イサミ、パレストラ東京　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

決定対戦カード

ダスティン・デニスvs山下志功
（ブラジリアン・トップチーム）　（パレストラ東京）

〈修斗フェザー級サバイバー・トーナメント準決勝〉

野中公人vs松根良太
（PUREBRED大宮）　（パレストラ松戸）

〈修斗フェザー級サバイバー・トーナメント準決勝〉

今泉堅太郎vs勝村周一朗
（SKアブソリュート）　（K'z FACTORY）

八隅孝平vs山崎剛
（パレストラ東京）　（TEAM GRABAKA）

出場予定選手

五味隆典
（木口道場レスリング教室）

タイガー石井
（パレストラ吉祥寺）

星野育蒔
（DB55）

プロフェッショナル修斗公式戦
3月18日（火）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:30　◆入場料/RS席10,000円　SS席8,000円　S席6,000円　A席4,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、書泉ブックマート、大盛堂書店、フィットネスショップ水道橋店、後楽園ホール、KEEL CAFE☎03-5725-7338、チケット＆トラベルT-1☎03-5275-2778、e-ticket：http://www.eticket.net/　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

出場予定選手

佐藤ルミナ
（K'z FACTORY）

SHOOTO GIG CENTRAL vol.3
3月30日（日）　愛知・名古屋市公会堂4Fホール

◆開場/14:00　試合開始/15:00　◆入場料/RS席8,000円　S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ　◆会場アクセス/JR鶴舞駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/アライブ☎052-744-0802

決定対戦カード

杉江"アマゾン"大輔vs大河内貴之
（ALIVE）　（パレストラ東京）

藤原正人vs松下直揮
（パレストラ東京）　（ALIVE）

梅村寛vs喜多浩樹
（ALIVE小牧）　（パレストラ東京）

〈ブラジリアン柔術マッチ〉

宮本泰弘vs宮田卓郎
（柔専館）　（名古屋ブラジリアン柔術クラブ）

日沖発vs亀田雅史
（ALIVE）　（総合格闘技道場コブラ会）

木部亮vs外薗昌敏
（ALIVE）　（総合格闘技道場コブラ会）

〈新人王トーナメント・バンタム級1回戦〉

赤木康洋vs澤田健一
（ALIVE）　（パレストラ東京）

『ZST』事務局

THE BATTLE FIELD『ZST』2
3月9日（日）　Zepp Tokyo

◆開場/16:00　試合開始/17:00　◆入場料/VIP席（最前列・1ドリンク付）15,000円　SRS席（2列目）8,000円　S席6,000円　A席4,000円　自由席（チケットぴあのみで販売）3,000円　※当日は全席種千円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：594-770）☎0570-029-999、後楽園ホール、書泉ブックマート、ビデオショップ・チャンピオン、『ZST』オンラインショップ http://www.zst.jp/　◆会場アクセス/ゆりかもめ青海駅、臨海高速鉄道東京テレポート駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/『ZST』事務局☎03-5321-9595

決定対戦カード

小谷直之vs リッチ・クレメンティ
（ロデオスタイル）　（チーム・エクストリーム）

矢野卓見vs梅木繁之
（烏合会）　（SKアブソリュート）

レミギウス・モリカビュチスvs坪井淳浩
（リングス・リトアニア）　（フリー）

梁正基vs小野瀬哲也
（STAND）　（ストライプル）

所英男vs サンボ強豪選手
（チームPOD）

クリストファー・ヘイズマンvs X
（リングス・オーストラリア）

今成正和vs X
（TEAM ROKEN）

PRIDE

PRIDE.25
3月16日（日）　神奈川・横浜アリーナ

◆開場/15:30　試合開始/17:00（予定）　◆VIP席100,000円（専用入場ゲート・グッズ付）　RRS席28,000円　スタンドS席16,000円　スタンドA席7,000円　◆チケット発売/一斉発売　2月16日（日）　◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：594-700）、ローソンチケット（Lコード：30025）、CNプレイガイド、eプラス、サンクス、高田道場、グレート・アントニオ☎03-3219-9550、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、書泉ブックマート、フィットネスショップ格闘技、チケット＆トラベルT-1、後楽園ホール、渋谷TOKYO文庫TOWER、BCG☎03-3560-7911、相鉄ジョイナスプレイガイド、公武堂☎052-241-2511、新日本プロモーションhttp://www.shinnichi-pro.co.jp/、iTV2002PROJECT http://www.e-goraku.tv/、ドリームステージエンターテインメント、PRIDEオフィシャルサイト http://www.so-net.ne.jp/pride/　◆会場アクセス/JR東海道新幹線・横浜線新横浜駅、横浜市営地下鉄新横浜駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

決定対戦カード

〈PRIDEヘビー級チャンピオンシップ〉

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラvs エメリヤーエンコ・ヒョードル
（ブラジル/ブラジリアン・トップチーム）　（ロシア/ロシアン・トップチーム）

アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラvs 中村和裕
（ブラジル/ブラジリアン・トップチーム）　（吉田道場）

U-STYLE

PRO WRESTLING　U-STYLE旗揚げ興行
2月15日（土）　東京・ディファ有明

◆開場/18:00　試合開始/19:00　◆入場料/VIP（最前列・パーティー付）20,000円　SRS席7,000円　アリーナA席5,000円　アリーナB席4,000円　※全席種、当日券は500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス、BATTLE PLACE☎03-3881-7770、格闘技プロショップ東京イサミ、フィットネスショップ水道橋、大山アメリカン、TOKYO文庫タワー、書泉ブックマート、ビデオショップチャンピオン、レッスル渋谷、レッスル池袋、プロレスマニア館、後楽園ホール、ファイター、デポマート☎03-3515-6507、チケット＆トラベルT-1☎03-5275-2778、U-FILE CAMP（インターネットのみ）http://www.u-filecamp.com、DEEP事務局☎052-339-0303　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分　◆お問い合わせ/DEEP事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

田村潔司vs 坂田亘
（U-FILE CAMP.com）　（EVOLUTION）

村浜武洋vs 大久保一樹
（大阪プロレス）　（U-FILE CAMP.com）

上山龍紀vs 伊藤博之
（U-FILE CAMP.com）　（フリー）

滑川康二vs 佐々木恭介
（フリー）　（U-FILE CAMP.com）

原学vs 木村直生
（格闘探偵団バトラーツ）　（EVOLUTION）

藤井克久vs 越後隆
（UFO）　（U-FILE CAMP.com）

全日本キックボクシング連盟

全日本ライト級最強決定トーナメント
3月8日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:30（17:30フレッシュマンファイト開始）　◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　※当日は全席種1,000円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟　◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171　http://www.aj-kick.com

決定対戦カード

〈トーナメント出場決定選手〉
小林聡（藤原ジム）
金沢久幸（TEAM-1）
大月晴明（AJパブリックジム）
花戸忍（高橋道場）

〈全日本ウェルター級王座決定戦〉
三上洋一郎 vs 山内裕太郎
（S.V.G）　（AJパブリックジム）
増田博正vs前田尚紀
（ソーチタラダジム）　（藤原ジム）
ラビット関 vs 藤原あらし
（山木ジム）　（S.V.G）
島野智広 vs 関博司
（建武館）　（名古屋J.Kファクトリー）

日本キックボクシング連盟

2003　首領底シリーズ
2月22日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30　◆入場料/RS席10,000円　指定A席5,000円　指定B席3,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、ファイター　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

決定対戦カード

飯田誠一 vs 山田大輔
（町田金子）　（杉並）
神島雄一 vs 武笠則康
（勇和会鈴木）　（渡辺）
ジル vs 大村美憲
（勇和会鈴木）　（JK国際）

出場予定選手

竹村哲（村越）
※スネイルランプのヴォーカル。デビュー2戦目

Ticket Present！

2月22日（土）後楽園ホールで行われる日本キックボクシング連盟『2003　首領（どん）底シリーズ』の貴重な観戦チケット（大会ポスター付き）を『SRS・DX』読者2名様に先着順でプレゼント！　希望者はハガキに氏名、年齢、職業、住所、電話番号、今号の感想を明記のうえ、下記のあて先までご応募ください。なお当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆あて先/〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8階　SRS・DX編集部『2・22日本キック連盟チケットプレゼント』係

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
3月8日（土）東京・ディファ有明

◆開場/17:30　試合開始/18:30　◆入場料/SS席12,000円　リングサイドA席7,500円　リングサイドB席5,500円　立見4,000円　※当日券は全席種500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ☎0570-02-9999（Pコード：594-040）、ローソンチケット☎0570-00-0403（Pコード：37487）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップチャンピオン、マニア館、アイドール新宿店、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット＆トラベルT-1、格闘技・プロレス図書館　闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラスオフィシャルサイト http://www.pancrase.co.jp　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分　◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

〈ミドル級キング・オブ・パンクラスタイトルマッチ〉
ネイサン・マーコートvs竹内出
（アメリカ/コロラド・スターズ）　（SKアブソリュート）
近藤有己 vs 小谷野澄雄
（パンクラスism）　（烏合会）
石井淳 vs ジェイソン・ゴドシー
（超人クラブ）　（アメリカ/I.Fアカデミー）
和知正仁vs渡邊将広
（チームRoken）　（フリー）

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
4月12日（土）東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30　◆入場料/SS席12,000円　A席9,000円　B席6,500円　C席4,500円　D席3,500円　立見3,000円　※当日券は一律500円増し　◆チケット発売/先行発売：3月8日（土）ディファ有明大会にて　一般発売：3月9日（日）　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、ビデオショップ・チャンピオン、水道橋・マニア館、アイドール新宿店、ファイター、フィットネスショップ水道橋、チケット＆トラベルT-1、格闘技・プロレス図書館　闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、イサミ尚武堂☎03-5214-6487、渋谷TOKYO文庫TOWER 6F☎03-5784-4900、ゴールドジム☎03-3645-9434、パンクラスオフィシャルサイト http://www.pancrase.co.jp　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

待望の美濃輪育久NEW Tシャツが登場！　これまでのパンクテイストから一転し、今のイメージをデザイン化した、純和風な『NEW WORLD～無謀美スタイル～』をぜひ堪能せよ！
■商品名/美濃輪育久Tシャツ『NEW WORLD～無謀美スタイル～』
■価格/3,675円（消費税込み）
■カラー/ホワイト、ブラック
■サイズ/XS・M・L・XL
※尚、2・16の大会当日、会場でお買い求めの人には、消費税をサービス！

～通信販売の方法～
【送金方法】郵便振替。郵便局備え付けの振替用紙にてパンクラスまで送付
【記入方法】通信欄に、商品名（NEW WORLD～無謀美スタイル～）・カラー・希望のサイズを記入のうえ、税込み金額の合計に発送手数料（税込み630円）を加えた金額を振込。購入金額が10,000円以上の場合発送手数料は無料
【振込先】00160-4-417605
【加入者名】パンクラス

パンクラス

PANCRASE 2003 HYBRID TOUR
2月16日（日）　グランキューブ大阪

◆開場/15:00　試合開始/16:00　◆入場料/SS席15,000円　A席8,000円　B席6,000円　C席4,500円　D席3,500円　※当日券は一律500円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/P'sLAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ☎06-6363-9999（Pコード594-040）、ローソンチケット☎06-6369-6633（Lコード57445）、eプラス、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、フィットネスショップ難波店☎06-6214-7951、神戸住吉・富万☎078-811-6222、リングソウル☎078-333-6690、パンクラス☎03-5792-0815　◆会場アクセス/JR大阪環状線福島駅より徒歩10分、JR東西線新福島駅2番出口より徒歩10分、大阪市営地下鉄（中央線・千日前）阿波座駅（中央線1号出口・千日前線9号出口）より徒歩10分、JR大阪駅前バスターミナルから、大阪市バス（53系統　船津橋行き）または（幹55系統　鶴町四行き）で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ、シャトルバスが「リーガルロイヤルホテル」と各ターミナル（JR大阪駅中央北口、地下鉄・京阪淀橋駅西詰）の間で運行しており、ご利用いただけます。　◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

美濃輪育久 vs ヒカルド・アルメイダ
（パンクラスism）　（ブラジル/ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー）
郷野聡寛vs チェール・シェノン
（パンクラスGRABAKA）　（アメリカ/チーム・クエスト）
芹澤健市 vs ローラン・ファーブル
（RJW/CENTRAL）　（フリー）
窪田幸生 vs 長谷川秀彦
（パンクラスism）　（SKアブソリュート）
謙吾vs奥山哮司
（パンクラスism）　（CMA京都 成鍔館）
星野勇二 vs 冨宅飛駈
（和術慧舟會GODS）　（パンクラス大阪）
前田吉朗 vs 梅木繁之
（P's LAB大阪）　（SKアブソリュート）

2・16グランキューブ大阪大会　新商品情報

キックボクシング

IKUSA事務局

YOUNG GUNNERS by FUTURE FIGHTER IKUSA
2月16日（日）　東京・渋谷Club WOMB

◆開場/15:30　試合開始/16:00（予定）
◆入場料/SRS席20,000円　V4席15,000円　スタンディング席5,000円　※昨年10.27『IKUSA2秋の陣～雷襲～』の半券を持っている人は無料
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード：505-919）☎0570-02-9977　IKUSA事務局
◆会場アクセス/渋谷駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/IKUSA事務局☎03-5213-7331　公式ホームページhttp://www.ikusa.net

決定対戦カード

隼人 vs タッパヤー・クロスポイントジム
（PHOENIX）　（クロスポイント）

梅下湧暉 vs ファイティング前沢
（TEAM IKUSA）　（土浦ジム）

武井豊 vs 戸沢ジョー
（TEAM IKUSA）　（マイウェイ）

MA日本キックボクシング連盟

EXPLOSION2
3月23日（日）東京・ディファ有明

◆開場/15:30　試合開始/16:00　◆入場料/RS席10,000円　S席9,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見3,000円　※当日は全席種1,000円増し◆チケット発売/2月17日（月）～
◆チケット発売所/チケットぴあ、連盟加盟ジム　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分　◆お問い合わせ/MAキックボクシング連盟事務局☎055-228-2326

決定対戦カード

ラビット関 vs アトム山田
（山木）　（武勇会）

山田健博 vs 梅下湧暉
（東金）　（谷山）

木村允 vs 小石原勝
（土浦）　（習志野）

井上哲 vs デビッド
（山木）　（真樹ジムオキナワ）

〈日本ウェルター級王座決定戦〉

荻野兼嗣 vs ランボー豊栄
（ビクトリー）　（東金）

森田晃允 vs 辻直樹
（土道館橋本）　（山木）

新日本キックボクシング協会

FIRECEL BATTLE～激戦～
2月16日（日）東京・ディファ有明

◆開場/15:30　試合開始/16:00　◆入場料/RS席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見4,000円（当日のみ）　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/藤本ジム、トーエルジム、尚武会、協会各ジム　◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車・徒歩3分
◆お問い合わせ/藤本ジム☎03-3493-5988、トーエルジム☎045-590-3942、尚武会☎0426-51-5184

決定対戦カード

石井宏樹 vs ジャッカル黒石
（藤本）　（治政館）

マサル vs 兼子忠司
（トーエル）　（伊原）

風神和昌 vs 葵真吾
（野本）　（トーエル）

鈴木敦 vs 白熊市原
（尚武会）　（市原）

ホカトモヒロ vs ケイゾー松葉
（治政館）　（藤本）

空手

正道会館

第38回オープントーナメント 全日本新人戦空手道選手権大会
2月23日（日）大阪府立体育会館　地下2階　柔道場

◆開場/9:00　試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/地下鉄なんば駅5番出口より徒歩5分　◆お問い合わせ/正道会館　総本部☎06-6357-1654

全日本新空手道連盟

第14回新空手全日本大会予選大会
2月23日（日）東京武道館　第1武道場

◆試合開始/11:30　◆入場料/消防法の規定により、入場制限あり。大会パンフレット（500円）を購入の人のみ入場可。
◆会場アクセス/営団地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/全日本新空手道連盟本部☎03-3239-4994

アマチュア

空手道禅道会

第3回エクスチェンジトーナメント
3月16日（日）　神奈川・相模原市立総合体育館　柔道場

◆試合開始/14:00
◆会場アクセス/JR相模原駅、小田急線相模大野駅からバス、総合体育館前下車より徒歩1分
◆お問い合わせ/空手道禅道会横浜事務局☎045-591-1813
公式ホームページhttp://www.h4.dion.ne.jp/~zendo-y/

合気道S.A

オープントーナメント　実戦・リアル合気道選手権大会7
4月12日（土）東京・八王子クリエイトホール　5階ホール

◆試合開始/13:00
◆入場料/3,000円（当日は基本的に入場不可）
◆チケット発売方法/観戦希望者は、現金書留で3月20日（木）までに観戦希望・氏名・住所・電話番号を明記のうえ、下記の問い合わせ先に郵送。現金書留到着後、大会整理券等を送付　◆お問い合わせ/合気道S.A（代表師範/櫻井文夫）〒193-0821　東京都八王子市川町128-280　☎0426-51-8418

ニュージャパンキックボクシング連盟

VORTEX Ⅱ～旋風～
3月9日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15　◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　特別指定席7,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　指定C席3,000円　当日立見3,000円　※当日は全席種1,000円増し　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール、ニュージャパンキックボクシング連盟事務局　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸の内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟事務局☎043-202-1161

決定対戦カード

〈NKBフライ級タイトルマッチ〉

川津真一 vs 浅野泰輝
（町田金子）　（小国）

桜井洋平 vs ワンロップ・パブウェッサー
（土浦）　（タイ）

山本恭太 vs S藤原国崇
（大和）　（拳之会）

ベッカセーム野獣 vs HIROSHI
（MTONG）　（サシブラバー・J）

木浪シャーク利幸 vs 瀬尾尚弘
（小国）　（JK国際）

ソムチャーイ高津 vs 楠本勝也
（小国）　（東京北星）

立嶋篤史 vs 大川直人
（ASSHI-P）　（大和）

真二 vs 童子丸
（小国）　（キング）

石黒竜也 vs 剣
（東京北星）　（TOPS）

MAGNUM1
3月23日（日）東京・後楽園ホール

◆開場/16:45　試合開始/17:00　◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見4,000円（当日のみ）　◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、伊原道場
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/伊原道場☎03-3461-4258

決定対戦カード

〈日本フライ級タイトルマッチ〉

深津飛成 vs 建石智成
（伊原）　（尚武会）

〈日本フェザー級タイトルマッチ〉

小出智 vs 菊地剛介
（治政館）　（伊原）

石井宏樹 vs 泰国強豪選手
（藤本）

北沢勝 vs 泰国強豪選手
（藤本）

米田克盛 vs 泰国強豪選手
（トーエル）

加村健一 vs 葵真吾
（伊原）　（トーエル）

正田孝平 vs 高修満
（藤本）　（伊原）

スダッチ vs 山下雄介
（ホワイトタイガー）　（伊原）

リアルディール

格闘イベントREAL DEAL
4月6日（日）福岡・ベイサイドプレイス

◆開場/15:00　試合開始/15:00
◆入場料/リングサイド10,000円　指定A席5,000円　自由席（立見）3,000円　※当日券は全席種1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、リアルディールジム
◆会場アクセス/福岡市営地下鉄天神駅より徒歩15分、西鉄大牟田線福岡（天神）駅より徒歩15分、西鉄バス・ベイサイドプレイス博多埠頭停留所下車より徒歩0分
◆お問い合わせ/リアルディールジム☎092-845-7027

RISEプロモーション

R.I.S.E
2月23日（日）ゴールドジムサウス東京ANNEX

◆開場/16:00　試合開始/16:30
◆入場料/シート3,000円　スタンド2,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ゴールドジムサウス東京・ANNEX
◆会場アクセス/JR京浜東北線大森駅山王西口前
◆お問い合わせ/RISEプロモーション☎0422-21-0616

決定対戦カード

AKAMINE vs 望月竜介
（ターゲット）　（U.W.Fスネークピットジャパン）

阿部勝 vs 山崎将虎
（クロスポイント）　（Y-パーク）

百瀬竜徳 vs 岡本REY
（ターゲット）　（千葉ジム）

ファビアーノ青木 vs 石倉建
（ターゲット）　（千葉ジム）

花澤武夫 vs 須崎浩
（クロスポイント）　（谷山ジム）

吉原嵩哲 vs 高橋正也
（ターゲット）　（クロスポイント）

奈良健一 vs 佐藤龍男
（ターゲット）　（東京リゾート&スポーツ専門校）

所一通 vs　X
（SSSアカデミー）

ウルフかおり vs 坂本菜緒子
（ターゲット　（エムガレージ）

※すべて3分3R（女子のみ2分3R）

レックスジャパン

Road to『THE FORCE』
3月21日（金・祝）大阪・格闘スポーツスクール レックスジャパンエンタープライズ龍生塾本部道場

◆開場/12:30　試合開始/13:00　◆入場料/1,000円　※当日200円増し　◆会場アクセス/阪急・地下鉄天神橋筋六丁目駅2番出口より徒歩8分　◆お問い合わせ/Road to『THE FORCE』大会事務局☎06-6351-7994

SMACK GIRL

SMACKGIRL-F
3月1日（土）東京武道館・第2武道場

◆試合開始/18:30　◆会場アクセス/営団地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/スマックガール実行委員会（担当・勝井）☎090-1773-5647

新感覚の打撃格闘技が生まれる！

1月23日（木）、ゴールドジムサウス東京ANNEXにおいて、R.I.S.E設立会見が行われた。R.I.S.Eは新たなキック団体ではなく、参加選手の団体、所属を問わず完全にフリーな闘いの場を提供し、R.I.S.Eルールに基づいた試合をプロデュースする機関として、活動していく方針だ。気になる中身だが、ショートスパッツの着用、ヒジ打ちの完全廃止、積極的な試合展開を促すため全試合3分3Rにするなど、プロ選手としてファンに魅せることの重要性を選手に意識づけさせるルールとなっている。プロデューサーに伊藤隆、統括マネージャーには山口元気が就任。さらに大江慎、内田康弘らの全面バックアップを受け、90年代のキック界を支え続けてきた名キックボクサーたちが、いよいよ自分たちの世代でイベントをプロデュースしはじめたことに、大きな可能性を感じる。注目の旗揚げ戦は、要チェックだ！

アマチュア修斗

広島フリーファイト&B.J.J.JAM 4
2月16日（日）　広島・安佐南区スポーツセンター　柔道場

◆試合開始/12:00　◆会場アクセス/アストムライン伴駅より徒歩7分、バス：広陵学園入口停留所より徒歩10分　◆お問い合わせ/パレストラ広島（藤田）☎090-3372-0747、パレストラ東京☎03-5984-3209

第5回中部アマチュア修斗オープニングトーナメント
3月2日（日）愛知・露橋スポーツセンター・1F柔道場

◆試合開始/10:30　◆会場アクセス/名鉄・名古屋本線ナゴヤ球場前下車より徒歩7分、JR東海道本線尾頭橋駅より徒歩8分、バス：市バス『金山23』または『金山21』に乗車、五女子停留所下車より徒歩5分。『名駅20』に乗車、柳原橋停留所下車より徒歩10分　◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会（パレストラ内・担当：若林）☎03-5984-3209

松戸フリーファイト&B.J.J.JAM 3
3月9日（日）千葉・松戸運動公園総合体育館・柔道場

◆試合開始/11:30　◆会場アクセス/JR北松戸駅東口より徒歩20分、新京成松戸新田駅より徒歩15分、JR北松戸駅東口より『県立松高行き』で運動公園前停留所下車　◆お問い合わせ/パレストラ松戸☎043-254-6646

第3回東日本アマチュア修斗フレッシュマントーナメント
3月21日（金・祝）東京・台東リバーサイドスポーツセンター・3F第1武道場

◆試合開始/10:30　◆会場アクセス/地下鉄銀座線・都営浅草線・東武伊勢崎線浅草駅より徒歩10分、都バス「東42甲」系統「南千住・東京八重洲口」行きに乗車、「浅草7丁目」下車・徒歩5分、都バス「東42乙」系統「南千住・浅草雷門」行きに乗車、「リバーサイドスポーツセンター」下車、※駐車場なし。車での来場は厳禁　◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会（パレストラ内・担当：若林）☎03-5984-3209

第3回西日本アマチュア修斗フレッシュマントーナメント
4月20日（日）PUREBRED京都

◆試合開始/10:30　◆会場アクセス/京都市営烏丸線御池駅または四条駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会（パレストラ内・担当：若林）☎03-5984-3209

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ
☎03-5237-9999
ローソンチケット
☎03-3569-9900
CNプレイガイド
☎03-5802-9999
オデッセー
☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター
☎03-3406-1513
レッスル渋谷店
☎03-3464-0078
レッスル池袋店
☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン
☎03-3962-6443
チャンピオン
☎03-3221-6237
書泉ブックマート
☎03-3294-0011
フィットネスショップ水道橋
☎03-3265-4646
後楽園ホール
☎03-5800-9999
e+（イープラス）
http://eee.eplus.co.jp
☎03-5749-9911

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977
修斗
※各興行のプロモーターに問い合わせ
ワールドバンクラスクリエイト
〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815
髙田道場
〒142-0062東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030
UFO
〒108-0071東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121
ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052港区赤坂8-5-4ルーメリ赤坂103
☎03-5775-5700
S.W.A 撃墜道・ワールド・アソシエーション
〒150-0021東京都昭島市大神町1-2-22
☎042-544-6979
マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒400-0046山梨県甲府市下石田2-19-17
☎055-228-2326
全日本キックボクシング連盟
〒169-0074東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171
日本キックボクシング連盟
〒124-0023東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536
新日本キックボクシング協会
〒150-0034東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3780-1350
ニュージャパンキックボクシング連盟
〒260-0016　千葉県千葉市中央区栄町39-3　トーワビル1F
☎043-202-1161
J－NETWORK
〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536
K－U(キック・ユニオン)
〒195-0834東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541
シュートボクシング協会
〒111-0033東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1・2F
☎03-3843-1212
極真会館総本部道場（松井派）
〒171-0021東京都豊島区西池袋2-38-1
☎03-5992-9200

バックナンバー インフォメーション

《11・28　82号》

●直前情報/11・24 PRIDE.23 東京ドーム大会/ターザン山本の『UWF青春論』/金原弘インタビュー、吉田秀彦×ターザン山本対談/ドン・フライインタビュー/全カード発表
●超！直前情報/11・17 WRESTLE-1 横浜アリーナ大会/武藤敬司&小島聡インタビュー
●ボブ・サップ特集第二弾・サップに直撃100の質問
●大会詳報/11・2～3 極真カラテ全日本大会/数見肇が木山仁との頂上対決制す
●SRS・DXの注目！/11・30 パンクラス横浜大会プレビュー/鈴木みのるVSライガー戦展望/菊田早苗&美濃輪育久インタビュー
●好評座談会/ターザン山本の愛と青春の旅立ち！？

《12・12　83号》

●完全速報/11・24 PRIDE.23　髙田引退試合　髙田vs田村戦に捧げる。ああ、我らが記憶の大河ドラマ、卒業！　桜庭和志復帰戦、吉田秀彦vs ドン・フライほか
●K-1 WORLD GP 決勝戦“技術論”予想
●11・17 WRESTLE-1 振り返り座談会&金沢“GK”克彦インタビュー、松村匠フジテレビプロデューサーインタビュー
●SRS・DXの注目！/INOKI BOM-BA-YE最新情報、11・22 UFC40ティトvsシャムロック速報、11・30、12・8 DEEP情報
●11・15 修斗後楽園大会、11・17 大道塾、11・17 全日本キック

《12・26&1・9 合併号 84号》

●完全速報/12・7 K-1 WORLD GP 2002 決勝大会 ボブ・サップVSアーネスト・ホースト、決勝戦アーネスト・ホーストVSジェロム・レ・バンナほか全試合完全レポート
●12・31『イノキ・ボンバイエ 2002』最新情報！
●インタビュー/本誌選定裏MVP 田村潔司
●2002年度マット界大総括座談会/輝け！　2002年度SRS・DX大賞
●緊急特集/空手界に激震！　数見肇、極真を脱会！
●大会詳報/11・30 パンクラス横浜大会 鈴木みのるVS獣人サンダー・ライガー、11・22 UFC40 ティトVSケン・シャムロック、12・1 新日本キック Fight to Muay-thai 2002

《1・23 臨時増刊号 85号》

●大会直前情報/12・31 イノキ・ボンバイエ2002 『ダイナマイト級カードで紅白をぶっ飛ばせ！』TBS樋口潮プロデューサーインタビュー、ボブ・サップ最新情報、年末大スペシャルほめ殺し対談『高山善廣vsターザン山本』、藤田和之インタビュー
●大会速報/12・23『プライド24』福岡大会　ノゲイラvsダン・ヘンダーソンほか
●SRS・DXの注目！/K-1 4タイムチャンピオン☆アーネスト・ホーストインタビュー
●大会詳報/12・14 修斗NKホール大会 王者・五味、気魄勝ち/12・14 ムエマラソン 小林聡とムエタイ心中/12・21パンクラス ディファ有明大会/12・8 DEEP ディファ有明大会

《1・23 86号》

●大会速報/12・31 イノキ・ボンバイエ2002 緊急座談会、ボブ・サップvs高山善廣、吉田秀彦vs佐竹雅昭、ミルコ・クロコップvs藤田和之ほか
●直前情報/1・19 WRESTLE-1 東京ドーム大会 出場メンバー予想
●新春スペシャル企画/SRS・DX特選☆2003年のマット界はコイツに注目！
●新春スペシャル企画(2)/ 2003年の新星インタビュー 大久保一樹&花戸忍
●SRS・DXの注目/郷野聡寛インタビュー
●年末年始の大会レポート/12・29 SMACK GIRL、1・4 全日本キック

《2・13&2・27合併号 87号》

●大会速報/1・19 WRESTLE-1 東京ドーム大会/これが『W-1』だ！　アーネスト・ホーストVSボブ・サップほか
●SRS・DXの注目/K-1イベントプロデューサー・谷川貞治（本誌編集長）インタビュー、業界激震！ PRIDE森下直人社長自殺、極真館 旗揚げ
●スペシャルインタビュー/吉田秀彦
●特別企画/今こそ辺境パワー 2・15 U-STYLE、3・4 DEEP、2・2 シュートボクシング、2・11 プロ柔術大会
●スペシャル企画/ターザン山本&女子格闘家 合コン座談会

バックナンバーに関するお問い合わせは……
扶桑社 販売企画部　☎03-5403-8859まで
※編集部では受け付けておりませんのでご注意ください。

※バックナンバーはSRS・DX直営ショップ「グレート・アントニオ」でも扱っています。ただし、完売した号もありますので、予めご確認ください。　グレート・アントニオ☎03-3219-9550

次号予告 NEXT ISSUE

2/27(木) 発売！

最新情報

3・16 PRIDE.25 横浜アリーナ大会

いよいよサク復帰か!？　新着カード情報満載！

3・30 K-1 WORLD GP さいたま大会

今年初のK-1 WORLD GPシリーズにはオールスターが集結！
さらに、ますます大人気のボブ・サップの最新情報もタップリ！

大会レポートもタップリ！
- 2・11 プロフェッショナル柔術 ～GI 02～
- 2・15 PRO WRESTLING U-STYLE旗揚げ興行
- 2・16 パンクラス大阪大会
- 2・22 一撃 日本武道館大会
- 2・23 修斗 後楽園大会

3・1 K-1 WORLD MAX & 3・4 DEEP 直前情報

毎号女子特集・第2弾！ seriesジョシカク②

2003 3・13号 No.89

スペシャル・リング・ガイド

発行・発売/(株)扶桑社　編集/(株)ローデス　毎月第2・第4木曜日発売　定価680円(税込)

まさか、まだ買ってない人はいないと思いますが……
SRS・DX特別編集　一冊丸ごとボブ・サップ決定版

「ザ・ビースト」

増刷・絶賛発売中！

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www.asakusakid.com

賛否両論の『WRESTLE―1』に浅草キッドから緊急提言！

博士　しかし、2回目の『W―1』はどこもかしこも賛否両論だったな。

玉袋　特にプロレス雑誌は相当叩いていて、「非」のほうが圧倒的でした。

博士　でも、世間的にはまったく「是か非か」なんて、話題にはなってないのが現状だ。

玉袋　あくまでもプロレス村の中で騒いでいるだけって気がしますよ。その時間にテレビ見ている人に、そんなプロレスの歴史的背景なんて意識して見てる人間なんてほとんどいないでしょうからね。

博士　その証拠に、前回よりも視聴率アップしたし。物議を呼ぶモノがなかったからね。インパクトを与えてるだけでも『W―1』は成功と見るんだけどな。

玉袋　でも、いきなり東京ドームは大変でしたよね。

博士　たしかに今の『W―1』ではまだ東京ドームじゃスカスカ感だらけだった。空席が少しあるだけで「あれは失敗だ」なんて声も上がっちゃう。

玉袋　それは『LEGEND』に対しても失礼ですよ。

博士　サップ、ホースト、ヒーリング、ランデルマン、コールマン、ノルキヤというプロレス素人がいきなり大観衆の前でブッツケ本番をやってもそりゃ大変だわ。

玉袋　客もどうリアクションしていいか分からないで、そのリング上の選手と客の距離感が東京ドームじゃ埋められないですよ。

博士　だから『W―1』は公開番組だと考えれば、公開番組は何も東京ドームでやる必要はない。

玉袋　箱は大きいし、ボロが出やすい。

博士　もう20年、日本のお昼のテレビ番組の王道となった『笑っていいとも』は横浜アリーナで収録してるだろうか？　300人も入ればいっぱいの新宿のスタジオアルタでマンネリでも毎日生放送をして観客が集まる。

玉袋　あの客がいい客ってことじゃないけど、番組の冒頭でいい加減にまだやっているタモリさんと客のやり取り「そうですね」。これなんて見ていて辟易する代物だけど、あの客はあの場に行って「そうですね」とタモリさんの「そろそろ時間です」の後の「エ～ッ」っていうの言いたくてしょうがないんだよ。それがいいって言ってるわけじゃないですけどね。

博士　あの場に行った客は、それが言いたいがために自己暗示で自然と出来上がった客になるってことだよな。客を出来上がらせるシステムを「いいとも」は20年かけて作ってきてるんだな。

玉袋　そうです。たとえあのシステムに乗る客を見て「レベルが低い客だな」って思っても、あれぐらいの客がテレビ見ている人なんですよ！

博士　ならば『W―1』の客にもああいう状態にすべく、最初のうちは小さな箱で完全に作り込んだ状況を作ればいいんだな。

玉袋　客の暖め方というか作り方はいろんな方法があると思うんですよ。値段を聞いて「安～い」って驚く通販番組の仕込みの客に誰が文句言いますか？

博士　たしかにそうだ。地上波では大編集バージョンでオンエアされるんだから、チケット買って文句言うマニアの客入れるんじゃなく、はじめはプロの客入れて公開番組にしたほうがいいんじゃないかね？

玉袋　そうです。『ドリフ大爆笑』のような、よく笑う客が育つまでは時間がかかりますからね。

博士　それがプロの「笑い屋」なんだよ！

玉袋　ですから、その手法でいけばもっと早く成功すると思いますよ。ぶっつけ本番で客前でやるから大変であって、公開番組だったらちょっと失敗したらすぐフロアーのディレクターが一旦止めて撮り直すでしょ。それ編集すればいいんだからね。

博士　WWEの収録番組『スマックダウン』でさえ、後付けで、歓声やブーイングを入れてることもあるらしい。

玉袋　とにかくドリフを見ていた子供は会場の日本青年館に行って直に「志村後ろ～」とか「かーらーすーなぜ鳴くの～カラスの勝手でしょ」を合唱したいんですよ！　ドリフはテレビではそういった客相手にやっていましたけど、それをそのまま地方に営業行った時は、ちゃんとチケットを売って公演してましたからね。

博士　『W―1』もそういうシステムになれば一番いいんだよ。

玉袋　とにかく、何か新しいものが出なければ、今までのプロレスは閉塞していたのは明白。『W―1』の潔さはまな板の上に乗っかり「さぁ否定か肯定か好きに料理してくれ」っていう部分なんですよ！

博士　その姿勢が今までなかったんだから、それだけでも大進歩だ！

玉袋　どうも、プロレスラーの『W―1』に対する反応を見るとお笑いの世界にたとえれば、今までのプロレスが寄席で『W―1』はテレビのお笑いバラエティーだと思うんですよ。

博士　寄席にはたしかに名人も出て古典芸能の落語の「芝浜」や「品川心中」なんかやらせたら凄いうまい名人がいる。でも、それを今テレビのゴールデンでやっても、たしかに凄い芸なんだけども、一般の客にはサッパリだ。

玉袋　それと寄席芸人がいつも楽屋で話している「なんの芸もないくせにテレビに出てお笑い芸人でございって顔して、いいお金もらっているタレントなんてどうしようもないね」が『W―1』に対して非の態度を取るプロレスラーの意見と同じなんですよ。

博士　ファンとしても寄席の芸人も好きだし、一方ではダメなタレントもいるけど、寄席芸人ができないテレビでのテレビ芸ができてる優秀なタレントもいるからな。マンネリだとか、なんだかんだ言っても、しかし、テレビで落語家を伝えているのは「笑点」だけなんだよ。

玉袋　しかも、高視聴率！　でも理想的には、テレビ芸も卓越で、テレビカメラのない寄席や舞台でも玄人の客を唸らせる芸人。

博士　プロレスとリアルファイトを反復横飛びできる芸人だな。

玉袋　「笑点」でファンタジーファイトを演じてる林家木久蔵師匠なんて、夜の新宿二丁目ではリアルファイトをこなしてるから、改めて尊敬しますよ。

博士　やかましい！

玉袋　プロレスの地上波放送といえば、新日本プロレスの放送が面白くなってきてますよ。

博士　試合が面白ければいいけど、試合以外の名勝負や星野総裁のやり取りが面白いんだけどね。

玉袋　もう、老舗新日本プロレスの放送まで、でもがそうなっているんだから、これは仕方ないですよ！

博士　18分間やった試合を18分間そのままカンパケで流せる時代じゃない。録画中継だったらビッシビシ編集されるのが常だ。

玉袋　ロケ素材をどうディレクターが編集するかにかかってきましたね。

博士　アントニオ猪木さんの時代は、カンパケ流してよかったんだけどな。

玉袋　でも、カンパケで流さなければ意味がない試合をしてくるレスラーが現れてくれたらまた嬉しいんですけどね。

博士　まったくの余談だけど先日ニッポン放送のテリーさんのラジオに出演した『プライド』の怪人こと百瀬さんの放送がバカ面白かった！

玉袋　放送禁止用語を最後に連発して「こういう発言に対して団体が文句言ってくるようなら、俺が直接話をする」は聞いていて大拍手だった！

博士　早くも年間MVPラジオ番組だったな。その百瀬さんの『プライド』になんと朝青龍の兄のドルゴルスレン・スミヤバザルが参戦！

玉袋　ドルゴルスレン・スミヤバザルは新日本プロレスと契約ってことなんですけど。

博士　ドルゴルスレン・スミヤバザルに期待する闘いが『プライド』スタイルで闘う姿が見たいんだろうか？

玉袋　そこでボブ・サップVSドルゴルスレン・スミヤバザルが闘ったら凄いですよ！

博士　字数の関係上もういい加減にドルゴルスレン・スミヤバザルってフルネーム呼ぶのやめないか？

玉袋　だったらドルゴルスレン・スミヤバザルをなんて呼びます？

博士　だからいちいちフルネームで振るなよ！

玉袋　だって、ドルゴルスレンだけだったら弟のドルゴルスレン・ダグワドルジかドルゴルスレン・セルジブデか分からないじゃないですか！

博士　だから朝青龍とブルーウルフの本名入れたら余計にややこしくなる！

玉袋　締め切り直前に驚愕ニュースが入りました！

博士　石井元館長が脱税で逮捕された！　どうなってしまうかK―1！

玉袋　とにかく谷川将軍！　俺たちはまだまだK―1も『プライド』も『Dynamite！』も見たい！

博士　こうなったらもっと谷川将軍に働いてもらって実現にこぎつけていただきたい！　■

谷川プロデューサーがいきなり大仕事!

GASPY

Special Ring Side

K-1 WORLD MAX 2003 3・1 有明コロシアム

これが本当に見たかった!
魔裟斗VS武田、ついに実現か

3・1 K-1ワールドMAX

“ド真ん中”は我にあり!!

魔裟斗を総合ファイターが包囲！
小比類巻 vs 大野は名勝負数え歌になるか

K-1 WORLD MAX 2003
日本代表決定トーナメント

賞金総額 1,110万円

優勝	600万円
準優勝	150万円
3位	75万円
KO賞	30万円

魔裟斗〈シルバーウルフ〉 vs 須藤元気〈ビバリーヒルズ柔術クラブ〉

村浜武洋〈大阪プロレス〉 vs 阿部裕幸〈AACC〉

武田幸三〈治政館〉 vs 小次郎〈ウィラサクレック・ムエタイジム〉

小比類巻貴之〈黒崎道場〉 vs 大野崇〈inspirit〉

“キック”を脱皮した魔裟斗か、“キック”の威信を背負う武田か！

もう、手放しで大絶賛である。武田幸三のK—1 MAX参戦。見たかったのはこれなのだ。ファンの誰もが望んでやまなかったのが、これなのだ。

魔裟斗と武田が同じリングで強さを競う。まさに直球勝負、頭でヒネリ出したどんなコンセプトよりも素晴らしい、格闘技の〝ド真ん中〟である。

武田が所属する新日本キック協会は、これまで打倒ムエタイに専念、他団体と交わることをしてこなかった。それだけに今回の大英断を下した伊原信一代表と武田の師匠である治政館の長江国政館長には拍手を送りたい。

〝超合筋〟と呼ばれる肉体から繰り出すパンチとローキックで、ムエタイの最高峰の座にも就いた武田と、昨年のK—1 MAX日本王者・魔裟斗。キック団体を飛び出してブレイクし、キックを「小さい世界」と言った魔裟斗と、その小さい世界の価値観を背負い、高めてきた武田。両者の対決は、単にどっちが強いかという以上の意味合いを持っている。

ただし、2人が決勝で顔を合わせるのは、そう簡単なことではない。魔裟斗のブロックには須藤元気、村浜武洋、そして会見時にはXとされていた選手が阿部兄ィこと阿部裕幸に決まるなど、意外性のある総合系選手が並び、武田側には小比類巻貴之、大野崇、小次郎と正統派の実力者がひしめきあっている。

果たして中量級頂上決戦は実現するのか、それとも波乱が起きるのか。3月1日、有明コロシアムへ行け！

（橋本）

▲今大会は新体制K—1の一発目。会見には角田信朗競技統括プロデューサーと谷川貞治イベントプロデューサーが出席した

《スーパーファイト》
アルバート・クラウス〈オランダ/ブリーズジム〉 vs マイク・ザンビディス〈オーストラリア〉

《リザーブマッチ》
清水貴彦〈超越塾〉 vs 安廣和哉〈正道会館〉

携帯サイトでリアルタイム予想クイズ！

大会当日、携帯電話のTBSサイト（iモード、EZ-WEB、J-SKY）にて勝者予想企画が実施される。19：00からのテレビ中継に合わせてオンエア中の試合の予想（途中変更可能）とボーナスクイズが出題され、獲得ポイントの多い順に優勝者のサイン入りグローブなどがプレゼントされる予定。参加費は無料となっている

「強さってものに対する自信は自分の中にもありますから」

魔裟斗に最大の敵が出現!

武田幸三

400年を誇るムエタイの歴史。
その牙城を崩し、チャンピオンの座を
手にできるのはまさに奇跡と言っていいだろう。
その奇跡を実現させた男がこの武田幸三なのだ。
そんな強豪が中量級最強を決めるK−1MAXに
いよいよ登場となったのである。
嬉しい!　そして魔裟斗は大ピンチだ!

聞き手◎橋本宗洋&中村カタブツ君

—武田さん、ほんっと嬉しいですよ。

武田 そうですか（笑）。ありがとうございます。

—武田さんとしてはどんな気分ですか？

武田 普段の試合とは意味が違うのはよく分かってますし。ホントに、先の格闘技人生が変わりますからね、3月1日で。それなりに腹を括ってやります。

—これまでも「K—1出ないの？」みたいな声はかなり聞こえてたんですか？

武田 そうですね。お客さんはなんで出れないのかとか、分かんないじゃないですか。自然なことですよね。そういう説明も難しいですし（笑）。

—逆に「逃げてるの？」みたいな言われ方もしたんですか？

武田 ありましたね。

—悔しいっすよね。

武田 いや、もうその辺は慣れてて（笑）。大丈夫です。

—実際にK—1 MAXはどういうふうに見てました？

武田 華々しいなぁって（笑）。演出から何から全然違うし。どっちがいいっていうんじゃないんですけど。キックはキックで良さがあると思いますし。独特のこう、泥臭さっていうか。あれが僕は個人的には好きですし。どっちがいいとかじゃないですけど、純粋に、K—1は華々しいなぁっていうのはありましたね。

—その中で魔裟斗選手とか小比類巻選手が脚光を浴びてる状況はどう思ってました？

武田 いいなあって（笑）。

—やっぱりプロである以上はね。

武田 目立ってナンボですからね。

—「オレだって同じことやってんじゃねぇかよ！」っていうのは（笑）。

武田 賞金とか見た瞬間に「う～ん……」って、たまに（笑）。ひとケタ違いますからね。だけど、キックやってる選手って、お金じゃないですからね。そんな、本気では羨ましいと思わないですけど。

—でも、お金は大切ですよね。

武田 もちろんです。ファイトマネーだけで暮らしてますからね。決められた自分の環境の中で最大にもらえるように頑張ってきましたからね。

—みんな「見せる試合がしたい」って言いますけど、武田さんの中では見せる試合と自分の強さとどっちですかね？

武田 僕の場合はスタイル自体、これしかできないんですよね。だから勝つイコール見せる試合が、自然な形で表現できるようになったんで楽ですね。本当は判定狙いの選手なのに、あえてパンチでいくとかじゃないですからね。これしかできないっていうように育てられて、実際それが自分にも合ってっていう。もう入った当時から「おまえはパンチとローだ」って言い切られましたからね（笑）。

—器用なことはしなくていいって（笑）。

武田 ずーっとワンツーばっかでしたよ。それが今となっては感謝してますけど。

—じゃあ、超合筋と言われる筋肉もそのトレーニングで付いたと。

武田 もうひたすら打って蹴ってで。ジムに重たいサンドバッグがあるんですけど、それをとりあえずずっとやってればいいよって言われて。それで自然にできたんです。

—ウェイトとかは？

武田 昔やりましたよ。今は昔ほどはやってないですね。

—それでそんな身体になるもんなんですね。

武田 首相撲とサンドバッグやってれば自然になりますね。タイ人もみんなそうですもんね。毎日やってればああなりますね、走って。

—ストイックなほうですか？

武田 どう……ですかねぇ。練習中だけですね、自分で精神的にもってくのは。そうやんないと逆に持たないですからね。10年やってますけど、最初はずーっとキックのことばっかり考えてたんですよ。そうすると逆に練習で集中できないんですよね。今は練習時間だけ、走る時間だけにして、あとは抜いてますね。

—しかし、K—1出るってのも不思議なもんですよね。まず格闘技始めたきっかけが……。

武田 K—1でしたからね。大学2年の時にK—1を見て。

—正道会館にも行ったんでしたっけ？

武田 行きましたよ、半年。今のジムがイヤになって（笑）。毎日ワンツーばっかじゃないですか、それがイヤでイヤで。それで飛び出して。外出て初めて、良さが分かったっていう。で、土下座して戻ったんですよ。

—しかし、ワンツーだけじゃイヤですよね（笑）。

武田 屋台村でデビューでしたし。テレビのイメージと全然違ってて。チケットは自分で売らなきゃいけないし。

—前座はチケットがギャラだし（笑）。

武田 そう（笑）。「これはなんだろ？」っていう。バンテージも巻いてもらうもんだと思ってたんですよ。大学でラグビーやってたんで、大学ってそれなりにやってもらえるんで。大学のアマチュアのスポーツより自分でやらなきゃいけないスポーツなんですよ（笑）。

—じゃあK—1のほうがっていう。

武田 そっちのほうがいいイメージっていうか、華やかで、大事にしてくれんのかなっていう（笑）。

—微妙に書きにくい話ですね（笑）。

武田 でもそれで、キックに対する温度の高さとか、先生がどれだけ凄いのかとかって分かりましたから、一回出てよかったですね。

—なんか伸び伸びと話す人ですね（笑）。K—1をかき回してやろうとか、そういう意識はあります？

武田 試合が終わった時に、「新日本キックがK—1を食った」っていうイメージを残したいですね。

—「武田のおかげでK—1が盛り上がった」っていうんじゃなく。

キック独特の泥臭さっていうのか、あれが僕は個人的には好きですし

倒しにいくように育てられたんで自然な形で見せる試合ができます

武田 そうですね。そういう終わり方だけは絶対にしたくないですね。

——それは新日本キックの看板を背負って闘う意識ですよね。

武田 もちろんありますよね。やっぱり、毎回後楽園ホールに来てくださるお客さんのためっていう、それは勝手に思ってるのかもしれないけど、ありますね。

——フリーの人たちに対して「オレはキック一筋でやってきたんだ」っていう。

武田 そうですね。負けられない要素がいっぱいありますよね。

——それこそ屋台村でデビューして、来る日も来る日も後楽園でタイ人とやって積み上げてきたものと、一発ドカンとトーナメントで華やかに脚光を浴びてっていう違いもあるし。「こっちだって負けてないんだ。こっちのほうが正しいんだ」っていう。

武田 正しさっていうんじゃないけど、プライドはありますね。自分がリングに上がるモチベーションは、お客さんが見たいか見たくないかで。引退を決める時っていうのも、自分で決めないつもりでいるんですよ。お客さんが「武田はもういいんじゃない?」って言われた時が引退で。K—1だからとか新日本のリングだから、それで上がる上がらないじゃないんですよね。お客さんがこれだけ見たがってくれるっていうのは幸せなことですから。どっちがいいとかじゃないですね。だけど、新日本とか後楽園に対するプライドはあります。

——前の試合の後に、K—1出場について「キックに恩返しがしたい」とも言ってましたよね。

武田 そうですね。これだけメイン張らしてもらって、先生(長江館長)にお世話になって。やっぱり、ここで負けちゃうと育てたかいがないっていうか。変な言い方ですけど、棺桶入る時に「武田を育てて良かったな」って思えるようにしてあげたいですね(笑)。

——泥臭いキックの世界にいた武田さんが、K—1っていう華やかな世界にどんな泥をぶちまけてくれるのかっていう部分で期待してるファンはいっぱいいると思うんですよね。

武田 そうですね。たぶん、試合の必死さとか、それで食ってるプライドみたいなのを見せられれば伝わると思うんですよね。いつもどおり、体張って。

——逆に言うと、武田さんはK—1ファンにとっては〝まだ見ぬ強豪〟なんですよね。今までと違う人の視線っていうのはどうですか? 今までは100%武田さんを応援する人だったわけで。

武田 楽しみですね。まだ未経験のゾーンなんで、自分でも分かんないですけど。自分個人としては、浮かれないで、K—1のいいとこだけ吸収して。観客が多いからとか、テレビがあるからとかで浮かれないで、いいとこだけ利用して。逆にワガママで利用するくらいの気持ちで。

——ワガママで言うと去年、日本キック連盟所属の小野瀬選手の引退試合で花束を渡したじゃないですか。あの男気はみんな大絶賛でしたよ。

武田 あれは怒られたんですよ。

——団体に相談なしだったから(笑)。

武田 小野瀬くんが誌上で(最後は武田とやりたいと)言ってくれてたんで。ここで行かなきゃ男じゃないだろうって。二つ返事で「上がりますよ」って言っちゃったんですけど凄い怒られて(笑)。

——そうか、怒られましたか(笑)。

武田 メッチャ怒られましたよ。「何考えてんだ」って言われましたよ。

——でも感動しましたよ。そういう男の世界が好きなんですね。

武田 僕のこと誌上で言ってくれた人ですから、少しでも最後の花道に華を添えられたらなって。ほんと純粋な気持ちで行ったんです。

——やっぱり小野瀬選手には同じ匂いっていうか、連帯感みたいなのがあったわけですか。

武田 そうですね。あの人も団体の歯車の1人としてやってきて。で、自由にしたいけどしたくないみたいな感じとか。その居心地の良さっていうか(フリーの人間が)羨ましいんだけど、そこにいる自分も好きっていう。そこは共通してますよね。

——で、試合の中身のことでいうと、日本人とやるのって久しぶりですよね。北沢勝戦(2000年1月)以来?

武田 そうですね。

——あとはタイ人ばっかり。

武田 何人かオーストラリアとか白人もいましたけど。ただ僕はタイ人だろうと日本人だろうとファイトスタイルは変えられないですからね(笑)。まったく問題ないと思います。

——今まではタイ人相手で逃げたりスカしたりするのを倒さなきゃいけなかった

▲◀2001年1月21日、後楽園ホールで行われたタイトルマッチで王者チャラームダム・シットトラガーンを右ストレート一撃でKO、ムエタイの頂点であるラジャダムナン・スタジアムのウェルター級タイトルを手にした武田。タイ人以外では史上4人目の快挙だった

のが……。

武田 今回はヨーイドンで闘えますからね。で、かつ下がることも知ってますから。その辺はまったく問題ないです。

——で、ヨーイドンの殴り合いになれば絶対の自信が。

武田 ないですよ。

——え？

武田 当たれば倒す自信がありますけど、当たったら倒れる自信もありますね（笑）。かといってペース配分してっていう試合をお客さんが見たいわけじゃないですからね。1回戦の1Rから、もちろん後のこと考えないでいきますよ。体がうんぬんとか、どっかが痛いとか骨が折れたからっていう理由では倒れないことは約束します。骨が折れたから次の試合に出ないとか、そういう理由で棄権することは絶対にないです、はい。

——言うことがやっぱり違いますね、元ムエタイ王者は（笑）。

骨が折れたからとか痛いとかの理由では倒れないと約束します

武田 強さに対する自信は自分の中にもありますから。自然と、発言とか行動とかに出ると思います。

——K—1という世界にケンカを売るっていうか、自分の世界の正しさを証明するっていうか、そういう意識は？

武田 すいません、僕ホント、そういうのないんですよ（笑）。

——ただ、フリーの選手は団体に所属してる甘さみたいなことを言うわけですよ。単純に黙っていても試合が組まれるわけですから、所属選手は。

武田 それは凄い幸せだと思いますね。楽というか。ただ、その代わりに「この試合も、あの試合も」っていうのがありますからね。お互いの良さもあれば、お互いのつらいところもあるっていう。ファイトマネーも総取りじゃないですからね。みなさんで分けるし。

——武田幸三で呼んだ売り上げも、3回戦選手のギャラになるっていうね。

武田 そうですそうです。で、僕はそれが全然イヤじゃない。やっぱり代表とかジムの会長に恵まれて幸せだなって感じる時もありますからね。ウチはファイトマネーほとんど引かないですからね。

——魔裟斗選手にはどんなイメージがあります？

武田 自分を追い込んで、有言実行タイプですよね。自分の追い込み方を知ってる。ただ自分は優等生みたいな捉え方されてますけど、裏の顔もありますし。

——裏の顔（笑）。

武田 凄いエゴイストですし。年取った分こういうふうに言ってますけど、1人になったらワガママですからね。その辺は似たような部分はありますよ。

——そういう面も見てみたいですねぇ。

武田 凄い残酷ですよ。そうじゃないと格闘技できないですからね。

——K—1に出てる選手の中には、「打倒ムエタイは見せる試合にならないからつまらない。違う価値観を目指す」っていう人もいますけど。それをずっとやってきた武田さんとしてはどうですか？

武田 いや、正しいと思いますよ。ムエタイはテクニック重視の競技ですからね。僕の試合でも煮え切らない試合が何回かありますし。でもいますよ、パンチャーも。タイ人が全員そうではないですよね。

——武田さんはある意味、誰よりもムエタイの深い所を見てきた人ですからね。フリーの人はタイ人とやらないですけど、武田さんは「タイ人、タイ人、白人、タイ人」、「チャンピオン、元チャンピオン、ランカー」って感じで。

武田 やりがいはありますけどね。

——逃げたりスカしたりするタイ人とやってると、倒すポイントとか、そういうのを見つける力っていうのは上がってきますよね。

武田 当たる距離にずーっといるわけじゃないんですよ。だからホントに一発で終わらせるパワーを持っとかなきゃいけないんですよね。最初の、第一交差で当たったもので倒さないとあとは首相撲になっちゃいますから。上のクラスはローじゃ倒れないですからね、「痛い」では倒れないですから。その辺はキックボクシングとの違いですからね。

——一発、一撃を磨いてきた達人という感じですか。

武田 達人ですか（笑）。そう見られると嬉しいですけどね。自分の中ではまだまだってホントに思ってますけど。

——有名になりたいとか、そういう欲はありますか？

武田 それが欲っていうんであれば、欲はないですね。

——では一番欲しいものはなんですか？

武田 信用。

——信用。

武田 はい。「武田なら大丈夫だろう。アイツが行きゃあなんとかしてくれるだろう」っていう。

——「誌面で訴えれば、ちゃんと引退試合に来てくれるだろう」と（笑）。

武田 そういうつながりは大事にしていきたいですね（笑）。

——なんか、ホント、格好いいな。かなりホレました！（笑）。■

優勝期待度
100
日本人最強の
キックボクサーが
決まる瞬間に立ち会え！

「武田選手のパンチでは、オレのことは倒せない」

魔裟斗

強敵出現にも慌てず騒がず

準決勝まではクセ者揃いの総合ファイター、
そして逆ブロックには武田幸三と、
今回のトーナメントは“魔裟斗包囲網”にも思える。
しかし当の魔裟斗はいたって冷静。
「負けられない」であり「負けるわけがない」。
誰よりも高い所を見ているという自負が、
この男にはあるのだ。

聞き手◎橋本宗洋

—記者会見の時はずいぶん不機嫌そうでしたね。

魔裟斗 そうっすか？

—うん（笑）。めちゃくちゃぶっきらぼうに「何回やっても、誰が出てきても結果は一緒」って。

魔裟斗 ま、オレっぽく。

—去年、優勝してる魔裟斗さんからすると、日本代表決定トーナメントに関しては「何を今さら」っていう感じなんですかね？

魔裟斗 っていうか、勝って当たり前な感じなんで、はい。

—組み合わせとかはどうですか？

魔裟斗 べつに、誰だっていいっすよ（笑）。

—あ、いい（笑）。じゃあ頭にあるのはクラウスだけ？

魔裟斗 クラウスっていうか、クラウスも去年みたいに（世界大会で）勝ち上がってくるか分かんないじゃないですか、まだ。

—そうですね。

魔裟斗 やっぱり、去年、日本大会と世界大会と両方経験して、世界大会の相手のほうが明らかに強いんですよ。レベルが高い。オレは世界一になりたいんで、日本大会でつまずいてらんないでしょ。

—じゃあ武田選手に関してはどうですか？

魔裟斗 べつに……。

—去年も「武田選手に出てきてほしい」って言ってたし。

魔裟斗 まあ、それは去年の話ですからね。なんとも思わないですよ。倒せる自信あるし。

▲▼昨年の日本代表決定トーナメントでは、その力量を見せつけて優勝。かつてはライバルと言われた小比類巻貴之にも、大きく差を付けた感のある魔裟斗。果たして武田戦は実現するのか？

—それはどういうところで感じるわけですか？

魔裟斗 オレのパンチで武田選手は倒れるけど、オレは彼のパンチじゃ倒れないから（笑）。

—なるほどね。

魔裟斗 みんな分かってると思うけど、（武田は）アゴ弱いでしょ。

—逆に魔裟斗さんは、かなり打たれ強いイメージがありますしね。

魔裟斗 まあ（笑）。

—じゃあ、武田選手と闘うことになっても、なんとも思わないと。

魔裟斗 思わないですね。

—そうキッパリ言われちゃうと、聞くことなくなっちゃいますけどね（笑）。

魔裟斗 フフフ。

—まあ、そういう自信付けるだけのものを積み重ねてきてますもんね。あくまで目標は世界大会と。

魔裟斗 そういうことですね。だから今回に関して言うと、全部完勝しないといけない。

—今回、武田選手っていう新しい強豪が出てきたり、それから魔裟斗さんのブロックは何をやってくるか分からない総合系の選手ばかりだったりで〝魔裟斗包囲網〟みたいな感じもあるじゃないですか。それはどうです？

魔裟斗 だってオレ、みんな敵だと思ってるから。

—観客も含めて？

魔裟斗 いや、お客さんは別にして。オレ意外の7人は全員敵ですよ。1対7だろうがなんだろうが関係ないです。

—1対7って感じは去年もありましたよね。まして今年の魔裟斗さんはディフェンディング・チャンピオンなわけだから〝誰が魔裟斗を止めるのか〟っていう見方もされるでしょう。

魔裟斗 でもオレ、負けるわけにはいかないでしょ。

—去年は「トーナメントっていうのがとにかく疲れた」みたいに言ってましたけど、そこに関しては今年はどんな感じですか？

魔裟斗 もう経験してることだから、去年より絶対しんどくないですよ。去年の世界大会の時がそうでしたもん。

—あ、日本大会の時よりしんどくなか

魔裟斗 やっぱり、K—1はパンチじゃしれないけど、オレにはそれがありますって、試合のたびに課題を持って取り組

みんな失うもんがないんでしょ。オレにはそれがありますからね

った?

魔裟斗 そうですよ。一回経験してると全然違いますね。

——それは身体が慣れたってとこが大きいんですか、それとも気持ち?

魔裟斗 身体もそうだけど、気持ちでそういう覚悟ができてるから。その部分でしょうね。……初めてやるとツライっすよ(笑)。

——そういえば、魔裟斗さんの試合って去年の10月以来だから久しぶりですけど、その間は充実してました?

魔裟斗 うん、充実してましたねぇ。

——練習とかで何か変化は?

魔裟斗 変化っていうか、パンチのほうに力入れてやってましたね。

——ボクシングとか?

魔裟斗 ボクシングのジムに行ってるってわけじゃないですけど、ボクシングのトレーナーが来てくれてるんで。教えてもらってますね。

——魔裟斗さん、パンチが得意なイメージがあるけど、もっと何か求めてるものがあるんですかね。

テーマはキレイな顔で帰ることかな「あれ、試合したの?」って感じで

魔裟斗 やっぱり、K—1はパンチじゃないですか。見てても、明らかにパンチのほうがポイント取るなっていうのが分かるし。

——身体もかなり変化してるみたいですね。大きくなったっていうか、スーツ着てても背筋が盛り上がってるみたいな感じで見えますよ。

魔裟斗 トレーニングの効果は出てるんじゃないですかね。

——それって特にどの辺で感じます?

魔裟斗 どの辺っていうか、パンチにしても蹴りにしてもパワーはついてるなっていうのは感じますよ。で、パンチにしても、そのパワーを効率よく相手に伝える打ち方を練習してきたんですよ。実際打てるようになってきたし。

——あと、試合は久しぶりなんですけど、その間もずいぶん魔裟斗さんの顔は見てるんですよね、ブラウン管で(笑)。

魔裟斗 頑張って働いてます(笑)。

——映画にも主演してるし。『はるちゃん』って昼ドラまで出て。ちょっと今までの格闘家じゃ考えられないですよ。

魔裟斗 だから、負けられないっていうのにはそういう意味が強いんですよ。

——そういうのって?

魔裟斗 そういうドラマに出たりとかっていうのは、去年のオレのK—1 MAXでの闘いがあったからだと思うんですよ。今年になって、それをなくすわけにはいかないでしょ。

——今回の大会のモチベーションとしては、そういうところが大きい?

魔裟斗 他の選手は失うもんがないかもしれないけど、オレにはそれがありますからね。

——むしろ芸能活動でも、もっと上に行きたいしという。

魔裟斗 そう。

——ハリウッドスターですからね、目指してるのは。

魔裟斗 まあ(笑)。

——やっぱりヴィン・ディーゼルが好きなんですか? あの人作品選びのセンスがメチャいいですよね。『アイアン・ジャイアント』もそうだし。

魔裟斗 ん? あの、好きっていうか、映画の『XXX』に出てたでしょ。ああいう役がいいなって思って。

——そんな感じで芸能活動も忙しい魔裟斗さんですが。年末年始くらいはゆっくりできたんですか?

魔裟斗 いや、だってほら。

——あ、大晦日は『イノキ・ボンバイエ』で解説やってましたよね(笑)。で、元旦は元旦で番組の企画で……。

魔裟斗 走ってたし(笑)。

——頑張ってるよな〜(笑)。今、選手とタレントと、普通に2人分やってる感じですもんねぇ。

魔裟斗 まあでも、それが大事なんですよ、オレには。

——正直しんどくないですか?

魔裟斗 そりゃね、「しんどいな」って時もありますよ。でもそれやんなかったら、オレの将来はどうなるの? っていう。選手終わってからなんにもないんじゃしょうがないでしょ。

——そこまで考えてやってる選手、他にいないですよ。

魔裟斗 オレだけでいいです(笑)。

——で、練習は練習でメチャクチャ追い込んでやってるし。ただね、魔裟斗さんって、試合のたびに課題を持って取り組んでるじゃないですか。「ここをもっと良くしたい」とか、「前よりここがうまくなった」とか。それって凄く立派だと思うんだけど、ちょっと不満なのは、最近はレベルアップしたせいかケンカしてないなっていう感じがするんですよね。

魔裟斗 ケンカ? 普段?(笑)。

——いやいや(笑)。試合で。

魔裟斗 あ〜。

——うまくなるのはいいんだけども、っていう。

魔裟斗 それはレベルが高くなってるからですよ、はっきり言って。まあ、ファンが見たいのは違うかもしれないですけどね。

——やっぱり分かってたわけですね、その辺は。

魔裟斗 うん、難しいとこですけどね。でも、それじゃ勝てないんですよ。

——特に世界のレベルではそうでしょうね。

魔裟斗 "世界"っていうのはそういうとこですから。でもプロはみんなそういうレベルじゃないといけないんですよ、本当は。ヘビー級はね、まあ技術がなくてもパワーで倒せたりするんだろうけど、こっちは違うんで。いかに相手の攻撃をもらわずに倒すかですよね。

——じゃあ今回の日本大会のテーマは「キレイな顔で帰る」と(笑)。

魔裟斗 うん、「あれ、試合したの?」って言われるくらいに(笑)。■

優勝期待度

魔裟斗独走じゃつまらん、とちょっと思うが

正直な気持ち、やるのが怖くなりました

この際、試合直前までトコトン悩め！

小比類巻貴之

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）

——先程の会見で自分の立場は十分に分かっているとおっしゃってましたけど、去年10月の負けっていうのを小比類巻選手は今どんなふうに捉えてますか。

小比類巻 う〜ん、まぁ、だいぶ沈んでいるんで……。今は1回戦の大野君と闘うのに集中しているかなって思ってます。

——まだ、ちょっと癒えてないですか。

小比類巻 っていうか、今日の会見に出席してだいぶ怖くなりました。

——え！　また正直に言いますね。

小比類巻 ホント、怖くなりました。自分のブロックに大野くんと武田選手がいるっていうのに。

——あのぉ、闘う前からそんな弱みを見せちゃっていいんですか？

小比類巻 でも、正直なところですから。

——正直すぎますけど変に飾るよりはいいですね（笑）。黒崎道場のほうではこの5カ月間どんな練習をしてました？

小比類巻 試合終わってから1カ月間練習して、先生と話をして寮生っていうのを辞めて通いにすることにして。

——通いにしたっていうのは先生のほうから言われたんですか。

小比類巻 自分から相談して。一回怒られたんですけど、ホントに練習だけに集中したいなって。ただ、練習自体はこれまでどおり、そのやり方は信じてるんで。

——私生活では何か変わりました？

小比類巻 親父が先月亡くなって、それで家庭のほうも大変になって練習もあんまりうまくできなかった状況で……。

——う〜ん、ショックの連続ですね。でも、あえて言うとそれは凄いことですよ。とことん追い詰められたほうがその揺り戻しは凄くいい結果になると思うんで。

小比類巻 ……。

——以前、黒崎先生が、あるインタビューで語っていたんですけど、「小比類巻には才能がある。藤原敏男よりも才能がある」とハッキリ言ってるんですよね。

小比類巻 それは言われてますね。

——でしょう。藤原敏男と言えば、日本人で初めてムエタイのチャンピオンになったキック史上最強の男じゃないですか。しかも黒崎先生が育てた男ですよ。その藤原さんより才能があるっていうのは絶対に期待できるんですよね。

小比類巻 ……。

——だから、そういう人間がギュウギュウ追い詰められてどんな爆発をするのか見たいんですよ。それで、今話しているとメチャクチャ追い詰められてるでしょ。

小比類巻 ……まあ。だから、全部含めて怖いなって言葉なんですけど。

——あれからどんなことを人から言われたりしました？　人間って怖いなとか、裏切られたなって思ったことありますか。

小比類巻 それはありましたね。でも……。そんなに人のことはなんとも思わないようにしてますね。

——ともかく負けた結果は結果じゃないですか。だから、それをどう、小比類巻さんが受け入れて、どう新しく動こうとしてるのかに興味があるんですよ。

小比類巻 ……まあ、もう今は特に考えていないですね。

——考えましょうよ（笑）。

小比類巻 う〜ん、……とにかく大野君とやって次に武田選手とやることを。

——なんか、声もちっちゃいですよ（笑）。

小比類巻 ずっと閉じこもりっ放しだったんで（微笑）。

——引きこもり？（笑）。

小比類巻 引きこもりですね（笑）。そこの部分でツライ部分がありましたね。

——ツライでしょうね。

小比類巻 誰にも分かんないと思いますよ、1人で稽古するのがどんだけツライか。こんな生活をしてきて……。たぶんこの前のメンバーの中では自分が一番精神的に苦しんだと思うんですよ。だけど、なぜこの結果なのかって凄く悔しくて！

——もしかして自信を失いました？

小比類巻 ああ、多少失ってますね。直さなきゃいけないところがいっぱいあるじゃないですか。

——ありますね。

小比類巻 ……。

——べつに責めてるわけじゃないですよ（笑）。じゃあ、ちょっと話題を変えて去年の大野戦の時にインターバル中に「顔叩いて！　叩いて！」ってセコンドに言ってたじゃないですか。結構、マゾ気があるんですか（笑）。

3.1 K-1 WORLD MAX
これぞ打撃格闘技の
ド真ん中!

▲昨年10月11日、ピーター・クルックと対戦した小比類巻は4Rにダウンを奪うも、5Rに逆転のKO負け。期待度が高かっただけにこの敗戦はあまりにも重く小比類巻の肩にのしかかった

口ではうまく言えないけど、失った自信はここで取り戻します

小比類巻 いや、そうじゃなくて（笑）。気持ちが小さくなっちゃうんですよ、体力面で限界が来る時に目が覚めたくて、それで叩いてもらいました。

——そうなんですか。黒崎先生のところに入るって聞いた時もマゾなのかなって思ったんですよね、一瞬ね（笑）。

小比類巻 マゾじゃないですよ（笑）。でも、MかSかって言ったらたぶんSのほうですね。だから、先生とぶつかっちゃうんですよ。

——ぶつかるんですか！

小比類巻 いや、先生には言わないんですけど、気持ちの中ではひねくれてるんですよ。先生にも凄く言われるのが、「お前は凄くひねくれてる。とんでもなくひねくれ者だ」って言われて。

——なんか、素直じゃないところがありそうですよね（笑）。

小比類巻 でも、素直だって言われますよ。ひねくれてるんだけど、変に素直なところもあるんだって言われるんですよ。

——難しい人間ですね（笑）。

小比類巻 難しいから困っちゃうんですよね（笑）。

——困っちゃいますね。ただでも、目立ちたがり屋でしょ、基本的に。

小比類巻 そうですね。でも、みんなそうですよ、このメンバー（笑）。

——だから、その中で小比類巻さんって別のオーラの出し方をしますよね。

小比類巻 それはどういうところですか？

——みんなは前へ、前へじゃないですか。小比類巻さんは引いて引いてっていうか、どこか（笑）。

小比類巻 ああ、そうですねぇ。

——だから、そういう人間性を考えると「決してこのまま終わってたまるか」とは絶対に思ってると感じるんですよ。

小比類巻 はい。

——それがどういう形で出るのか。言葉ではたぶんあんまり出せないタイプだと思うんですけど、仕草とか表情とか、試合では出していくと思うんですよ。

小比類巻 ああ、はい。そのとおりですね。言葉じゃなんか何を言ってるのか自分でも分からないですね（笑）。

——ホントに分からないです（笑）。それに、僕らが「ツライでしょ」とか言っても、「お前に分かるか」って絶対思ってるでしょ（笑）。

小比類巻 う〜ん、確かにそうですね（笑）。それをうまく口に出せないのも自分なんですよ。だから、顔の表情とかじゃないですか。仕草と表情で。

——で、どうなんですか、自分が悪かったなって思います？

小比類巻 いや、それはありますよ。

——誰かのせいにはしないですよね。

小比類巻 う〜ん、人のせいにする部分もありましたね（笑）。

——でも、それが普通ですよ（笑）。だから、面白いんですよ。ただね、小比類巻さんって線の細さとかを感じる時があるんですよね。

小比類巻 線の細さ？

——打たれ弱さとかですね。

小比類巻 感じました？

——感じましたね。

小比類巻 打たれ強いほうなんですよ。だけど、変なところで打たれ弱いんですよ、おかしいんですよ。

——おかしいですね（笑）。

小比類巻 なんなんですかね、たぶん気持ちだと思うんですよね。アゴとか強いんですよ。スパーリングとか試合では殴られてもべつに効かないんですけど、変に気持ちがダメな時って意識を失っちゃうんですよね。よく分かんないんですよ。

——じゃあ、気持ちさえ強くなれば大丈夫じゃないですか（笑）。

小比類巻 まぁ……（微笑）。

——なんか、秘密特訓とか、無茶特訓とかしてますか。

小比類巻 ああ、正月、実家に帰った時に川に入りましたね（微笑）。

——なんで？（笑）。

小比類巻 どんだけ冷たいかなって思って、裸でずっと潜ってました。

——やっぱりマゾですよ（笑）。

小比類巻 おかしいですね（笑）。なんか、変な感覚が面白いんですよ。

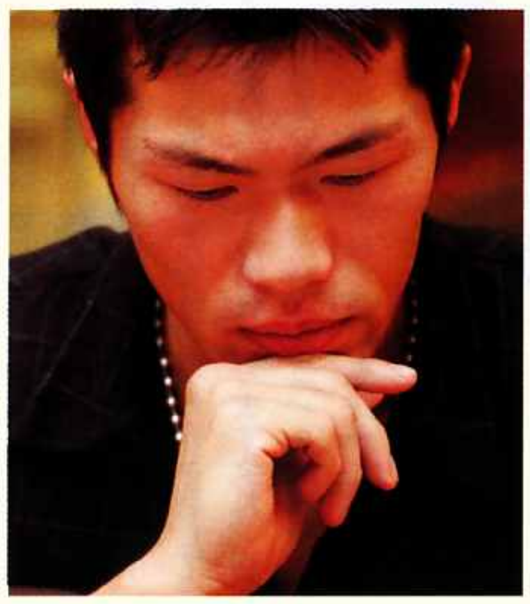
——まあ、変な人だとは思ってましたけど。いっちゃってないでしょうね（笑）。

小比類巻 大丈夫です、大丈夫です（笑）。

——ともかくもがいてることはよく分かりました。さっきも言いましたけど、ここまで打ちのめされた人間がリング上でどんな試合をするのか、鬱積した怒りがどんな形で爆発するのかがもの凄く見たいですね。

小比類巻 ベストを尽くします。

——うん！ 期待してます！ ■



優勝期待度

鬱積した怨念の
大爆発に期待せよ!

実は昔から打撃やってたんですよ。出るからには面白いこと起こします！

最後に決まった意外な伏兵

阿部裕幸

聞き手◎橋本宗洋

——村浜選手の相手は、記者会見ではXになってたんですけど、まさか阿部さんとは。驚きました。

阿部 五味（隆典）が出るって話がまずあったんですけど、最終的に修斗の大会があって出ないってことだったんで。「じゃあぜひぜひ」、と。

——出ようと思った理由は？

阿部 いや、五味が出ないっていうんで（笑）。まあ何事もチャレンジですよ。

——最近は〝阿部兄ィは打撃もうまい〟ってイメージがありますけど、やっぱり基本はレスリングですよね。

阿部 実は昔から打撃は好きで、大学でもレスリングやりながら大道塾行ったりとかしてたんですよ。高校の時も、レスリングの練習が終わってからキックの大和ジムに行ったりとか。だから下地っていうんですかね、まあそんなガツガツはやってなかったですけど。

——高校生の頃から打撃をやってたっていうのは、総合をやりたくてですか？

阿部 いや、その頃は総合がなくてですね。UWFが（笑）。

——はいはいはい（笑）。

阿部 第2次UWFが流行ってた時で「これは蹴りがないとダメだろう」って感じで（笑）。

——高校生がレスリングやってて、なんで「蹴りがないとダメ」なのか分かんないですけど、でも当時はそういう雰囲気だったですよね（笑）。

阿部 本格的に始めたのは修斗に上がるようになってからですけどね。何か武器を見つけなきゃいけないっていうんで。

——で、去年はシュートボクシングのリングにも上がって、修斗でもライト級チャンピオンのアレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラをパンチでKOして。かなり打撃に自信が付いただろうなって思って見てたんですよ。

阿部 練習でも、少しずつ自分の中で武器になるものができつつあるなっていう感じだったんですよね。港（太郎）さんと練習してたのもあって。

——ノゲイラ戦のフィニッシュの左フックとかも見事でしたよ。

阿部 パンチは右を意識して練習してて、それの返し、フォローとして左をやってたんですよ。なんで力を抜いて打ってたのがたまたまいい感じで入って。

——そしてついにはK—1ですからね。1回戦は村浜選手とですが。

阿部 強いですね（笑）。僕、出たり入ったりのステップとか、意識して真似してたのが村浜選手なんですよ。

——村浜選手がお手本だったんですか。

阿部 SBの頃から見てましたよ。「うまいなぁ」って思って。「背が小さい分、スピードで動くんならこういう動きなんだろうな」って、意識しながら自分もやってたんですよ。まさか試合することになるとは（笑）。

——ねえ（笑）。で、次は魔裟斗選手。

阿部 か、元気ですね。面白いですね。どっちとやることになっても楽しみですよ。元気は総合のトップだし、魔裟斗選手は打撃のトップだし。本来の階級としては自分より上ですけど、肌を合わせることで、その経験が活きてくればいいなと思いますね。

——阿部さんとしては、「絶対に優勝したい！」っていうのと「引っかき回してやる」っていうのと、どっちの気持ちが大きいですか？

阿部 一戦一戦しっかり勝ちたいっていうのはもちろんあるんですけど、やっぱり総合の選手として、本職の人たちの中に出ていく形なんでね。引っかき回してやりたいっていうのはありますよね。面白いことを起こさないとね。なんかやんないと（笑）。「なんだ、五味かと思ってたのに阿部兄かよ」って言われないように（笑）。いつも言うんですけど、勝負は水物なんで。何が起こるか分からないですよ。

——特に阿部さんのブロックはそうだと思いますね。

阿部 それと僕、2月の11日に柔術の試合もやるんですよ。

——あ、そうだ。ディファでやるプロ柔術の賞金トーナメントですよね。

阿部 茶帯以下のトーナメントなんですけど、僕、白帯なんですよねぇ。柔術の試合出るのも初めてで。

——で、その後がK—1と。専門外のことばっかりですね（笑）。

阿部 それもまたチャレンジですね。いい結果が出たら、味を占めてストライカーに転向しますか（笑）。■

優勝期待度

とにかく大会を引っかき回せ！

村浜っていったらアグレッシブ。それしないとプロの名が廃ります!

勝利だけじゃ我慢できない!

村浜武洋

聞き手◎中村カタブツ君(ブチ)

—それにしてもこのところ『Uスタイル』にも出てK—1にも出て……。

村浜 毎週大阪プロレスでもやってって仕事しっぱなしで。今もう稼ぎ時ですからね(笑)。

—商人ですねぇ(笑)。

村浜 いやいやいや(笑)。でも、今しかできないですからね。

—それって、去年も言ってましたよ(笑)。

村浜 今がずっと続くようにいけばいいですけど(笑)。

—期待してますよ。で、今回の対戦相手はXということでまだ分からないですけど(のちに阿部兄に決定)。

村浜 誰でもいいんですけど、ケガしたら困るっちゅうの、ホンマに(笑)。

—じゃあ、出なきゃいいじゃないですか(笑)。

村浜 金に釣られて(笑)。

—だけど、いい試合するからですよ。

村浜 まあ、声がかかるうちが花ですから。ホントに、皆さんのおかげで。もう、『SRS・DX』さんのお陰であり、谷川さんのお陰。みんなに頭下げっぱなしで(笑)。

—何をおっしゃるやら、完全に実力ですよ。だって、普段はこうでも、試合になったら負けん気でガンガンいくからいいんですよね。

村浜 やっぱり勝ちにいかないといい試合ができないですからね。

—ただ、村浜さんはそれだけじゃ我慢できない男じゃないですか?

村浜 我慢?

—だから、つまんない試合のまんま、ただ勝てばいいやっていうのに我慢できます?

村浜 それはアマチュアでやってればいいでしょ。村浜の試合っていったらアグレッシブって代名詞になってますから、それをやらないとプロフェッショナルの名が廃りますから。

—そこにプライドを凄く感じますね。

村浜 基本的に勝ちにいくっていうのは大前提として倒して勝ちにいくですから。でも、嫌ですねぇ、ケガするの(笑)。

—でも、倒しにいくんでしょ?(笑)。

村浜 背中合わせですけど、ケガも(笑)。みんながスパーリングみたいな試合をすると大変なんですよ。

—そういえば、この間のメルチョー・メノー戦もちょっとやりにくそうでしたよね。

村浜 べつにやりやすかったですよ。お互いの攻防があってガンガンやりあって。

—だけど、もっと欲しそうにしてましたよね。歓声とか、KOとか(笑)。

村浜 そうッスよ、当たり前ですよ!

—そんな欲張りなファイターはなかなかいないですよ(笑)。

村浜 だから、打ち合ってパッと離れるじゃないですか。その時に思いましたもん。なんか、もう一つの沸きやなぁって(笑)。

—面白いなぁ(笑)。だって、メノーって普通にやってもかなりの強豪ですよ。

村浜 いやいやいや、沸きが欲しいって思いますよ、やっぱそれは(笑)。

—そこが村浜さんの魅力ですよ(笑)。

村浜 いや、仕事なくなるんですからしょぼいと(笑)。

—だから、僕はそういう焦ってる村浜さんも楽しんでくれとお客さんには言いたいですね。「おい、今、村浜、焦ってるぞ」とか(笑)。

村浜 裏読みせいと(笑)。

—だって、ここまで苦しんでるんですから、そこまで見ないと。

村浜 焦って飛び始めたぞって(笑)。

—「見てみ、余計な動きをしてるぞ」と(笑)。

村浜 そんな邪道な見方はしてもらわなくていいです(笑)。

—いや、それは声を大にして言いたいですね、個人的には。で、今回、新ワザとかは考えてます?

村浜 ないですね。今、凝ってるのは左のアッパーと、左のレバーブローですけど、メッチャクチャ地味じゃないですか(笑)。

—「リングにかけろ」って漫画にあった"ジェットアッパー"とかダメですか。

村浜 無理です(笑)。だから、アグレッシブさで沸いてくれたらなと思うんですけど。

—とかなんとか言って無茶なことをやることを期待してますよ。

村浜 余計なことを? できたらやりますよ(笑)。■

優勝期待度

観客の沸き次第では優勝もあり!

魔裟斗選手の研究は去年からしてるんで ヌカりないと思います（笑）

この男の試合にハズレなし！

須藤元気

聞き手◎中村カタブツ君（ブチ）

——1回戦からいきなり魔裟斗選手ですけど、強敵ですね。

元気 そうですね（サラリと）。

——強敵じゃなさそうですね（笑）。

元気 どうでしょうか。強いですよね（笑）。

——なんか余裕あるなぁ（笑）。魔裟斗さんは記者会見で「ライオンはウサギを狩るにも全力を尽くす」と言ってましたけど（笑）。

元気 ウサギも追いつめられると後ろ足で蹴るんですよね。

——後ろ蹴りでね（笑）。

元気 だから、ちょうど合ってるかなと（笑）。

——ただ、魔裟斗選手も自信満々ですね。自分自身でテンションを上げてる部分もあると思いますけど。

元気 はい。それが魔裟斗選手の戦略ですからね。

——で、逆にテンションを上げないようにしてるのが元気さんですよね。

元気 そうですね。やはり、魔裟斗選手って薩摩隼人の人で、チェストって感じの人なんで、そういう人に対して力でぶつかったら、あっちのほうが経験があるから、その辺はうまく円でかわしてやっていかないと。

——直線に対して円で闘うっていうのは分かりやすいですね、元気VS魔裟斗を語るには。それに結構、食っちゃう可能性があるんじゃないかと思うんですよね。

元気 自信あります。魔裟斗選手が強いのは十分わかってるんで、逆に相手の力を利用できれば。できればっていうか、できると思うんで。バックブロー以外でも合わせ技のパターンが5つぐらいあって、どれか合えば倒れると思うんですよ。

——一発の威力は小比類巻戦でも見せてますから可能性は相当高いですね。だから、第1試合から凄く面白くなるなと思ってるんですね。っていうか、目指してるでしょ、面白くしようって。

元気 目指すも何も面白くなると確信してるんで、目標は勝つことですね。

——自信にあふれてますね（笑）。魔裟斗さんもそうですけど、フリーの選手って自分に自信を持ってますよね。

元気 デビューからずっと揉まれながらやってきてますから（笑）。それに自分で言うのもなんですけど、総合格闘技でも階級が確立してない時代に、1人で海外に行ってそれなりに危ない橋は渡ってきたんで。

——ちなみにそれはどんな橋ですか。

元気 海外で出稽古してヤバイ雰囲気になって囲まれたりとか結構あったんです。

——囲まれた!?

元気 ハリウッドの近くの道場なんですけど、そこに日本から来たって言ったら「じゃあ、ちょっともんでやるか」って感じで師範代みたいな人が出てきて。でも、その師範代を一発で極めちゃったら、みんな目の色が変わって集まってきちゃって（笑）。よく見たら、みんな入れ墨してて、その入れ墨も日本で言ったら和モノの入れ墨。つまり、完全にギャングなんですよ（笑）。

——怖いッスね（笑）。

元気 これはヤバイぞって逃げましたね。あれは危なかったです、ホント（笑）。

——だから、そうやって1人でやってきて今こうやって脚光を浴びてるっていうのがタダモノじゃないなって思うんですよ、ホントに。ところで、窪塚クンとは仲良くやってますか？

元気 いいヤツですよ、普通に。趣味も合うし、彼の家に行ったりしますし。

——家に行くんですか！ なんかワクワクしますね（笑）。

元気 友達です（笑）。友達って感覚がなかったら、仲良くなれないですよね。

——はい。なんか、元気さんっていい人生にしようとしてるのがいいですね。で、最後の質問ですが、優勝は狙ってますか。

元気 狙ってます。特に魔裟斗選手については徹底的に研究して、クセとかも全部読んでやっていけばいけるんじゃないかなって思うんですよ。必ず、人間にはクセがありますから。

——クセはもう見えてきました？

元気 自分の中では見えてますね。やはり魔裟斗選手とは将来的にやる時が来るだろうと去年の段階で考えてて、ずっと研究してきたんでその辺はヌカりないと思います（笑）。

——自分がチャンピオンになったところを明確に想像してますか？

元気 はい。勝てない試合はやらないので、勝てると思ってやってますので。■

優勝期待度

殺るか、殺られるか！
大番狂わせの嵐の男
となる可能性大！

あっちは色モノブロックでしょ 今回は魔裟斗に勝たしちゃいけない

技巧派だけどキレやすい! 大野崇

聞き手◎橋本宗洋

——前回の試合以来、重点的に練習してることってありますか?

大野 フィジカルの部分ですね。トレーナーにちゃんと付いてもらって。

——成果はありました?

大野 ありますね。自分でやると、どうしても知識もないじゃないですか。ウェイトだったら自分でもできるって感じもするんですけど、トレーナーとやると、自分はやるだけでいいんですよ。練習強度はキツイけど、そういう面で楽ですね。集中できる。向こうも「もうちょっとイケるな」とか「ここは追い込みすぎだな」とか判断してくれるんで。

——パワーとか付いてる自信は?

大野 ありますね。ただの力じゃなくて、技術的にパワーが出る打ち方とか瞬間的にパワーとスピードが出るキレですね。

——で、今回の組み合わせがいよいよ決まりまして、1回戦から小比類巻選手ですが。

大野 大変ですね(笑)。最難関でしょうね。

——1回戦が一番キツイと。

大野 前に正道で一緒に練習してて、手の内が分かってるっていうのもあるんですよね。お互いの長所も短所も分かってるんで。上に行けば行くほど楽なんじゃないですかね。

——え、でも準決勝は武田選手かもしれないですよ?

大野 相性はいいと思いますよ。パンチャーのほうがやりやすいんですよね。武田選手も、魔裟斗もそうですけど。相手の苦手なところと僕の得意なところ、相手の得意なところと僕の苦手なところが重なると思うんですよね。それはやりやすいです。

——去年の小比類巻戦は凄い名勝負でしたけど、いま振り返っていかがですか?

大野 あれは作戦ミスでしたね。途中から「ウリャッ」って感じで、ケンカパンチになってて。アゴじゃなくて鼻を殴ってましたからね。

——なんでそうなっちゃったんですか?

大野 ローが痛くて(笑)。「なんだコラ!」ってなっちゃったんですよ。かなりカチンときて。意外とキレやすいんですよねぇ。

——大野さんって、本人に言うのもアレですけど調子の波が激しいじゃないですか。いい時と悪い時と。それって気持ちの部分なんですか。

大野 やっぱりキレると勝てないですよね。冷静にやった時ほど勝てるんですよ。まあ〝燃える〟と〝キレる〟は別で。

——でも小比類巻戦はいい試合だったけどなぁ。

大野 見てる人にはいいかもしれないですけど、競技者としてはまず勝つのが第一条件ですからね。特に僕は〝武蔵流〟で勝ちにこだわってるんで。

——そうだ、大野さんは武蔵選手のスタイルが理想って言ってましたよね。誤解を招きやすい発言ですが(笑)。

大野 いやいやいや(笑)。

——でも〝武蔵流〟ってことでは、大野さんのほうが完成度が高くないですか?

大野 それがねぇ、実際にあの人とスパーリングやると触れないんですよ。

——僕が最初に武蔵選手から聞いた〝武蔵流〟って、相手に触らせないくらい技術で翻弄して、最後は倒すってことだったんですよ。そういう面では大野さんのほうが上でしょう。

大野 ああ、攻撃って意味ではそうかもしれないですね。でも僕、ディフェンスが好きなんですよ。

——ディフェンスが好き(笑)。

大野 攻めてる時より、パンチとかをよけてる時が楽しいんですよね。ヒョイヒョイって。そのスリルがいいんですよね。

——珍しい人だな(笑)。じゃあ優勝のポイントはキレないということで。

大野 今回は魔裟斗に優勝させちゃダメでしょう。こっちのブロックが勝たないと、一般のファンはともかくコアな、昔から支えてくれたファンは離れてっちゃいますよ。向こうのブロック、楽ですもん。「ああ、やっぱり魔裟斗のための大会なのか」って、そういう目で見られるとこもありますからね、K—1 MAXって。まあ向こうのブロックは、いい言い方するとエンターテインメント。

——じゃあ悪く言うと……?

大野 色モノブロックじゃないですか。で、こっちがシビア部門で。やっぱりこっち側が優勝しないと。中でも一番地味だといわれてる僕が(笑)。地味な男が地味に勝つ!(笑)。■

優勝期待度

実力は誰もが認めるだけに、あとは気持ち

少年院にいた頃から気持ちは同じ〝男になりたい〟それだけです

打倒・武田に自信あり！

小次郎

聞き手◎橋本宗洋

——小次郎選手というと、よく覚えてるんですけど、前、試合の後で「K—1でチャラチャラしてるヤツらをぶっ倒す」ってマイクで言ってましたよね（笑）。

小次郎 ああ、ありましたね（笑）。

——やっぱりK—1はそういうイメージが（笑）。

小次郎 ありましたね。〝ありました〟と〝あります〟と両方ですね。やっぱりキックと比べると、そういうのあるじゃないですか（笑）。まあ魔裟斗選手のことなんですけど。

——またズバリ言いますね（笑）。

小次郎 いや～、やっぱりK—1中量級っていったら魔裟斗選手じゃないですか、だからそのイメージで。

——チャラチャラしてんなと（笑）。

小次郎 華やかっていう感じもあるし。

——逆に小次郎選手自身はどういうイメージで見られたいですか？

小次郎 自分は……よく分かんないですけど、女にキャーキャー言われたいとか、そういうのはないっすねぇ。

——男っぽい世界が好きなんですかね。

小次郎 そうですね。それは昔っから。

——小次郎さんっていえば、少年院に入ったことがあるって話が有名なんですけど、やっぱりかなり〝硬派〟というか。

小次郎 まあ、そうですね。ああいう世界って、客観的に見ていいとか悪いとかってもんじゃないんですよね。離れてみると、悪いことしてたんだって分かるんですけど、その頃はもう、その世界の中で〝男になりたい〟っていうだけで。

——そういう気持ちって、ある意味で今もあるんじゃないですか？

小次郎 気持ちの面では共通してるかもしれないですね。

——変な話ですけど、どんな悪いことしてたんですか？

小次郎 どこまでが悪いっていうのかはアレですけど、社会的に悪いってされることは一とおりやりましたし。もう、ある程度不良の中では、まあちっちゃい世界ですけど名前が通ってたんで、少年院に入った時に「これはもう、このままだな」みたいな気持ちでいたんですよ。このまま行ったら、出てもまた少年院に入ることになるだろうと。けど、面会の時に母親に泣かれて。もし、もう一回少年院に入って、その時に母親の涙に耐えられんのかなって思ったんですよね。

——そこで心が入れ替わったというか。

小次郎 とはいえ、やっぱり不良同士の見栄とか虚勢みたいなのもあるじゃないですか。それで「どうする？」ってなってた時に新聞で棟田を見て。

——柔道の講道学舎で同期だったんですよね、棟田（康幸）選手。今100キロ超級でトップの。

小次郎 棟田の立場と自分を比べた時に「何かやんなきゃ」って。それでキック始めたんですよ。

——普段はタイ人と闘うことが多いですけど、やっぱり違いは感じますか？

小次郎 K—1はパンチ主体ってことですね。パンチが強くないとK—1では勝てない。

——小次郎選手自身、ベースはムエタイスタイルですしね。でも一時期から、タイ人とやる時もパンチ主体に意識してやってますよね？

小次郎 去年、最初にK—1に出た時に「K—1ではパンチができないとダメだな」って。経験が少ないんで、試合のたびに考えたり、肌で感じることが多いですね。やっぱり、タイ人とやっても日本人が勝つにはパンチじゃないですか。

——打倒ムエタイとK—1と、両方やってのに価値があるなって思いますよ。

小次郎 ルールの違いとか自分の得意技とか、そういう部分で戸惑うこともあるんですけど。

——K—1で試合してる時に「ここで首相撲してぇ！」ってなったり？（笑）。

小次郎 それはありますね（笑）。「なんでここで止めんの？」って。

——パンチの練習もかなり重点的にやってるんですか？

小次郎 そうですね、ボクシングのドリームジムっていう、クラッシャー三浦さんがいるジムで去年から練習してます。で、パンチのスパーリングも今までより多めにしてますね。

——1回戦で武田選手と当たることになってますけど、やっぱりパンチで？

小次郎 武田選手のパンチが凄いってのは分かってますけど、そうなるでしょうね。穴はアゴだって分かってますから。いくしかないでしょう。■

優勝期待度

50

武田戦次第で大化けもある！

番組インフォメーション

2/14,2/21の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によって放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは2月5日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

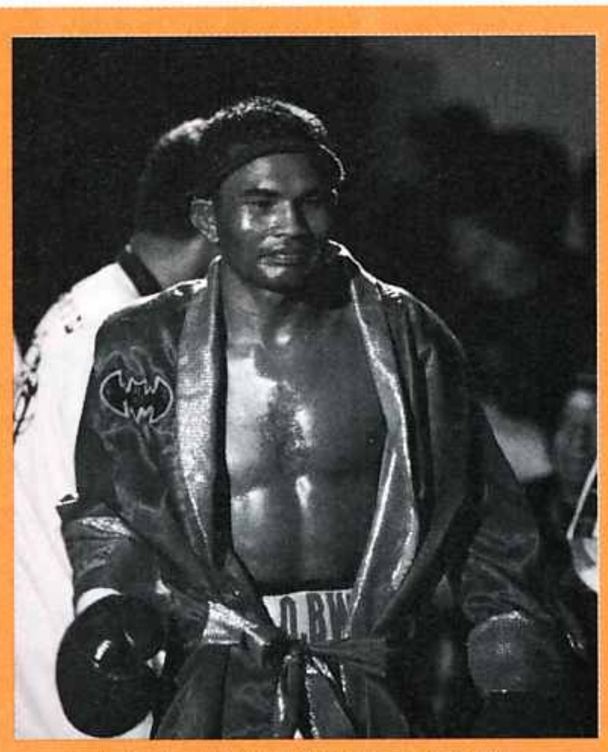
『SRS』は金曜日深夜26時15分～26時45分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

今年はキックが熱い！

2/14 『キックボクシング特集』

2月14日（金）26:15～26:45

キックボクシングファンの皆様、お待たせ致しました！　あの、サムゴーが再び日本に上陸！　以前、SRS放送300回記念として、タイ特集を行った時、サムゴーに会ってきたSRSのMC陣。「サムゴーに再会できる！」ってことで、2.7全日本キックボクシング連盟の後楽園ホール大会に殴り込み？　しちゃいます！　サムゴーはメインで金沢久幸と対戦！　そして、なんと！　豪華なことにこの試合の解説を務めるのは、小林聡ってウワサ……。キック界に旋風を起こしている、サムゴー、小林の最新情報も含め、1.26新日本キックボクシング協会の後楽園ホール大会に出場した、武田幸三の試合も放送しちゃいます！　熱いキックにご注目!!


サムゴーが再び日本にやってくるぞ！

ねぇ教えて！　谷川さん！

2/21 『SRS 格闘技ぶらり道』

2月21日（金）26:15～26:45

格闘技を愛してやまない皆様の中で「今年の格闘技界はいったいどうなるの？」と、お思いの方々も多いと思います。しかし！　2003年度も格闘技界はとどまることを知らずに快進撃を進めていく……と、今回のSRSを見ていただければ納得できるはず！　今年、K-1イベントプロデューサーに就任された我らがサダハルンバ谷川改め『谷川貞治@プロデューサー』に「今年のK-1、いったいどうなっちゃうの？」と直撃取材を敢行！　谷川プロデューサーは、勝手に「ボクはSRSを卒業宣言したからぁ」と吹聴しているとのウワサもあり……。その辺りも含めて、いったい真相はどうなのか？　全ては、オンエアを見てからのお楽しみ！

K-1イベントプロデューサーのサダハルンバに聞いちゃうぞ！

フジテレビ系列の番組から BSフジ

『PRIDE REVIVAL』
2月14日（金）24:00～25:00、再放送16日（日）16:00～17:00
放送内容：『PRIDE.6（1999.7.4 横浜アリーナ）』第1試合カール・マレンコVSイーゲン井上、第2試合松井大二郎VSカーロス・ニュートン

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

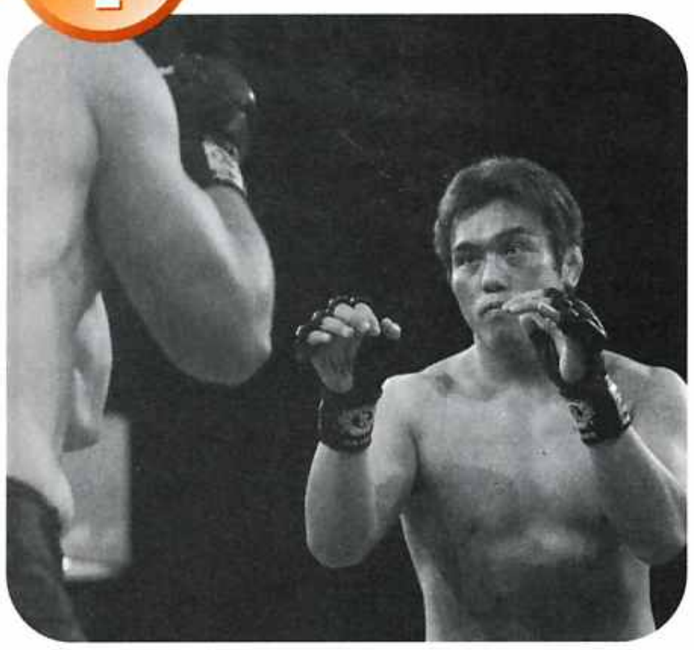
日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
2/14（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO（再）	8：00～9：00	世界中で行われている修斗の大会を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9：00～11：00	修斗、02.3.15後楽園ホール大会
	Jスカイスポーツ2	SHOOT 3/60	18：00～19：00	15分のショートドキュメンタリー3本で構成する“60分3本勝負”の格闘技専門スポーツドキュメンタリー番組。再放送2/15・9：30～、17・23：00～、19・15：00～
	GAORA	週刊格闘 JAM!	19：22～19：30	K-1、『PRIDE』などの格闘技イベント最新情報「Featuring event」や旬の格闘家を紹介する「Featuring Fighter」などをぎっしり詰め込んだ300秒番組。再放送2/16・5：52～、18・9：22～
	スカイA	格闘Xパンクラス	19：30～20：00	内容未定
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	20：00～22：00	1970年代以降の新日本プロレス格闘技全盛期を振り返る。1977.12.8アントニオ猪木vsグレート・アントニオ戦ほか
	スポーツ・アイESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	これまでの『PRIDE』シリーズを毎月1大会ずつ放送。『PRIDE.7』#2。再放送2/19・25：00～
	BSフジ	PRIDE REVIVAL	24：00～25：00	スポーツ・アイESPNと同内容。『PRIDE5』#3。再放送2/21・16：00～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	24：20～26：20	02.9.29横浜文化体育館大会
	GAORA	角田信朗のすぽ魂	25：30～26：00	『愛と涙と感動の浪花男』角田信朗が様々なスポーツを紹介。GAORA独自のインタビュー映像やゲストを迎え内容盛りだくさんの30分。再放送2/16・12：00～、17・23：00～、18・14：30～
	フジテレビ	SRS	26：15～26：45	⬅P69
2/15（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	パンクラスハイブリッドアワー	8：00～10：00	⬅Pick UP①。再放送2/18・18：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継 新日本キック協会	10：00～12：00	1.26に後楽園ホールで開催の『DOWN BY LOW』大会。武田幸三vsチャオワリット・ジョッキージム戦ほか。再放送2/19・18：00～
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	16：30～18：55	2.2札幌・きたえーる大会
	Jスカイスポーツ2	シュートボクシング2003	18：55～20：55	2.2後楽園ホール大会。再放送2/16・11：55～、19・26：00～、20・15：00～
	Jスカイスポーツ3	プロフェッショナル修斗	23：30～25：30	2.6北沢タウンホール大会。再放送2/17・12：00～、18・20：00～、19・8：00～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	内容未定
2/16（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	4：00～4：30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	22：30～23：00 25：30～26：00	上記を参照。再放送2/17・8：30～、13：30～、21・17：30～、23・4：00～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	25：25～25：55	2.16後楽園ホール大会
2/17（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9：00～11：00	新日本キック協会、02.1.27後楽園ホール大会
	日本テレビ	最強魂	25：30～26：00	内容未定
2/18（火）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	20：00～22：00	2/14を参照。1978.2.3アントニオ猪木vsタイガー・ジェットシン戦ほか
	TBSテレビ	サイボーグ魂	23：55～24：30	ダウンタウンの松本人志が様々な格闘家とコラボレーションしていく番組
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	2.8ハワイ、スーパー・ブロウに参戦する、プレ・プライド卒業生内藤征弥の海外遠征密着
	テレビ東京	格闘Xパンクラス	26：35～27：05	1.26後楽園ホール大会。近藤有己VSガブリエル・ベラ、三崎和雄VSジョー・ダース
2/19（水）	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	20：00～22：00	2/14を参照。1978.4.21アントニオ猪木vs坂口征二戦ほか
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
	スカイA	格闘Xパンクラス	24：20～24：50	内容未定。再放送2/21・19：30～
2/20（木）	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18：00～18：30	2/14を参照。再放送2/21・21：30～、22・17：30～、23・12：00～、24・23：00～、25・14：30～
	スカイA	ワールドプロレスリング　不滅の闘魂伝説	20：00～22：00	2/14を参照。1977.10.25アントニオ猪木vsチャックー戦、アントニオ猪木&長州力vsタイガー・ジェットシン&上田馬之介戦ほか
	GAORA	週刊格闘 JAM!	21：22～21：30	2/14を参照。再放送2/21・19：22～、23・24：52～
2/21（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO（再）	8：00～9：00	2/14を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9：00～11：00	修斗、02.3.31名古屋市公会堂大会
	GAORA	K-2カラテエクストリーム	18：00～19：00	1.19に開催の『第70回新空手道交流大会』。再放送2/24・19：30～
	スポーツ・アイESPN	PRIDE REVIVAL	22：00～23：00	2/14を参照。『PRIDE.7』#3。再放送2/26・25：00～
	フジテレビ	SRS	26：15～26：45	⬅P69
2/22（土）	スポーツ・アイESPN	PRIDE REVIVAL	13：00～16：00	2/14を参照。『PRIDE.7』#1～#3
	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	16：30～18：55	2.11岐阜産業会館大会
	Jスカイスポーツ2	プロフェッショナル修斗	16：55～18：55	2/15のJスカイスポーツ3を参照。再放送2/25・26：00～、27・21：00～
	スカイパーフェクTV!パーフェクトチョイスCh.116	DEEP2001 1st～6th IMPACTザ・ヒストリー	20：30～	⬅Pick UP②
	FIGHTING TV SAMURAI!	『ch.01』	22：00～23：30 26：00～27：30	橋本真也率いるZERO-ONEによるちょっぴりムチャなバラエティ番組。再放送2/27・18：00～
	Jスカイスポーツ1	SHOOT 3/60	23：00～24：00	2/14のJスカイスポーツ2を参照。再放送2/24・10：00～、26・22：00～、27・24：00～
	Jスカイスポーツ3	ワールドファイティング	24：00～26：00	海外格闘技シリーズ(2)、『02.12.7ジーザス・イズ・ロード』。再放送2/23・16：00～、27・26：00～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	25：40～26：40	内容未定
2/23（日）	スカイパーフェクTV!パーフェクトチョイスCh.116	DEEP2001 1st～6th IMPACTザ・ヒストリー	20：30～	⬅Pick UP②
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	22：30～23：00	2/16を参照。再放送同日25：30～、2/24・8：30～、13：30～
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	24：55～25：25	2.21大阪府立大会
2/24（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9：00～11：00	新日本キック協会、02.2.10ディファ有明大会
	スカイパーフェクTV!パーフェクトチョイスCh.116	DEEP2001 1st～6th IMPACTザ・ヒストリー	20：30～	⬅Pick UP②
	日本テレビ	最強魂	25：30～26：00	内容未定

ON THE AIR 2/14～2/27

格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up 1

『パンクラスハイブリッドアワー』
FIGHTING TV SAMURAI!
2月15日（土）/8:00～10:00

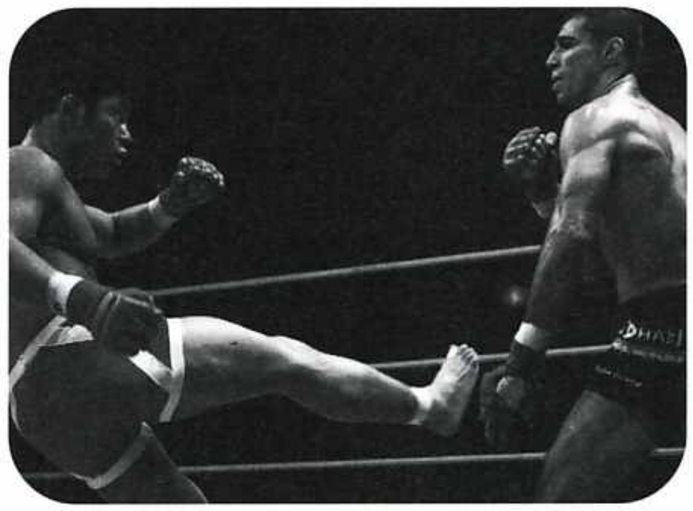


1月26日（日）、後楽園ホールで開催された『PANCRASE 2003 HYBRID TOUR』の模様を2時間にわたってオンエア！　メインで近藤有己と闘ったガブリエル・ベラは、ブラジリアン柔術世界選手権を2度も制している強豪。果たしてVTの実力はいかに？　一方、近藤にとっては菊田早苗との大一番に向け、今年一発目の試合にきっちり勝って弾みをつけたいところ。注目の一戦だ！　今年、旗揚げ10周年を迎えるパンクラスの熱き闘いから目を離すな！

Pick Up 2

『DEEP2001 1st～6th IMPACT ザ・ヒストリー』

スカイパーフェクトTV！　パーフェクトチョイス
PPV視聴料800円/回、PPS視聴料3,000円/全試合
2月22日（土）/1st IMAPCT（01.1.8名古屋）
23日（日）/2nd IMPACT（01.8.18横浜文体）
24日（月）/3rd IMPACT（01.12.23ディファ有明）
25日（火）/4th IMPACT（02.3.30名古屋）
26日（水）/5th IMPACT（02.6.9ディファ有明）
27日（木）/6th IMPACT（02.9.7有明コロシアム）
※いずれも20:30～ Ch.116でオンエア



直前に迫った3.4後楽園ホール大会に先駆け、過去に行われた激闘の模様を連日連夜に渡って一挙放送！

3.4後楽園ホール大会、PPV生中継決定!!

『DEEP 8th IMPACT in KORAKUEN HALL』
スカイパーフェクトTV！　パーフェクトチョイス
PPV視聴料/1,500円

【独占完全生中継】
3月4日（水）18:30～試合終了まで　Ch.123
※同日18:00から告知番組を無料放送
【再放送】
3月4日（水）21:00～ Ch.111（タイムシフト放送）
7日（金）21:30～ Ch.111
8日（土）13:00～ Ch.123
15日（土）22:30～ Ch.117
29日（土）22:30～ Ch.117

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
2/25（火）	Jスカイスポーツ1	シュートボクシング2003	11：00～13：00	2/15のJスカイスポーツ2を参照
	スカイパーフェクTV! パーフェクトチョイスCh.116	DEEP2001 1st～6th IMPACTザ・ヒストリー	20：30～	➲Pick UP②
	TBSテレビ	サイボーグ魂	23：55～24：30	2/18を参照
	東海テレビ	PRIDE王	24：40～25：10	3.23プレ・プライドのカード公開抽選。佐藤江梨子＆髙田延彦トークイベント
	テレビ東京	格闘Xパンクラス	26：35～27：05	山田学のおでん屋トーク。ゲストの神田利規が、大ファンである船木誠勝へのエピソードや思いを熱く語る
2/26（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	試合中継（再）　極真会館（緑派）	16：00～18：00	02.11.23～24、第34回オープントーナメント全日本空手道選手権大会
	スカイパーフェクTV! パーフェクトチョイスCh.116	DEEP2001 1st～6th IMPACTザ・ヒストリー	20：30～	➲Pick UP②
	FIGHTING TV SAMURAI!	船木が語るパンクラスストーリー	22：00～24：00	#10。再放送同日26：00～
	スカイA	格闘Xパンクラス	23：00～23：30	内容未定
	フジテレビ	すぽると	23：50～24：30	2/19を参照
2/27（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	『ch.01』（再）	16：00～17：30	2/22を参照
	GAORA	角田信朗のすぽ魂	18：00～18：30	2/14を参照
	スカイパーフェクTV! パーフェクトチョイスCh.116	DEEP2001 1st～6th IMPACTザ・ヒストリー	20：30～	➲Pick UP②
	GAORA	週刊格闘JAM!	21：22～21：30	2/14を参照

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00 土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

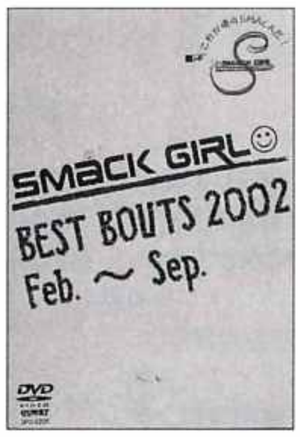
■Jスカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

VIDEO & DVD
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介❶〉 It's HOT!

『SMACK GIRL BEST BOUTS 2002』



発売：クエスト
DVD5,600円/3月18日発売

女が強くてなぜ悪い！

世界的な総合格闘技人気の高まりによって、必然的に生まれてきた女子総合格闘技。その草分けとして着実な活動を続けている『SMACK GIRL』が初のDVD化！　2002年の2月から9月までに行われた8大会の流れを追うとともに、その中から選ばれたベストバウト、話題の試合を10戦（辻結花VS岡裕美、薮下めぐみVS彩丘亜紗子、しなしさとこVS吉住絹代、金子真理VS渡邊久江、エリン・トーヒルVS石原美和子など）、さらに辻、しなし、渡邊ら人気選手のインタビューやプロフィール紹介など、スマックの魅力を余すところなく収録！2002年、スマックガール激動の1年が全て分かる、オススメの作品だ！

〈新作紹介❷〉 It's HOT!

『K-1ワールドグランプリ 10年の軌跡』

発売：フジテレビ映像企画部
DVD3,800円/2月19日発売

誕生10周年を迎えたK-1の歴史が今ここに！

K-1誕生10周年を記念して発売する完全永久保存版オフィシャルDVD！　K-1とはいったいなんなのか、K-1が本当に最強なのか、今後どのように進化していくのか、その変遷の歴史を紐解き振り返る！この第6巻『K-1の殿堂』は、K-1選手＆関係者の目線を軸にしたドキュメンタリーなどから構成されたK-1選手名鑑や戦慄のKO集、K-1辞典などK-1のことがなんでも分かるK-1ビギナーにもやさしい企画が盛りだくさん！　DVDの特性を思う存分活かした映像と企画で、満足度120％の内容となっているぞ！　（第1巻～4巻までが、ひとつになったDVD BOXは絶賛発売中。第5巻は3月19日発売予定）

〈新作紹介❸〉 It's HOT!

『DEEP2001 7th IMPACT in DIFFER ARIAKE』

発売：東芝EMI
DVD3,800円/発売中

これぞDEEP流VTだ！

「あらゆる階級のトップファイターたちが団体の垣根を越えて集う公正なリング」をコンセプトとするDEEP。昨年12月8日、ディファ有明で行われた『DEEP 2001 7th IMPACT in DIFFER ARIAKE』を完全収録！　この大会の注目は、なんと言っても修斗ライトヘビー級王者・須田匡昇の電撃参戦！　昇り調子で波に乗るU-FILEの長南亮との息を呑む攻防は必見！　他にもルンピニーの現役王者も参戦したムエタイVS日本選抜の3対3マッチやDEEPでは新しい試みとなったタッグマッチなど、仰天カードが目白押し！　2002年のラストマッチを飾るにふさわしい熱いバトルを集約したこの1本。これは絶対に見逃せないぞ！

RENTAL RANKING（1/15～1/31調べ）

❶ 『K-1スーパーテクニック・オブ・ボスジム』
フジテレビ映像企画部

❷ 『褐色の貴公子　前田憲作』
クエスト

❸ 『村上竜司流ケンカの聖書 ケンカ必勝法』
プロデュース

❹ 『鬼塚勝也　王者の証明』
ポニーキャニオン

❺ 『具志堅用高　ボクシング教室』
日本スポーツ映像

1位

『K-1スーパーテクニック・オブ・ボスジム』
最高のテクニックをこれで学べ！

ロブ・カーマン、アーネスト・ホーストなど、多くの名キックボクサーを世に輩出してきたボスジム。そのボスジムのベールが明かされたテクニックビデオが、今から8年前に存在していた！　若かりし頃の武蔵が出演し、ボスジムの総帥ヨハン・ボス（『WRESTLE-1』で大活躍！）が理論的に技術解説するお宝級のビデオ。これはまさに必見だ！

『フィットネスショップ格闘技　水道橋店』

東京都千代田区三崎町3-6-13寺本ビル2F
☎03-3265-4646

ランキングにご協力いただいている格闘技ショップ『フィットネスショップ格闘技』では、日頃の感謝の気持ちを込めて2月22日（土）～27日（木）まで大クリアランスセールを行います！　また、3月2日（日）にはチーム・ドラゴン前田憲作氏による、キックセミナーを開催！　こちらは定員間近なので、参加希望者は急いで申し込もう！

SELL RANKING（1/15～1/31調べ）

❶ 『BEST SELECTION OF THE CONTENDERS』
クエスト

❷ 『高阪剛　寝技大全vol.4』
クエスト

❸ 『DEEP2001 5th IMPACT in DIFFER ARIAKE』
クエスト

❹ 『塩田剛三　直伝』
クエスト

❺ 『修斗2002BEST』
クエスト

1位

『BEST SELECTION OF THE CONTENDERS』
コンテンダーズの魅力満載！

1999年から歩み始めた『CONTENDERS』は、打撃を一切取り除いたグラップリングマッチ、マニア垂涎のマッチメイク、音楽・映像を駆使したクリエイティブな演出などによって、格闘技界に新たなる価値観を生み出しているイベントだ。本作では、全40試合収録の大ボリュームに加え、特典映像なども付いて『CONTENDERS』の全てが凝縮されているぞ！

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈おすすめグッズ❶〉 Recommend

『「ファスティング・ダイエット」オフィシャルMOOK』
アスキー・コミュニケーションズ/1,200円（税別）
この1冊でファスティングの全てが分かる!!

初の公式ファスティング本がリリースされました。いまや、芸能界やプロ野球界でも大流行のファスティング。これを読めばファスティングの理論が完璧に分かります。これから『ファスティング・ダイエット』に挑戦する方は、特に必見！　アントニオ猪木や美川憲一など有名人の体験談も収録されています。

〈おすすめグッズ❷〉 Recommend

『「1・19WRESTLE-1」プログラムカード』
グレート・アントニオ/1,500円（税別）
ボブ・サップの年賀状などなど、100枚封入!!

東京ドームでの会場販売だったため入手困難な商品です。サップの年賀状以外に、第1回『WRESTLE-1』ダイジェストや選手プロフィール、A BATHING APEカードも入っていますよぉぉぉ！　カード型のパンフレットなんてオシャレですねぇぇぇ!!

グレート・アントニオ
西山千尋 店長

「先日、テレビ&新聞などで報道された読売巨人軍・工藤投手の『ファスティング・ダイエット』挑戦をうけて、在庫に関するお問い合わせが多々ありますが、当店では『ファスティング・ダイエット』は常時取り扱っております。ネット&TELでの通信販売もおこなっておりますので、こちらも宜しくお願い致します」

グレート・アントニオ
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル1F
☎03-3219-9550
通信販売受付　☎03-3295-4450 or 0570-007800
HPアドレス http://www.great-antonio.jp
営業時間/11:00～20:00（月曜定休）
通信販売受付/10:00～18:00（月～土曜）

GOODS RANKING

1. 『道険笑歩 御守』 グレート・アントニオ/1,000円（税別）
2. 『ファスティング・ダイエット』 杏林予防医学研究所/18,000円（税別）
3. 『ボブ・サップTシャツver.2』 グレート・アントニオ/4,000円（税別）
4. 『ボブ・サップTシャツver.3』 グレート・アントニオ/4,000円（税別）
5. 『ボブ・サップTシャツver.1』 グレート・アントニオ/4,000円（税別）

1位

『道険笑歩 御守』
道はどんなに険しくとも笑いながら歩こうよ!!

毎年恒例のアントニオ猪木お守り。受験シーズン到来の今こそ、猪木頼みですよ！　元気があれば合格もできる!!　猪木に頼めばサクラサク!!　がんばれ、受験生！　行くぞー！　1・2・3ダアー!!

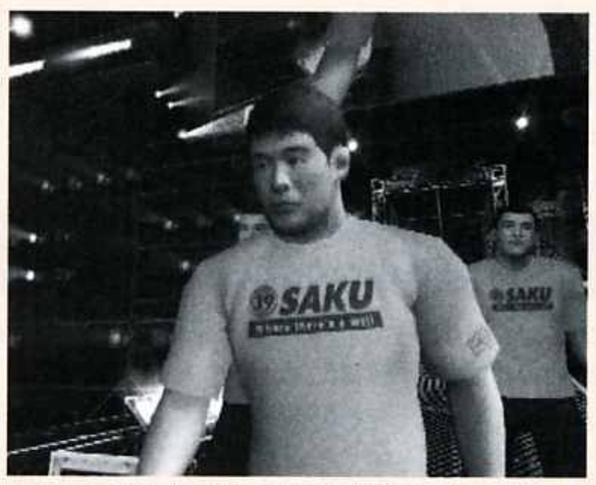
GAME INFORMATION

ファン待望！　PS2『PRIDE』がいよいよ登場！

あらゆる格闘技、あらゆるスポーツの中から最強の男たちが集い、闘いを繰り広げる場所。それが『PRIDE』。桜庭和志、髙田延彦、ヴァンダレイ・シウバ、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ、ホイス・グレイシーなど総勢25人の選ばれしファイターがPS2に降臨！　自分の思いのままにマッチメイクできるので、桜庭VSノゲイラの階級を越えた闘いから、シウバVSムリーロ・ニンジャのシュート・ボクセ・アカデミー同門対決、髙田VS桜庭の師弟対決など夢のカードを自分の手で実現できるぞ！　待望の発売日まで、もうすぐだ！

▲こんな夢の対決もゲームだからできちゃう！

▲テレビでよく見かけるシーンも完全再現！



▲ライブさながらの臨場感溢れる入場シーンは必見！

◆タイトル/『PRIDE』
◆ハード/プレイステーション2
◆発売日/2月20日発売
◆価格/6,800円（税別）◆発売/カプコン

© 2003 Dream Stage Entertainment,Inc. Distributed in Japan under license by Capcom. Game and Software licensed to Capcom by THQ Inc. Developed by Anchor. Anchor and its logo are trademarks and/or registered trademarks of Anchor,Inc. THQ and its logo are registered trademarks og THQ Inc. All Rights Reserved. All other trademarks,logos and copyrights are property of their respective owners.

Et cetra

パンクラスからお知らせ２連発！

【近藤有己イベント報告！】

1月12日（日）、青森県八戸市武道館で、近藤有己による『出張P'sLAB』が開催された。当日は、女性を含む60名が参加。第1部でテイクダウン・各種関節技・チョーク、第2部では近藤自らが“火の呼吸”を伝授するなど、充実の3時間にセミナー参加者も大満足！　夜には、地元のラジオ局『BeFM』に出演。3度目となる青森大会開催に向けPRを入念に行うなど、近藤にとっては精力的に活動した1日となった。

▲ついでに“不動心”も伝授!?

【タイに続きインドネシアに進出！】

この度、パンクラスとインドネシア格闘技連盟（略称F.B.O.I）が、ライセンス契約を結び、両団体の提携が正式に成立した。F.B.O.Iは、インドネシアオリンピック委員会が認可するインドネシア初の総合格闘技連盟として昨年設立。今月の5日から9日にかけて、パンクラスの尾崎允実代表取締役社長、パンクラスGRABAKAの菊田早苗、石川英司の2選手、梅木良則レフェリーがインドネシアを表敬訪問。両団体の代表によるトップ会談ならびに提携発表記者会見を行ったとのこと。これに関する詳細は、次号でお伝えします！

九州から頂点を目指せ！

4月6日（日）、福岡・ベイサイドプレイスで『格闘イベントREAL DEAL』を開催！　そこで現在、キックボクシングルールあるいは総合格闘技ルール（アマチュアクラス、プロクラス）に参加したい選手を大募集！　東京・大阪に負けないぐらい格闘熱が高い九州にいる猛者の参加を求む！

◆日時/4月6日（日）　試合開始15:00

◆場所/福岡・ベイサイドプレイス（福岡市営地下鉄天神駅より徒歩15分、西鉄大牟田線天神駅より徒歩15分）

◆参加資格/16歳以上の感染症のない健康優良な人

◆参加費/アマチュアクラス　5,000円、プロクラス　無料

◆締め切り/2月22日（土）必着

◆お問い合わせ/リアルディールジム☎092-845-7027、FAX092-874-9888、

公式ホームページhttp://www.realdeal.jp/

BCGより嬉しいお知らせ！

BCGでは、今月から毎週木曜日を女性のみにジムを解放する『Ladies Day』に！　そこで、『Ladies Day』開設記念として、これから入会を希望する女性の人に対し、入会月に限り月会費無料キャンペーンを実施中！　パーソナルダイエットやキックボクササイズなど、女性にうれしいトレーニングメニューが豊富に揃っているので、男性の目を気にすることなく好きなだけBCGを活用すべし！　また、これに伴い休館日が、これまでの木曜日から第2、4火曜日に変更となるので、お間違えのないように！

◆お問い合わせ/BCG☎03-3560-7911　公式ホームページhttp://www.bcgizm.com

スマックガール初のアマチュア大会開催！

本年度よりスマックガールの新しい試みとして、アマチュア大会『SMACKGIRL-F』（Fはfirst-step、fresh、future、fortune、fight等の略）を3月1日（土）、東京武道館・第2武道場で開催！　そこで現在、出場者を大募集！　日頃の練習の成果を試す場として、あるいはスマックのリングを目指す選手たちの経験の場として、この絶好のチャンスを見逃すな！◆日時/3月1日（土）　試合開始18:30

◆場所/東京武道館　第2武道場（営団地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分）

◆試合形式/SGS-Fルール・ワンマッチ（スタンドの打撃有　※顔面パンチは無し）

SGG-Fルール・ワンマッチ（グラップリングルール）

◆参加費/2,000円（スポーツ保険加盟料含む）　※同一または複数のルールでの、2試合・3試合の出場も歓迎（その際の参加費は変わらず）

◆締め切り/2月24日（月）必着

◆お問い合わせ/スマックガール実行委員会（担当：勝井）☎090-1773-5647　FAX03-3825-0753

▲辻、しなしに続くニューヒロインはアナタだ！

アマチュア修斗出場者大募集！

現在、下記の3大会で出場者を大募集！　『第5回中部アマチュア修斗オープントーナメント』は、参加申込みの締め切り日が迫っているので、大会参加希望者は今すぐ申込もう！

【第5回中部アマチュア修斗オープントーナメント】

◆日時/3月2日（日）　試合開始10:30

◆場所/愛知・露橋スポーツセンター　1F柔道場（名鉄・名古屋本線ナゴヤ球場前駅より徒歩7分、JR東海道本線尾頭橋駅より徒歩8分）

◆試合形式/修斗クラスC公式ルールに則った男女別、階級別のトーナメント。協会制定の修斗グラップリングルールに則った、男女別、階級別のワンマッチ

◆参加資格/18歳以上の感染症のない健康優良な日本修斗協会アマチュア登録選手（20歳未満の方は、保護者のサインが必要です）　※グラップリングマッチに出場の場合、選手登録の必要なし

◆参加料/日本修斗協会加盟クラブ所属選手5,000円　一般6,000円

◆応募方法/出場希望者は、所定の参加申込書に必要事項を全て記入、押印、写真貼付し、参加費同封の上、現金書留で下記の大会事務局まで申込み。また対戦表を事前に知らせてほしい人はその旨を明記し、FAXナンバーを明記するか返信用封筒（100円切手を貼り、表に送り先を記入）を同封して申込み

◆締め切り/2月17日（月）必着

◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会（〒176-0012東京都練馬区豊玉北1-6-13カエサル江古田B1-101パレストラ内）☎03-5984-3209

【松戸フリーファイト＆B.J.J.JAM3、中井祐樹 柔術セミナー】

◆日時/3月9日（日）　試合開始11:30

◆場所/千葉・松戸運動公園総合体育館　柔道場（JR北松戸駅東口より徒歩20分、新京成松戸新田駅より徒歩15分、JR北松戸駅東口より『県立松高行き』で運動公園前停留所下車）

◆内容/アマ修斗公式戦、アマ修斗グラップリングマッチ、アマ修斗体験マッチ、ブラジリアン柔術マッチセミナー（中井祐樹による柔術セミナー）

◆参加料/試合出場のみ：一般3,500円　修斗協会or柔術連盟加盟クラブ3,000円

セミナーのみ：一般3,500円　修斗協会or柔術連盟加盟クラブ3,000円

試合＆セミナー：一般6,000円　修斗協会or柔術連盟加盟クラブ5,000円

◆応募方法/出場希望者は、参加申込書に必要事項を全て記入、押印、写真貼付、参加費同封の上、現金書留でパレストラ松戸まで申込み。申込み期日が迫っている場合、まず電話で問い合わせ。対戦カードを事前に知らせてほしい人は、アンケート欄にその旨を明記し、FAXナンバーまたはEメールアドレスを明記するか返信用封筒（80円切手を貼り、表に送り先を記入）を同封して申込み

◆締め切り/2月25日（火）必着

◆お問い合わせ/パレストラ松戸（〒271-0077千葉県松戸市根本63　秋谷ビル1F）☎043-254-6646

【第3回東日本アマチュア修斗フレッシュマントーナメント】

◆日時/3月21日（金・祝）　試合開始10:30

◆場所/東京・台東リバーサイドスポーツセンター　3F第1武道場（営団地下鉄銀座線、都営浅草線、東武伊勢崎線浅草駅より徒歩10分）

◆試合形式/1.公式戦績2勝以下の選手：修斗クラスC公式ルールに則った男女別、階級別のトーナメント

2.公式戦績3勝以上の選手：修斗クラスC公式ルールに則った男女別、階級別のワンマッチ

3.協会制定の修斗グラップリングルールに則った男女別、階級別のワンマッチ

◆参加資格/18歳以上の感染症のない健康優良な日本修斗協会アマチュア登録選手（20歳未満の方は、保護者のサインが必要です）　※グラップリングマッチに出場の場合、選手登録の必要なし

◆参加料/日本修斗協会加盟クラブ所属選手5,000円　一般6,000円

◆応募方法/出場希望者は、所定の参加申込書に必要事項を全て記入、押印、写真貼付し、参加費同封の上、現金書留で下記の大会事務局まで申込み。また対戦表を事前に知らせてほしい人はその旨を明記し、FAXナンバーを明記するか返信用封筒（100円切手を貼り、表に送り先を記入）を同封して申込み

◆締め切り/3月10日（月）必着

◆お問い合わせ/日本修斗協会アマチュア普及委員会（〒176-0012東京都練馬区豊玉北1-6-13カエサル江古田B1-101パレストラ内）☎03-5984-3209

アパレルブランド『BEAMS』からグッドニュース！

2月20日（木）から3月18日（火）まで、新宿・Bギャラリーにて『BEAMS WORKS×PRIDE』の企画展を開催！　『BEAMS WORKS×PRIDE』は、グラフィックデザイナー下田法晴とアートディレクターSEIJI“BIGBIRD”によるユニット『MINTOS』と『BEAMS WORKS』が手掛ける『プライド』のオフィシャルアパレル。今回の企画展では、オフィシャルTシャツとして発表されたアートワークの数々と新作を展示するぞ！　さらに会場では今までにリリースされたTシャツも販売！　オシャレ好きのアナタ！　これは要チェックだ！

【BEAMS WORKS Presents『MINTOS VS PRIDE』】

◆日時/2月20日（木）～3月18日（火）　営業時間11:00～20:00

◆場所/B GALLERY（東京都新宿区新宿3-32-6 BEAMS JAPAN 6F）

◆お問い合わせ/B GALLERYメールアドレス bgallery@ik9.so-net.ne.jp

▲新宿へお立ち寄りの際はぜひ、B GALLERYへ！

GOODS & TICKET
ショップガイド

東京イサミ　新宿駅南口徒歩3分

〒101-0061　東京都新宿区新宿4-2-21 相模ビル3F
03-3352-4083
毎週火曜日、祝日定休　営業時間　11:00～19:00

イサミ尚武堂(株)　水道橋駅西口徒歩1分

〒101-0061　東京都千代田区三崎町2-18-5京三会館2F
03-5214-6487
年中無休　営業時間　11:00～19:00

チャンピオン　水道橋駅西口徒歩1分

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6F
03-3221-6237
年中無休　営業時間11:00～22:20

書泉グランデ　書泉ブックマート　地下鉄神保町駅

〒101-0051　東京都千代田区神保町1-21-6（書泉ブックマート）
03-3294-0011
営業時間（平日）10:30～19:00（日祝）10:30～18:30

レッスル渋谷　渋谷駅南口徒歩4分

〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂1-17-2第2野々ビル3F
（1F茜屋）03-3464-0078
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

ファイター　地下鉄新宿3丁目駅　C4出口徒歩1分

〒160-0022　東京都新宿区新宿3-3-9-B1
03-3354-1903
毎月第3水曜日定休　営業時間11:00～19:00

アイドール　西武新宿駅徒歩5分

〒160-0023　東京都新宿区西新宿7-1-3　加藤ビル4F
03-3371-5211
毎週月曜日定休　営業時間　11:00～19:00

チケット売所一覧

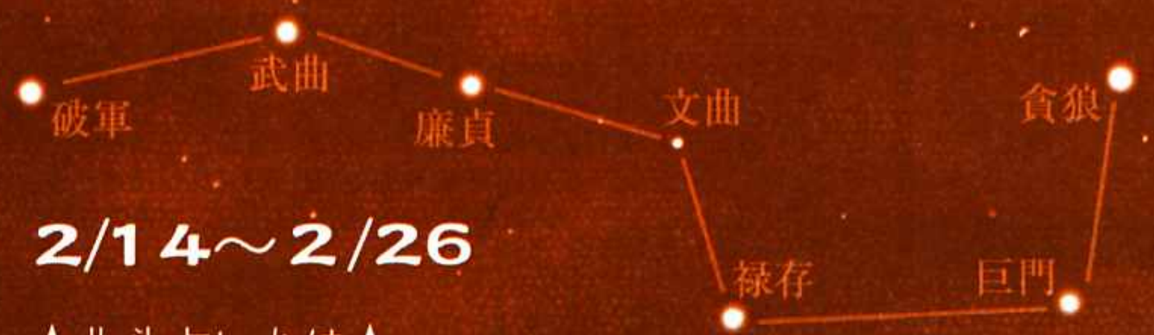
チケットぴあ	03-5237-9999	渋谷東急文化チケットセンター	03-3406-1513
チケットセゾン	03-3250-9999	レッスル渋谷店	03-3464-0078
ローソンチケット	03-3569-9900	レッスル池袋店	03-3989-0056
CNプレイガイド	03-5802-9999	板橋大山アメリカン	03-3962-6443
オデッセー	03-3408-0331	チャンピオン	03-3221-6237
書泉ブックマート	03-3294-0011	フィットネスショップ格闘技	03-3265-4646
後楽園ホール	03-5800-9999		

格闘技オフィシャルホームページ

K-1	http://www.k-1.co.jp/
UFO	http://www.ufojp.co.jp/
極真会館（松井派）	http://www.kyokushin.co.jp/
DEEP2001	http://www.deep2001.com/
アントニオ猪木	http://www.inokiism.com/
大道塾	http://www.daidojuku.com/
パンクラス	http://www.so-net.ne.jp/pancrase/
UFC	http://www.ufc.tv/index1.asp
怪獣王国	http://www.monsterkingdom.com/
シュートボクシング	http://www.shootboxing.org/
日本武道伝骨法會	http://www9.big.or.jp/~koppo/
修斗	http://www.alles.or.jp/~shooto/index.html
新日本キックボクシング協会	http://www1.neweb.ne.jp/wa/kick/
全日本キックボクシング連盟	http://www.aj-kick.co.jp/
J-NETWORK	http://www.kickboxing.co.jp/
PRIDE	http://www.so-net.ne.jp/pride/
高田道場	http://www.takada-dojo.com/ http://www.takada-dojo.com/i/（iモード用）
撃圏道	http://www.seiken-do.com/
全日本新空手道連盟	http://www.shinkarate.net/

宇月田麻裕の
Mahiro Utsukita

北斗占い®



2/14～2/26

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。
この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。
絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

ホクトホンミョウジョウ 北斗本命星早見表

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです。
武曲（ブゴク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

貪狼星

全体運

吉兆星が輝いています。重要な業務を任され、周囲の注目を一身に浴びそう。まずは、プレッシャーと紙一重のこんな状況をポジティブに受け止めていくこと。さらに、楽しむ余裕が出たら、あなたの潜在的な能力が発揮されるはず。

恋愛運

フリーは、バレンタインデーを機に、意外な女性との恋が始まる予感。適齢期のカップルは、そろそろ腹を決めて、結婚への一歩を踏み出す時期。

勝負運 異性とペアを組むと運気好転のチャンス。

健康運 基礎代謝を高めるトレーニングにツキあり。

金運 先行投資して後輩におごると金運アップ！

★ラッキーカラー★ グリーン
★ラッキーアイテム★ 手袋
★ラッキースポット★ スポーツジム

巨門星

全体運

日常の忙しさの中で、自分を見失いがちな時。もしかしたら、年頭に立てた今年の目標も忘れてしまっているのでは？　毎日、最低30分くらいは時間を確保し、目標達成に向けて取り組む時間を作ろう。地道な努力の継続が大切。

恋愛運

フリーのあなたは、話題豊富なトークが気に入られて、素敵な彼女をゲットできそう。カップルはバレンタインが2人の絆を深める日に。大切に過ごして。

勝負運 ささいなミスが命取りに。慎重に臨むこと。

健康運 野菜中心の食事で体質の改善をするとグッド。

金運 金銭の徹底した管理で無駄遣いをストップ。

★ラッキーカラー★ シルバー
★ラッキーアイテム★ 空気清浄機
★ラッキースポット★ 自宅

禄存星

全体運

一人でする仕事が多すぎて、最近ストレスが溜まりがちなのでは？イヤイヤやるよりは「人生に無駄なことは何もない」ぐらいに発想を転換して、何事も積極的に取り組んでみよう。そんな姿勢をちゃんと見てくれている人はいるハズ。

恋愛運

カップルはお互いの距離がぐっと近付く時。2人だけの鍋パーティーなどで暖かい雰囲気を演出しよう。フリーは合コンで年上の女性に出会う予感。

勝負運 長期戦に持ち込むと有利に進められそう。

健康運 捻挫の心配あり。足首のケアはしっかりと。

金運 出費増加傾向でもカードの使用は自粛して。

★ラッキーカラー★ ブラック
★ラッキーアイテム★ シェイバー
★ラッキースポット★ 劇場

文曲星

全体運

凶兆星が忍び寄り、知らないうちに疲れがたまっている暗示。忙しいからといって、今のペースを続けていくと、不注意によるうっかりミスや筋トレ中のケガなどが発生しそう、無理のないスケジュールが能率ＵＰのカギに。

恋愛運

恋人のわがままや不満にずっと目をつぶってきたあなた。状況が好転する見込みがないなら、これから交際を続けていくことを真剣に考えたほうがよさそう。

勝負運 睡眠不足から来る集中力低下に要注意。

健康運 肌あれ解消のためビタミンＣを多く摂ろう。

金運 経済関係の書籍に収入ＵＰのヒントあり。

★ラッキーカラー★ グレー
★ラッキーアイテム★ システム手帳
★ラッキースポット★ 公園

廉貞星

全体運

最近、壁にぶつかっているあなた。その原因を追究する前に、他人のせいにしていない？　まずは、自己を分析し、つまらないプライドを捨ててみよう。そして、謙虚に周囲のアドバイスを受け入れることが、軌道修正のカギに。

恋愛運

別れた恋人とヨリが戻る可能性が。まずは連絡をして、相手の気持ちを聞いてみて。今でもお互いを必要としているならば、その気持ちに素直に。

勝負運 香りのグッズを身に付けるとラッキーが。

健康運 肩こり解消には正しい姿勢の維持が大切。

金運 外食費を減らさないと後半ピンチに。

★ラッキーカラー★ ブルー
★ラッキーアイテム★ レザー
★ラッキースポット★ イタリアンレストラン

武曲星

全体運

あなたの自信満々な発言が、周囲の反感を買ってしまいそう。職場や道場などで偉そうなことを言う前に、まずはあなた自身が行動や実践をして見せること。そうすれば皆に認められるし、できないなら自分の努力から始めよう。

恋愛運

フリーは、サークル活動などに参加すると、タイプの女性に出会うチャンスあり。誠実な態度でアプローチを。カップルは、同じ趣味を始めるとグッド。

勝負運 口コミの情報が予想以上に役に立ちそう。

健康運 間食を止めてウェイトキープに努めよう。

金運 うまい儲け話に騙されないよう気を付けて。

★ラッキーカラー★ ピンク
★ラッキーアイテム★ 液晶テレビ
★ラッキースポット★ 喫茶店

破軍星

全体運

新しいことを始めると運気アップ！サイドビジネスでも格闘技でも、いいと思ったことは迷わずトライしてみよう。すぐにはうまくいかなくても、それを続けていく過程で人脈や行動範囲が広がり、得られるものは大きいハズ。

恋愛運

彼女から、結婚話などで決断を迫られているあなた。いつまでも煮え切らない態度はダメ。問題には正面からぶつかって、男としてキチンと答えを出そう。

勝負運 第六感を働かせるとツキの波に乗れそう。

健康運 出勤前のストレッチで軽やかな毎日を。

金運 趣味を生かしたサイドビジネスがグッド。

★ラッキーカラー★ ラベンダー
★ラッキーアイテム★ メモ帳
★ラッキースポット★ バス停

宇月田麻裕プロフィール
ハッピネスファクトリー代表。読売新聞連載、TBSテレビ「ワンダフル」出演など、マスコミで活躍中。コンテンツ「NTT・Vポータル」TEL.0570-0033-03、「アジアン占術物語」http://www.nifty.com/asian/、鑑定&占いスクール開講。著書「もっともわかりやすい宿曜占星術」（説話社）好調発売中。URL http://www.happiness-f.com　mail order@happiness-f.com

イラストレーション＝松本晴夫

ザッツ・ゲキャリブル 20

山本隆司

宮本武蔵という生き方を考える！

今年のＮＨＫの大河ドラマは剣豪、宮本武蔵が主人公。まだ、私は1回しか見ていない。あまり見る気がしないこともたしかだ。

この人の人生は晩年まで不遇だった。それは世間的かつ世俗的にみてという意味である。たとえどんなに剣が強くても、だからといって大名に仕官がかなうかといったらそれは別。

今でいうと武蔵は大企業に就職できなかったのだ。仮に剣の道をとことん追求すると、最後に残るのはただただ己のみ。絶対的孤独としての自分しかない。

それを貫き通したところに武蔵の魅力がある。そのことと仕官が両立するわけがない。残念ながら武蔵は長い間、その矛盾に気付くことができなかった。

その点で〝剣術バカ〟という見方もできる。剣の世界にいっちゃってしまっていた男である。組織にとってそういう人間は、面倒臭いだけ。敬遠されて当然だ。

誰がそういう男を採用するだろうか？　徳川幕府から声がかかった時、武蔵はすでに幕府の剣術指南役になっていた柳生の下で「なぜ自分がやらなければならないんだ」と言って断っている。

このプライドの高さが武蔵の全てである。世間と折り合いなどつくはずがない。そうして武蔵は浪人のまま、世の中をほっつき歩きながら生き続けた。

それでいいのだ。強過ぎた男の行く道はそこにしかない。本望ではないか？

そのことによって武蔵が世間に負けたとか、落伍者という見方はまったく当たっていない。要は世間なんかどうでもいいのだ。

私は真のアーチストは決して時代とスウィングしないと思っている。彼らは常に時代をシュートする立場に立とうとする。そうでなかったら人が理解できないところまでいってしまうからだ。

晩年、武蔵はやっと熊本の細川藩から召しかかえられた。といってもひとりの男が住めるだけの家を与えられただけ。

そして死を前にした武蔵は、『五輪書』を自分のライフワークとして書き上げていく。そうして彼は形になるものを後世に残したのだ。それは生涯60数戦、決闘をして一度も負けなかったという事実よりも、フィクションとしての『五輪書』を書いたほうが明らかに偉大である。

最強の概念にこだわり負けないことに全力を投入して生きてきた剣術家、武蔵は実はそれ自体は、別にたいしたことではないのだ。

勝つために勝利の方程式を徹底して考え、そのことによって自分を見つめ続けたその生き方が、特筆すべきことなのだ。

思うに私は今年57歳になる。そろそろ人生にとって〝晩年〟とは何かについて、真剣に考える時が来たような気がしている。

人は生きていたら必ず老いるもの。肉体のあちこちにほころびを感じる今日この頃だ。そう思った時、私は長生きをした武蔵に一番注目する。武蔵から学ぶものがあるとしたらこれだ。長生きしたから武蔵は『五輪書』を書く気になった。もしも無味乾燥な晩年というものがなかったら『五輪書』はなかったと言える。■

はみ出し ターザン情報
ターザン山本の「一揆塾」塾生募集中――大好評の「一揆塾」は、現在、毎週木曜日の19:30～21:00、場所は水道橋の闘道館で開講中。お問い合わせは☎03-3512-2080

～お客様は神様です～

あぶもぐ

五月場所

10日目

ABNORMAL★MOGUTAN

親方◎小松モグタン

目ン玉が飛び出るようなストロングなイラスト！

イラスト界の突ド真ん中を走れ！

（ヨシオカ・リナレス・ミツコ・キューバ・？歳）
◆おお、長州にそっくりだ！！

プロレス雑誌で散々『WRESTLE―1』が叩かれていたので、読者の文句も多いと思ったのだが、あんまり批判の意見がないのにビックリ！　目ン玉が飛び出るくらい怒っている人はいないのかな？

日本列島に衝撃が走った「貴乃花引退」のニュース。号外は出るわ、テレビの特番が組まれたりするのを見ると、改めて貴乃花の偉大さを感じます。また数々の感動を与えてくれました。平成の若貴ブーム、初めての兄弟対決、そして記憶にも新しい2001年の対武蔵丸戦。相撲ファンの僕にとっては「貴乃花引退」は寂しいですが、ここまでよく頑張ってきたと思います。最後に貴乃花に一言送りたい。「横綱というプレッシャーに耐えてよく頑張った。感動した!!」貴乃花、ありがとうっっー!!

（西村哲也・長野県長野市・17歳）

◆横綱、長い間、目ン玉が飛び出るような相撲を見せてくれてありがとう！　これからも、角界のド真ん中に居座ってくれ！

P78の『あぶもぐ』が面白かった。佐久間ごっち、私たちの間では〝たかじ〟で通っている。彼は、大変破天荒で人間的に面白いところがある男である。もっともっと彼は語学力を生かして、今までの海外生活を生かして、ハジケロ!!　ガンバレ！（佐久間ごっちをもっともっと使ってください。カーリー・グレイシーの弟子佐久間ごっちへ）

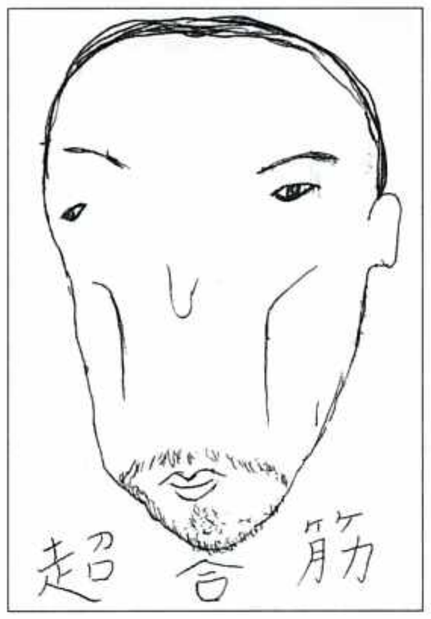
（無田貞之・新潟県新津市・29歳）

◆前号で掲載した佐久間ごっちの友人からの投稿。佐久間ごっちは実はカーリー・グレイシーの弟子だったのだ！　でも、グレイシー柔術は運転にはなんにも生かされていないぞ！

（相川浩和・山梨県中巨摩郡・22歳）

（岡田侑子・東京都八王子市・16歳）

◆ゲイ春？



（長南憲司・千葉県流山市・？歳）

某週刊プロレスに「誰がなんのために開催しているのか、さっぱり分からない」と書いてあった『WRESTLE―1』ですが、やはりフジテレビが新たな金脈を探すために企画しているのだと思います。で、そのオシャレなイベントの解説者がターザン山本さんであるという取り合わせが強烈ですね。

（春名義行・兵庫県明石市・36歳）

◆「なんのために開催しているか分からない」からこそ、山本さんの解説が必要なんです。

今号で良かったのはやっぱり『W―1』ですね。ブッチャーVSさたやん。60歳すぎているのに、あれだけやれる人は他にいないと思います。若い頃から見ていましたが、今でも変わらないおでこからの流血。何度見ても興奮します。

（内野喜美子・岩手県釜石市・43歳）

◆さたやんも誉めて！

さたやん……、いや佐竹と呼ばせてもらう。なんだあの試合は？　プロレスとして中途半端すぎる!!　もっと勉強しろ～～!!

（嘉本眞輝・大阪府大阪市・17歳）

◆さたやんは勉強させずにのびのびさせないと、あの連発ヒップドロップが見られなくなる恐れがある！

あたしもジョー・サンは『W―1』に合っていると思う。橋本は『W―1』出るなら、それなりに『W―1』に合わせればいいのにと思う。カシンもそうだけど。

（藤田明子・東京都青梅市・？歳）

◆合わせたら破壊王じゃないけど、ジョー・サンのTバックを引っ剥がすところを見たかった……。

1・19『W―1』東京ドーム大会で、あの真剣な演技にがっかり。サップの強いイメージがなくなる。『W―1』は今すぐやめてほしい。ファンタジーかなにか分からないけど、ウォーッというのがない！　武藤、ゴールドバーグは『プライド』のほうが光ると思う。サップも。

（井口登・大阪府茨木市・29歳）

◆武藤の頭は光ってましたよぉ！

（古野祥太・福岡県嘉穂郡・12歳）

仰天！　谷川K―1イベントプロデューサーに応援のエールが！

谷川プロデューサーインタビューが面白かった。怖い。目が怖い。目だけは笑ってない。写真からも負の冷酷なオーラがにじみ出ている。キラーサダハルンバがK―1をさらに面白くするのは間違いないと思っています。

（滝浩臣・東京都板橋区・20歳）

◆谷川プロデューサーの真実の部分をちゃんと見抜いていて、素晴らしい！

谷川プロデューサーインタビューが面白かったです。夢のマッチメイクを期待しています。小林選手がK―1MAXに出場してくれると嬉しい。

（渡辺光浩・千葉県習志野市・26歳）

1・19『WRESTLE―1』とサダハルンバ谷川編集長インタビュー記事が良かった。谷川さんはこれからもK―1を支えるような人になってほしい。

（木下伸吾・岐阜県加茂郡・17歳）

K―1と『プライド』と両団体のトップがいなくなってしまった。今、谷川さんに期待しています。個人的な意見ですけど、『W―1』のプロモーターにターザンさんが加われば面白くなると思います。

（野村祥平・千葉県野田市・21歳）

◆こんなにも谷川イベントプロデューサーへの応援のエールが来るとは……。あらゆる厄を吹っ飛ばすような活躍を期待しよう！

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　質問もOK！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

プロレス版

覆面座談会

第7回

今、プロレス界でファンの注目度が高いのは なんとWJプロレスなのだ！

X K―1の石井和義氏が逮捕されるなど、今年はいろんなことが起きるね？ 格闘技の世界は去年以上に大ブレイクする予感があったのにいったい、どうなっているの？ ちょっとつまずいたね。

Y だからといってプロレス界が、よくなったり、盛り返すとは思えない。

Z それよりさあ、早く2月は終わってほしいよ。ろくなことないって感じじゃないか？ 2月は〝逃げる〟というがあと何日あるの？

X ちょうど半分、2週間さ。3月になれば流れが変わる。ドカーンといいことが、いっぱいあるぞ。

Y ちょっと待ってよ。それってなんの根拠もなくて言っているんだろ？

X そうさ。オレの勘だよ。根拠や理屈なんて、何もあてにならない。もう、居直るしかないよ。

Y オレさあ『週刊ファイト』が新日本プロレスを辞めた人たちの年俸を表にして公表していただろ？ あれを見て絶望したよ。あの小島聡が1700万円だっていうじゃない？ 少なすぎるよ。

Z でも、あの数字は本当なの？

X だいたいハズれていないというじゃない？ あれじゃあ、プロレスラーの年俸は、表に出せないな。本当はオープンにしたいんだろうが……。

Y 1億円もらっている人がゼロ。その半分の5千万円にもみんな届いていないんだよ。これはもう、話にならない。

X 『プライド』『猪木祭り』『Dynamite!』にK―1は、相当もらっているんじゃないの？

Z なんでもさあ大晦日にやった『イノキ・ボンバイエ』ではワンマッチ、2千万円もらった選手もいるというじゃない？ もっともらったのかな。

Y ええ、そんなバカな。1試合、ン千万円だとしたら、1年間に100試合以上やっているプロレスラーはどうなるの？ そんなものやってられないよ。

X アホらしいだろうなあ。これは深刻な問題だよ。オレの考えじゃ、昨年の稼ぎ頭はプロレスラーでは、高山善廣じゃないの？ 彼はプロレス以外のリングにバンバン出たしね。

Z そうだよ。『プライド』と『イノキ・ボンバイエ』など、あっちこっちから声がかかったしね。プロレスラーはあれじゃないと、もう、だめだよ。

X それでいて高山はノアではGHCヘビー級のチャンピオンと、新日本プロレスではNWFヘビー級のチャンピオンになったんだからねえ。これはもう〝おいしい〟なあ。三沢、永田、武藤、橋本より高山のほうが稼ぎでは上だよ。

Z プロは〝お金〟で価値が決まる。武藤なんて全日本プロレスの社長になったけど、新日本プロレス時代より年収が三分の一になったと、プロレス専門誌にコメントが載っていた。

X いくら人生はお金だけじゃないと言っても、プロだったらお金で夢のあるところを示さないと悲しいよ。あの年俸を出したことで新日本プロレスは、さすがに『週刊ファイト』に対して、硬くなったというじゃない？ 一部では〝取材拒否〟という噂も聞いたよ。

Y 今時〝取材拒否〟はないんじゃないの？ ファイトはさあ、ああいう新聞なんだから。スッパ抜き、おちょくり、暴露、スキャンダルをデリカシーなしで書きまくっているんだから。

Z あれはあれでいいんだよ。めくじらたてて怒るほうがおかしい。でも、最近はちょっと書き過ぎかな。

X 新聞が売れていなかったりさあ、あとネタがなくなったりして、紙面が行き詰まってくると、人間ってついつい普段は書かないこと、書いてはいけないことを、書いちゃうもんなんだよ。

Y あの新聞さんだって猪木さんと和解したことで、ファイトに「有頂天になっている」と書かれ、そのひと言で「もうファイトはオレのことにタッチするな！」と、絶縁宣言みたいなことを言ったという話じゃないか？

X え、そうなの？ 新聞さんに有頂天という言い方はないよ。人格とプライドをいたく傷付けられたはずだよ。

Y あ、そう、そう。石井和義氏に謝罪文を載せさせられた『週刊プロレス』の佐藤編集長に石井館長、逮捕についてどう思うと聞いたら「それはノーコメン

▲2月4日、噂に上がっていた鈴木健想、越中詩郎、レフェリーの保永昇男のWJ入団記者会見が行われた。この会見の様子や長州の「今月の言葉」などが楽しめるWJの公式ホームページが、プロレスファンの間で話題沸騰。アドレスはこちらhttp://wj-pro.com

ト！」と言われたよ。まあ、口は災いのもととは、本当によく言ったものだよ。ノーコメントは正解か？

X 今、思うとあの謝罪文は行き過ぎということになってしまう。逮捕されたらなんの説得力もない。厳しいなぁ。

Y ところでさあ、今、プロレス団体で一番、面白いのはWJプロレスじゃないの？　あれは全ていいよ。

Z どこがいいの？　旗揚げ戦の3・1横浜アリーナ大会はうまくいくの？

Y 苦しいと思うけどどこか必死さがあるじゃない？　新日本プロレス時代はバックに力があったので長州と永島氏は大きな顔をしていた。常に高飛車な態度を取ることができた。だが、今は違う。なんとかWJを成功させようと、ひたむきになっているもんなあ。それがヒシヒシと、こっちにも伝わってくるもん。

X え、そっちはWJ派なの？　それはびっくりしたなあ。

Y バックを失った時、人はどう生きていくのか？　長州と永島氏はその試練に立たされている。それを見届ける意味でも絶対にWJだな。これしかないよ。

X でも、大丈夫なの？

Y そんな心配はどうでもいいことなんだよ。大丈夫であるはずがない。それなのに彼らは〝ド真ん中〟めがけて決死の覚悟をしているんだよ。長州が言うド真ん中ってそういうことじゃないの？

Z そうかWJはあえて「火中の栗を拾う」行為に出ているのか？　それをド真ん中というんだ。分かったよ。

Y 遅いなあ、分かるのが遅過ぎるよ。

X 言われてみれば危険を承知でド真ん中に突っ込んでいってる感じがしてきたよ。でも、それってやばい賭けにならないの？　リスクが大きいよ。

Y いうなれば無謀と紙一重。しかしやってみないと分からないもん。長州は新日本プロレスのプロレスを〝NO〟と言って出て行ったんだろ。その〝NO〟がなんであるかを見なかったら、オレたちプロレスファンじゃないよ。

X オイ、オイ、そこまで言うか？　それはちょっと言い過ぎじゃないの？　そっちは反長州じゃなかったの？

Z そうだよ、仇敵か天敵と思っていたけどなあ。どうしちゃったの？

Y 人間って「嫌いは好き！」でもあるんだよ。分からないかなあ。君たちは人間に対する見方が単純すぎるよ。とにかく今のWJは〝かわいい〟よ。

Z 〝かわいい〟？

X そんなアホな！

Y かわいいよ。長州は『週刊プロレス』でいいこと言ってるしね。「ボクは絶対的な現場を100パーセントの権力を持ってやりますよ」と。このインタビューは長州の感情がまったく出ていなかったので、決していいとは言えないんだけど、この言葉は最高、待ってましたという感じだよ。あれは名言だね。

Z たしかに〝絶対的現場〟という言い方は、ちょっと普通の人にはできない。感性がなかったら出てこない言葉だ。

Y そう、思うだろ？　WJのホームページには長州力による「今月の言葉」というのが載っているんだよ。1月は「雑草のごとく」という題の詩。詩、すなわちポエム、これがまた面白いんだよ。

Z オレも見たけど今、一番面白い団体のホームページは断然、WJ。これは声を大にして言いたいよ。

X なんだよ、今回はWJのよいしょ座談会になったじゃないか？　え、これでいいの？　どうなっちゃってるの？

Y まあ、3月1日はWJの横アリに行くことをオレは薦める。あれを見なかったら必ず後悔するからな。

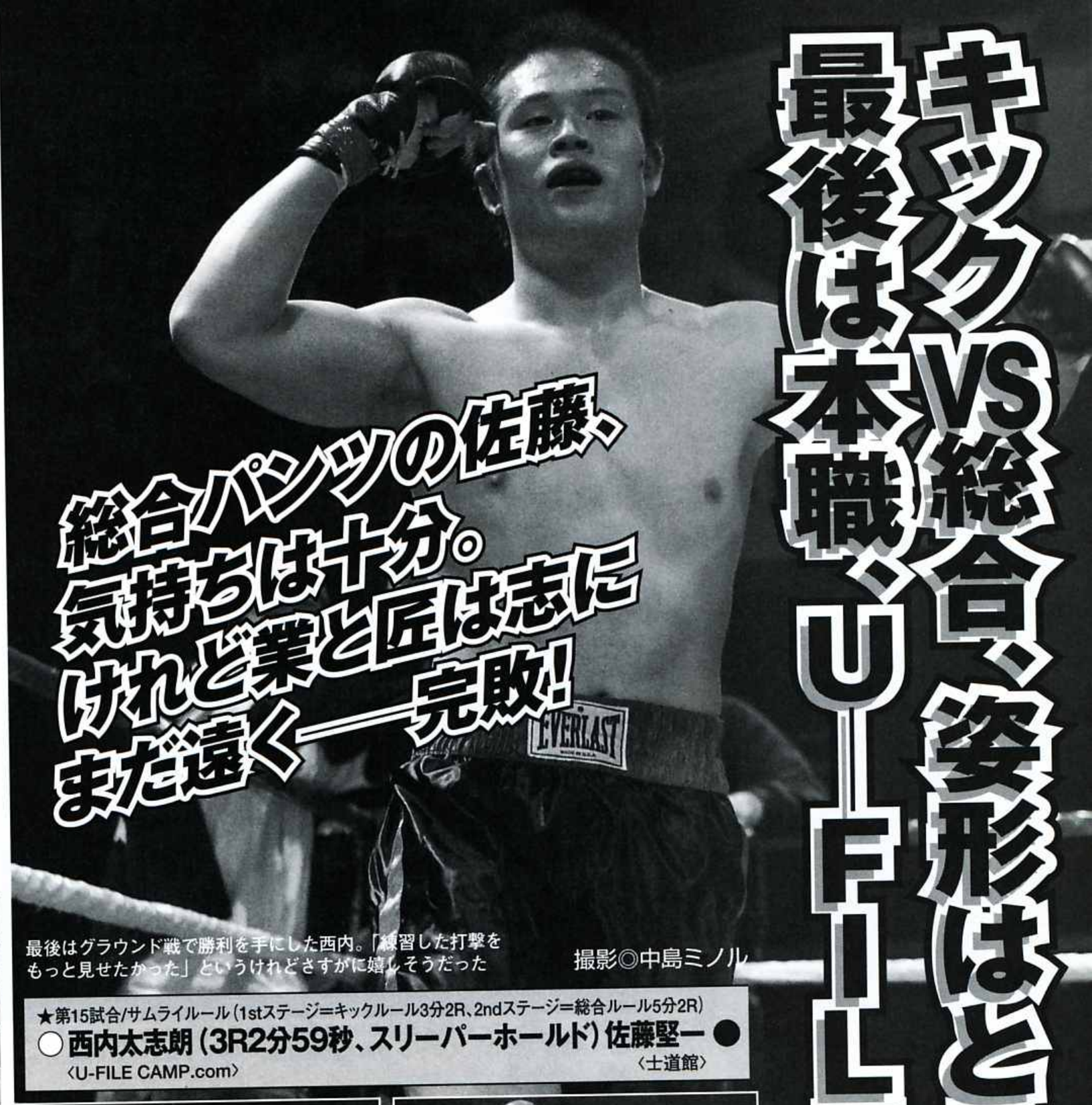
Z で、そっちはマスコミで入るのか？

Y それはない。オレはちゃんとチケット買って入る。じゃあ、な！ ■

〝ド真ん中〟を流行語にした長州力のセンスは、やっぱりただ者ではない

キックVS総合、姿形はところ変えれども…最後は本職、U-FILE西内の寝技勝ち

総合パンツの佐藤、気持ちは十分。けれど業と匠は志にまだ遠く――完敗！



最後はグラウンド戦で勝利を手にした西内。「練習した打撃をもっと見せたかった」というけれどさすがに嬉しそうだった　撮影◎中島ミノル

★第15試合/サムライルール（1stステージ＝キックルール3分2R、2ndステージ＝総合ルール5分2R）

○西内太志朗（3R2分59秒、スリーパーホールド）佐藤堅一●

〈U-FILE CAMP.com〉　〈士道館〉

▲総合ルールで勝負と決めていた佐藤。打撃は控えめだった

▲1、2Rは投げも認められたキックルール。佐藤は首投げに出るが、そこは西内の本職。そうそう簡単には投げられない

両者が登場してきて、まず目を疑った。「あべこべじゃんか」。本職キックボクサーの佐藤が総合用スパッツで、レスラーの西内がトランクスなのだ。隣の本誌・橋本記者がひと笑いした後にボソリ。「つまりこの姿が、今この2人がそれぞれやりたいことってわけですね」。

核心をつく観察である。最初の3分2Rがキックボクシング、後の2Rがグラップリングという『サムライ・ルール』で、佐藤が見せたかったのは、週2日みっちり鍛えた寝技であり、西内のほうはタイ人コーチに教わった打撃だった。

とそういうわけで、佐藤の本領であるはずの2R目まで、その攻撃はまったく迫力がない。時おり厳しいローを飛ばしたが単発だ。だって、このルールで仕留めたくないんだから仕方ない。さりとて西内にも目立った攻めはない。これも当然、かつてキックのチャンピオンだった男が相手だ。深追いは禁物なのだ。そして3R、あっさり勝負は決まる。馴染んだオープンフィンガーグローブを手にした西内は、バックを取って佐藤を転がしにかかる。2度目のトライで目論見どおりに事は運び、チョークであっさり決着をつけた。

西内にはいい経験だった。佐藤にも同じ。ただし、得意領域で相手を存分に痛めつけておくこと。総合であれ、勝負に徹するなら、決して忘れてはならないことだ。

（宮崎）

▶総合使用のスパッツ姿の佐藤とトランクスの西内。両方とも本職と違うじゃないか！

▶▶総合ルールになった3R早々、西内はバックから佐藤をねじり倒し、あっさりとスリーパーで極めた

MAキック EXPLOSION-1

1.25★ディファ有明

西内のコメント

「サムライルールでやるということで、緊張で眠れない夜もあったくらいですが、最後は『やるしかない』と腹をくくりました。でも本職は違いますね。スネに蹴ってくるローが。左ミドルとか、打撃の練習をやってきました。それを見せることができなかったんだから納得はしていませんけど、とりあえず勝って良かったです」

佐藤のコメント

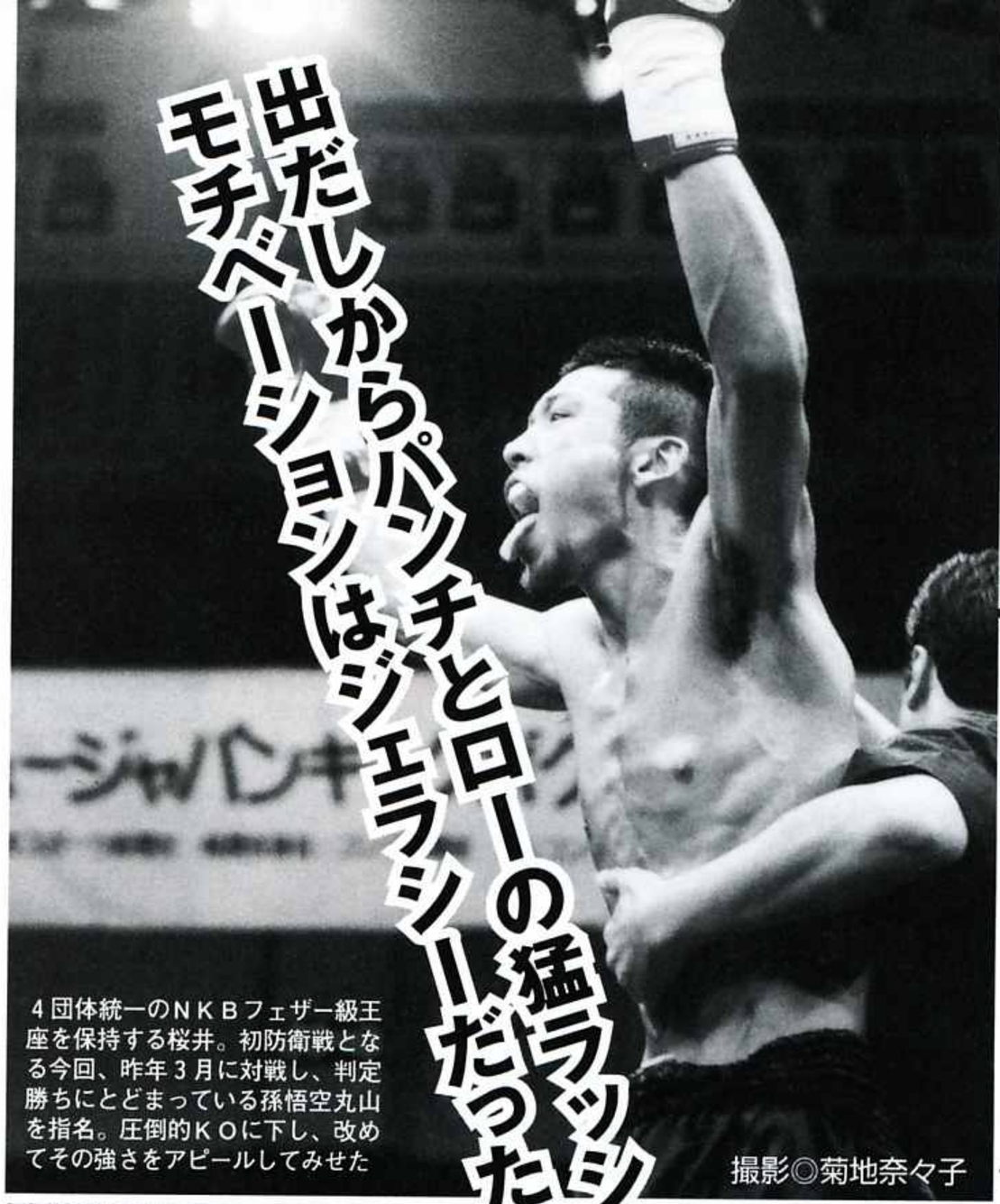
「完敗でした。一番苦手なパターン。リングの上ではごまかしは利きません。弱いところがあったらそこを突かれる。もうきっぱり総合で闘うことで気持ちは切り替えているから、最初から3Rで勝負だと思っていました。寝技ありで堂々と勝負をしたかったんです。今日は完敗ですけど、ボクは諦めません。絶対に這い上がります」

敗北を売る王者。殺伐洋平

ニュージャパンキック 旋風 VORTEX I
1.19★後楽園ホール

成長し続ける王者。桜井洋平逆指名挑戦者を96秒で抹殺!!

出だしからパンチとローの猛ラッシュ モチベーションはジェラシーだった!?



4団体統一のNKBフェザー級王座を保持する桜井。初防衛戦となる今回、昨年3月に対戦し、判定勝ちにとどまっている孫悟空丸山を指名。圧倒的KOに下し、改めてその強さをアピールしてみせた

撮影◎菊地奈々子

桜井のコメント

「腰やっちゃって、2週間前まで歩けなくてドクターストップで練習もできなかったんですけど、迎え撃つ立場だったんで3Rまでに絶対に倒そうと誓ってました。パンチも蹴りも切れてたんでいい結果が出せてよかったです。チャンピオンは受けて立つ立場なんで、倒しにいかないと面白くないんで、これからもKO狙っていきます」

▼自分のみならずセコンドもコスプレで登場した孫悟空御一行だが、こうなってしまうと悲しいものがあるのだった

▲このところ連続KO勝ちで波に乗っている丸山。今回も王者相手に必死の抵抗を見せたが……

▲丸山は最初のダウンで目が飛んだ状態。続けざまに左フックでスタンディングダウンを奪い、そしてコーナーにクギ付けにしての連打でトドメを刺した

▶今大会ではVSムエタイマッチが3試合組まれたが、日本勢は全敗。メインではNKBウェルター級王者の石毛慎也(東京北星ジム)がヨーデチャー・シットトヨートンと対戦。1R2分32秒、右ハイ一発でマットに沈んだ

★第10試合/NKBフェザー級タイトルマッチ(3分5R)
○桜井洋平(1R1分36秒、KO勝ち)孫悟空丸山●
〈王者/岩瀬ジム〉 〈挑戦者/小国ジム〉
※3ノックダウン

桜井洋平は182センチという長身と多彩な攻撃パターンで対日本人無敗を誇ってきた。今回の相手、孫悟空丸山にはトーナメントで勝利しているが、丸山はその後3連続KO勝ちと絶好調。しかも今回はリングネームにちなみ自ら孫悟空のコスプレに身を包むだけでなく、斉藤会長扮する三蔵法師、さらには猪八戒・沙悟浄までも引き連れ、一世一代の入場でまずは一本とってみせた。

ところが試合そのものはまったくあっけないものになった。試合開始1分、桜井が右ストレートで早くもダウンを奪うと、一気のパンチ連打で立て続けに二つのダウンを追加しわずか96秒でのノックアウト勝利。地元石岡市の広報誌に試合の予定が載るほどの英雄・桜井へ応援団から大・洋平コールが送られた。

ここまでの短期決着になったのは一つには腰を痛めていた桜井が短期勝負に出たこともあるのだが、試合前に行われた年間表彰で、技能賞の桜井に対し丸山は努力賞の他3賞を受賞。「4戦4勝の自分より負けた丸山のほうがいっぱい賞をもらってるのは正直面白くないですよね」と、要するに桜井はスネてしまったのだ。KOの多かった丸山に評価が集まるのも無理はないが、それでムキになってKOしてしまう桜井もかわいいというか恐ろしいというか。

王者になってからも成長し続ける桜井の行く末が楽しみだ。■

サタハルシバ プロデューサー日記

イラスト◎チビ太

連載②

1月13日（月） この日は祭日だったが、昼からSRSの番組制作会議に出席。その後、石井館長らと『WRESTLE―1』をどうするのかという打ち合わせをする。大会まであと一週間。その夜、石井館長から「ホーストが出ることを決めた」という連絡が。「あとの調整はお願いしま～す」と言われ、タメ息をつく……。

1月14日（火） 東京ドームで『WRESTLE―1』の総打ちに出席。しかし、まだカードがほとんど決まってないことをあらためて知り、いっそう不安を募らせる。それから、K―1事務局でスタッフと打ち合わせ。特にボブ・サップに対して、CMは20本近くの依頼が殺到、CDデビューの話、いろんな局からの番組出演依頼をどう捌いていくかを検討した。とにかく、この男の人気は凄い！　この時期、まさに救世主だ。夜は本誌の座談会を行った。

1月15日（水） 午前中はK―1のオフィスに日本テレビの人たちが年始と新体制の挨拶にわざわざ来てくれた。今年も〝ジャパン〟をどうするかは重要なテーマ。しかも、全イベント、ゴールデンタイムのいい時間帯に放送してくれるという。何か考えなければ……。午後には、石井館長がK―1の全スタッフを招集し、「今後は新体制でやっていってほしい」とあらためて宣言した。みんな荷が重いが、これをチャンスとしてよりいい環境を作っていくべきだ。この際、私も抜本的な建て直しをしていかなければ……と心に誓う。夕方、フジテレビのスポーツ局に『WRESTLE―1』でボブ・サップVSアーネスト・ホースト戦をやりますと伝えに行く。しかし、予想どおり、スポーツ局は大反対。その後、フジテレビの事業部、編成部にも顔を出し、事情を説明する。その後は、サップVSホースト戦をやるべきかやめるべきかの議論の真っ只中に身をさらされ、逃げ道のないまま苦渋の日々が続いた。夜は気持ちを入れ替えて、TBSの人たちと会食。K―1の中量級をどうしていくかについて話し合った。石井館長も同席していたのだが「サップVSホースト戦でモメているんですよ」と言うと、石井館長は人の不幸を楽しむかのようにニヤニヤと笑うだけだった。

1月16日（木） 森下社長の社葬が青山葬儀所で行われた。いまだに森下社長が亡くなられた実感がない。また、自殺ということや、嫌な憶測を流すムードもあって、やはり気分が重かった。その葬儀所で新日本キックの協会の伊原信一代表と遭遇。私はすぐに「武田幸三選手をK―1に出してください！」と懇願した。伊原代表は「谷川さんにはお世話になってるからなぁ」と検討してくれることを約束。本当に感謝の気持ちでいっぱいだ。その後、修斗の五味隆典選手が魔裟斗と闘いたいと言っていることを知り、さっそくマネージャーのT氏と連絡をとってお願いする。武田、五味が出てくれれば、昨年以上の大会になること間違いなしだ。よし、頑張るぞ！

1月17日（金） 来るか、来ないか最後まで分からなかったホーストがヨハン・ボスと来日。さっそく『WRESTLE―1』のコンセプトを説明し。ホーストがどこまでプロレスができるか、道場まで行ってトレーニングをさせて確認する。正直言うと、ホーストはまったくプロレスというものを知らなかった。不安……。

1月18日（土） ホーストと一緒に道場に行って、プロレスの手ほどきを馳先生から受ける。いつもながら馳先生の指導は感心するほど素晴らしい。思わずプロレスの奥深さに何度もうなずく。夜はホーストと一緒にダンス・スクールへ。見ていると、ホーストも新しいチャレンジに生き生きとしている。何度も何度も反復練習するのだが、本当に真剣に、真面目に取り組んでいた。しかし、ホテルに集まっていた記者に囲まれると「WRESTLE―1？　オレがプロレスなんかやるか、バカッ！」とすっかりプロレスラーらしい発言をしている。明日は本番。こんな短期間で、ホーストはいったい、どこまでやれるのか？　期待と不安が交錯する。

1月19日（日） 『WRESTLE―1』当日。本当に大モメにモメたが、サップVSホースト戦は実現した。終わってみれば、K―1ファンからは「K―1をバカにするな」と言われて、プロレスファンからは「プロレスをナメるな！」と予想どおりの非難囂々。しかし、「プロレスラーの試合より楽しめた」という意見も多く、大きな反響となった。ただ、私個人の感想はホーストが本当に生まれ変わろうとよくやってくれたことだ。控室では意外にもホーストとヨハン先生から「ありがとう！」の言葉をもらった。館長からも「ホーストとジョー・サン、ヨハンはよくやったね」と電話で感想をもらう。しかし、やはり関係者からは皮肉や苦情も……。ああ、なんでこんな人生になったんだろう。■

SRS DX

次号の発売日は

2月27日（木）です。

最新情報　3・16 PRIDE.25
3・30 K-1 WORLD GP

編集後記

◎「何もない世界にいろんなものが集まって、大きな火山になって大爆発して、なぜか卵が生まれてそこから孫悟空が出て来る」と手相を見てもらったらこんな答えが返ってきた。わけが分からないが勢いだけは感じさせる内容なのでうれしい。手相を読んでくれたのは、前号のあぶもぐで本誌初登場の運転手ごっち氏。数年前に神が降りて来て以来、手相が読めるようになったらしい。まさに運転手の神様だッ！（野尻）

◎1・26女子キック『Girls SHOCK！』で、用意された席に「オイッ、佐藤！　こんなリングの側で見るなんて、俺は生まれて初めてだよぉぉぉ！」と子供のように興奮しまくっていた山本さん（キャリア26年）。その隣で、取材のため記者席に座る自分（キャリア3カ月）。けっして、自分は生き急いでいるんじゃないと心に言い聞かせながらも、しばし優越感に浸っていたのは、言うまでもないのであった。（佐藤）

◎先日、奇怪な宣伝カーを見た。その宣伝カーには『70歳の大型新人歌手“たまちゃん”』という文字が躍っていて、久々に仰天！　ところで歌手といえば、中村カタブツさん。昨年末、佐山聡のディナーショーで、ギンギラギンのエルビススーツを着ながら演歌を歌ったそうである。佐山に「何か心に残りました」と言わせ、名刺にも既に“歌手”と印刷済みらしい。さすが本誌で一番ど真ん中を歩く男は違う！（小松）

◎驚いた。前号の作業が全て終わった翌日に発売された雑誌『映画秘宝』の情報コーナーのネタの一つが、僕が書いた編集後記の内容とほとんど同じだったのだ（『キネマ旬報』ベストテンに『少林サッカー』が入ってないのはどうよ？って話）。それにしても凄い偶然。僕の生涯のベスト1『グッドフェローズ』が表紙になったり（10年以上前の映画なのに）、『映画秘宝』にはなんか連帯感を感じるんだよな～。（橋本）

◎『プライド25』でプロデビューが決まった吉田道場の「カズ」こと中村和裕は、なかなかのキャラクターだ。撮影の際に「ちょっと笑って」と注文を出すと、ニヘラッと鼻の穴をおっ広げ、コロッケのような笑顔。天然なのか計算なのか、その微妙なところがいい。柔道での実力は十分。力を発揮できれば勝利の可能性はかなり高いと見ている。性格も闘い方も吉田とはまったく異なるタイプだけにデビュー戦が楽しみだ！（林）

◎失恋とは何か？　想像力と過剰性と妄想の空回り、挫折と言っておこう。だからオレが敗れたわけではない。恋愛とは全て美しき妄想のことなり。それがない所に恋愛なし。妄想には現在進行形のパワーと持続力がある。美化する能力のことだから必ずネクストがあるということである。失恋があるから恋愛がある。恋愛があるから失恋がある。この定義は大正解。これを称して“常在恋愛”というべし。押忍（山本）

発行・発売：株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8859（販売）
協力：フジテレビジョン／フジテレビ出版

株式会社ローデス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445（編集）

発行人：溝賀主水　編集人：谷川貞治
DESIGNER：梅村あゆみ、水町由美子、su・plex、溝口真穂
小林善夫、2in1、ナール企画、NORTON、野尻雅友

PANCRASE HYBRID WRESTLING
PANCRASE 2003
HYBRID TOUR
1.26★後楽園ホール
近藤、柔術世界王者と
ドロー"の
パンクラス
10周年の
謎

この大事な一戦がなぜ2R制？なんと理由は“ケツカッチン”！

▶2Rに入って打撃でペースを掴んだ近藤。テイクダウンにも成功し、一気にKOに持ち込むかと思われたが……

◀相手はかなり弱っていたのだが、近藤は回転しながら足を越えようとするなどポジショニング重視の攻めを見せる。ガンガン殴っていればあるいは……とも思えるのだが

最後の最後でKOのチャンス！　なのになぜか近藤はじっくりポジショニング

今年、パンクラスは旗揚げ10周年を迎える。その目玉カードとして注目されているのが、菊田早苗VS近藤有己戦だ。

そして、記念イヤーの幕開けとなる今大会では、メインイベントで近藤が柔術世界大会優勝の肩書きを持つガブリエル・ベラと対戦、ドローという結果を残した。

ただし、この結果をもって〝菊田戦への関門をくぐり抜けた〟とは思いたくない。菊田も近藤も、たしかに魅力的な選手ではある。だけど今の状態のまま、ただ闘えばいいってもんじゃないのだ。

何カ月後かにリングで対峙する時、彼らのバリューは最大限に引き上げられていなければならない。最高のカードなんだから、やっぱり横浜文体よりは武道館で、武道館よりはさいたまスーパーアリーナでやったほうがいいに決まってる。2人の能力からすれば、ネームバリューの〝伸びしろ〟はまだまだあるはずなのだ。

そう考えるから、僕は今回のベラ戦について〝ドローだったけど内容は良かった〟ではなく〝内容が良かったのに勝ちを逃した〟と見てしまう。

1Rは近藤が劣勢、寝技で押されていたが、これは充分に予想できたこと。近藤はいつもエンジンのかかりが遅いタイプだし、ポジショニングは最も苦手とする局面だからだ。

2Rに入ると、一転して近藤が攻勢をかける。ベラは1Rと攻め方を変えたわけじゃないと思うんだが、なぜか近藤は5分前と別人のようにタックルを切り、パンチやヒザをヒットさせていくのだ。

能力の高さはしっかり見せた だから余計にドローは惜しい！

近藤のコメント

「引き分けという結果は残念です。相手の強さは想像どおり。なかなかうまい選手。なかなかっていうか、充分うまい選手(笑)。1Rは焦りはなかったですね。あそこさえ抜け切れば、と。(もう1Rあればいけるという感触は？) なきにしもあらず。はい。(最後、相手が弱っている感じは？) う～ん、まあ、あったような……あった気がします。今年の目標は、次の試合で今回以上の内容を残すことです。内容が今日はそんなに良くなかったんで、また反省してやっていきたいです。今日は50点ですね。結果もそうですし、全て自分の動きとかもですね。相手に50点にさせられたというのもあるんですけど。50点の動きしかさせてもらえなかったですね」

▲差し合いから効果的にヒザがヒット。試合が進むにつれ、ベラの表情は辛そうになっていった

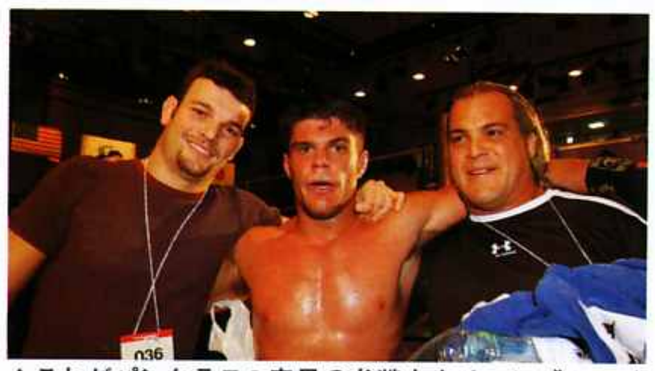
▲2R。ベラのタックルをしっかり切ってパンチを当てていく近藤。この体勢からでもKOを狙える強みがある

1Rはピンチの連続 でもこれは謎じゃない

▶判定はドロー。1Rはベラ、2Rは近藤でクッキリ分かれる形になった

▲1R終盤にはマウントも取られてしまうが、うまくディフェンス。ジャッジには響いたがダメージはなかった

▲1Rはいつものように（？）劣勢。次々とポジションを奪われてしまう。だが常に動くことでパンチの的を絞らせない



▲これがパンクラス2度目の参戦となるヘンゾ＆ハイアン軍団。今回はホドリゴがセコンドに付いていた

★第8試合・メインイベント/ライトヘビー級5分2R
△近藤有己（2R判定1-0、ドロー）ガブリエル・ベラ△
〈パンクラスism〉 〈ハイアン・グレイシー柔術〉
※採点…20-19、19-19、19-19

ついにはグラウンドで上になる。なんといっても近藤の最大の武器は拳。重くて鋭く、冷酷で正確なグラウンドパンチである。それまでの被弾でベラがかなり弱っているのも見て分かった。よし、ここで決めろ、近藤！

が……。なぜか近藤は、このチャンスに身体を起こして仕切り直し、パスガードを狙う。なぜ？残り時間が少ないんだから殴ったほうがいいんじゃないの？

しかしこれは「しっかり抑えて殴ったほうがいい」という判断があってのもの。あえてパスを狙ったのは、より自分のスタイルの完成度を高めようという近藤の向上心とも受け取れるのだ。

とはいえ、2Rはそのまま終了、そして試合も終了。1Rはベラが、2Rは近藤が仲良く取り合って判定ドローとなった。

そう、なぜかこの試合は2R制だったのである。2Rなんて、若手（修斗でいえばクラスB）の試合形式じゃないか。

試合後、その理由が分かった。

「どうしてもケツがあるんでね、会場の」（尾崎社長）

いくらなんでも、メインの試合がケツカッチンって理由で短縮されるのはまずくないか？ さすがに尾崎社長も反省していたみたいだが、しかしあまりにも不可思議な試合であった。近藤には、菊田戦までにもっともっと名を上げてほしいのだが……。

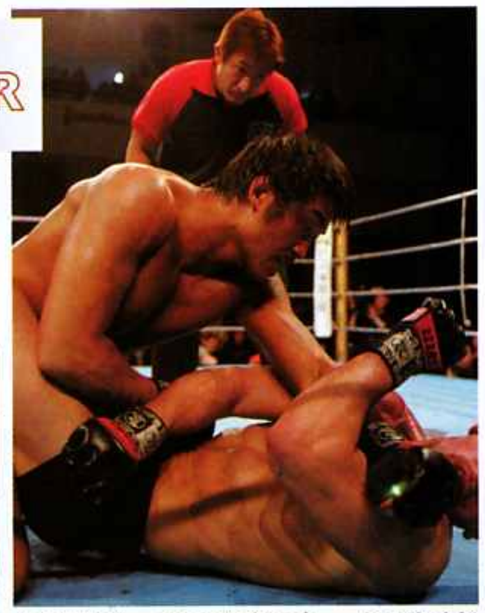
大会の数日後、近藤の次戦が決定した。3月8日のディファ大会。相手は小谷野澄雄というパンクラス2戦目の選手。試合は2R制。これまた〝謎〟である。（橋本）

PANCRASE 2003
HYBRID TOUR
1.26★後楽園ホール

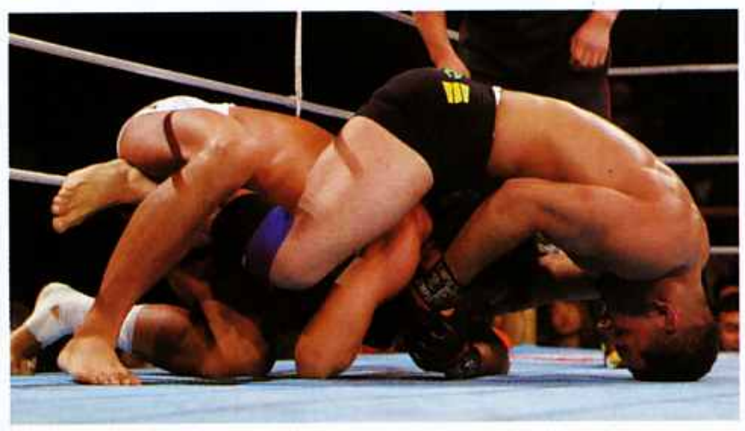
ラスト9秒でブラジリアンを劇的KO！

今年のミドル級はグラバカ三崎に注目

▼殴られ続けるうちに、ダースは弱気な表情を見せるように。顔面から出血も見られた



▲2Rに入って上になると、インサイドガードから殴りまくった三崎。あえてパスガードを狙わず、見事にフィニッシュしてみせた



▶初めてのブラジル人との対戦で劇的な勝利を収めた三崎はこの表情。入場時から気合いが入りまくっていた

◀1Rはダースが圧倒。開始早々にテイクダウンすると、三崎の懸命なガードを越えてマウント、さらにバックとポジションを進めていった

見事な逆転勝利だった。三崎は昨年、ネイサン・マーコート戦でのケガで長期欠場しており、今年にかける意気込みには凄まじいものがあった。1Rの劣勢をしのぐと、2Rに大反撃。実はインターバルの際、セコンドに付いた菊田早苗の指示で冷静さを取り戻し、ヒザ蹴りをきっかけにテイクダウンに成功。さらに菊田は〝時間がないからじっくりポジションを取ってられない〟と判断、「効いてるから殴れ！」と声を飛ばす。高いテンションを維持しながらも、三崎にはその声がしっかりと聞こえていた。指示どおりにインサイドガードからパンチ、またパンチ！　ダースの顔が弱気になるのと反比例して三崎の打撃は勢いを増し、試合終了まであと9秒というところで劇的な勝利をもぎ取ったのだった。試合後の三崎は「グラバカに2本目のベルトを持ってくる」と宣言。初のブラジリアンとの対戦で自信を深め、ベルトを持つマーコートとの再戦を大アピールしたのだった。（橋本）

★第7試合・セミファイナル/ミドル級5分2R
○三崎和雄（2R4分51秒、TKO勝ち）ジョー・ダース●
〈パンクラスGRABAKA〉　〈ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー〉
※グラウンドでのパンチ連打でレフェリーストップ

鈴木VS健介戦はどうなる？
「長州さん、永島さんとはお会いしました」（尾崎社長）

大会終了後、記者陣に囲まれた尾崎社長は今後の予定と鈴木みのるVS佐々木健介戦の可能性について言及。WJプロレスの長州力、永島勝司氏と会談を持ったことを明かした。

尾崎「（菊田VS近藤戦は）みなさんが思っている以上に早いかもしれません。候補がいくつかあって、それが決まれば1万人以上の大きな会場でっていう。（鈴木VS健介戦は）永島さんと長州さんとは（1月）9日にお会いしました。で、お話もいただいているんですけど、新日本さんとの流れがあるんで、まだ返事もしてないです。今、保留状態です。もうちょっと待ってください。今はあの会談の中身はちょっと話しづらいんですけど。まあ、永島さんと長州さんとお話できたのが良かったなと思います。この件に関しては、やっぱり新日本さん、上井さんとの信頼関係があって、元々新日本さんのカードでしたからね。すぐ答えが出るっていうもんではないんで、もうちょっと時間をもらいたいなと」

キングダム入江、パンクラス初参戦！しかし結果は涙モノ……

▲昨年7月の試合で拳を骨折、半年ぶりの復帰戦でのKO勝ちに、渡辺は感極まった表情

▲初試合に勝っては泣き、ヒクソン戦実現へ署名運動を始めては泣き、でマニアを楽しませてきたインディー系プロレス＆格闘技団体キングダム・エルガイツのエース入江秀忠がパンクラス初参戦。“パンクラスの門番”渡辺大介（ism）と対戦したが、1R4分18秒、右ストレートをモロに喰らってダウン、KO負けとなった

◀グラバカ・石川英司はｉｓｍの若手・金井一朗に判定勝ち。何度もパスガードし、マウント、バックからのチョークや十字狙いと攻めまくったが、格下相手に極められなかったためグラバカの仲間にはちっとも誉められなかったそうだ。不憫……

判定がコールされると
植松の顔は涙で歪んだ

泣くな、植松！

技師・植松が帰ってきた！

敗れはしたけど……、試合内容は◎

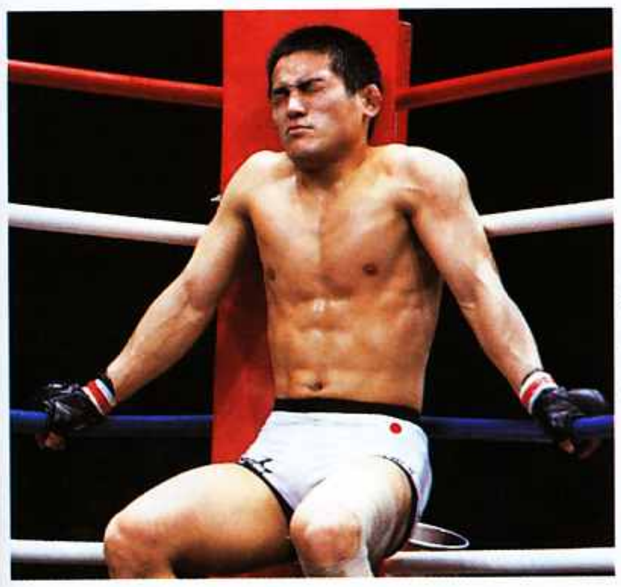
二重マル

植松からあっさりマウント！ホーキ、凄すぎ！

惜しい、この投げがロープに邪魔されなかったら……

2Rに植松が見せた組み際の横捨て身。ホーキの身体は綺麗に弧を描いたが、ロープに跳ね返り、植松の上に乗る形に。植松にとっては不運だった

▲2Rには肩固めも極められかけた植松だが、首のあたりに空間を作り、完全には極めさせなかった。植松は劣勢ではあったが落ち着いて対処していた



◀3R、ホーキのヒザ蹴りが金的に入り、悶絶の表情の植松。ホーキにローブローの減点が与えられた

▶開始早々、バックを取られた植松は〝サクラバ〟の状態から腕がらみ、ストレートアームバーに持ち込む。惜しいチャンスだった

▲ホーキのグラウンドの強さは凄かった。植松は一度ならず二度までもマウントを取られた

★第9試合・メインイベント/ライト級（5分3R）

○ジョン・ホーキ（3R判定3-0）植松直哉●

〈アンゴラ共和国/ノヴァ・ウニオン〉　〈日本/K'z FACTORY〉

※採点…29-27、29-28、29-27 3R、ホーキKローブローの減点1

植松直哉が帰ってきた！

常に一本狙いのアグレッシブファイトでファンを魅了する植松が修斗のリングに帰ってきたのだ。

試合は、残念ながら3―0の判定負け。ジャッジは2人が29―27、1人が29―28で、そのポイントだけを見れば、一方的と思われても仕方ないが、試合内容は、決してワンサイドなものではなく、一瞬たりとも目の離せない緊迫したものだった。

植松は2001年の春に生死をさまよう大病を患った。一時は意識不明の重体の状態にまで陥り、もうリングに上がることはできないだろう、周囲がそう覚悟せざるを得ないほど深刻な状況だった。

それまでの植松は、98年にデビューして以来9戦8勝1分け。ランキングもライト級1位にまで上り詰め、王者アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラへの挑戦まであと一歩のところまで来ていた。それが……、王座挑戦を目前にしての突然の戦線離脱。植松はベッドの中で、「チャンピオンになりたかった」とうわ言のようにつぶやいていたという。

そんな植松が死の淵から甦ったのは昨年3月。植松は1年2カ月ぶりに修斗のリングに復帰し、井上和浩と対戦。1―1のドローではあったが、勝ち負けよりも植松の復帰がファンや関係者を安心させた。そして、9月、復帰2戦目のバオ・クアーチ戦では、いいところなく判定負け。井上戦はまだしも、クアーチ戦の植松には〝らしさ〟のカケラもなかった。植松はどうしてしまったんだろう？やっぱり、ダメなのか？

最後まで攻める植松に大拍手&大声援！

植松は最後の最後まで諦めず、必死に足関節を狙う。会場のファンも終了のゴングが鳴るまで熱い声援を送った

盤石の王者・ノゲイラ、快進撃のKIDO、ホーキ参入、植松復活、今年もライト級戦線が面白い！

◀勝者ホーキを讃える植松。この2人が今年のライト級戦線をさらに激しくするのは間違いない

ホーキのコメント

「ウエマツは強かったよ。スタミナがないと思ったんで長い試合にしたんだ。ウエマツは脚力が強く、果敢に仕掛けてきたけど、巧く防ぐことができたよ。足関節を狙ってきているのは分かったから、後ろについたりとか、よく動いてね。ペケーニョは凄くいい選手だと思うし、いつかはやりたい。ここのリングで闘うことは凄く楽しみだよ」

植松のコメント

「いけるかなと思う場面が各ラウンドにあったのに、それを生かせなかったのが悔しい。ホーキは強かった。でもまったく歯が立たなかったわけじゃないと思う。ホーキを相手に関節を極めかけたのはボクだけだと思うけど、あそこで極めきれなかったのが、今のボクの実力。いいところはあったと思うんで、そこを伸ばしていきたい」

12月のNKホール大会の時、ジョン・ホーキ戦が決まったことを、植松本人から聞いた。「ホーキとやらせるなんてイジメですよ」と笑う表情には、やる気が溢れていた。復活の狼煙を上げる絶好のチャンス――植松の頭の中には、そんな気持ちがあったのだろう。

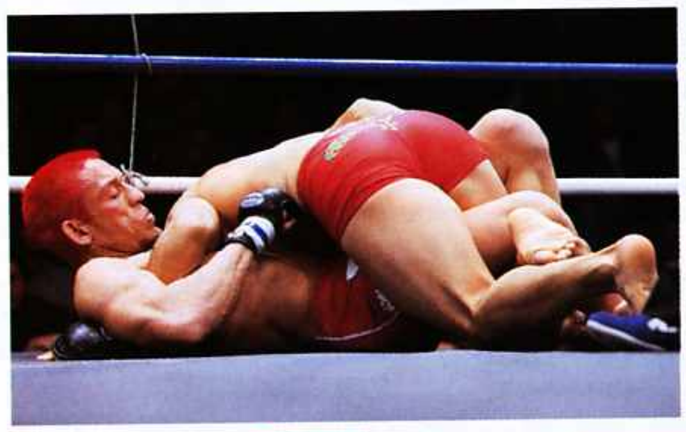
ジョン・ホーキは、この植松戦が修斗初参戦。しかし、VTJには97年から参戦し、巽宇宙、朝日昇、池田久雄と闘っており、結果は全てドローだが、それは判定による勝敗決着がなかったためで、内容的には3連勝と言ってもいい。さらにDEEPでは、村浜武洋に腕ひしぎ十字固めで2連勝しており、王者・ノゲイラとも遜色のない実力というのが一般的評価。全盛期ならまだしも、今の植松にとって、ホーキは荷が重いのではというのが、大方の見方だった。

実際、ホーキは強かった。パワー、スピード、テクニック、そしてハートの強さ、どれをとっても一級品と言っていい、ずば抜けた強さだった。

しかし、ホーキが凄ければ凄いほど、逆に植松の巧さを痛感。劣勢な状態からでも冷静に対処し、最後の最後まで一発逆転の関節を仕掛け続ける姿を見ているうち、思わず声を出して応援してしまうほど、興奮した。

試合後、植松は「いい試合だったと慰められても、判定はフルマーク（3―0）ですからね。完敗。いいところなし。下北沢からやり直しです」と悔しさを口にした。しかし、そんなに卑下する必要はない。復活の狼煙は確実にファンにも届いているはずだ。（林）

五味を苦しめた巧者・ブレナンに快勝
面白くって強い！ 村浜サイコーっ



▶昨年９月には王者・五味を苦しめたブレナンのテクニックには村浜も手こずった。開始早々テイクダウンを奪ったものの、下からコントロールされてしまう

▼ブレナンを抱え上げた村浜は、ジャイアントスイングのようにクルクルと回る攻撃（？）で意表を突き、そのまま流れるようにアキレス腱固めに移行すると、ブレナンはたまらずタップ。見事な攻撃だった

クラスＡ昇格後初の試合で、強敵ブレナンに見事完勝した村浜。勝った後は、おどけたポーズで会場を笑わせた

★第9試合・メインイベント/ライト級（5分3R）
○村浜天晴（1R2分49秒、アキレス腱固め）クリス・ブレナン●
〈日本/WILD PHOENIX〉 〈アメリカ/NGFアカデミー〉

▲休憩後、昨年のＭＶＰとして表彰を受けたウェルター級王者の五味隆典。今年の抱負は「ＵＦＣのベルトを獲りたい」と答え、オファーは？　の質問には「Ｋ－１から来ているなぁ」と発言し、会場を驚かせた

▲第５試合。エリカ・モントーヤ（アメリカ・ＮＧＦアカデミー）は粘る虎島尚子（ＲＪＷセントラル）を終了間際の２Ｒ４分５０秒、腕ひしぎ十字固めで極め勝利を収めた

▶第７試合。ノゲイラとのタイトルマッチ以来、約１年ぶりの試合となった戸井田カツヤ（和術慧舟會）は、ラミ・ボウカイ（NGFアカデミー）に２－０の判定勝ち。果敢に足関節などで攻め込んだが極めるまでにはいたらなかった

この試合、正直言って、ブレナンに分があると読んでいた。

昨年9月の五味隆典戦、最終的に判定負けはしたものの、王者をとことん苦しめたグラウンドテクニックが、かなり強烈な印象として残っていたからだ。十字、腕がらみを極めかけ、あわやというところまで五味を追い込んだブレナンの実力を考えれば、最近好調とは言え、村浜が勝つことは難しいだろうと思うのは当然と言っても仕方ないだろう（べつに言い訳じゃないけど）。それが、まさか、こんなにきれいに勝ってしまうとは……、村浜選手、ゴメンナサイ。

というわけで、予想外の展開となったこの試合だが、本当に驚いたし感動した。村浜ってこんなに強いんだと、今さらながら、村浜天晴という選手を見直した。

30歳、クラスＡ入りを決めた前回の朴光哲戦（ヒザ十字で一本勝ち）まで、クラスＢの戦績は15戦5勝5敗5分けと、まさにトントンだった村浜。その戦績が示すように、勝ったり負けたりで、強いんだか弱いんだか分からないというのが今までの村浜評だった。それが、昨年2月の鈴木洋平戦で文句なしの判定勝ち以降3連勝。ブレナン戦での快勝を見れば、これは単なるラッキーじゃないと断言してもいいのかもしれない。

今回見せた、相手を抱え上げクルクル回ってからアキレス腱固めに入るテクニックは、「（須藤）元気君もやるけど、元祖はボクです」とのこと。観客を楽しませつつ、決める時は決める。村浜の面目躍如のパフォーマンス。ホントにお見事でした！

（林）

carlsson japan ltd. tel 053-411-0880 www.carlsson.co.jp

Carlsson

E-Motion
Carlsson CM50K E-class 430ps ¥12,000,000～

■札幌／オートテック アドイン TEL.011-846-3222 ■東京／株式会社ツナシマモータース TEL.03-3729-7555 有限会社イルサロット TEL.03-5377-0911 ■横浜／日本テクニカル株式会社 TEL.045-941-3300
■浜松／岩井自動車販売有限会社 TEL.053-462-7721 ■神戸／株式会社ツナシマモータース神戸営業所 TEL.078-682-1777 ■福岡／株式会社オートスポット TEL.092-482-0610

▲受今たに言

▶チ田カ勝極め

見事でした！

（林）

前ラストグローブマッチ
の打撃戦が見たい！

一撃グローブマッチ

グローブマッチに、世界ウエイト制3位のピチュクノフが待望のデビュー

ブラジル第3のテセイラが

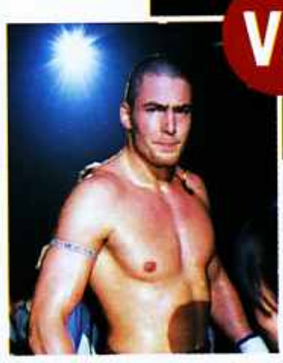
▶『一撃』初参戦のピチュクノフ。得意のヒザは草津をとらえることができるか!?

◀ピチュクノフのデビュー戦の相手を務めるグレート草津。グローブでのキャリアの差をきっちり見せたいところだ

▼K－1では本領が発揮できていないグラウベ。『一撃』では、伝家の宝刀・ブラジリアンキック炸裂に期待！

遂に出るか宝刀・ブラジリアンキック！

▲昨年の8・10『一撃』NK大会では、2R途中に偶然のバッティングでヴィーモアが負傷し、そこまでの判定でドローとなった松本VSヴィーモア戦。この再戦では両者、完全決着を狙う



◀昨年のK－1ラスベガス大会準優勝のマイヤーが今回のグラウベの相手。弁髪で色物キャラに見えるが実力は本物だ

◀ムエタイの豊富なキャリアを持つクルト。K－1ではステファン・レコにKO勝ちするなど強打でも知られる。野地にとって手強い相手となりそうだ

▲昨年1月の『一撃』旗揚げ大会では武蔵と対戦し判定負け（2－0）を喫した。今大会、強敵クルトを相手に『一撃』初勝利を狙う

第3回目となる今回の『一撃』は、グローブマッチ4試合とカラテマッチ3試合の計7試合が予定されており（2月7日現在）、カードとしても、とりわけ極真ファンにとって非常に興味深いものが並んだ。試合順は、今のところ正式に決定していないので、グローブマッチ、カラテマッチ、それぞれの区分に分けて見どころを探ってみよう。

まず、グローブマッチで最も興味深いカードは、野地竜太VSユルゲン・クルトの対戦だ。

前回、1999年の世界大会後から、グローブをつけて〝修行〟を積んできた野地だが、世界大会イヤーを迎え、おそらくこれが世界大会前最後のグローブチャレンジになると思われる。野地にとっては約2年半の集大成であり、世界大会への弾みという意味でも重要な試合。是が非でも勝利を掴みたいと、燃えていることだろう。

しかし、対戦相手のクルトは、ハッキリ言って楽な相手ではない。むしろかなりやっかいな相手だ。ムエタイの豊富なキャリアを持ち、老獪にして強打。2000年のK—1世界予選・ヨーロッパ&ロシア地区Cを圧倒的な強さで制しているほか、一昨年3月のK—1グラジエイター横アリ大会では、ステファン・レコをもKOしている。

野地は、今までの試合を見る限り、完全なスロースターター。パンチを何発かもらってからでないとエンジンがかからないという試合が多い。しかし、クルト戦では不用意に一発をもらってしまえば、命取りになりかねない。クルトの強烈な一発をもらう前に、少しでも早く、野地のエンジンがかかってほしいと願うばかりだ。

グローブマッチでもう一つ注目されているのは、今大会がグローブ初挑戦となるアレキサンダー・ピチュクノフだ。99年の世界大会では、まったくのノーマークの状態からいきなり3位入賞の快挙を成し遂げているピチュクノフは、199センチの長身から繰り出すヒザ蹴りもさることながら、リーチの長いパンチも破壊力に優れている。グローブキャリアでは一日の長のあるグレート草津だが、侮ると痛い目を見ることになるだろう。インファイトを得意とする草津と遠い間合いからパンチ、蹴りを繰り出すと思われるピチュクノフ。こちらも興味深い展開となりそうだ。

今年の世界大会で優勝候補の筆頭と目されるグラウベ・フェイトーザも、グローブマッチに出場する。相手のパヴェル・マイヤーは、194センチのグラウベを7センチ上回る201センチの超長身。昨年のK—1ラスベガス大会では、準優勝に輝いており、パワー溢れる右ハイキックとパンチの威力は凄まじい。弁髪がトレードマーク。

グローブマッチの残る1試合は、前回昨年8月10日に行われ、アクシデントによる中止でドロー（判定は1—1）となった、スーパーチャージ・ヴィーモアと松本哉朗の再戦。両者とも完全決着に燃えている。真の決着が付けられる試合だと言える。

野地、世界大会前 強打のクルトとの

カラテマッチ

▼昨年のウェイト制で3位に入り一躍注目を集めた松岡にとって、イソベ戦はさらに名を上げる絶好のチャンスだ

VS

▲華麗な足技で観客をトリコにするリュウジ・イソベ。同年齢（25歳）の松岡との対決は意地でも負けられない

リュウジ・イソベの華麗な足技は必見！

▶フィリォ、グラウベに続く存在として、ブラジル極真期待のテセイラが『一撃』初登場。21歳になったばかりの若いテセイラの成長ぶりに注目だ

▼一昨年の極真全日本ベスト8の正道重量級王者・加藤はブラジルの若きエース・テセイラを相手にどんな試合を見せるのか

VS

カラテマッチで、ブラジル第3の男テセイラが正道重量級王者・加藤と激突！

カラテマッチは、現在のところ3試合が発表されているが、今回の大会は、いずれも空手家同士の対戦。前回の、K―1フィターロイド・ヴァン・ダムVSクレバノフ・レチのような、K―1戦士対空手家のカラテルールマッチではない。

しかし、カードはいずれも非常に興味深い、ワンマッチだからこそ、見たい！　と思えるようなカードが揃った。

通常空手の試合はトーナメントで行われているため、〝組み合わせの妙〟でなかなか実現しなかったり、実現しても、そこまでの試合でどちらかがケガをし、万全でなかったりというケースがよくある。そういう意味では、両者とも後の試合など考える必要なく、その試合のみに集中できるため、ワンマッチは、真の決着が付けられる試合だと言える。

今回のカラテマッチの目玉は、フランシスコ・フィリォ、グラウベ・フェイトーザに続くブラジル第3の男として、メキメキ実力を上げ、ブラジルの新エースと呼ばれるエヴェルトン・テセイラと正道会館重量級王者の加藤達哉の対戦だ。

テセイラの凄いところは、師匠・磯部清次師範も舌を巻くほどの、無尽蔵とも思えるスタミナと凄まじいほどの回転力だ。昨年はアメリカズカップで連覇を果たし、W杯では優勝の原動力となる活躍をしている。昨年の全日本大会では前大会王者の木山仁を相手に素晴らしい試合を展開している加藤が、この驚異の21歳を相手にどこまで奮闘するのか？　正道全日本重量級王者として意地を見せたいところだ。

木立裕之VSエミル・コストブ戦は、一昨年の世界ウェイト制決勝のリマッチだ。その時は、コストブが豪快な右上段ヒザ蹴りで一本勝ちしているが、木立はその試合の前に胸をケガしており万全な状態ではなかった。体調万全の今回、きっちりリベンジを果たせるか!?

もう一つのカードも、好試合が期待できる。リュウジ・イソベと松岡朋彦の軽量級対決だ。

ブラジル磯部師範の愛息リュウジは、以前は師範の息子ということで注目されていたが、今の実力は文句なく軽量級世界トップ。蹴りの速さ、切れ味は群を抜いている。イソベの華麗な上段回し蹴りは、極真ファンならずとも一見の価値あり。■

▶世界ウェイト制王者・〝鉄の拳〟コストブはパワーで返り討ちを狙う

VS

◀昨年の世界ウェイト制決勝の再戦。その時の木立は万全の状態ではなかっただけに、リベンジに熱く燃える

2・22『一撃』日本武道館大会

◆決定対戦カード（※試合順は未定）

【カラテマッチ】

リュウジ・イソベ〈極真会館ブラジル支部〉 VS 松岡朋彦〈極真会館兵庫支部〉

エミル・コストブ〈極真会館ブルガリア支部〉 VS 木立裕之〈極真会館本部直轄浅草道場〉

エヴェルトン・テセイラ〈極真会館ブラジル支部〉 VS 加藤達哉〈正道会館〉

【一撃グローブマッチ】

スーパーチャージ・ヴィーモア〈タイ〉 VS 松本哉朗〈藤本ジム〉

アレキサンダー・ピチュクノフ〈極真会館ロシア支部〉 VS グレート草津〈チーム・アンディ〉

グラウベ・フェイトーザ〈極真会館ブラジル支部〉 VS パヴェル・マイヤー〈チェコ/ハヌマンジム・プラハ〉

野地竜太〈極真会館総本部〉 VS ユルゲン・クルト〈スウェーデン/ヴァレンテュノ・ボクシング・キャンプ〉

元ラジャ王者と引き分けても喜ばれぬ武田幸三、強いってつらいもの

噛み合わないまま5Rが終了。出された判定は引き分けだった

★第13試合/メインイベント(3分5R)
△武田幸三(5R判定1-1、ドロー)チャオワリット・ジョッキージム△
<治政館> <タイ>
※採点…50-49、49-50、50-50

あらかじめ断っておくが、K—1で武田がどれくらい闘えるのか、この一戦で占おうと考えたとしてもまったく無意味である。相手のチャオワリットと攻防が噛み合わないまま、引き分けに終わったから、そう言っているわけではない。なぜなら、武田は試合の間、K—1のことは頭の片隅にはあったとしても、あくまでその端っこに佇むような存在に過ぎなかったからだ。その前後関係は、試合後の談話で証明できる。

「もちろん闘ってみたい。はい、魔裟斗とですね」と後で継ぎ足したが、「話を聞いたのは2、3日前で、ワンマッチという条件ならと聞いています」。チャオワリットと闘いながら、武田の思考の大半を占めていたのは、これに勝てば5月に実現するというラジャ王座再アタックのことだったろう。

まあ、K—1関連の話題はひとまずおくとして、武田はつくづくつらい立場に立っているんだと思ったものだ。なにしろ、前ラジャ王者でさらに今19歳と伸び盛りのチャオワリットと堂々と渡り合い、引き分けたというのにちっとも喜べないのだ。それも自他ともども認める実力があってのことだから、嬉しい現実として受け止めるべきなのかもしれないが。ただし、この日の試合については、多くを語りたくなるような内容ではなかったのは致し方ない事実である。とにかく、5Rの間、展開は

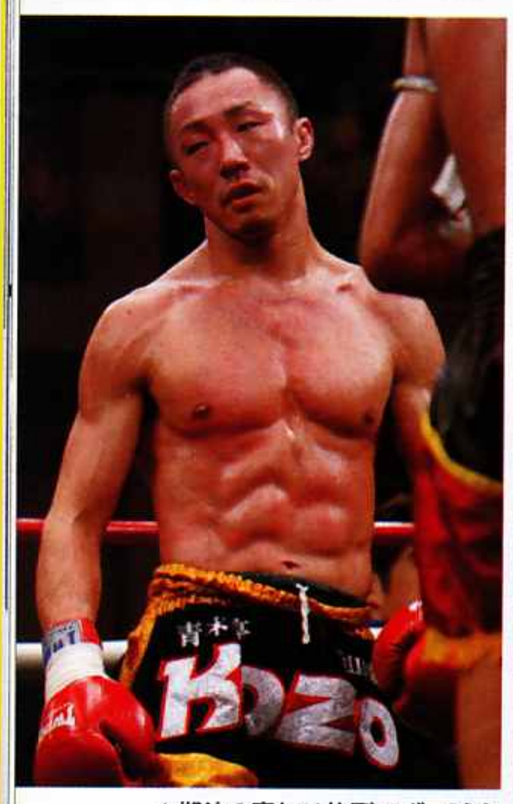
▶武田は筋肉にめり込むような強烈なローで、チャオワリットの動きを止めにかかったが果たせず

▼強烈な左パンチがヒット。しかし、タイ人はタフだった

武田のコメント

「力んで狙いすぎてしまいましたね。左フックには何発か手応えがあったんですけど。気付いていました？自分から下がって誘いをかけ、相手が左ヒザを狙ってくるところに左フックを合わせていたんです。でも、効かせられませんでした。右ロー狙いも作戦でした。最初から4R5Rが勝負だと思っていましたから、それまでに動きを止めておきたかったんです。しかし、チャオワリットはだいぶ大人になっていました。決められたものはきちんとクリアしたかったんですが……。最近試合をするたびに思うんですけど、成長がカメのようにのろいですねぇ。K-1？　正直、燃えるものがありますね。キック界に恩返しがしたい」

この超合筋ロー、無類の鉄拳で
さあ今、K-1の大海に漕ぎ出す！



▲期待の豪打は炸裂せず、試合後の武田の表情はやっぱりもう一つ冴えない

▶首相撲もチャオワリットのほうが一枚上。細かいペース争いに最後までヤマ場はなかった

チャオワリットの技巧に空転
景気づけにはならなかったけど……

▲さすがは元ラジャ王者。パンチの応酬でも武田に打ち負けることはなかった

▶チャオワリットの左ミドル。鋭く、また重いキックだった

空転したままだった。

武田はこのチャオワリットをよほど苦手にしているのだろう。3年前のタイ遠征で敗れてもいる。長身のサウスポーで、速い蹴りに加え、国際式ボクシングの技術も洗練されている。時おり見せる左ストレートは相当の切れ味だった。初回、このパンチを食って武田がバランスを崩すシーンもある。その後も得意なローでなんとかペースを取り込もうとするのだが、うまく距離を取られて連続して蹴ることはできないし、たとえ捕らえたとしてもいまいち浅い。まともにヒットしたらどんなタフガイでも一発で粉砕できる、その自慢のパンチもまた同様で、クリーンヒットは数えるほどだ。どうしても接近戦に持ち込むことはできない。

4Rに入ってから、武田はさらにプレッシャーを強めて、なんとか引っ捕らえようとするのだが、チャオワリットはうまくヒザで切り返してきて、ここでも自分の攻撃の形を作るのはままならない。5Rはすでに逃げ切り体勢に入ったタイ人の術に、武田の強打は散発に終わる。

ともに決定的なダメージはない。引き分けというジャッジのスコアはひとまず妥当なのだろう。ただ武田がムエタイというフィールドで、再び頂点を極めたいのなら、もっと進化する必要がある。タイ人はもうこの日本の荒武者のことを研究し尽くしているのだ。これも本場でその力を存分に認められている証明であっても、武田はもっと多彩な攻防を身に付けなくてはならない。

ただ、その前に武田に大事な仕事が用意された。くどいようだが、それがK—1という場で、日本最強を証明することである。

（宮崎）

新日本キック
Down By Low
1.26★後楽園ホール

あまりにも壮絶なダウンの応酬 松本哉朗、不敗とタイトルを守る

▲苦戦が続く松本だったが、強引な右ヒザで3度倒し返した

▲王座を守った松本は13戦負け知らず。中量級のエースになるためにはもうちょっと緻密さが必要だろう

◀初回、頼信の右パンチで松本がダウン。波乱の立ち上がりだった

▲これぞ打撃戦。4度のダウンシーンが散りばめられた激しい攻防がひたすら続いた

荒っぽいと言えば荒っぽい。しかし、これも重い階級でこその魅力かもしれない。立ち上がりから松本が左フックで頼信をぐらつかせ、さてこのまま早いKOかと思わせたその矢先、波瀾万丈の乱打戦がいざ開幕となる。1R終了間際、挑戦者の右ストレートがカウンターとなって炸裂。松本はバッタリと倒れて天を仰いだのだ。チャンピオンはこの後苦闘の連続である。頼信にヒザをガシガシとボディに蹴り上げられる。もう沈没かというシーンは何度あったことだろう。それでも、この男の魅力は一撃の破壊力だ。2R、強引な右ヒザが顔面に決まって頼信から逆転のダウンを奪った。3R、同じくヒザでまた倒す。立ち上がってきたところに今度は飛びヒザで3度目。4R5Rは意地と意地とのぶつかり合い。両雄の殴り合い、蹴り合いは果てしなく続いた。奪ったダウンの数で勝った松本だが課題は多い。ただし、課題が多い分だけ、伸びる余地もまだあるということだ。

（宮崎）

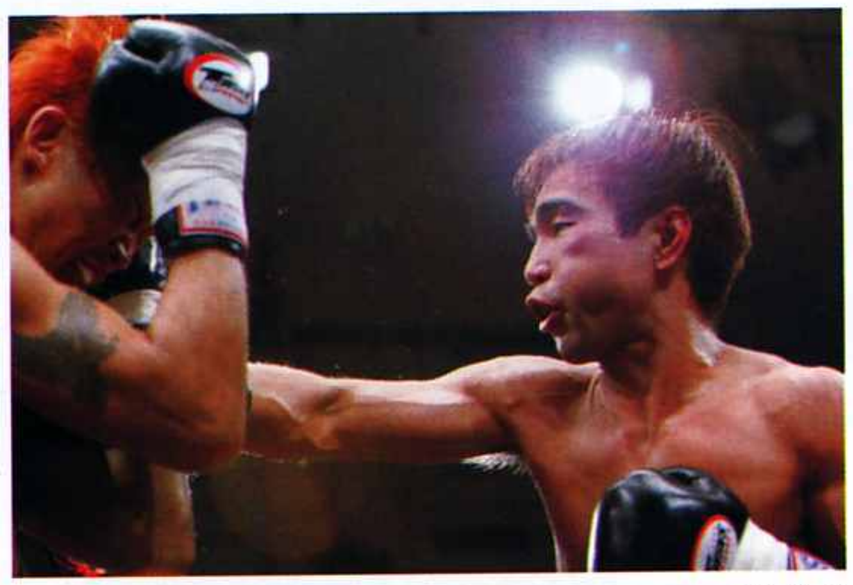
★第12試合/日本ミドル級タイトルマッチ（3分5R）
○松本哉朗（5R判定3-0）頼信●
<王者/藤本ジム>　<挑戦者/トーエルジム>
※採点…47-43、45-44、47-43。松本は1Rに右ストレートでダウン、頼信は2Rに顔面への右ヒザ、3Rにも顔面への右ヒザと飛びヒザ蹴りでダウン

伊原ジムの韓国勢たち 精鋭揃い踏み

▶深津飛成は好戦的な金聖拝に苦しむ。3Rに右ストレートでダウンを奪ったのがものをいって辛くも判定勝ちしたが、とても満足のいく試合内容ではなかった

▼菊地剛介は格下の鄭先夏をあっさり捕らえ、左パンチで2度倒して初回KO勝ち（1分10秒）

北沢勝も打撃戦に劇的ピリオド



▶ウェルター級タイトルマッチは初回にダウンを喫した王者・北沢勝が、2Rから逆襲。庵谷鷹志を一方的に攻めつけた

◀痛烈なフィニッシュ。3R、右ヒジでダウンを奪い返した北沢は、左フックで庵谷を前のめりに失神させた（3R 2分24秒）

Best Selection from the World

話題の海外商品を簡単・迅速にお手元へ

◆ANDROSTENEDIONE
アンドロステンジオン

★世界のホームラン王も愛用★

筋肉増強

100mg／100錠
（2ヶ月分）
1瓶 8,800円
2瓶 15,900円
3瓶 22,500円

強い筋肉作りの補助に。米国では栄養補助食品として販売され、大リーグでの使用も認められています。余分な脂肪が気になる人に最適の100%天然ハーブです。

アミノ酸

◆アミノディ1000
ソースナチュラル社

20種のアミノ酸にビタミンB6とCを配合。
話題のアミノ酸パワーを体験して下さい。

1瓶 30錠
2,800円
1瓶（大）60錠
4,000円

◆アミノ酸2000
Ultimate Nutritiond社

もう使ってる人、ジックリ試したい人にピッタリの徳用版。
筋肉同化を促す18種のアミノ酸。
乳清（ホウェイ・プロテイン）から抽出したスポーツサプリメント。

1瓶2000mg/150錠
1瓶 6,100円
2瓶 11,000円
3瓶 15,500円

㈱ライフメイク

ご注文専用
フリーダイヤル 0120-37-0044
Fax.048-872-0880（24時間受付）
Fax.の場合は、希望商品と個数・住所・氏名・TELを明記の上、お申込下さい。

商品のお問い合わせ等は☎048-710-8358（代）
〒336-0022 さいたま市白幡4-23-11 SDAビル3F

商品は7日でお届け、お支払いは後払い・代引きで。 ※掲載商品はすべて税込・送料680円。
営業時間:AM9:00～PM9:00★商品は到着後8日以内なら返品・交換可。
（返送料はお客様負担。未破損・未開封に限る）※使用の際は、用法・用量を守って下さい。

最後の砦、土井もチャップマンに完敗！外国人天国となった、シュートボクシング、

トドメはサワーのこの一言

「SBの選手は魔裟斗を見習え！」

▶昨年7月の『S-cup』以来、7カ月ぶりに復帰を果たしたエース・土井広之だったが、シェイン・チャップマンの豪打に判定負け

★第9試合/メインイベント(3分5R)
○シェイン・チャップマン(5R判定3-0)土井広之●
〈オーストラリア〉 〈シーザージム〉
※採点…50-48、50-47、50-47

考えてみれば、こうなったってなんの不思議もなかったのである。でも、誰もがその可能性を無意識に頭から振り払ってリングを見つめていたんだろう。僕もそうだ。

エース・土井広之、7カ月ぶりの復帰戦。後藤龍治、緒形健一が立て続けにS—cup王者アンディ・サワーに敗れている今、SB最後の命綱は土井でなければならなかった。ここで勝って、改めて打倒・サワーへ名乗りを挙げる。そういう展開を、みんなが見たがっていたのだ。

でも、この日リングにいたのは土井広之であって土井広之ではなかった。長期ブランク明けの土井の身体は、まったく思うように動いてくれなかったのだ。ケガはしっかり治した。練習も充分に積んだはず。それでもイメージどおりの動きができないのが復帰戦の怖さなのである。得意のローキックを蹴っても「なんじゃこりゃ？」という感触しかなかった。

まして、対戦相手のシェイン・チャップマンは、本調子でない土井が勝てる程度の相手ではなかった。K—1ワールドMAXにオセアニア代表として出場、アルバート・クラウスと互角の打ち合いを演じた男なのだ。

数年前から、キック界では〝オーストラリアをベースにしている選手はタチが悪い〟というのが定説になっている。骨格やパワーという点で日本人より勝っているだけでなく、加えて最近のオージー・キックボクサーにはタイで修行する者が多い。細かい防御や首相撲などのテクニックも一とおりは身に付けているのだ。

屈辱！

▶敗れた土井が退場すると、アンディ・サワー、ダニエル・ドーソン、チャップマンの外国勢3強がリング上をジャック。日本勢にとっては屈辱的な光景となった

試合後のリングを外国勢が占拠！

チャップマンのコメント

「ドイのキックはハードだと聞いてたけど、そうでもなかった。ヒジが使えれば、もっと早く倒せたと思う。次はサワー戦だけど、カッコつけて“絶対勝つ”とは言いたくない。でもいい試合を見せたいね。K－1でのクラウス戦は勝ってたと思うけどアンラッキーだった。下がりながら闘ったから。もう1回やれば違う結果になるよ」

土井のコメント

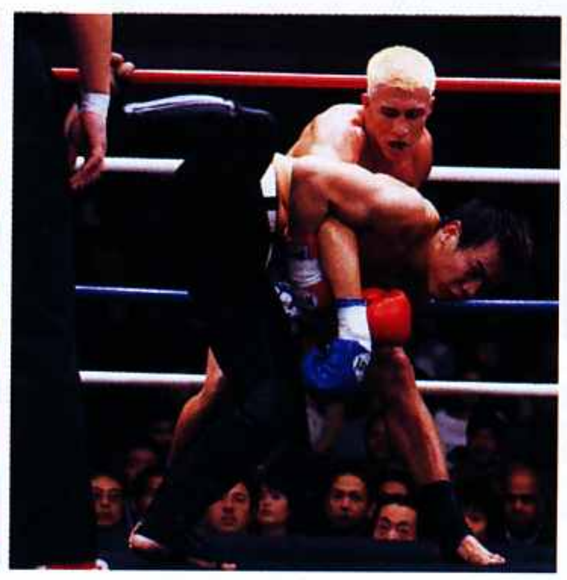
「すいませんでした。動けなかったです。（ブランクが原因？）いや、分かんないっすね。分かってたらもっと動けてたはずだし。チャップマンの動きは見えてたんですけどね。そんなに威力だってあるわけじゃなかったんですけど。（自分のローは）“なんじゃこりゃ？”って。自分の蹴りじゃなかったですね」

復帰戦でこの相手はキツい！さすがのキラーローも沈黙……

▲もの凄い音を立てて土井のボディをミドルキックが襲う

◀チャップマンのパンチは顔面、ボディともによく決まっていた

▶得意のローキックはヒットしていたのだが、威力、数ともに好調時のそれではなかった



◀打撃で劣勢の土井は、後半に入って立ち関節で一発逆転に賭けるが……

“シュートボクサー”ドーソン、サワーの代役を圧倒！

▲当初、サワーと闘う予定だったドーソンは、サワーの負傷欠場によりガンター・バーレン（オランダ）と対戦。重いパンチと蹴りでまったく寄せつけず、2Rにはヒザでダウンも奪って判定3－0の完勝

▶日本人同様に“シュートボクシングLOVE”を感じさせるドーソン。この日もSBの正装ロングスパッツで登場、フロントチョークも見せた

もちろんアラはあるのだが、そこは強引にパワーでカバーしてしまう。日本人にとって最もやっかいなタイプがオーストラリアの選手であり、その典型とも言うべき存在がチャップマンなのである。

“復帰戦だからって、噛ませ犬みたいな選手に勝ってもナメられるだけだ”

だからあえてチャップマンを選ぶ。そういう蛮勇こそSBらしいとも言えるが、今回は完全に裏目に出た形だ。

土井がリングを降りた後は、サワー、ダニエル・ドーソン、チャップマンの3人がリングを占拠。4月大会ではサワーVSチャップマン、6月にはサワーVSドーソンが行われることになった。

超ハイレベルな3人の絡みは、どれをとっても刺激的で、好勝負の予感が漂う。だけどやっぱり、SBのトップ争いから日本人が脱落してしまった状況は寂しすぎるというもの。

トドメはドーソンの、こんなコメントである。

「ドイもオガタもゴトウもみんないい選手で、特に投げは素晴らしいと思うね。だけど、パンチやキックでも、もっとハードにやり合うのが大事だと思うよ。現にマサトはそうやってるじゃないか」

つまり魔裟斗を見習えってことか!? べつにサワーに悪意があるはずもないのだが、SB勢にとっては、これほどの屈辱もあるまい。さあ、ここからどう巻き返していくべきか。選手もプロデュースする側も、ここが踏ん張りどころである。どうする？……っつうかどうにかしてくれ。

（橋本）

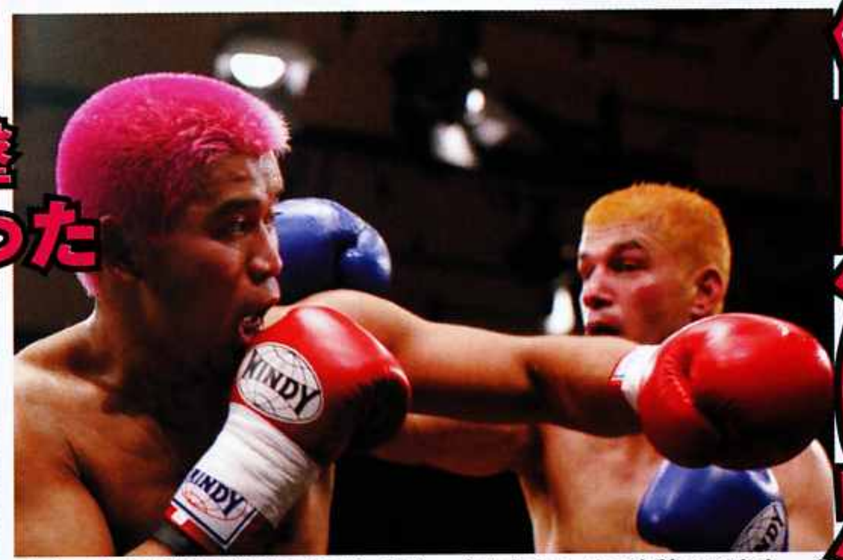
試合内容には不満だったけど 後藤龍治、ついに王座戴冠 晴れてSBの"仲間"になりましたっ！

後藤のコメント

「SBのベルトを巻けたっていうのが嬉しいです。キックで取った時とは違うプレッシャーで。試合前、リングでシーザー会長の顔見ただけでアガっちゃって。最初は敵として上がって足かけ3年、これでやっと仲間に入れてもらえた気分っすね。今年の目標は全試合負けないこと。SBの名を汚さず、高めていけるように」

▲念願叶ってついにSBのベルトを巻いた後藤龍治。シーザー会長、そして父親もリングに上がって祝福した

チグハグな展開、キレのない攻撃 それもこれも後藤の純情ゆえだった



▲キャリミは湘南ジムに所属してじっくりとキャリアを積んできた。タイトルマッチという千載一遇のチャンスに、序盤から力いっぱいパンチを振るって後藤を脅かす

▶2R、顔面にヒザが決まってキャリミはダウン。やはり地力では後藤が勝っていた

▼小林聡らセコンド、それに駆け付けた友人たちともバックステージで記念撮影

▶3R終盤、キャリミは投げを潰された後に立ち上がれずダウンが宣せられる。後藤は一気にラッシュをかけ、次のダウンで限界と見たレフェリーが試合を止めた

▶試合が進むにつれ、徐々に後藤がペースを握り始める。キャリミには飛ばしすぎの疲れもあったろう

★第8試合・セミファイナル/SB日本ミドル級王座決定戦（3分5R）

○後藤龍治（3R2分53秒、TKO勝ち）湘南キャリミ●

〈STEALTH〉　〈湘南ジム〉

※パンチ連打でダウン→レフェリーストップ。キャリミは2Rに顔面へのヒザ蹴りでダウン1、3Rには投げの失敗によりダウン1

たしかに、試合内容はお世辞にも良かったとは言えない。最終的にKO勝ちはしたが、「相手に〝2度とリングに上がりたくない〟と思わせるような、恐怖心を植え付ける試合がしたかった」という後藤の目論見は、完全に失敗に終わったと言っていい。

だけどいいじゃないか。この試合に関しては、もう内容に関しては言いっこなしだ。だって、後藤がリング上でカタくなってしまった理由がなんともかわいいのだ。

「試合前、リングで（認定宣言を読む）シーザー会長の顔見ただけでアガっちゃって……」

インタビューをした時も、一緒にメシを食った時も。いつも後藤は「SBのベルトが欲しいんスよねぇ」ともらしていたものだ。

最初はMAキックの選手、つまり敵としてSBのリングに上がった後藤だが、いつしかシーザージムに寝泊まりしながら練習し、トランクスでなくロングスパッツを履き、誰よりも投げや立ち関節を意識して使いこなす選手になっていった。

後藤龍治＝シュートボクサー。もう誰もがそう思っていた。後藤自身、「SBのために」、「SBを体現する」といった言葉を何度も口にしている。でも、まだどうしても足りないと感じているモノがあった。それがSBのチャンピオンベルトだったのだ。

「これでやっと仲間に入れてもらった気分です」

後藤は試合後、そう言って心底ホッとした表情を見せた。うん、今日はもう、それだけでいいじゃないか。

（橋本）

こ、これは深作欣二追悼大会か!?

松方弘樹も観戦! それなのにSB勢よ、"弾はまだ残っとるけえ!"

"ごがぁな試合で満足か。満足じゃなかろうが……"

▲RIKIYA、清水健太郎らおなじみのゲストに加え、今大会にはなんと松方弘樹も来場。まるで深作欣二追悼大会といった様相を呈したのだった

▶そしてターザンも会場に。最前列に用意された席にご満悦のターザンは、大会後、同郷でもあるシーザー会長としばし談笑。「今日は面白かった! 試合よりもシーザーさんのバイタリティが凄いよぉ!」

"後がないんじゃ、後が!" されど前田、王座奪回遠のく

▲〈第6試合〉前回の試合でフェザー級タイトルを失った前田辰也（寝屋川ジム）は仕切り直しの一戦。しかし松浦知希（風吹ジム）の切れ目ない攻撃に沈黙。時おりバックブローやバックキックを見せたがダメージを与えられず、カウンターで放つタックルもこれまでのような必殺の意思が感じられない。結局3－0の判定負けとなり、王座奪回への道を後退することになってしまった

修斗・中尾、逆転勝利

▲◀〈第4試合〉修斗から中尾受太郎（シューティングジム大阪）が初参戦。なんと飲み会の席で後藤龍治にふと「出たい」ともらしたのがきっかけだったとか。試合は渡辺卓也（龍生塾）のパンチで中尾がヘロヘロになりながらも、中尾が溜めに溜めて強烈な一発をお見舞いするという展開。2Rにはラッシュでコーナーに詰められたところに左フックでダウンを奪い返し、さらに首投げでシュートポイントも奪って判定3－0で勝利。今大会で最も盛り上がった試合になった

▲〈第5試合〉SB重量級のホープ・YU IKEDA（湘南ジム）は東京元気大学GGGの鈴木亮司に3RKO勝利。ボクシングのプロライセンスを持つ鈴木に対し、ローを効かせてダウンを奪ったIKEDA。最後はガードが下がったところへ左ハイを決めた

誠に勝手ながら12/29～1/5まで冬期休業とさせていただきます。

EUROPEAN TUNERS PRO SHOP

MERIT group

※商品につきましては、お求めになる前に必ず一度TELにてご確認下さい。

横 浜 店:TEL.045-547-0006

相模原店:TEL.042-730-7601

横浜店振込先:三井住友銀行 新横浜支店
普通口座No.6371455(有)メリットヨコハマ
相模原店振込先:三井住友銀行 新横浜支店
普通口座No.6473914(有)メリットサガミハラ

メリット横浜/TEL:045-547-0006
〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町2869
FAX:045-546-5532 営業時間:10:00～19:00
定休日:日曜・祭日

メリット相模原/TEL:042-730-7601
〒229-0031 神奈川県相模原市相模原6-6-17
FAX:042-730-7605 営業時間:10:00～19:00
定休日:日曜・祭日

メリット札幌/TEL:011-817-1922
〒003-0813 札幌市白石区菊水上町3条2-52-361
FAX:011-817-1637 営業時間:10:00～19:30
年中無休

Carlsson

NEW1/5
Ⓕ8.5J-19+245/35R19
Ⓡ10.0J-19+275/30R19
BS G3…¥385,000
ミシュランPスポーツ…¥398,000

BRABUS

MONO5 W210
8.5J-18+235/40 R18
9.5J-18+265/35 R18
大特価
P7000……¥210,000

Lorinser

LM-5
Ⓕ8.5J-19+245/35R19
Ⓡ9.5J-19+275/30R19
SP9000…¥520,000
ミシュランPスポーツ…¥550,000

AMG

STY-3
Ⓕ7.5J-17+215/45R17
Ⓡ8.5J-17+235/40R17
GY LS2000…¥180,000
ミシュランPスポーツ…¥210,000

その他ホイール各種取り扱い中!! 各ブランドのチューンナップも低予算で受付中!! さらに詳しい情報は下記アドレスへアクセス願います。 詳細はお電話にてお問い合せください。

http//www.merit-group.co.jp

smart

Stage1 Tuning 75PS Basis/61PS
¥200,000
Stage1 Tuning 70PS Basis/55PS
('99/'00) ¥150,000
('01/'02) ¥180,000
(取付工賃 ¥20,000)

ビルシュタイン

BILSTEIN GASDRUCK STOSS DAMPFER

ショートストロークショック

■W202■W208■W170
■W203※BTS KIT/セダン・ワゴン用入荷しました。
¥69,800(取付工賃込み)

WHEELS®

盗難からホイールを完璧ガード!
6,000円

イルミタイプ エントランスモール

W202 / W203 / W208 / W124 / W210
W140 / W215 / W220 / R129 / R170 / A-Class / ML
(各車)
¥21,000
V-class
¥24,500

HARTGE

¥18,000

Rエンブレム
¥12,000

アルミペダルセット
¥28,000

SPORTEC

スポーツマフラー AUDI A4
¥130,000

スポーツブレーキシステム
¥450,000

アルミペダルセット(MT用)
¥45,000

サスペンションキット AUDI A4
¥230,000～

スタッドレスアルミセット販売開始
詳細お問い合せ下さい。

	BENZ					BMW					VW/Audi (NEW POLOにつきましてはお問い合せ下さい。)			
適合車種	W202 W203 (180/200)	W203/209	W210	W210	W211	E36/46	E36/46	E36/46	E-39	E-38	GOLF4/beetle AUDI-A3/4/6	AUDI-A4/6 PASSAT	AUDI-A4/6 PASSAT	ポロ/ルポ
ホイール	R-AV	R-5S	R-AV	R-AV/1	R-AV/2	R-RS/36	R-RS	R-46	R-38	R-38	D-3	R-A4	R-A4	D-3
ホイールサイズ	7.0-15	7.0-16	7.5-16	7.5-16	7.5-16	7.0-15	7.0-16	7.0-16	8.0-16	8.0-16	6.5-15	7.0-15	7.5-16	6.0-14
タイヤサイズ	195/65R15	205/55R16	215/55R16	215/55R16	225/55R16	195/65R15	205/55R16	205/55R16	225/55R16	235/60R16	195/65R15	195/65R15	205/55R16	185/55R14
Mi DRICE	¥100,000	¥138,000	¥138,000	¥138,000	¥145,000	¥100,000	¥135,000	¥135,000	¥146,000	¥139,000	¥102,000	¥100,000	¥138,000	¥102,000
BS MZ-03	¥100,000	¥138,000	¥138,000	¥138,000	¥145,000	¥100,000	¥135,000	¥135,000	¥146,000	¥139,000	¥102,000	¥100,000	¥138,000	¥94,000
DL DS-2	¥90,000	¥120,000	¥120,000	¥120,000	¥125,000	¥90,000	¥117,000	¥117,000	¥126,000	¥119,000 (HS3)	¥92,000	¥90,000	¥120,000	

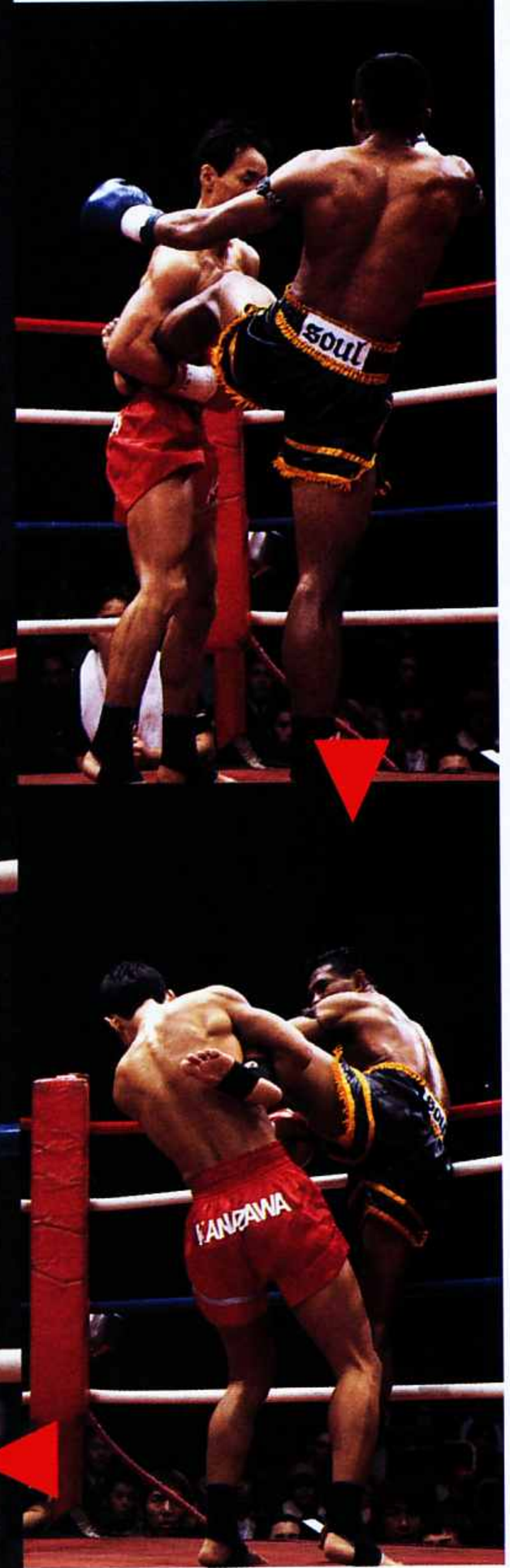
この激しい左ミドル。サムゴーの破壊力は小林戦同様、この日も凄かった

見たか！感じたか！観念したか！

金沢久幸もケチョンケチョン 無敵サムゴー、再び日本を席巻

ヒクソンの衝撃以来!!

日本人によるストップ・ザ・サムゴー そんな日は本当にやってくるのか……



▲◀3RのKOシーン。金沢が蹴り足を取ったと思ったら、次の瞬間左ヒジが顔面をグサリ。金沢はカエルのようにひっくり返った

★第7試合/メインイベント（3分5R）
○サムゴー・ギャットモンテープ（3R0分49秒、KO勝ち）金沢久幸●
〈タイ〉 〈TEAM-1〉
※左ヒジ打ち。金沢は2Rに左ミドルキックでもダウンを喫した

緒論さまざまだろうが、私は今日も十分に感動できた。金沢がだらしなかった？　しょうがない。相手が強すぎたのだ。終わり方があっけない？　この分厚い戦力を目の当たりにしたなら、なお答えは同じ。格闘技の原点が強さへのあくなき希求であるならば、この試合展開、結末でも私には気持ち豊かなまま納得できる。それでも言い足せというのなら、こう断じておく。少なくとも昨年9月の小林聡戦、サムゴーというタイ人が見せたムエタイにおける至高の境地が、行きずりの一コマ、ただの幻影ではなかったことを、この一戦で確認できたのは間違いない。

とにかく、サムゴーは途方もなく強かった。勝負の山は最初の1分とかからないうちに越えた。小林を木っ端微塵に打ち砕いたあの左ミドルを、金沢がどう処理するのか。試合の興味はこの一点だったが、のっけから『まったくどうにもならない』という結論を突きつけられたのである。

金沢はやはりやや遠目に距離を取り、慎重に間合いをとる。そうすれば左足を後ろに引くサウスポースタイルのサムゴーだから、その凶悪な左足もそうそうたやすく届くまい。目論見は淡い希望に過ぎなかった。現役ルンピニー王者の左キックは、いともたやすく金沢の右脇腹を捕らえる。その3発目、日本の準エースとも言える男は、腹を抱えて後ずさりしたのだ。

まだまだ金沢には隠し持った秘技がある。高速スピンのかかったバックハンドブローであり、空中駆け上り型跳びヒザ。変幻自在の技で、これまでも何度も大物食い

全日本キック
RED ZONE
2.7★後楽園ホール

▶2R終盤、右ワキ腹にキックを集められた金沢は、フラフラと倒れこんで最初のダウン

▲ローで足を刈られた金沢が倒れるたびに、サムゴーは仁王立ちになって威嚇する。いや、迫力満点だ

▶金沢はサムゴーの攻撃にあおられっぱなし。途中で右半身が言うことを聞かなくなっているようにも見えた

サムゴーのコメント

「普通の気持ちだよ。デキは80点かな。満点ではないな。バックハンドブロー？　怖くなかった。ムエタイにはない技だけど。コバヤシのほうが強かったな。タイでは実力の接近した者同士の試合しかないから、こんな闘いはあまりないな。日本選手はファイトはあるのはいいけれど、もっと勝ち方を勉強しなければいけないと思うね」

金沢のコメント

「強すぎます、あれは。化けもんなんているわけないと思っていたけど、いたんですね。小林戦のビデオも見ていたんですが想像以上。とにかくミドルは重かった。2Rのダウンは腕をやられたフリ。判定で勝てるわけないから、誘って誘ってミドルにこちらの攻めを合わせようと。バックブローが一発惜しかったんですがね」

▶あまりに凄まじい蹴りに、金沢は何度もよろけ、吹っ飛ばされる

▶決死のバックハンドブロー。金沢に残された術はこれしかなかったが、結局ヒットせず

▲安川賢もムエタイの極意に無残にさらされた。ソッチューンの首相撲からの投げ、ローでの足払いで倒されること28度。得意のヒザもまったく通用せず、あえなく判定負けに終わった

谷川さん、K−1MAXにサムゴーをどうぞお願い！

もう日本人はこのサムゴーを止めることはできないのか。もう10キロ近く上のK−1MAXに出るしかない!?

現役ルンピニー王者の強さ炸裂 秘技もまったく通用せぬまま撃沈さる

◀秘策を胸に秘めて登場した金沢だが、その秘策も秘められたまま終わった

◀開試合前から自信満々、貫禄十分。これがムエタイの頂点に立っているプライドだ

を演じてきたのだ。いきなり後手に回った金沢は、さっそく玉手箱からバックハンドブローを取り出す。1R半ばだ。一瞬驚いた表情を見せたサムゴーだが、少しばかりでも効果を認められたのはこの一度きり。あとはあっさり見切られる。逆に金沢の体が一回りするのを待って、カウンターの蹴りを打ち込まれる始末。これではもう金沢に打つ手はなかったろう。

2R、ボディへのキックが食い込むたびに金沢の上体は折れ曲がる。ローで刈られてスッテンコロリンという場面も再三だった。それも腹が効いてもう思うように動けなかったせいだ。この回終盤、左ミドルを受けた右腕を押さえ、金沢はへたり込む。最初のダウンである。ここはなんとかしのいだが、3R、ついにこのワンサイドマッチにも終幕が降ろされる。

金沢は恐ろしい左キックを果敢にキャッチする。しかし、ここに狙いすましたサムゴーの左ヒジ。バッタリと大の字に倒れた金沢は懸命に立ち上がったが、レフェリーの数える10カウントに間に合わなかったのだ。

「強くなりたいと決心したのなら、大事なことはガマンすること、まじめにやることだ」

試合後、仏頂面でそう言い放ったサムゴーである。日本のナンバー1、ナンバー2がこうも簡単にやられたら、何を言われても黙って聞くしかない。それほどに強さというのは雄弁なのだ。だけど、次にこの男が来る時は、今度は狼狽する顔くらいは見たいもの。さあ、立ち上がるのだ。日本のキックボクサーたちよ。

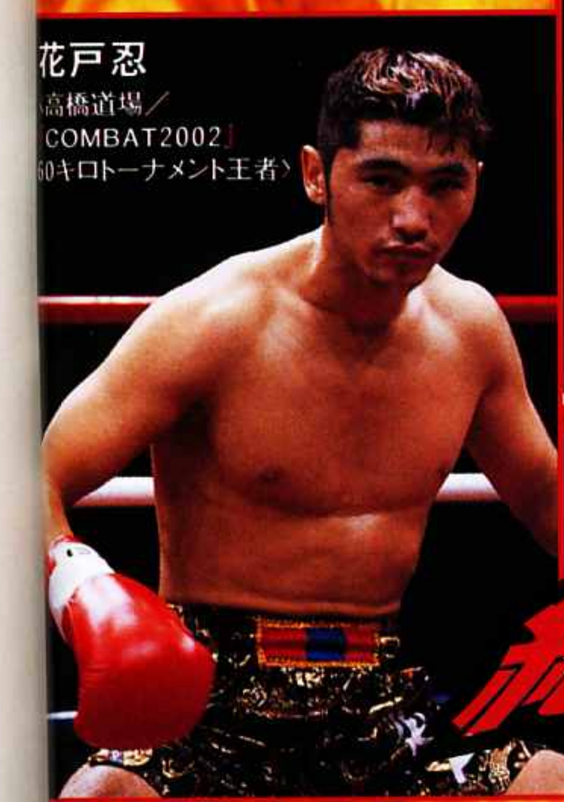
（宮崎）

究極の打撃戦、これでも喰らえ！

3・8&5・23全日本キック『ライト級最強決定トーナメント』開催！

文◎橋本宗洋

大宮司進
〈シルバーウルフ／ISKA世界Sフェザー級王者〉



花戸忍
〈高橋道場／「COMBAT2002」60キロトーナメント王者〉

小林聡〈藤原ジム／WKA&WPKC世界ムエタイ・ライト級王者〉

大月晴明
〈AJパブリックジム／全日本ライト級王者〉

山本優弥
〈空修会館／2001全日本新空手軽量級王者〉

絶対に見ろ！

◎開幕戦（1回戦4試合）…3月8日（土）後楽園ホール
◎準決勝&決勝…5月23日（金）後楽園ホール
◎賞金総額5,000,000円（優勝3,000,000円、準優勝1,000,000円、KO賞150,000円）
◎組み合わせは当日リング上で公開抽選
※契約体重…62キロ、ヒジ打ちと首相撲からのヒザ蹴りは禁止。全試合3分3R・延長2Rのサドンデスルールで行う

イム・チ・ビン
任治彬
〈韓国／世界プロテコンドー・ミドル級王者〉

金沢久幸
〈TEAM—1／WPKC世界ムエタイ・Sライト級王者〉

藤牧孝仁
〈はまっこムエタイジム／LIGHTNING全日本ライト級3Rトーナメント王者〉

こりゃもう、2003年はキックボクシングの年になるんじゃないか？　まずは3・1K—1ワールドMAXに武田幸三の出場が決定。これだけでも燃えすぎて今から大変なことになってるってのに、さらに嬉しい追い討ちである。

全日本キックが、ライト級のトーナメントを開催するのだ。

今、全日本キックのライト級は空前の活況を呈している。ムエタイ現役王者と3度対戦、その実績が認められてルンピニー・スタジアムのビッグイベント『ムエマラソン』にも招待された〝野良犬〟小林聡を筆頭に、強豪がひしめきあっているのだ。

ライト級離れした豪腕を武器にこれまで10戦10勝9KO、無敗で全日本ライト級王座へ登り詰めた大月晴明。後ろ回しやカカト落としなどの大技を使いこなし、それでいてひとたびキレれば拳とヒジで相手を嬲り殺しにする戦慄のモンゴリアン・花戸忍。

さらに3回戦時代から未来のエース候補として期待されている和製ムエタイ戦士・藤牧孝仁に18歳の新空手王者・山本優弥と、まさに百花繚乱、群雄割拠の才能集団が全日本ライト級なのだ。

さらにフリーの大宮司進は、昨年12月に花戸に敗れたとはいえ、これまでのイメージをかなぐり捨てた猛ラッシュで株を上げている

し、韓国には日本人相手に3連勝しているテコンドー王者・任治彬（イム・チ・ビン）がいる。

そんな状況で、ただ試合を組んでるだけじゃ面白くない。旬のタレントが揃ってるなら、誰が一番強いかはっきり決めたらええんや！　小林などは、また他の選手と横一線からのスタートということで不満かもしれないが、観客にとって面白いことが最優先。出し惜しみなしのトーナメント開催を決めた全日本キックは団体の鑑だ。それに、小林は怒ってる時ほどいい試合するからね。

また、トーナメントにエントリーしていながら2・7後楽園でサムゴーにKO負け、欠場が囁かれた金沢久幸も、復活を賭けて出場を直訴。ドクターの検査結果しだいでGOサインが出るかどうか、という段階だ。

この大会は、キック界の命運を占う重要なものである。K—1MAXもたしかにいい。だけど、K—1に引き上げてもらうばかりが能じゃない。キックそのものに浮上のメはないのか、キック界として何ができるのか、その返答がライト級トーナメントなのだ。

誰と誰が絡んでも名勝負必至。え～、読者の皆様方にこんな言葉は大変失礼かと存知ますが、あえて書かせていただきます。

これ見ないヤツはバカだよ！ ■

偏向報道宣言

もう毎号特集！

『SRS・DX』は女子格闘技を“えこひいき”します!!

前号での『ターザンVS女子格闘家合コン』が大反響を巻き起こす中、ターザンが「これからは女子格闘技を毎号載せる！ 大会にも全部行きますよぉぉぉ!」と突然の炎上！ 編集部員も「やりますよ！」とドラゴンばりに前髪を切りながら総力取材に当たった！「格闘技なんて女がやるもんじゃない」とかバカな偏見もいまだにある中、オンナたちは何を求めて闘うのか？ 初っ端の今回は三本立てでまいります。

芸能界最強の身体能力！元ブランノ娘が格闘技デビュー

1・26全日本キック女子大会詳報

TBSが女子総合に進出！

撮影◎丸山剛史

特にキックの練習はしなかったという薮下だが、狙っていた飛び蹴りが見事に炸裂！

こんなコ、あんなコ、いろいろ！ え、女子キックって興味あるなあ

君たち女のコなの？　それとも少女なの？　乙女なの？　はたまた女性なの？　それとも女なの？

いずれにしても私は現代を語る時女性の存在を抜きにしては、何も真実は見えてこないと思っている人間なのだ。私は女性にしか興味ない。

それは私が男だからというのではなくて、今の時代に「自分とは何か？」という問い掛けをしているのは断然、男よりも女性のほうなのだ。

彼女たちはこの点に関して真剣そのもの。自分と向き合いながら必死になって生きている。しかし、いまだその答えは誰も出していない。

答えなど出るはずがない中で、彼女たちはさまよい続けている。余計なおせっかいかもしれないが、そういう女の人たちに私は、深い関心を寄せてしまったのだ。

いつもそのことばかり考えていたら、女子キックが私の視界に入ってきた。えっ、なぜ、女の人がキックボクシングをやるの？　もう、それだけで十分にテーマになる。

この一点に向かって突き進んでいくしかない。こうして私は1月26日北沢タウンホールに行った。全日本キックボクシングが、女子選手だけによる興行をやっていたからだ。

私はジャッジのすぐ横にあたるリングサイドというか、エプロンに直結した特等席を用意されていた。

ウーン、凄いVIP待遇だ。生まれて初めてあんな席で試合を見た。

この女子キックの興行のタイトルは〝ガールズショック〟。ファンから

全日本キック

Girls SHOCK!

1.26★北沢タウンホール

この中から、飛び出すのは誰だ!?

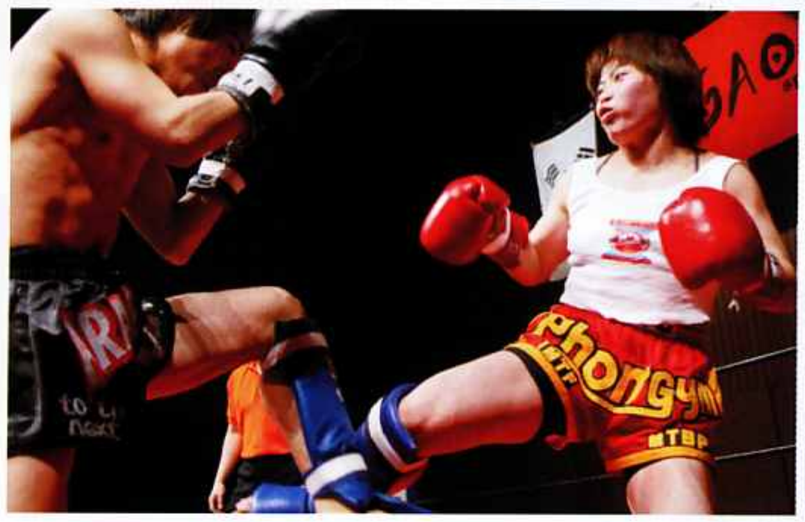
▶韓国キック界NO・1美少女キックボクサーの触れ込みで参戦のタイガー。う～ん納得

▼圧倒的強さでタイガーに何もさせず完勝したWINDY。試合後は、世界タイトル獲りを宣言！

◀意外にもこの試合がキックデビュー戦の渡邊。サウスポーの大島相手に苦戦したが、後半は持ち前のラッシュでポイントを奪いキック初陣を白星で飾った

▶強打の薮下に苦戦しながらも、岡本は藤原ジムの猛特訓から培われたガッツで勝利を収めた

▼同門で全日本キック期待のホープ、藤原あらしを相手にド迫力スパーを見せた彩丘。「(今後の対戦相手は) 男でも構いません！」という姿はたくましすぎるぞ！



▲昨年の全日本新空手で優勝している渡辺は、現役女子高生キックボクサーのCHIHIROに強烈なパンチを立て続けに見舞い秒殺。今後の活躍に期待大！

▼前号の合コン企画でターザンに「KOされるとこを見に行くよぉ！」とヒドイ事を言われた妃口、ターザンの期待を見事に裏切り、試合後には笑顔で勝利報告

▲敗れはしたが、実力者のジェット相手に大健闘のASAMI。デビュー戦とは思えない堂々とした闘いぶりだった

RESULT

★第7試合

○WINDY智美（1R1分18秒、KO）ホワイト・タイガー●
（AJパブリックジム）　（韓国/白虎ジム）

★第6試合

○渡邊久江（3R判定3-0）大島椿●
（TEAM LIMIT）　（JMTC）

★第5試合/エキシビジョンマッチ

彩丘亜紗子（勝敗なし）藤原あらし
（S.V.G.）　（S.V.G.）

★第4試合

○岡本裕子（2R終了、TKO）薮下めぐみ●
（藤原ジム）　（SOD女子格闘技道場）
※薮下、左肩負傷→セコンドからタオル投入

★第3試合

○ジェット・イズミ（3R判定3-0）ASAMI●
（アクティブJ）　（士心館）

★第2試合

○渡辺亜矢子（1R1分05秒、KO）CHIHIRO●
（勇心館）　（DRAGON GYM）
※パンチ連打→レフェリーストップ

★第1試合

○妃口慧（3R判定2-0）手塚千晶●
（S.V.G.）　（藤原ジム）

この女子キックの興行のタイトルは〝ガールズショック〟。ファンからネーミングを一般公募され見事、採用されたのは水道橋にあるプロレス図書館『闘道館』の館長夫人。

『闘道館』といえば私が毎週木曜日に『一揆塾』の講議をやっているところである。館長御夫妻はこの日特別リングサイドに招待された。

女子キック見るべし！

私の結論はこれに尽きる。キックに限らない。女子の格闘技はこれから全て見ていく。私はそう決心した。格闘技は基本的に男がやるものである。言い方は悪いがあれはやっぱり、オスの特権である。

私はあえて男とか男性とか野郎とは言わず、オスと呼ばせてもらう。オスがオスとしての存在を賭けて闘うもの。それが格闘技。メスはその結果を見守っていればいいのだ。

今、そのオスの領域に女のコがはいってきた。彼女たちは格闘技に挑戦することで自分の中にある〝もうひとりの自分〟を見つけ、そして探し出したいと思っている。

それは女としての自分を捨てたのか？　逆に新たな輝きをそこに求めたいのか？　もちろん後者のほうだろう。この日、男子選手とエキシビジョンマッチで闘った彩丘亜紗子選手を除くと、12人の選手が試合に出場した。その中で9人の選手は25歳以上。私はここに注目した。

ASAMI選手なんか28歳で今日がデビュー戦なのだ。経歴を見ると大学院を卒業、外資系大手会社の研究室勤務とある。彼女たちはたしかに〝何か〟を捨てたのだ。捨てるには捨てるだけの理由がある。何を捨てて何を得ようとしているのか、私はそれが知りたい。　（ターザン山本）

バンジージャンプにスカイダイビング、『体育王国』と、なんでも体当たりで挑戦してきた人気タレントが、ついに格闘技にも挑戦することになった。格闘技歴わずか2カ月、TBSの人気番組『サイボーグ魂』の企画として行われる大会でデビューを果たす水野裕子。話題作りでもなんでもない。“頑張る”ことが当たり前にできる彼女は、ファイターとしてもまた一級品の才能を持っていたのだった。

Text/橋本宗洋
Hair&Make/藤崎浩一

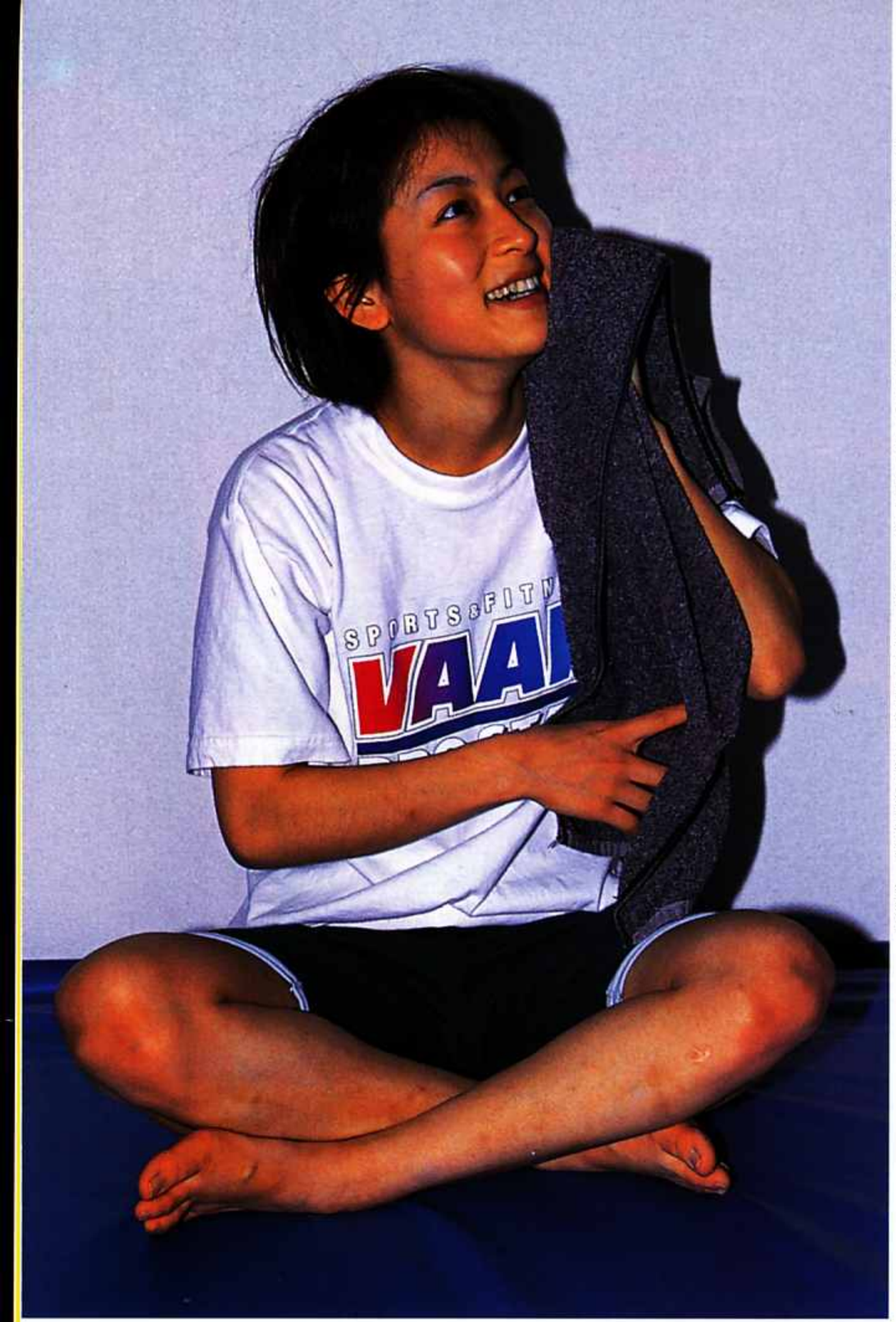
人気タレントは〝最強の初心者〟

水野裕子

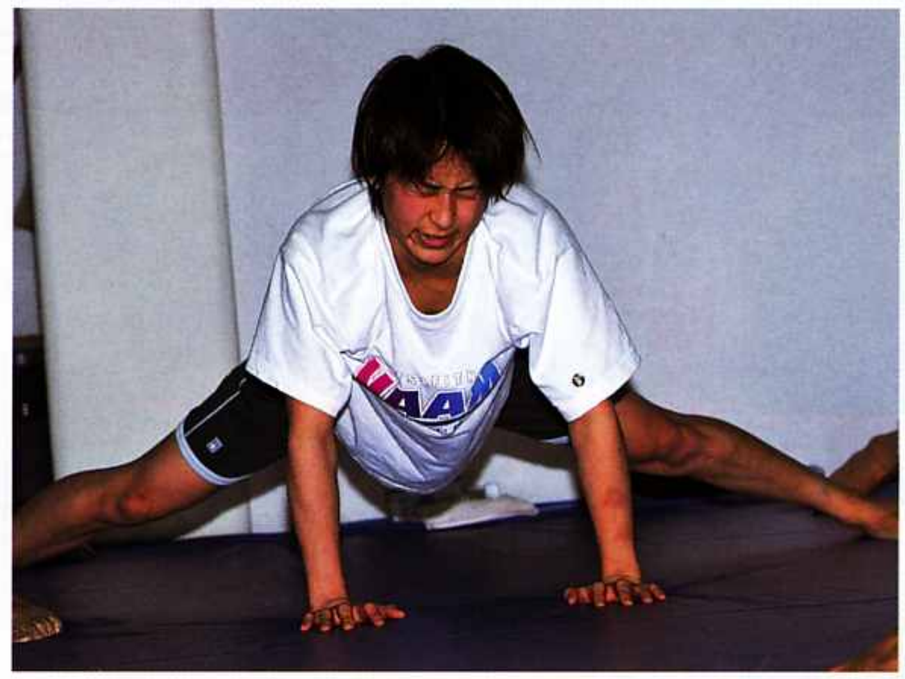
「ケガするとか殴られるとか まったく抵抗ないですね」

〝タレント〟って職業は大変だと思う。ってますよ」

「負けん気は強いです、昔から。弟と



◀激しい練習のためか、スネにはかなりアザが。「いや、これは昔からの積み重ねで（笑）」



◀練習に通うグラバカジムのモットーは「楽しくやろう」。菊田は生徒たちに「疲れたら無理しないで休んで」と声をかけるが、水野は全てのメニューを完璧にこなしていた

▲菊田早苗も舌を巻くセンス。技の仕掛けがとにかく速い！

〝タレント〟って職業は大変だと思う。歌だけ、芝居だけのように専門がない分なんでもやらなきゃいけない。でも「毎日違うことができて楽しいですよ」と水野裕子は言う。『王様のブランチ』ではバンジージャンプにロッククライミング、スカイダイビングにも挑戦した。

「ちっちゃい頃からもの凄いヤンチャだったんですよ。もう木に登るわドブに落ちるわ田んぼにはまるわで。学校のベランダから飛び下りた時は親を呼び出されて怒られましたね（笑）。今も休みはスケボー、スノボ、バスケ。バイクの大型免許も欲しいんですよ」

スポーツは小学校高学年からバスケットボールをやっていたという。

「中学のバスケ部が凄いスパルタで。練習は厳しいし先生も厳しいし先輩も厳しい。もちろん練習は週7、1日4時間以上。おかげで根性は付きました。〝頑張れば一線を超えられるんだ〟っていう」

だから、ごく自然に〝頑張る〟という ことができるんだろう。しかも運動神経は抜群である。TBSの『スポーツマンナンバー1決定戦』女性版で優勝、『SASUKE』の女性版『KUNOICHI』は最高記録をマーク。そして今回、総合格闘技に挑戦することになった。

「初心者なんで〝これはどういう技なんですか？　どこが痛いんですか？〟って段階から教えていただいてます。日常生活にない動きじゃないですか、関節極めるとか、パスガードとか（笑）」

だけど練習での動きは、とても初心者に見えない。打撃をかわしてタックルに入るタイミング。腕十字を仕掛ける速さ。指導する菊田早苗も「あれは天性でしょうねぇ」と絶賛するほどなのだ。「それと気持ちが強い！　男にもないものを持ってますよ」

「負けん気は強いです、昔から。弟と日常的に殴り合いのケンカしてましたもん。初めて弟に負けた時は〝もう勝てないのか〟と思って一晩中泣きましたよ」

ちなみにその時、姉16歳、弟14歳。

「え、それって変ですか？」

……。ところで、格闘技において、女性ならではの強さってありますか？

「女の人は痛みに強いです。わたしもケガするとか殴られるとかに抵抗はないです。まあ、こんな足してますからね。ちっちゃい頃からの積み重ねで（笑）」

と、スネにできた無数のアザを見せる。こういう仕種をしても〝ワタシって変わってるでしょ〟的なイヤらしさと無縁なのが水野裕子の個性なんだろう。いわゆる〝女らしさ〟なんてどうでもいいってものだ。だって〝水野裕子らしさ〟がすこぶる魅力的で、しかも格闘技に向いてるんだから。

「この前、練習でここにも傷ができたんですよ。歯がぶつかって」

そう言いながら彼女は、上唇をペロンとめくり上げてみせるのだった。■

PROFILE

水野裕子（みずの・ゆうこ）

★所属/ソニー・ミュージックアーティスツ（格闘家としてはGRABAKAジム）★生年月日/1982年3月8日 ★出身地/愛知県 ★血液型/O型 ★身長/160cm ★体重/46kg ★サイズ/B85 W59 H82 ★特技/寿司を握ること ★趣味/釣り ★得意技/「“あるけど秘密”っていうとカッコいいかな（笑）」

『猪木祭り』、『Dynamite!』のTBSが女子格闘技の概念を変える！

大会は『サイボーグ魂』番組内企画 チケット販売なしの公開収録

▲ルールディレクターを務めるのは、おなじみ島田裕ニレフェリー。「船木さんとオレのコンビ。これは藤原組リバイバルだね。ところでこのこと、尾崎社長は知ってんのかな」

▲会見で最も注目を集めたのは、やはり水野裕子。『王様のブランチ』の取材でミット打ちを披露したが、なかなかサマになっていた

▲1月25日、TBSで行われた記者会見。大会のスーパーバイザーは船木誠勝が務める。「空手やキックボクシングで女の人が闘ってるのを見て、男の人よりも根性があるんじゃないかなってずっと思ってました」（船木）

グラビアアイドルから薬剤師まで これが全対戦カードだ！

《ルール概要》

- ★5分2R、インターバル90秒
- ★オープンフィンガーグローブ着用
- ★勝敗は一本、KO、レフェリーストップ、試合放棄で決する
- ★グラウンドでの顔面攻撃は禁止
- ★スタンドでの顔面攻撃の有無は試合ごとの話し合いで決定

観戦者大募集！『サイボーグ魂 女子総合格闘技大会』

2月25日(火) Zepp Tokyo
19:00試合開始
住所、氏名、年齢、電話番号、職業を明記し、下記のあて先までハガキで応募
【あて先】
〒107-8066 港区赤坂TBS
「サイボーグ魂　女子格闘技観戦係」

『猪木祭り』、『Dynamite!』など、超大規模な格闘技イベントを手がけてきたTBSが、単発の企画ながら女子総合格闘技の大会を手がけることになった。

2月25日にZepp Tokyoで開催されるこの大会は、毎週火曜午後11時50分から放送中の番組『サイボーグ魂』内の企画として行われるもので、チケット販売はなくハガキでの応募制、放送も中継ではなく番組の中で随時紹介していく予定。いわゆる〝大会〟のイメージとは大きく違った展開になるようだ。

これまでの放送を見ると、スポットが当てられているのはエキスパートとしての強さではなく、普通の女の子（イベントもアマチュア大会）が闘いに挑もうとする姿。〝無印良品勤務〟、〝薬剤師〟といった普段の生活ぶりと練習風景のコントラストが強調されているのもTBSならではの切り口で、この企画から女子総合の新たな可能性が見えてきたら面白い。■

SPEED TELEPHONE CASHING

30日間無利息サービス実施中!!

チャンス

来店不要

100万円迄

年利変更なし **2.0%**

職種不問

OL・パート
自営業・水商売の方 **大歓迎**

完全秘密厳守

担保・保証人不要
安心自社貸付
（50万円以上要担保）

レディースローンは年利1.75%変更なし

自宅・会社へのTEL一切なし
プライバシーを守ります。

お支払い例（全て元金利息込）		
10万円	1,420円×72回	完済金額 102,240円
20万円	2,430円×84回	完済金額 204,120円
30万円	2,550円×120回	完済金額 306,000円
40万円	3,400円×120回	完済金額 408,000円
50万円	4,250円×120回	完済金額 510,000円
80万円	3,400円×240回	完済金額 816,000円
100万円	4,250円×240回	完済金額 1,020,000円

お支払い回数はお客様のご要望で変える事ができます。

一本化をお考えの方
家族に秘密にしたい方
借入初めての方

まずはお電話下さい。
誠意と真心でお答え致します。

融資の基準
融資額／100万円迄
実質年率／2.0%～6.7%
返済回数／1回～240回
遅延損害金／年率7.96%
必要書類／保険証または運転免許証

安心と信頼の東京都貸金業登録店
ダックス
東京都世田谷区北沢3-10　都（1）25197

携帯・PHSからもOK　営業時間　平日9：00～19：00　土日祝11：00～17：00
0120 FreeDial **0120-644-662**
直通 03-5759-0171

電話で納得～相談してよかった！
電話で親切、前向きキャッシング

完全固定 **2.0%**
利息だけの返済もOK

スペシャルサービス

○毎日、10～100万円迄増額ご融資実施中!!
○今、申し込み頂いた方に限り60日間無利息サービス!
○ご返済は融資時から3ヵ月後からでもOKです!

●●●ご新規の方へ●●●

お電話一本で、ご融資から完済まで来店は一切不要です。

借り入れ初めての方、急な出費の方、主婦（定収入ある方）・バイト・自営業の方、その他当社に何でもお気軽にご相談下さい。必ずお役に立ちます。（スタッフ一同）

— 形　式 —

○融資額／5～100万円迄
○返済期間／1～120回（最長10年）
○返済方法／銀行・コンビニから引落し
○身分証／免許証・保険証一点
○金利／完全固定2.0%～10%（変動なし）
○担保・保証人／一切不要（50万円以上要担保）

最大融資額
5～100万円迄
秘密厳守

フリーローン
使い方に関しては、お客様のご自由です。買い物・旅行など、急な出費があった場合に役立ちます。無理のないご返済を提案します。

レディースローン
女性の方は、金融機関に不安なイメージがあると思いますが、専門スタッフによる親切・丁寧にしっかりアドバイスいたしますので安心・確実です。只今好評受付中!!

おまとめローン
他社からの借り入れが、多重債務でお悩みの方、当社の低金利で一本化にまとめてみませんか？スタッフの方で確実な返済プランをご用意致します。

無理のない返済プラン最長10年（120回）まずはお電話下さい
確実返済プランをご用意します（下記は一例です）

万円＼回数	36回	60回	72回	120回	完済金額
10万円	2,830円	1,700円	1,410円	850円	102,000円
50万円	14,160円	8,500円	7,080円	4,250円	510,000円
100万円	28,330円	17,000円	14,160円	8,500円	1,020,000円

信頼と実績でお客様を応援する　お電話で即日スピーディーにお振り込み

マイシティーリース　0120 **0120-601-204**

中野区若宮3-56　都（1）26139　紹介屋および類似商号にご注意下さい　〈営業時間〉AM9:00～PM19:00　直通03-3368-9071

広告取扱／ダイナミックエージェンシー　029-246-3970

Mineral & Herb

Fasting Diet

誌上通販

新春大量入荷!

大ベストセラー!!

アナタも必ずできます

1日や半日コースもあり!

3日間断食!

ついにブームは格闘技界を飛び越え、プロ野球界・芸能界に飛び火!

ダイエットにも!肉体改造にも!体質改善にも!

いつ何時、誰の挑戦でも受ける!

2003年はファスティング元年!

ファスティング挑戦に強い味方!

"3日間、俺の前でメシを喰うんじゃねえ!"と猪木さんが威嚇してくれる!

●猪木ファスティングTシャツ
(白/サイズS・M・L・XL)
¥3,500(税別)

ファスティング・ダイエット(360ml×3本入り)
Fasting Diet 18,000円(税別)
販売元/(株)ローデス　開発研究/杏林予防医学研究所

東急ハンズ各店舗でも販売中!
【「ファスティング・ダイエット」取扱店】北海道/東急ハンズ札幌店　東京近郊/グレート・アントニオ、東急ハンズ新宿店、渋谷店、池袋店、町田店、横浜店、ナチュラボ池袋店、仙川店、ハンズセレクト大井町店　名古屋/東急ハンズ名古屋店　関西/東急ハンズ心斎橋店、江坂店、三宮店　広島/東急ハンズ広島店　福岡/グラウンドコブラ(天神ビブレ内)

ファスティングに関する詳細は、グレート・アントニオサイト(http://www.great-antonio.jp)か、ヤマダ元気サイト(http://www.yamadagenki.com)をご覧ください。
※グレート・アントニオサイトでは、格闘家たちによる『ファスティング日記』公開中!

終わりなきサップ・フィーバー!!
おひさしぶりの猪木NEWTシャツもまもなくリリース!!

FRONT　BACK

●ボブ・サップTシャツ（ver.3）
（白・黒／サイズXS・M・L・XL）
¥4,000（税別）

FRONT　BACK

●ボブ・サップTシャツ（ver.2）
（白／サイズXS・ M・L・XL）
¥4,000（税別）

FRONT　BACK

●ボブ・サップTシャツ（ver.1）
（白／サイズXS・M・L・XL）
¥4,000（税別）

バカヤロー！

アントニオ猪木お守り2003年版！
〝道はどんなに険しくとも、笑いながら歩け！〟

●アントニオ猪木〝道険笑歩（どうけんしょうほ）〟お守り
¥1,000（税別）

G-SHOCK 武藤敬司モデル 発売中!!

バックライト：「I ♥ P.W」
パネル面：MUTO
ベルト部分：PRESIDENT OF A.J.P.W.
裏面：全日本プロレスリングロゴ刻印
©ALL JAPAN PRO-WRESTLING

●G-SHOCK DW-6900
武藤敬司モデル
¥14,000（税別）

ご注文方法

ご注文は電話 or サイト受付のみです

『グレート・アントニオ』&『ヤマダ元気』通販専用NAVIダイヤル
☎ **0570-007800** ※携帯電話からは掛かりません。
☎ **03-3295-4450** ※携帯電話でも掛かります。
【受付曜日・時間】月曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00
グレート・アントニオ
http://www.great-antonio.jp
ヤマダ元気
http://www.yamadagenki.com
【24時間受付】

商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で（株）ジャンボ（大阪）より郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

ご注意

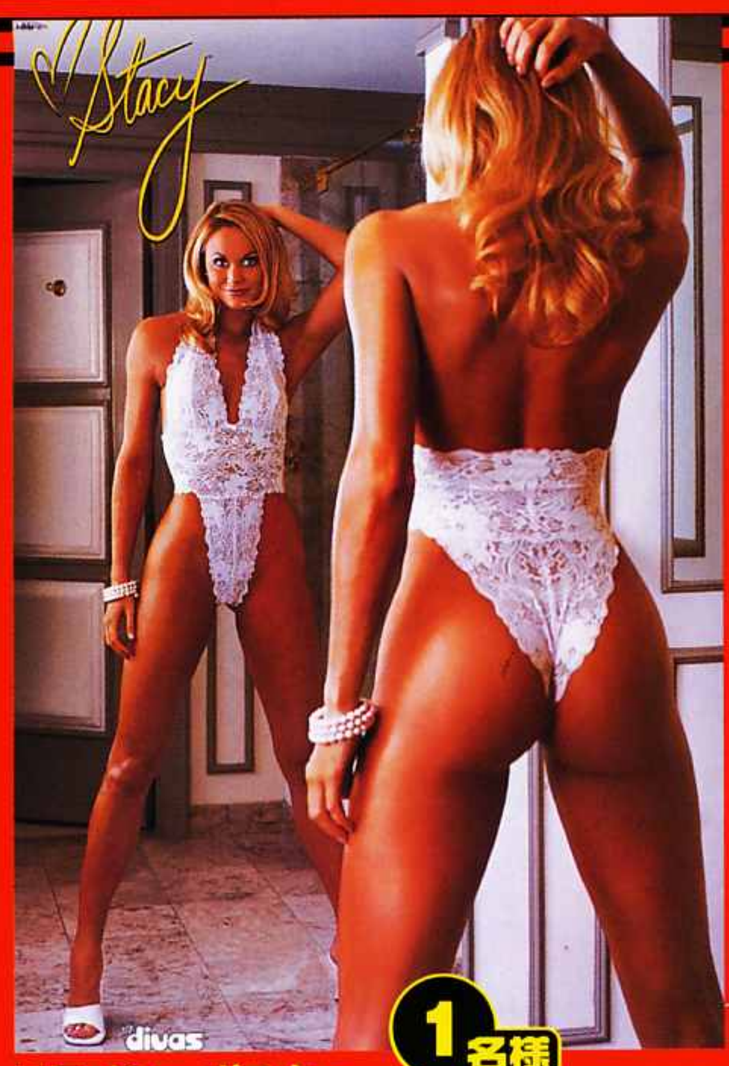
◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、通販のご注文は受け付けておりません。

ACCESS MAP

◎神保町駅（半蔵門線/都営新宿線/都営三田線）より徒歩5分
◎小川町駅（都営新宿線）より徒歩5分
◎淡路町駅（丸ノ内線）より徒歩6分
◎竹橋駅（東西線）より徒歩8分

OPEN 11:00～20:00（月曜定休）
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

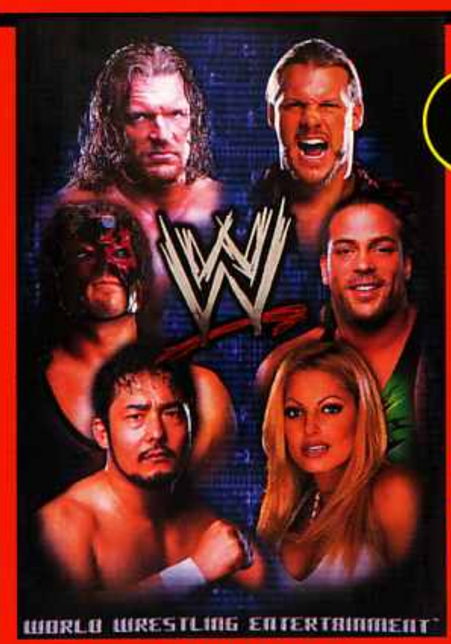
DX PRESENT 読者プレゼント



1名様

ステイシー ポスター

※残念ながら行けなかった人、これが最初で最後のチャンスだよ！ステイシーのポスターは「も～、たまらん！」って感じだゾ



1名様

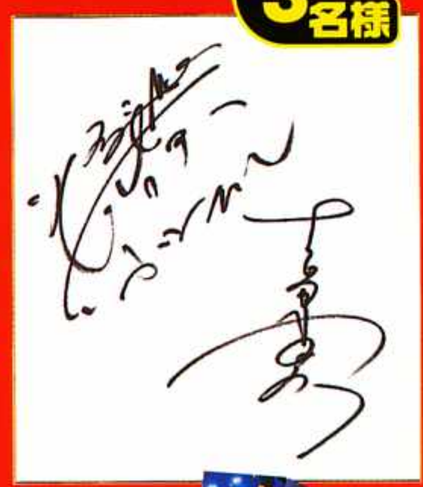
パンフレット

1・24 WWEの日本上陸第二弾を記念して！

【本誌編集部提供】

1名様

カート・アングル Tシャツ



3名様

キミは吉田ファン？それとも桜井ファン？

【本誌編集部提供】

吉田秀彦＆桜井"マッハ"速人 サイン色紙

※もちろん非売品！超貴重だゾ！

2名様

【本誌編集部提供】

水野裕子 サイン入り チェキ

みんな、これから応援しよう！

※本誌ハッシーが一目惚れ！？ ファン垂涎のチェキだぞ！

5名様

【グレート・アントニオ提供】

1・19『WRESTLE-1』カードパンフ

『W－1』と言えば、やっぱコレ！

※前回大会の黒と今回の赤。やっぱり揃えなくっちゃね。

チョコがもらえなくたって きっとこれからいいことあるさ……

3名様

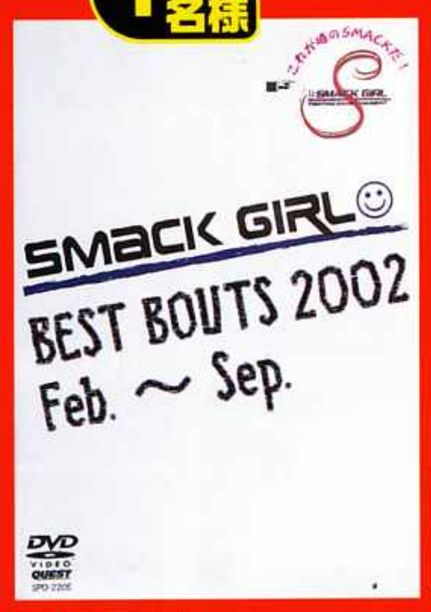
PRIDEのPS2ゲーム発売直前のカプコンから人気ゲームソフトプレゼント！

【カプコン 提供】

PS2用ソフト『デビル メイ クライ2』

※1月30日に発売され大好評の『デビル メイ クライ2』。全世界でダブルミリオンを記録した前作『デビル メイ クライ』の持つ世界観は継承しつつ、グラフィック、アクション、フィールド、ボリュームは劇的に進化。前作をやった人もやっていない人も楽しめること間違いなし。PRIDE発売前にまずはこのゲームにハマれ！ 定価7,800円（税別）

1名様



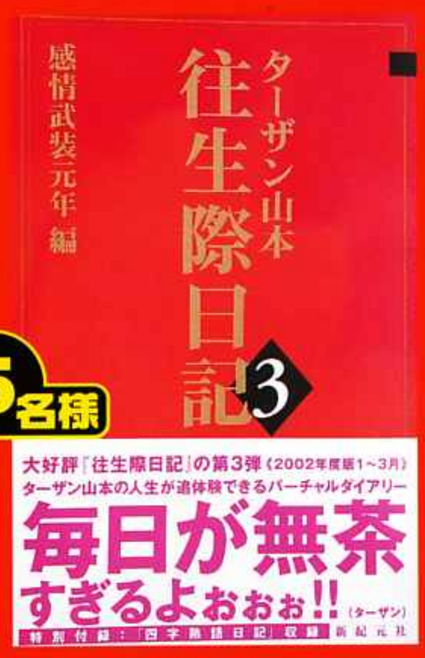
女子だけの総合格闘技初のDVD化！

【クエスト 提供】

DVDソフト『SMACK GIRL BEST BOUT 2002』

※通販ではすでに好評発売中！（店頭では3/18発売）120分/5,600円（税別）。お問い合わせは、株式会社クエストtel.03-3360-3810まで

5名様



【新紀元社 提供】

ターザン山本 往生際日記3

ターザン山本さんの破天荒な毎日に触れれば勇気凛々！？

5名様

柔術テクを知りたい人は必見＆必読！

ヘンゾ＆ホイラー ブラジリアン柔術 セオリー＆テクニック

※ターザンフリーク待望の第3弾。マット界の裏側まで読める、ターザンの日記はファンならずとも必読。きっと何かが得られるハズだ！ ヘンゾ＆ホイラーのテクニック本には目からウロコの技術も！ 往生際日記 1,500円（税別）、ブラジリアン柔術 3,200円（税別）

応募券は忘れずに！

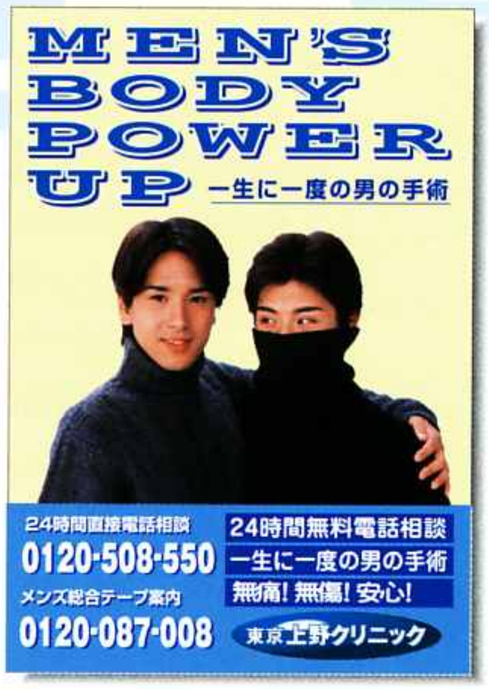
官製ハガキに応募券を貼って、
(1) 郵便番号・ご住所・電話番号
(2) お名前
(3) 年齢・ご職業
(4) 希望プレゼント
(5) 今号で面白かった記事とその理由
(6) 今号で面白くなかった記事とその理由
(7) 本誌に対する意見・感想を書いて、右記までご応募ください！

あて先
〒101-0051
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部『読者プレゼントDX係㊽』まで
締め切り……2003年3月13日（木）（当日消印有効）

応募券
SRSDX 読プレ

男の子から、男へ。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去20万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。



第1章　日本人の3人に2人は包茎です。

包茎は病気ではありませんが、病気を起こす根源になるとともに、心理的なコンプレックスの原因にもなるのです。解決の第1歩は24時間無料相談ができる東京上野クリニックのフリーダイヤルから。

第2章　包茎は百害あって一利なし。

包茎で大損した男の実話集。●包茎は早漏のもと。●包茎は雑菌の溜まり場、性病の巣。
包茎治療で得した男の実話集。●ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた。●いつでも「気持ちいい」セックスができる。

第3章　最新の技術「無痛」治療法。

綿密な研究を重ね、東京上野クリニック独自の最新技術「無痛4段階麻酔システム」を開発。手術を受けた方から「痛くなかった」という声が、その成果を実証しています。●まず確実な基礎麻酔から。●深部冷却法を採用することで痛みをシャットアウト。●日本一の極細針を使用することで針を刺したことすら感じさせません。●すぐ切れてしまう局部麻酔だけではなく「背面神経ブロック」により、手術中・手術後も完全無痛を配慮します。

第4章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

東京上野クリニック独自の手術法により「無傷」を実現。それはひとりひとりに合わせた「複合曲線作図法」を行っているから。●東京上野クリニックでは手術跡が残りにくい特殊な高周波メスを使用しています。●東京上野クリニックでは美容形成用の特殊糸と極細針を使い、他にはない独自の方法で縫合。

第5章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●東京上野クリニックは、オール男性によるプロフェッショナル集団です。
●東京上野クリニックは、男性泌尿器専門の形成外科であり、女性美容形成はいっさい行っておりません。
●東京上野クリニックでは、24時間対応のフリーダイヤルシステムを完備しています。
●東京上野クリニックでは、「生涯再診無料」という安心保証システムを導入しました。
●東京上野クリニックでは、来院すら他人にわからない完全予約制による無料診断システムを導入しています。

第6章　早めの対応が肝心な性病治療。

●包茎は尿道炎やコンジローム、包皮炎などの原因をつくりやすくします。●たいていの性病は早めの治療ですぐ完治。迷わずすぐに相談を。
●東京上野クリニックは、包茎治療と同じく、性病検査についても24時間受け付けております。

第7章　男女とも快感をアップする法。

●「余分な包皮」のカットは女性を歓喜させます。●カリに摩擦感が生まれない「余分な包皮」は、セックスの快感を大きく妨げます。

第8章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、独自の方法で開発したコラーゲンによる亀頭増強法を提案いたします。
●東京上野クリニックでは、敏感な亀頭を強化して早漏を抑えます。

第9章　もうひとつの男を磨く道。それは育毛。

●日本人の4人に1人は薄毛に関する悩みを抱えています。●東京上野クリニックでは、その人にあった治療法をセレクトします。
●東京上野クリニックは、豊富な育毛法を提案します。

第10章　もうひとつの男を磨く道。それは脱毛。

●いま、スベスベ肌の男性がなぜモテる。●東京上野クリニックのレーザー脱毛なら、「無痛」「無傷」「安心」。
●東京上野クリニックのレーザー脱毛で得した男の話。

（以上：全て目次より）

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別）判型：A5判　ページ数：80頁

発行所 株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3番28号

ご紹介できる全国の上野クリニック一覧

札　幌 011-252-6000

中央区北4条西2 アイビル4F

仙　台 022-723-3000

青葉区中央1-6-27 仙信ビル7F

新　潟 025-241-4000

新潟市花園1-4-6 柳都ビル2F

大　宮 048-642-1000

さいたま市宮町2-11 ハシモトビル7F

東　京 03-3274-4000

中央区八重洲1-9-13 八重洲ヤヨイビル7F

上　野 03-3876-7000

台東区根岸1-8-18 高松ビル4F

渋　谷 03-5784-3000

渋谷区宇田川町33-8 塚田ビル7F

新　宿 03-3343-4000

新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル7F

横　浜 045-323-5000

西区北幸2-10-50 北幸山田ビル2F

千　葉 043-221-8000

中央区富士見1-2-11 勝山ビル6F

浜　松 053-452-6000

浜松市鍛冶町140-3イズムハママツCビル5F

名古屋 052-562-5000

中村区名駅3-26-21 新香取ビル6F

京　都 075-352-5000

下京区新町通七条下ル東塩小路町593クリスタル駅前ビル1F

大阪北 06-6456-3000

北区梅田1-2 駅前第2ビル2F

大阪南 06-6634-3000

中央区難波3-5-11 東亜ビル8F

岡　山 086-224-9000

岡山市本町6-36 第一セントラルビル3F

広　島 082-511-5000

広島市中区基町11-5 防府土地広島ビル3F

福　岡 092-415-6000

博多区博多駅東1-12-7 第13岡部ビル2F

鹿児島 099-812-3800

鹿児島市中央町3-36 西駅M.Nビル5F

この本についてのお問い合わせは
TEL/03-5543-3700

泌尿器科・形成外科・性病科
東京上野クリニック

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合テープ案内
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

メール相談もできる男のHP　http://www.ueno.co.jp　携帯アドレス　http://www.ueno-c.com

SRSDX
3・13 臨時増刊 No.88
平成15年1月21日第三種郵便物認可
平成15年3月13日発行(毎月第2・第4木曜日発行) 増刊 第5巻・5号・通巻88号
発行人／清賀主水 編集人／谷川貞治 発行・発売／(株)扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1 TEL.03-5403-8859(販売)
(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
TEL.03-3295-4445(編集) 協力／フジテレビジョン・フジテレビ出版

どうなる2003年 K-1&PRIDE!?

定価580円 本体548円

SSI Tristar

メモリダイヤル
504iS 251iS 212i シリーズ対応
メール
写メール・ロングメール対応
カメラ付き携帯

アイ♥ケータイ。
PC

万能あれば万全でしょ！

ムービーケータイ カメラ付きケータイ対応
高速データ通信
ホームページ
急速充電
待ち受け画面
ブックマーク
着信メロディ

大好評発売中

for WINDOWS

No.1ソフト*の「携帯万能」がさらに使いやすく、9大機能充実で新登場！
カメラ付き携帯を使いこなす便利機能満載！ 使えて、遊べて、もうウキウキ！

画像データまとめて保存！
新機能「万能データファイラー」を使えば、人気の“カメラ付きケータイ”で撮った複数の画像データを、まとめて携帯電話からパソコンに取り込むことができます。

通信中も急速充電！
「万能チャージ」※を使えば、携帯電話とパソコンをケーブルで接続し通信中の時でも、急速充電が可能です。データの取込み中にバッテリー切れなんて事はもうありません。

面白待受画面作成
『デジカメ@3Dキャラ』を使って、PCに取り込んだ顔写真を3Dキャラクターにマッピング加工！待受け画面に使ったり、友達にメールで送ることもできます。

※ 充電機能付きUSBモデムケーブルのみお使いいただけます。＊BCN調べ 携帯電話用ソフト部門 売上本数第1位 2002年11.17現在

PDC用USBモデムケーブル版
キャンペーン価格 7,000円［税別］

cdmaOne用USBモデムケーブル版
キャンペーン価格 7,000円［税別］

アップグレード版
キャンペーン価格 3,800円［税別］

FRAGILE
データは“こわれもの”です。
携帯データのバックアップなら
「携帯万能9」に、おまかせ！
新機種迅速対応！
TV-CM 放送中！

Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。
その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

「携帯万能9」の対応機種など詳しい情報をチェック！ www.ssitristar.com
株式会社SSIトリスター 〒163-0239 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル39階 お問い合わせ tel：03-3343-6001 http://bannou.jp［携帯電話用ホームページ］

FUJISANKEI COMMUNICATIONS GROUP
雑誌21586-3/13
T1121586030683
印刷／(株)廣済堂
printed in Japan